昭和２４年３月１９日第３種郵便物認可　昭和３５年３月２０日印刷　昭和３５年３月２５日発行　第４１輯第３号　（毎月１回２５日発行）

# 建築と社会

1960 3

日本建築協会

the architectural association of japan



# 明るい床材
# 三星プラスタイル



## 三星アスファルトタイル
## 三星Pタイル (2耗厚)
## 三星マチスタイル

規格　寸法　12″×12″　厚サ　1/8″
又ハ　9″×9″　又ハ3/16″
価格一面坪 2,300円 ～ 4,800円(材工共)

三星の弾性床タイルは何れも製法の専売特許品で、日本の多湿多雨の氣候でも優れた性能をもつ、舶来品の追随を許さない製品です。

●屋外には使用出来ません

●各製品毎のカタログ見本
技術報告書を御請求下さい

◆ 特　徴

施工後故障が少い・工期が早い
価格が手ごろである・手入掃除が簡単
色彩が自由に選択出来る・永持ちする

三星ルーフイングの

## 田島応用化工株式会社

東京・東京都足立区小台町633　TEL 東京(911)代表 1181
大阪・大阪市西区京町堀上通1～14　TEL 大阪(44)代表 5951

軽い
燃えない
腐らない

# フェザーグラス

極細硝子繊維 3ミクロン

大手町ビル
新朝日ビル
丸の内東宝劇場
第二大手町ビル
千代田ビル

に使用された

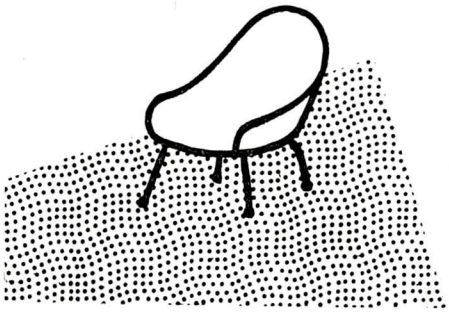
効果的な断熱・吸音材

PARA MOUNT GLASS MFG.

## パラマウント硝子工業株式会社

本社・工場　福島県郡山市長者町225　電話(郡山)3451～4
東京出張所　東京都中央区八重洲6—1(日東紡)ビル　電話(東京)(281)7205～6
大阪出張所　大阪市東区北浜2—85　北浜清友会館(日東紡績(株)大阪支店内)　電話(大阪)(23)0331～4

皆様の設計と施工に東洋の床材



# リノリューム
# リノタイル
ビニール系新製品
# ビニラートタイル
ビニール製
# スポンジシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

## 東洋リノリユーム株式会社

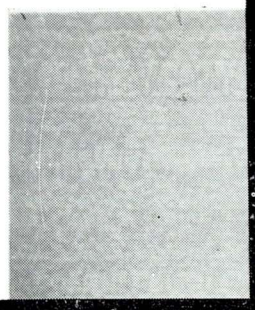
本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話伊丹(代)3531・大阪(48)4490
東京支店　東京都中央区銀座4丁目三和ビル
電話 東京(561)1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2丁目三和ビル
電話 大阪(23)0375～0379

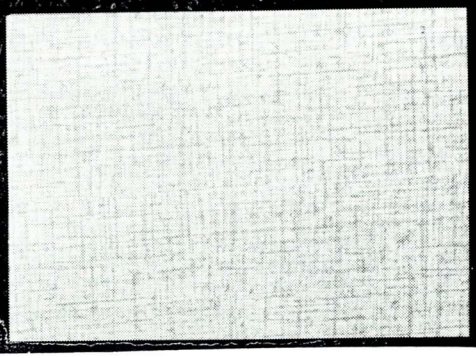
近代的ムードをつくる表面材料！

# ヒッターライト

ヒッターライトはメラミン系の丈夫なプラスチック化粧板で、硬質微密な表面材料として近代建築に新鮮なムードを構成いたします。衝撃には強く、水を吸わず、耐薬品性にすぐれ、熱に耐え燃えにくいなどの優秀な特性をもっています。

さらに色彩は豊富で、80余種の色柄があり塗装の必要がありません。壁面、棚、調理台、テーブル、カウンター、パネル、ディスプレーなど多くの用途があります。





東京都千代田区丸ノ内1の4(新丸ビル) 日立製作所

特許

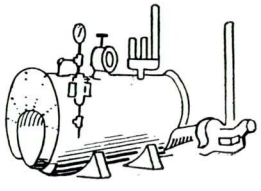
# 平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る！

経費節減527万円の利益を生む

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額
7′×30′ランカシヤボイラと比較して
527万円益
(但し E.E.2000kg/hr. 6000カロリー石炭6000円/屯 1日24時間1月25日として)

大阪府立工業奨励館
公式試験成績
汽缶効率 81.2% 石炭焚にて
排ガス温度 197℃



◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

株式會社 平川鉄工所

本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊾1975－8
東京営業所 東京都中央区八重州6の7 電話(281)5883・7787－8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話 小倉⑤1362

# 強力型 重荷用 鉄ブロック スナッチ

MKK

技術・性能・信用を誇る
安全度の高い



アムスラー油圧式横型引張試験機
（日本海事協会検定No. 3788）
製品は本機によって試験す

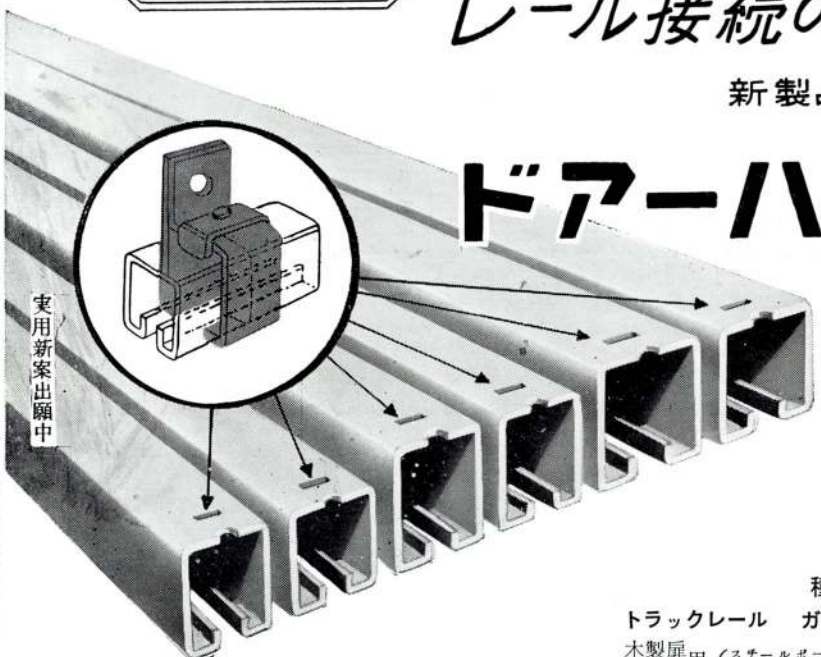
御用命は全国有名土木機械工具
金物店へ御照会願います

MKK

# レール接続の革命！

新製品 完全防錆

# ドアーハンガー



実用新案出願中



御用命は全国各地有名建築金物店へ御照会願います

種　目

トラックレール　ガイドレール　カーブレール

木製扉用
鉄　扉用（スチールボール／スチールローラー入）複車・単車ハンガー

軽 50㎜，60㎜，70㎜

その他ブラケット附属品一切

株式会社 三谷製作所
東京都足立区高野町二一八番地
TEL　足立　(881) 4048・4239



木工用セメダインによるテックスの
接着施工（大阪・関西電力ビル）

施工法を一変した

“液体のクギ”

セメダイン
NO. 195…木レンガ・ノンスリップテックス・ハードボード等をコンクリート又は木部へ

NO. 601…合板・内装化粧板・クロス類の接着

NO.1500…金属・ガラス・プラスチックスの接着

建築用
セメダイン

発売元　東京セメダイン商事株式会社　東京都千代田区神田五軒町1　(831)3131
大阪セメダイン商事株式会社　大阪市南区大宝寺町東之丁41　(27) 3456
名古屋セメダイン商事株式会社　名古屋市中区上前津町　(24) 0845

●近代建築の不燃内装材　アサヒ印　耐火ボード

●塗装不要の化粧板　エスロンボード・カラードボード

●左官技術の革命　NB石膏プラスター

●アサヒトーン（吸音板）　●防水ボード（防水処理品）
●ラスボード（壁下地材）　●各種石膏プラスター

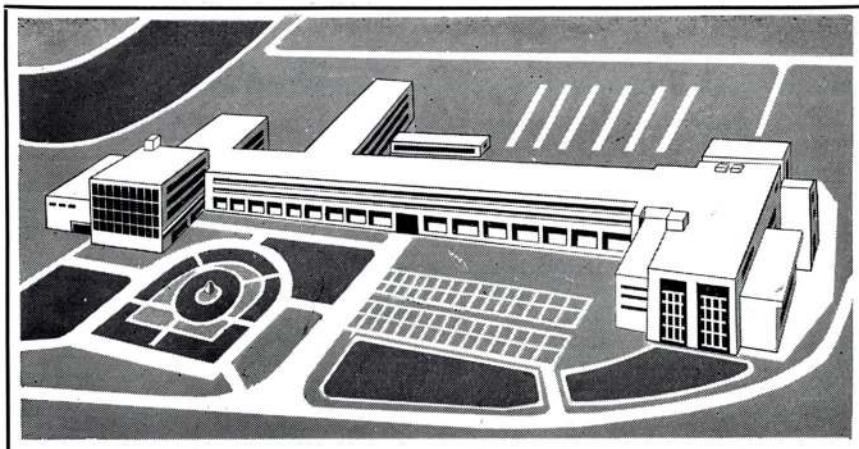
21世紀の建材

NTB

●社名が変りました……旧大阪耐火ボード株式会社

日本耐火ボード株式会社

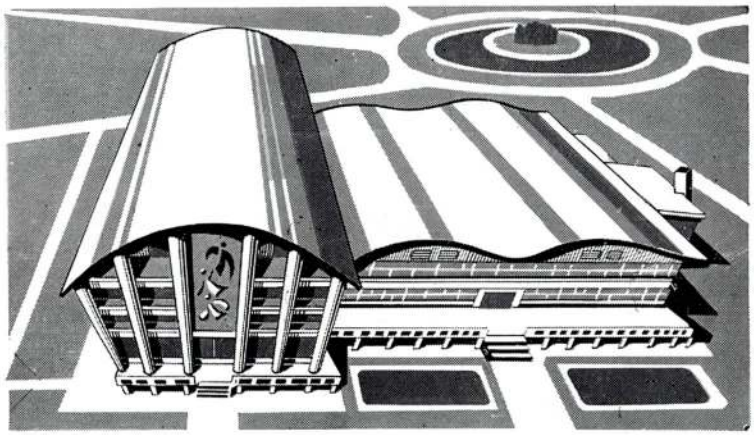
本　社　大阪市北区絹笠町50　堂ビル　電話大阪(36)5453～6・1141
東京支店　東京都港区芝・新橋4の38　電話東京(431)6814・8417
大阪工場　大阪市東淀川区元今里北通5の24　電話大阪(37)8361～2
栃木工場　栃木市平柳町1300　電話栃木2419・0064



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

# 日泝スーパーアルソイド
# 日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



## 日泝化学工業株式会社


本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL(807)代表016 1～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　　TEL(39)0924～5・2045・2079

最も進歩した建築には最も進歩した床材

# ビニアスタイル（2粍厚）

新製品

# K－タイル（1·5粍厚）

# アスタイル



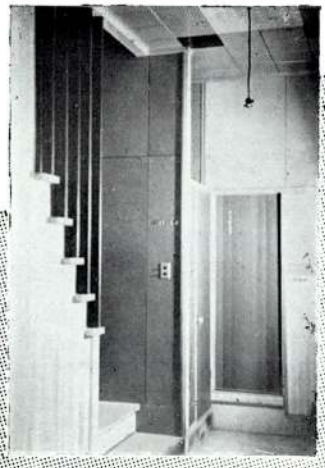
藤森建材株式会社

本　社　東京都中央区日本橋通1ノ2（大倉ビル）
電話　東京（271）6432～5
大阪出張所　大阪市西区上佐堀通1－1（大同生命ビル内）
電話　大阪㊾9417～8·8461～4
九州出張所　福岡市薬院大通2－73　電話 福岡 ④1945·⑤3473

新防火材
アルマイト吸音板
ヤハズラス
木毛セメン特殊板

建化粧板
メラミン樹脂製品
ボード特殊合板
プラスチック製品

材吸音断熱
スロール天井板
大建ボード
スロール断熱板



四ツ橋 ホテル
生きる近代建築に
魂ある文化材

モデルハウス展示
すまいの問診室
西区立花通2電(53)2843

30メーカー代理店

大阪·四ツ橋
株式会社 山東建材
TEL（54）1861～5·2131·2233



最新の設備
優秀な製品

# 三和シヤッター

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

**株式会社 三和シヤッター製作所**
**三和シヤッター株式会社**

| | | |
|---|---|---|
| 本社及工場 | 尼崎市久々知コエ23番地 | 大阪(48)5341～3 2959 |
| 東京支店 | 東京都新宿区西大久保1丁目370栄ビル | 東京(341)2478.9678 |
| 札幌支店 | 札幌市南九条6丁目 | 札幌(3)1368(4)4878 |
| 東北支店 | 仙台市土樋112番地 | 仙台(3)3296 |
| 金沢支店 | 金沢市上胡桃町36 | 金沢(4)1387 |
| 名古屋支店 | 名古屋市中村区広井町2丁目45八洲ビル | 名古屋(54)2846 |
| 九州支店 | 福岡市渡辺通5丁目92番地 | 福岡(5)5181 |
| 営業所 | 全国主要都市に在り | |

# 東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具(Toyotoki印)

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具(TTK印)

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

## 東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5—32　TEL ㉓ 4518～9

各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市
TEL 2105～8

---

明るい
モダンリビングに

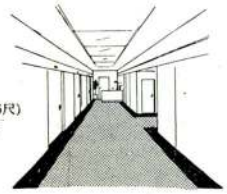
ビニール建材

K 川口ゴム

全国有名内装工事店に御照会下さい。

## ロンリウム

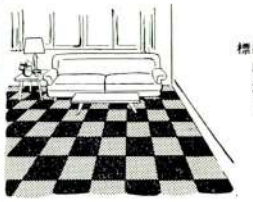
品質随一と定評ある
丈夫な 塩ビ床張材です



標準規格
厚さ 2.5mm
巾 183cm(6尺)
長さ 27.45m
(15坪巻)

## ロンタイル

あらゆる床にマッチする
品質最高の美しいフロアータイル



標準規格
厚さ 2mm
30.3cm角
(1尺角)

- 強い耐久力
- 美しい色彩
- ソフトな感触
- 水洗のきく完全耐水
- 比類なき耐薬品性
- 安全な耐電及防火性
- 常に清潔で経済的

## 川口ゴム工業株式会社

本社工場　東京都葛飾区本田四ッ木町54
電話 葛飾 (691) 代表 1946

神田営業所　東京都千代田区神田鍛治町2-16
電話 東京 (291) 0003～4

大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33
電話 大阪 (27) 4358～9

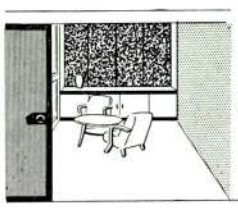
透明・不透明
艶消し・疊り
模様板各種
防火建築には
網　入
(通産大臣賞)
採光用屋根
間仕切・窓
等に好適な硬質塩ビガラス



## ロンプレート (各種波板・平板)

## ニューロンプレート (トタン小波普及品)

## ロンガラス (透明・半透明平板)



標準規格
巾 96cm
(3.17尺)
長 1.8m
(5坪巻)
単色・二色
フラノ

簡単に貼れて水拭き出来る
最も進んだ壁・襖貼材です。

## ロンフイックス

(実用新案登録第469550号)

## 建材優良認定

### ミラコート（建築用塗料）優良認定書発行

昭和34年1月27日提出された資料につき本会建材委員会に於て慎重審査の結果，下記特徴により向う1ヵ年間有効の優良認定書を昭和35年3月1日付発行した。

社団法人　日本建築協会

記

**品　名**　ミラコート（建築用塗料）

**申請者**　光揚塗料株式会社

**特　徴**　1．被膜が固い
1．接着力が良い
1．酸とアルカリに対し均しく抵抗力がある。

**短　評**　塗料の主要原料「ポリウレタン合成樹脂」は未だ国産されていないため，輸入（独逸）に頼らざるを得ないことは残念であるが，「ポリウレタン合成樹脂」の特性から早くより塗料としても完全な材料として出現することが望まれていた。

現在市場には「ミラコート」のほかに金属防錆塗料または金属面保護用塗料として同種のものが使用に供されている。

耐候性。酸，アルカリ等に対する耐久性，または附著力の良い点等，独特の特徴を示すほか，樹脂の熱硬化性による金属面焼付塗装仕上はすぐれた性能を示すように思われる。　（北山委員記）

# 昭和35年3月　会と催

### 住江織物見学会

**住江織物KK 本社・支店・出張所・工場所在地**

本　　社　大阪市住吉区墨江中2—18
大阪事務所　大阪市南区安堂寺橋通4—55
（本社業務一般・営業・陳列）
東京支店　東京都港区芝田村町4
（営業・陳列）
出張所　札幌市・名古屋市・広島市・福岡市
工　　場
住吉工場：大阪市住吉区墨江中2—18
（カーペット・タフトン・フツクドラツグ・染色仕上）
河内工場：大阪府松原市大堀町52
（紡毛糸・モケツト・アストラカン）
都工場：京都市上京区今出川通室町西入ル
（ドレープ一般・自動車シート地・高級手工芸織物・緞帳）
網野工場：京都府竹野郡網野町字浅茂川
（緞通）

### 第14回工場見学会　住江織物見学会

1．と　き　3月12日（土）12時30分（集合）時間励行
—17時30分（解散）
1．集合所　本会前（住江織物ご提供貸切バス利用）
1．申　込　3月7日までに電話でお申込み下さい。
ただし，定員50名を超過した際は抽せんで参加者を決めます。
1．お願い　同業関係者はお断りします。
1．行　程　本会前出発（12時30分）→本社営業所（12時40分—13時）→河内工場（13時45分—14時45分）→住吉工場（15時15分—16時15分）→高島屋特別室・懇親会（17時—17時30分）→同所で解散。

**住江織物株式会社**　・・・　同社は明治23年憲法発布式典儀場用の絨氈および明治27年鉄道シート地用モケットを製織して以来各方面の装飾用織物のメーカーとして発展の一途を辿り，大正2年に会社組織となり爾来高級用織物によって名声を博して来たが，近年更に一般大衆にアピールするよう事業を拡大し，タフトン・緞通・モケット・ドレープ・カーペットの製織販売に努力している。

## 大阪国際貿易センター見学会

大阪国際貿易センター
見学会

1. と　き　3月15日（火）午後3時（集合）～5時（解散）
1. 集合所　同建物玄関前（市電堂島大橋下車 南詰）
1. 申　込　10日までに電話で申込みのこと。ただし定員200名に達し次第締切ります。

1. 建物概要

所在地　大阪市北区玉江町2—2（堂島大橋南詰）
設計・監理　日建設計工務株式会社
施工　株式会社 大林組
工期　昭和33年2月1日—35年2月末
構造　本館 S.R.C. 造，地下1階，地上5階，塔屋2階
別館 S.R.C. 造，地上2階
建築面積　3,989,38m²　延面積　13,144,75m²

## 大阪資生堂ビル見学会

大阪資生堂ビル
見学会

1. と　き　3月23日（水）午後1時30分（集合）—3時（解散）
1. ところ　同ビル3階会議室
1. 申　込　20日までに電話でお申込み下さい。ただし定員50名に達し次第締切ります。

1. 工事概要

設計　監理　日建設計工務株式会社
施工　株式会社 銭高組
位置　大阪市東区北浜3—13
工期　昭和33年11月15日（着工），昭和35年1月15日（竣工）
建築面積　本館 434.23m²　倉庫 416.38m²
計 850.61m²
建築延面積　本館 2,673.29m²　倉庫 416.38m²
計 3,089.67m²
構造　本館 鉄筋コンクリート造・地上5階・地下1階
倉庫 鉄骨造コンクリートブロック壁 地上1階

各階主な用途

＜1階＞ 玄関・応接広間・宿直室・資生堂大阪販売ＫＫ事務室
＜2階＞ 応接室・電話交換室・更衣室・事務室
＜3階＞ 応接室・会議室・休養室・事務室
＜4階・5階＞ 資生堂特美教室・実習室・応接室・和室・クレーム室・事務室
＜地階＞ 機械室・電気室・倉庫

東本願寺同朋会館
大徳寺の茶室
見学会

## 東本願寺同朋会館と大徳寺の茶室見学会

1. と　き　3月26日（土）12時30分（集合）—18時（解散）
1. 集合所　本会前（集合時間厳守のこと）
1. 申　込　23日までに電話でお申込み下さい。ただし定員60名に達し次第締切ります。
1. 会　費　50円（大徳寺茶室の拝観料に充当）
1. 行　程　本会前発 12.30（東海興業ＫＫ大阪支店ご提供の貸切バスを利用）→東本願寺同朋会館見学（14.00—15.00）→大徳寺・高桐院・黄梅院両茶室見学（15.30—16.30）→大阪駅西口前解散18.00。

**東本願寺同朋会館**　（詳細「建築と社会」誌２月号29頁参照）

設　計　財団法人　建築研究協会（京大工学部内）
施　工　東海興業株式会社
構　造　鉄筋コンクリート造３階建，屋根瓦葺
建築面積　913.04m²　　延建築面積　2,628.28m²
収容人員　500名

**大徳寺の茶室**　現地解説：岡田孝男氏（岡田建築事務所長）

**黄梅院の昨夢軒**

黄梅院は小早川隆景，毛利輝元が建立した塔頭で客殿と玄関は桃山時代の建築として重要文化財である。書院の一室である茶席昨夢軒は四帖半の広さで，寺の伝えでは武野紹鷗の好みといわれる。

**高桐院の松向軒**

高桐院は細川忠興（三斎と号す）の建立した塔頭で書院は利休の邸宅を移築したと伝える。茶席松向軒は２帖台目下座床の席で三斎の好みという。庭に石燈籠を墓標とした三斎の墓がある。

宝酒造伏見味淋工場
見学会

## 宝酒造伏見味淋工場見学会

1. と　き　3月29日（火）午後２時（集合）—４時（解散）
1. 集合所　京阪電車丹波橋駅集札口前
1. 申　込　23日までに電話でお申込みのこと。ただし定員50名に達し次第締切ります。
1. 建物概要

所在地　京都市伏見区竹中町628
設計・施工　清水建設株式会社大阪支店
工　期　昭和34年５月18日（着工）—11月19日（竣工）
構造・規模　１部鉄骨鉄筋コンクリート造，地下１階，地上４階
延　13,128.074m²

## 防火上の取扱いを主とした
## 軽量鉄骨構造講習会の後援

建築関係法令普及会では下記の通り防火上の取扱いを主とした軽量鉄骨構造講習会を開催されますので，ご希望の方はふるって参加下さい。

記

**軽量鉄骨構造講習会**（防火上の取扱いを主とした）

1. **主　　催**　建築関係法令普及会
1. **後　　援**　日本軽量鉄骨建築協会，大阪府建築士会，日本建築協会
1. **日　　時**　昭和35年 3 月25日（金）午前10時―午時 5 時
1. **場　　所**　大阪府職員会館大講堂
1. **講習内容**

イ．軽量鉄骨建築物の構造について
大阪大学教授・工学博士　鷲尾　健三氏　10時―11時

ロ．建築基準法の防火規定について
大阪府指導課長　恒岡　俊行氏　11時―12時

ハ．簡易耐火建築物の材料について
東京大学教授・工学博士　星野　昌一氏　1時―2時

ニ．軽量鉄骨の施工上の問題点（伊勢湾台風報告）
日本軽量鉄骨協会指導課長　小島久次郎氏　2時―2時30分

ホ．簡易耐火建築物の耐火実験（記録映画）
東京大学教授・工学博士　星野　昌一氏　3時―5時

1. **会　　費**　200円（テキスト代共）
1. **予定人員**　420名限り
1. **申込場所**　大阪府建築部指導課東条主事のもとへ3月20日迄に会費を添えて申込むこと（当日受付は致しません）なお定員に達し次第締切ります。

## 第2回世界地震工学会議参加登録について

掲記の件について仝会議組織委員会から，国内参加希望者の申込み方法について通知がありましたから，その大要をお知らせ申します。

記

1. 参加希望者は「会議開催要領」および「参加申込について」を参照の上，所定の参加申込用紙により申込むこと。
1. なるべく日本地震学会，日本建築学会または土木学会を通じて組織委員会あて申込むこと。
1. 参加登録費1,500円を申込書に添えること。
1. **申込期限**　昭和35年 3 月31日
1. **会期・会場**　昭和35年 7 月11日―15日　於東京
仝　　7月18日　　於京都

**備考：**「開催要領」「参加申込について」申込書など本会にあります。

## 後援の講習会

### 会員のみなさまへ
### お願い！
**――会員名簿作成のために――**

2月号に挿入しました1960年版会員名簿作成資料のご返送がまだの方は，ご移動のない方もぜひ，急いでご送附下さるようお願い申しあげます。

# 本会創立記念日の集い

## （記念講演と映画の会…記念ビールパーティ）

本会が大正6年3月30日に創立されてより，来る3月30日をもつて満43年の記念日を迎えることになりました。本年は一般の市民層に建築に関する認識を深めていただくような企画で，下記要項により記念行事を催します。なお，会員各位も多数ご参加下さい。自祝のビールパーティも当日夕暮より催しますので，何卒多数ご参加下さるようご案内申しあげます。

記

1．と　き　3月30日（水）

▶記念講演と映画の会（午後1時30分～4時30分）

1．ところ　朝日新聞社大阪本社4階講堂

1．次　第

司　会　記念日の集い主査　山本義樹氏

開会の挨拶　本会会長　尾崎久助氏

記念講演　“住宅と人間”

清水　一氏（大成建設株式会社常務取締役設計部長）

映　画

五重塔　（天然色）（40分）提供　株式会社　大林組

東京タワー　（天然色）（30分）提供　株式会社　竹中工務店

最新朝日ニュース　（20分）提供　朝日新聞社

閉会の挨拶　事業委員長　岩崎甚太郎氏

▶記念ビールパーティ（午後5時30分―6時30分）

1．ところ　大洋軒（肥後橋南詰・大同生命ビル地階）

1．会　費　200円（別に補助があります）

1．申　込　電話で25日までにお申込み下さい。なお，会場の都合で先着締切ることがあります。会費は当日受付でいただきます。

# 4月の会と催

## 関電ビル見学会

**建物概要**

設計・施工　株式会社　竹中工務店

所在地　大阪市北区中之島3―5

工　期

着工　昭和32年6月1日

竣工　昭和35年3月1日

構造・規模

S.R.C.　地下3階・地上12階

建築面積　4,323m²

延建築面積　36,823m²

## 関電ビル見学会　大阪府建築士会と共催

1．と　き　4月5日（火）午後3時（集合）―5時（解散）

1．集合所　同ビル南側（現場事務所前）

1．申　込　3月末までに電話でお申込みのこと。

定員（両会で300名）に達した時は締切ります。

▶お願い◀　お申込みの方は，必ず無断で欠席されぬよう願います。

# 監事ならびに評議員当選お知らせ

昭和35年2月24日開催の通常総会において監事1名ならびに本部選出評議員39名の選挙を執行致しましたところ，下記の方々がそれぞれ当選されました。

## 監　　事（1名）

伊東五郎君（大阪市住宅協会常務理事）

## 本部所属評議員（39名・50音順）

### （技術部門）

小川地喜貞君（鴻池組現場主任）
大原　知君（大阪鉄道管理局施設部営繕課係長）
金谷英一君（大阪工業大学助教授）
小阪義夫君（大阪大学助教授）
篠崎一郎君（浅沼組工事部次長）
田中孝司君（大阪郵政局建築部施工課積算係次席）
寺島三雄君（大阪府建築部住宅建設課長）
内藤一真君（〃　住宅計画課設計係長）
中川秀夫君（大阪市計画局計画課建築係長）
永井　実君（布施工業高等学校教諭）
松村慶三君（倉敷レイヨン営繕部）
三品哲夫君（大阪市建築局建築課指導係長）
宮川達郎君（日建設計工務設計部）
吉田圭三君（住宅公団大阪支所住宅企画課長）

### （綜合部門）

伊丹久吉君（藤木工務店専務取締役）
今西寿雄君（今西組専務取締役）
神谷新一君（竹中工務店常務取締役）
喜治繁次君（奥村組取締役建築部長）
中島　謙君（戸田組大阪支店営業部長）
浜口幹三郎君（浅沼組取締役本店次長）
福山良三君（栗本建設工業取締役）
山本良雄君（東洋建設工業社長）
山本義樹君（銭高組取締役営業部長）
渡辺　勇君（間組大阪支店建築課長）

### （電気部門）

浅海正雄君（浅海電気社長）
鳴尾源蔵君（大阪電気暖房商会取締役電気部長）
松本芳太郎君（松重電機商店社長）
山下　彰君（日立製作所大阪営業所ビルデイング課長）

### （管工部門）

石田憲二君（朝日工業社社長）
斉藤光夫君（三晃商会社長）
伴　秀雄君（西原衛生工業所大阪店社長）
南　長吉君（斉久工業大阪支店長）

### （建材部門）

井上浄夫君（井上浄夫商店社長）
太田敏郎君（能率風呂工業社長）
菅　敬一君（菅機械工業社長）
田中政二君（大島応用化学工業社長）
高橋　進君（田辺工業社長）
丹司奈良一君（丹司製陶常務取締役）
福頼圭蔵君（新興建材工業所社長）

## 昭和35年度留任退任監事・評議員氏名（50音順）

| 留任 | 退任 |
|---|---|
| **監事** | |
| 田辺　信君 | 宮脇晴美君 |

**評議員**

（技術）石川　清君．乾　亮三君．斧出正隆君．加藤．勲夫君．佐久間宏君．島田　一君．玉置玉彦君．手塚二郎君．中原　茂君．中村静夫君．長田正雄君．平田定男君．前川敬蔵君

（綜合）五十嵐芳雄君．蛯原逸雄君．加藤秋則君．川勝源兵衛君．島田啓太郎君．中川宗治君．若林季雄君．木村譲次君．中道朝男君

（電気）今村　騰君．工藤寿男君．助野信三君

（管工）浅見政一君．池田幸太郎君．須賀栄一君

（建材）井上武雄君．伊藤長太郎君．岩元熊雄君．内田雅秋君．橋本末蔵君．原正太郎君．村上二郎君

（兵庫）石井一信君．景山正明君．加藤太郎君．千葉文雄君

（京都）岡野武司君．佐々木米太郎君

（和歌山）ナ　シ

（中国）菅西重男君．吉田元七君

（九州）黒木源次郎君．薄与荘君

（東海）染木正夫君．西村　勝君

木村博己君．菅　良春君．滝本義一君．竹中米造君．村島　彰君．森　孝雄君．山本利雄君．坂内幾男君．田公初夫君．竹内博文君．馬場善雄君．元木貞次君．山本　茂君

青柳貞世君．坂本広吉君．七尾健三君．矢野豊作君．吉木一夫君．石丸正名君．杉本寛治君．西村忠二君．山口吾郎君

中元清次君

菅野栄君．竹中清君．高須洪一郎君

尾崎博一君．新谷喜作君．戸谷周円君．脇山静夫君．柏原国光君．鈴木松雄君．松井邦彦君

森田康次君．山田治司君

高橋政吉君．仁張市朗君

井崎栄次君．瀬村清二君

鈴本広好君．宗里　実君



枚方国際ゴルフクラブハウス

設計：山下寿郎設計事務所

施工　株式会社　竹中工務店

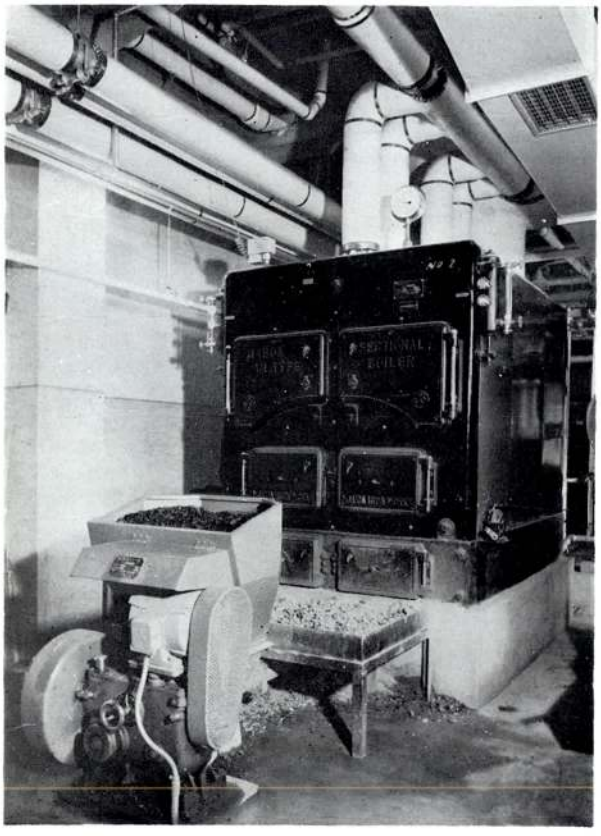




生きたデザイン　すぐれたクラフト　株式会社　大丸　家具装飾部

ラウンヂ（上）
食　堂（下）



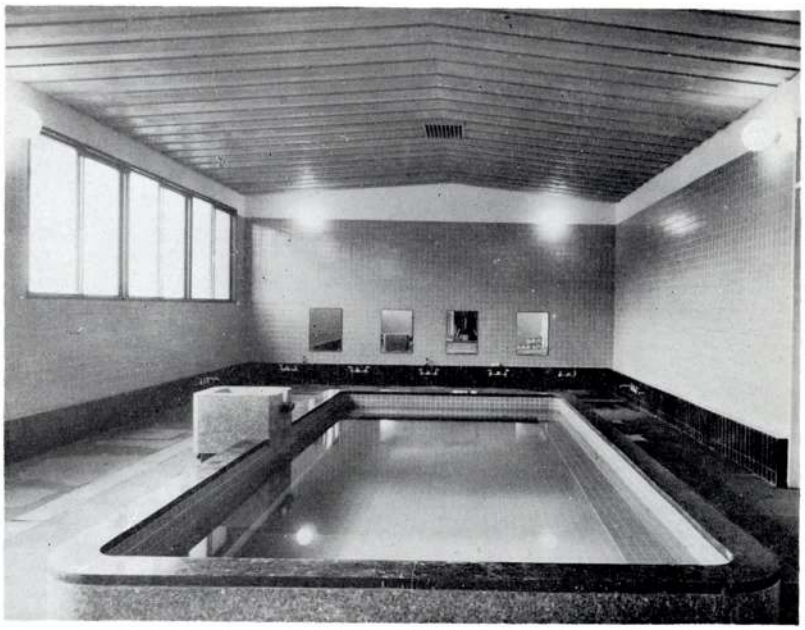


枚方国際ゴルフクラブハウス

煖房および排気設備

株式会社　建　材　社

セクショナルボイラ前田4号罐



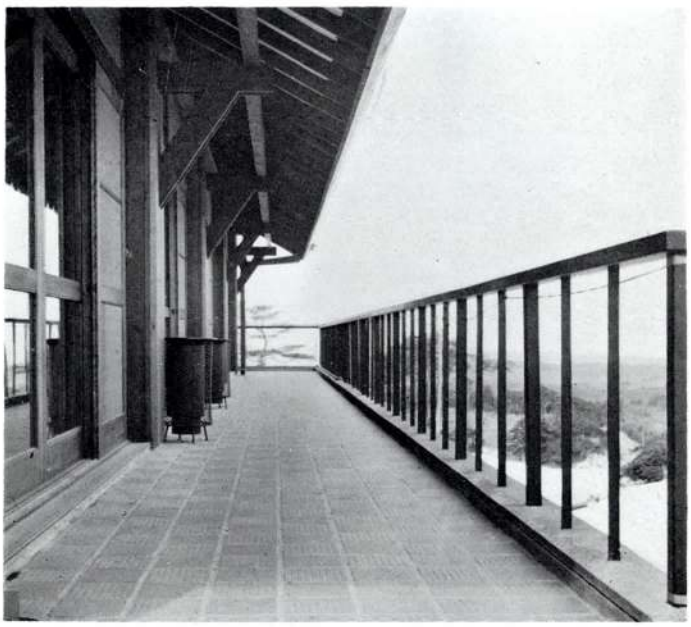
大浴場

給排水衛生給湯設備工事

株式会社　清水工業所

## 枚方国際ゴルフクラブハウス

2階テレス



瀬戸産伊良保色平安瓦施工

合資会社　佐村木商店

・テレスのクリンカータイル
・外壁腰まわり

内部および外部タイル工事施工

有限会社　関西タイル商会



北面全景

# 宝塚ゴルフクラブハウス

設計　宝塚ゴルフクラブハウス建設委員会

施工　株式会社　竹中工務店

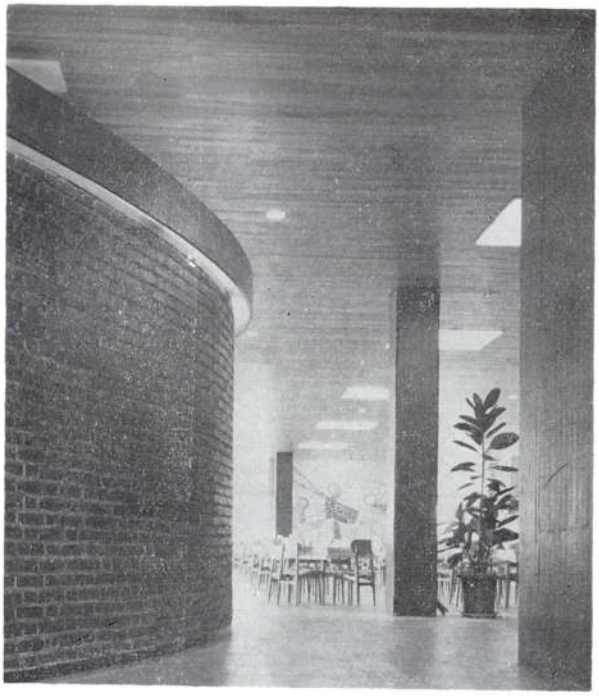


西面2階テラスを望む
彫刻は辻晉堂氏(京都美大教授)の作

宝塚ゴルフクラブハウス

電気工事

栗原工業株式会社



食堂照明

給排水衛生設備工事

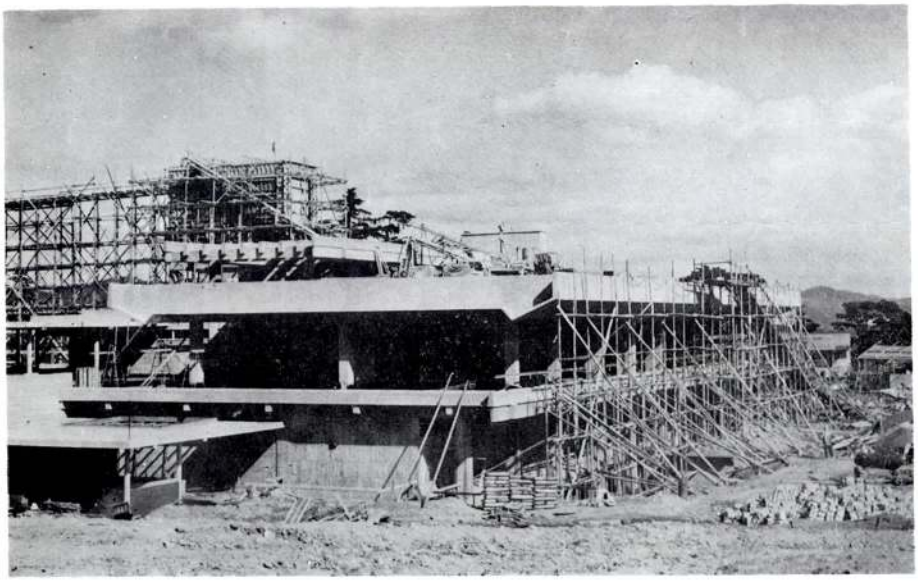
斉久工業株式会社

談話室



造作建具・家具

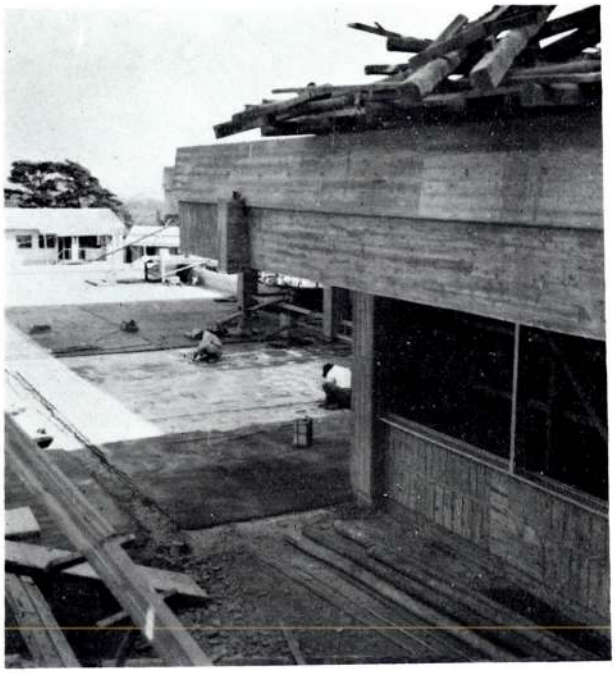
内外木材工業株式会社



スーパーウォータイト（合成樹脂製）による特殊防水施工法

株式会社　日本セメント防水剤製造所

宝塚ゴルフクラブハウス



宝塚ゴルフクラブ
ハウス

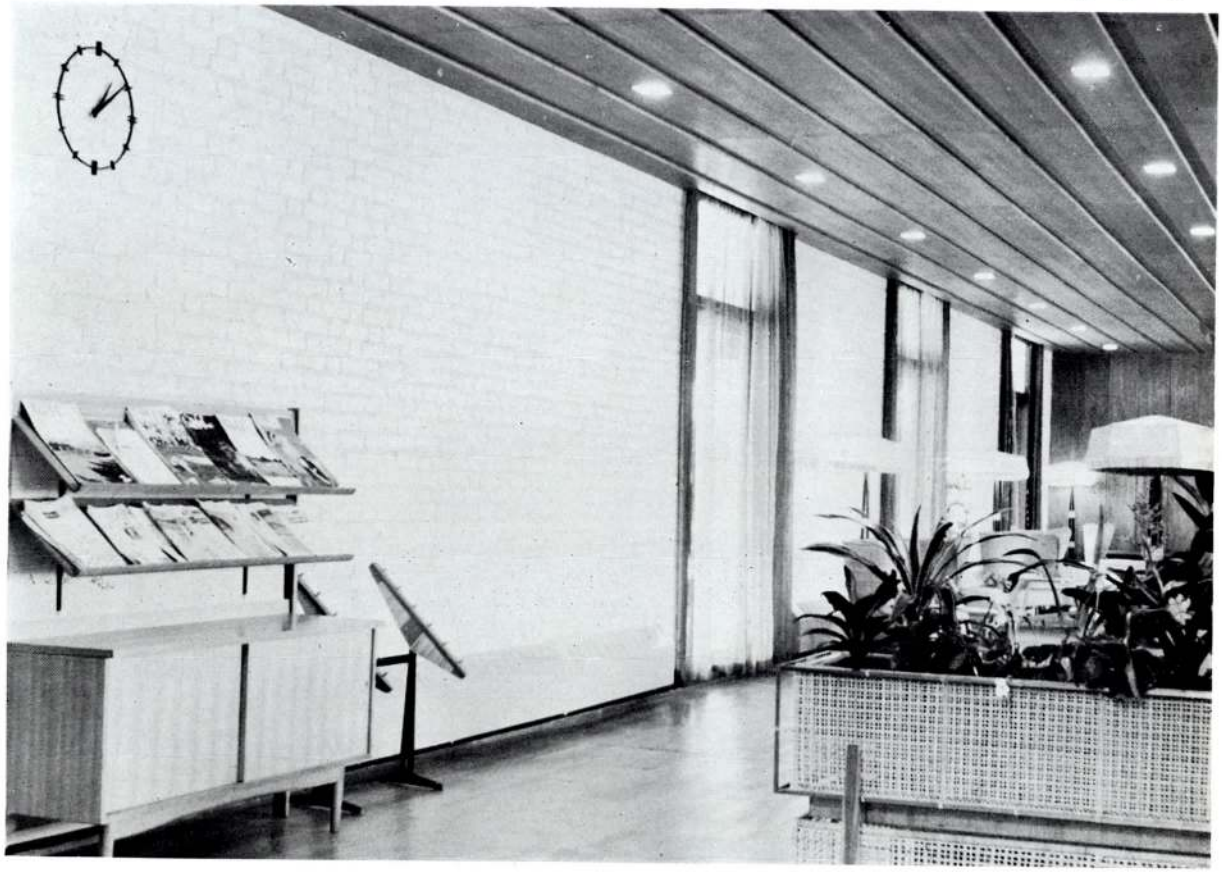


ゾラコート・ビニデラックスその他当社塗料使用

関西ペイント株式会社

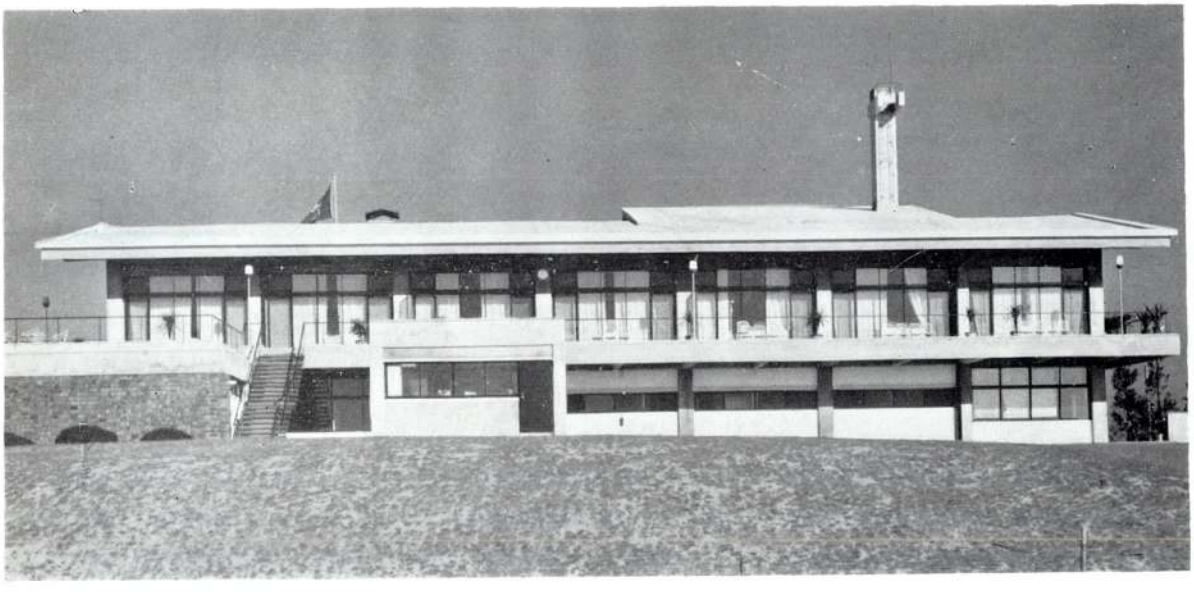
レンガ壁面:ゾラコート塗装

談話室

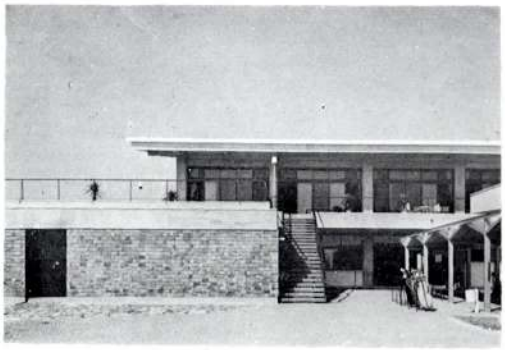




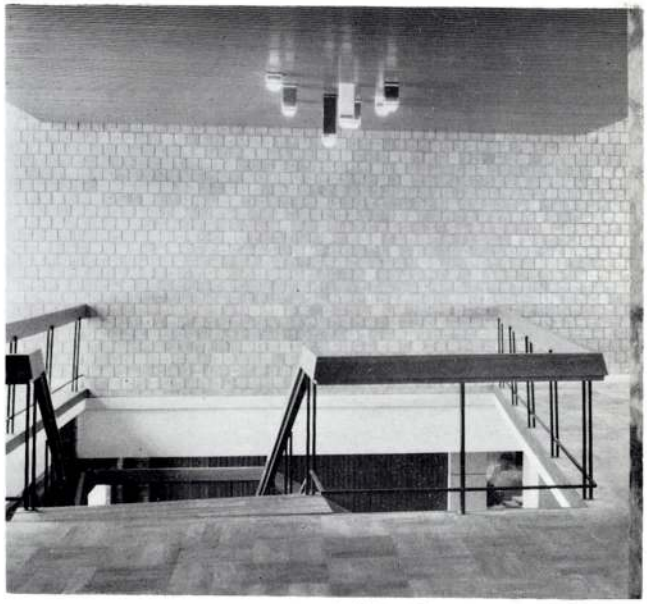
枚方カンツリークラブハウス　　設計施工　清水建設株式会社



# 枚方カンツリークラブハウス



ロッカー室妻壁：泰山タイル



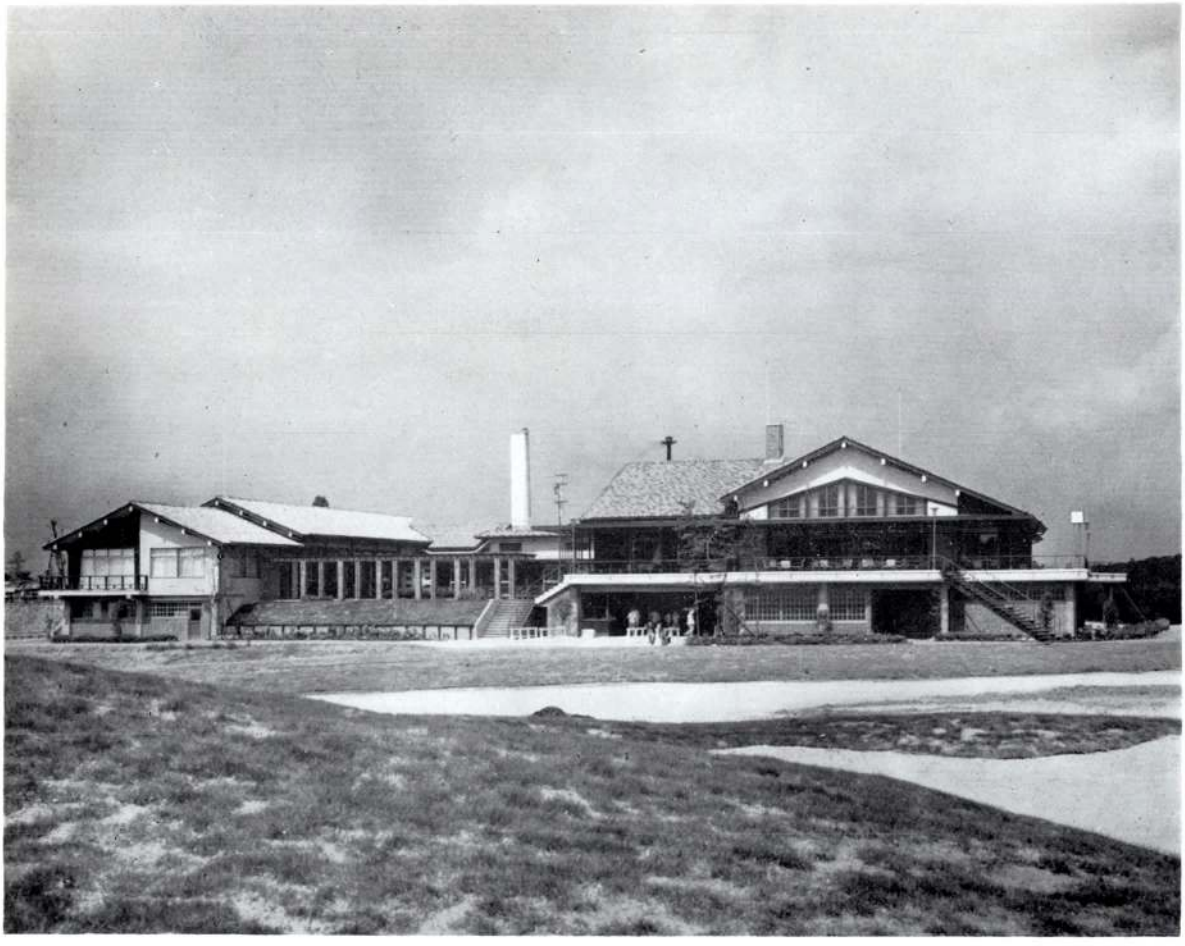
主階段2階ホール壁：泰山タイル

泰山タイル　株式会社　諏訪商会

電気照明　京阪興業株式会社

玄関ホール





城陽カンツリークラブハウス

設計　渡辺建築事務所

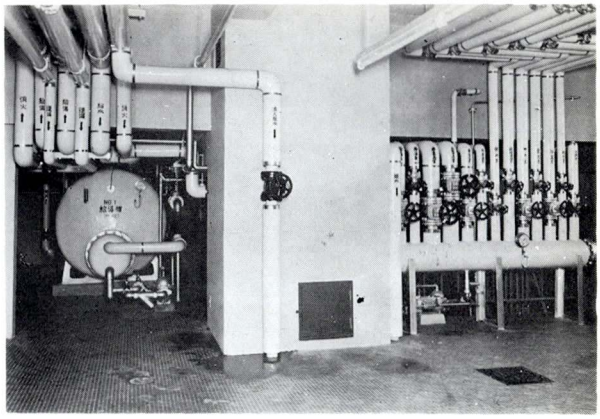
施工　清水建設株式会社

瀬戸産伊良保色平安瓦施工

合資会社　佐村木商店

大理石工事

株式会社　矢橋大理石商店



蒸汽母罐ならびに配管系統

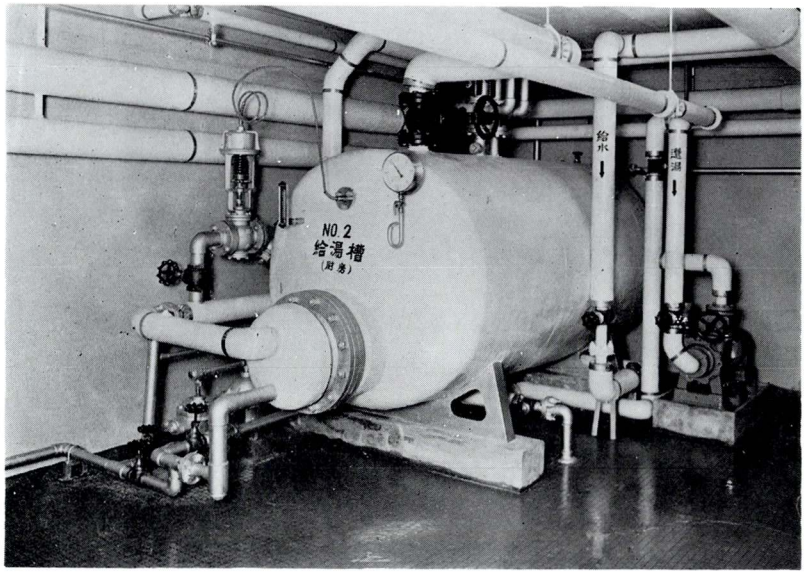
暖房換気設備

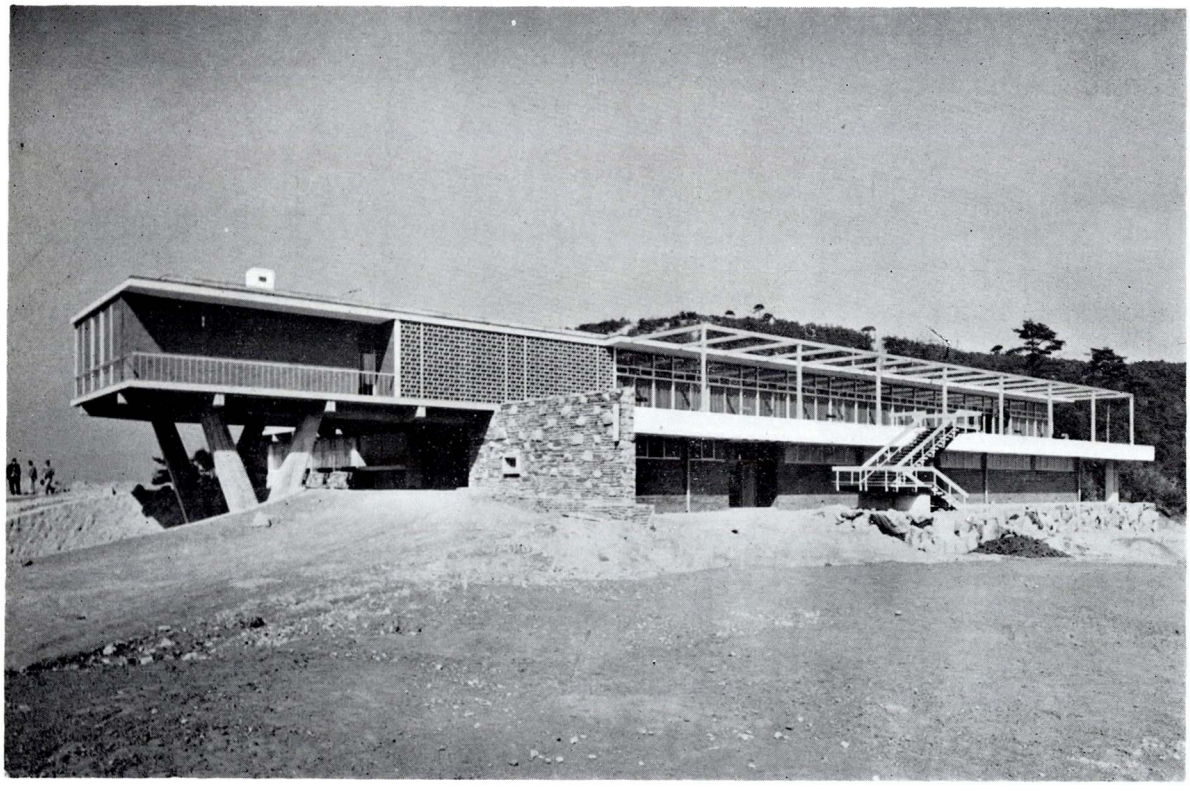
山田工業株式会社

## 城陽カンツリークラブハウス

給排水・衛生設備工事

須賀工業株式会社





花屋敷ゴルフクラブハウス

設計　大阪建築事務所

施工　株式会社　戸田組

花屋敷ゴルフクラブ
ハウス



玄関ホール

暖房設備施工

株式会社　三晃商会

アスファルト防水工事

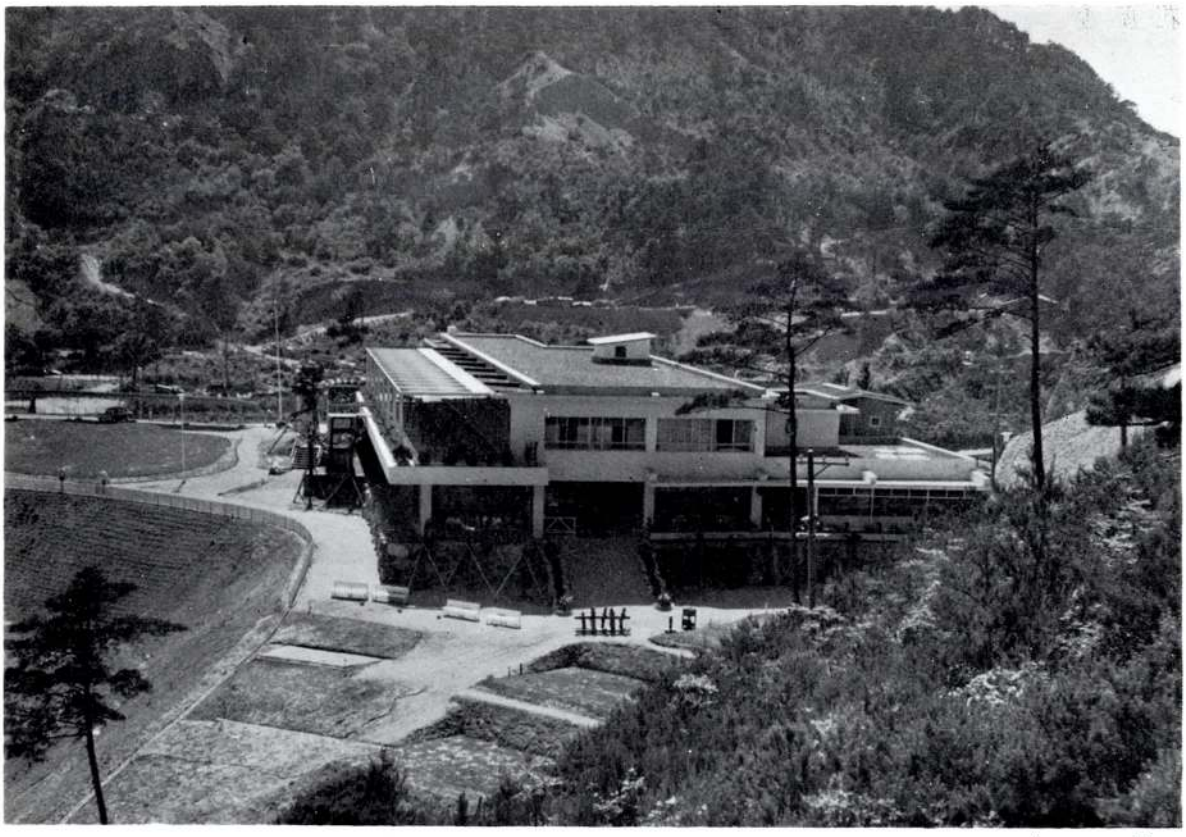
内外工業株式会社

大理石工事

株式会社　矢橋大理石商店



浴槽内部



全　　景

花屋敷ゴルフクラブハウス　　電気照明工事

中央電気工業株式会社



玄関電気照明の一部



泉　州　銀　行　本　店

設計　村野・森建築事務所

施工　株式会社　大　林　組

# 泉州銀行本店

リノリューム・リノタイル全館使用

東洋リノリューム株式会社

給排水・衛生設備工事

斉久工業株式会社



泉州銀行本店壁面の一部

大理石工事

株式会社　矢橋大理石商店

アスファルト防水工事

株式会社　久保商店

誰れもが認めて下さるプラスチック床材料の最高峰

# 桂のビニールタイル

厚サ
4㎜ 303㎜(1尺角)
5㎜ 303㎜(1尺角)
6㎜ 303㎜(1尺角)

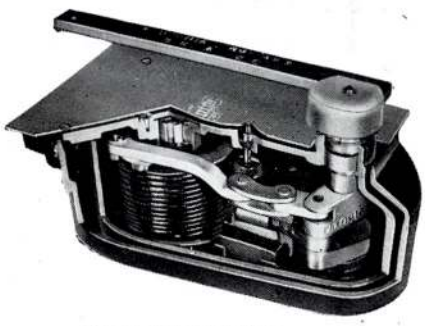
・曲げても 叩いても破損しない
・耐薬 耐油 耐燃性
・耐摩耗性にて優れた耐久力
・色調優美で程良い弾力性

床材料の販売工事(責任施工)
株式会社 桂商会
大阪市大淀区天満橋筋6～12 TEL 大阪㉟6625番

S.K

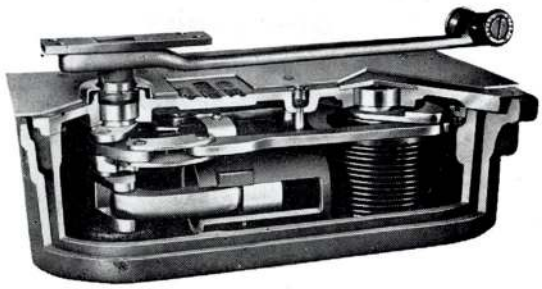
近代人の感覚にマッチする

# ユートピア印



(片開持出吊り型)

## フロアーヒンヂ



(中心吊自由開型)

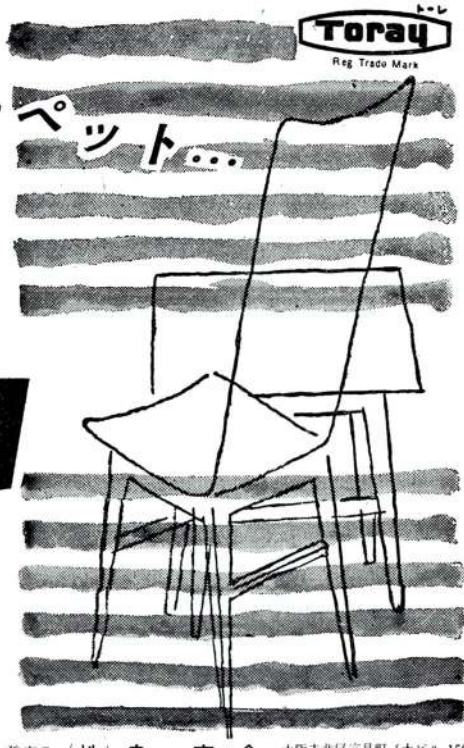
## ピボットヒンヂ



(ピボット・ヒンヂ持出し吊り型)
(カタログ御入用の節は御申込下さい)

製造元
敷島金物株式会社
布施市横沼町1丁目46番地 電話 布施(72)839・7713番
東京都千代田区神田和泉町1ノ11 電話 東京(866)3051～2番

# 絶讃！ナイロンカーペット…




東レナイロン絨氈・緞通は100%スパンナイロン糸を使用したもので・摩擦に強く

・弾力性に富み・吸塵性が少なく

・虫の害を全く受けません

## 東レナイロン

## 絨氈・緞通

このほか価格低廉な 100%レーヨンによる
**東レカーペット**も好評を博しております

東洋レーヨン株式会社

発売元 （株）泉　商　会　大阪市北区宗是町（大ビル 150号）電（44）2736~9

## 耐火・断熱・軽量骨材

## 新製品 三井パーライト

パーライトは真珠岩を急速に加熱、膨脹せしめたもので主成分は硅酸であり小さな真空状のガラス質の巣の集りで形成されて居ります。
パーライトは非常に軽く耐火的であるのでプラスターに混じ耐火、断熱用壁仕上に又、コンクリートとしては砂の代りに使って断熱、軽量コンクリートとして使用されます。

用途の一例

(1) 軽量コンクリート用細骨材
(2) 左官材料（セメント・プラスター骨材）
(3) 保温断熱材
(4) 油　井　用
(5) 濾　過　助　材

特　　性

軽いセメントモルタルの½以下（嵩比重0.04～0.20、砂の重量の1/40～1/50）
耐火性が大である　セメントモルタルの4倍の効力がある（熔融温度1000℃以上）
断熱効果が大である　セメントモルタルの2倍以上（伝熱係数 $\lambda = 0.03 \sim 0.05$ kcal/mh℃）
亀裂予防になる　殆んど亀裂が出ない
遮音吸音効果が大　セメントモルタルの2倍以上
施工が容易である　他の軽量骨材に比し施工が容易である
化学成分 $SiO_2=75.5$、$Al_2O_3=15.3$、$Fe_2O_3=0.9$　$CaO=0.12$、$K_2O=4$　$Na_2O=3.5$
有機不純物揮発分なく、長期保存するも変質しない



（パーライトを使用した国連ビル）

パーライトセメントモルタル調合その他・パーライトプラスターの配合説明書贈呈

## 三井金属鉱業株式会社

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本　　店 | 東京都中央区日本橋室町2の1 | 東　京 | (241) 4101～9・2371～9 |
| 大阪支店 | 大阪市北区中之島3の5 | 大　阪 | (44) 3731・3751 |
| 東京営業所 | 東京都中央区日本橋室町2の1 | 東　京 | (241) 4101～9・2371～5 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市中村区広小路西通2の26 | 笹　島 | (54) 3171～5 |
| 福岡営業所 | 福岡市天神町3　9 | 中　局 | (4) 9336～9 |

# 建築と社会

**3**

建築計画特集

表紙写真：泉州銀行本店
撮影：多比良敬雄


建築と社会
第41集・第3号
売価 1部180円・送料共
昭和35年3月20日印刷
昭和35年3月25日発行
発行所 社団法人 日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 大阪㊇ 9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
編集人 松井昭光
発行人 沖田誠一
印刷所 株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㊇2091～3番
印刷者 網野栄


1960年3月号目次


巻頭の言……建設工事費の安定化について　小栗賛吾…24

◀作品作風▶

ゴルフクラブハウス 10題（順不同）

宝塚ゴルフクラブハウス……25
設計：宝塚ゴルフクラブハウス建設委員会
施工：kk 竹中工務店

枚方国際ゴルフクラブハウス……31
設計：山下寿郎設計事務所
施工：kk 竹中工務店

枚方カンツリークラブハウス……34
設計：清水建設株式会社設計部
施工：清水建設株式会社

城陽カンツリークラブハウス……38
設計：渡辺建築事務所
施工：清水建設株式会社

花屋敷ゴルフクラブハウス……40
設計：kk 大阪建築事務所
施工：kk 戸田組

名古屋ゴルフ倶楽部ハウス……42
設計：日建設計工務kk
施工：kk 竹中工務店

岐阜カンツリークラブハウス……44
設計：安井建築設計事務所
施工：大日本土木株式会社

桑名カントリー倶楽部……46
設計：山下寿郎設計事務所
施工：鹿島建設kk

下関ゴルフクラブハウス……48
設計：石川建築事務所
施工：kk 大林組

福岡カントリークラブ
和白ゴルフ場クラブハウス……50
設計：日建設計工務kk
施工：大成建設kk

泉州銀行本店……52
設計：村野・森建築事務所
施工：kk 大林組

近代建築調査委員会報告 3……54
宝山寺客殿（獅子閣）……近藤豊

スケッチブック
坂静雄先生のプロフィル……奥島正一…57
坂記念館……58
設計：京大増田研究室
施工：kk 大林組

建築の眼……60

◀本文▶

科学とその対立概念……浦辺鎮太郎…61
対談「デザインの曲り角」……吉阪隆正・足立孝…64
計画研究者へのアンケート……71
計算資料と定数資料……小島武男…72
研究と実用……前田敏男…73
設計の組織編成……石原正雄…74
研究の細分化……岡田光正…75
求心的と遠心的……向井正也…76
色彩計画と現場調整……山崎勝弘…77
微妙な調整……上田光雄…78
環境計画技術者の職種の確立……前川純一…79
研究の結論を年報に……黒田正巳…80
設計者へのアンケート……81
障害は設計者が作る……彦谷邦一…82
結露と厨介……田村敏夫…83
建築計画のあり方……佐野正一…84
基本計画に対する施主（建築家）の受けとり方において　近藤正志…85
建築家の手に負えない建築計画上の困難……志保井正夫…86
道路幅員と建築物の高さ……陶浪貞彦…87
熱遮断に関して……香取禮三…88
計画原論の適用について（音響）……光安義光…90
雑感……井上滉…91
具合よくなったこと・困ること……小林武夫…91
プラスチック系床材……松本彦次…92
七癖——建築，建築物，建築家……鍛治延男…93
名古屋城の再建成って……加藤清六…94
伊勢湾台風について——座談会——……97
出席者（順不同・敬称略）　横尾義貫・石崎潑雄
佐藤四郎・山根正次郎・吉田憲一・広瀬一良
五十嵐昇・永田良夫・黒川巳喜・塚本猛次
会合（1月）……116

巻頭の言

# 建設工事費の安定化について

小栗賛吾

生産の向上と技術革新とに伴って設備投資が急速に膨張して目下建設ブームの真最中というのに，日本は未開発の国であるなどといっては，ご機嫌の悪い方もあるかと思うが，日本の本格的な建設は今後に俟たねばならないことには異存のないことと思う。最近何々白書というものを見受けるけれども，いづれを見てもその内容は予定目標または必要限度の半分にも到達していない数字を示したものが多く，いかに困難と苦境に立っているかが分る。天然資源の到って少ない日本が素手で外国に劣らない真似をして行こうというのだから，その苦心，苦労は並大抵ではないことは分るのであるが，この努力を多少でも合理化する必要があると思う。

建築の設計計画面では，なるほど多方面に渉って専門的に研究が進められているけれども，その実施および施工面に到っては甚だ不用意で心細い次第といわねばならない。ことに経済的方面においてもっと研究されてよい問題が多くあると思う。最近の工事費の不安定の点については寒心に堪えないものがある。施主側の経済的理由によって無理の起る場合もあるけれども，施工業者自らの手による値段の引上げがあったり，あるいははげしいダンピングによる自殺的引下げがあるなどして，その時と場合によって途方もない値段が出てくるのである。施工者の良識を云々される所以である。少しでも工事費の多からんことを希う施工者とまた幾分なりとも安からんことを望む註文主との間に多少のズレのあるのは止むを得ないとしても，わが国の経済状態からみれば，当初より十分なる予算を持って発足できる場合は案外少ないかもしれない。不十分を覚悟して取掛らねばならない場合が相当多いはづである。

海外よりその大半の原料を輸入しなければならないわが国の産業は，最初より十分なる投資を期待するわけにはいかない場合が多く，従って建設工事費はあくまで安きを要求されるのであって，合理的安定値こそ最も必要なことといはねばならない。

安値を望むとしても，これには限度があるはづである。昔とちがって経営者にも新しい時代の経営理念が要求されている。すなわち株主に対し，従業員に対し，また一般社会に対して強き責任が要求されている。この責任を果すためには，公正競争ルールを守って自己の技術の革進向上を計るとともに社会的経済的発展を意図しなければならない。あらゆる場合にフェアプレイが要求されるごとく，どれほどきびしく対立しても周囲をまどわすことなく，互に迷惑をおよぼすことなく，刺激し合って前進することが望ましいのである。かくてこそ真の進歩と発達が期待できるのである。

わが国も今や貿易自由化によって，長い鎖国時代は過ぎ去り世界の檜舞台にも立ち得るようになった。ここで今一度われわれは振返って見直す必要がある。国民性とはいいながら，他人の成功を見ればわれもわれもと押しかけ，たちまちエチケットもルールも踏み外してしまい，同士打，過当競争等の自殺行為の絶対にないよう厳に慎むべきである。

（筆者　本会理事・清水建設KK大阪支店長）



宝塚ゴルフクラブハウス



正面玄関

2階テラスより東南隅の池をみる



## 宝塚ゴルフクラブハウス

設計　宝塚ゴルフクラブハウス建設委員会

村野藤吾
佐野正一
加藤宜彦
現場監督　田中裕
山本純孝
施工　株式会社竹中工務店
工事主任　山野浩

# 宝塚ゴルフクラブハウス

所在地　宝塚市蔵人字深谷1391

規　模　RC造1部鉄骨

地下1階地上3階

工　期　昭和34年1月16日　着工

昭和34年12月12日　竣工





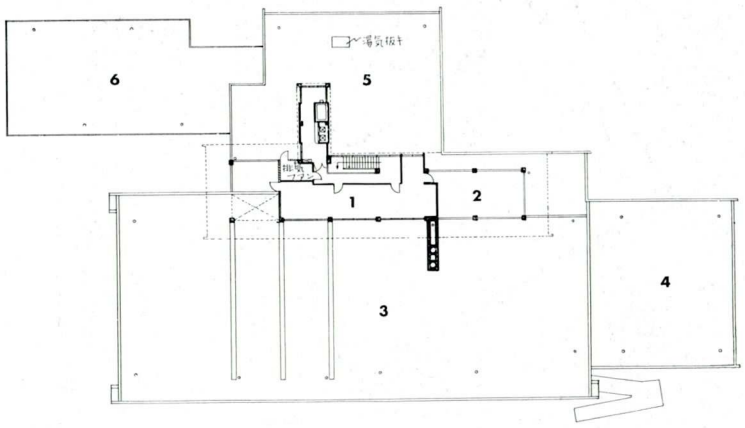
食堂：タイルのデザインは辻晉堂氏(京都美大教授)の作



談話室

**3階平面図**

1 委員会室
2 テラス
3 食堂屋根
4 談話室屋根
5 女子ロッカー室屋根
6 スナックバー屋根

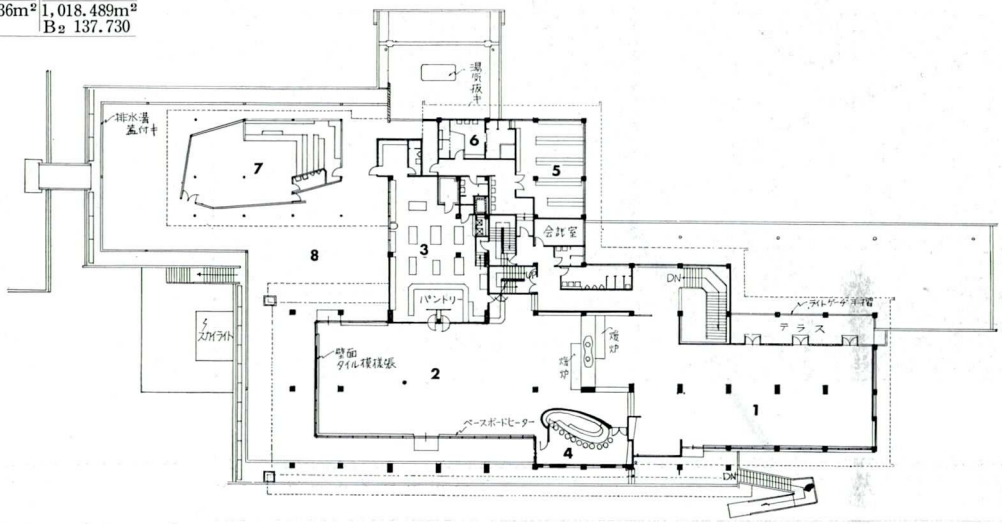



**面積表**

| | 建築面積 | 庇面積（ドライエリヤ） |
|---|---|---|
| B F | 840.900m² | 91.200m² |
| | | 137.73 |
| 1 F | 2,529.674 | 433.982 |
| 2 F | 1,783.42 | 438.14 |
| 3 F | 218.342 | 146.367 |
| R 2 F | 25.6 | |
| R 3 F | 〃 | |
| 合 計 | 5,423.536m² | 1,018.489m² |
| | | B₂ 137.730 |

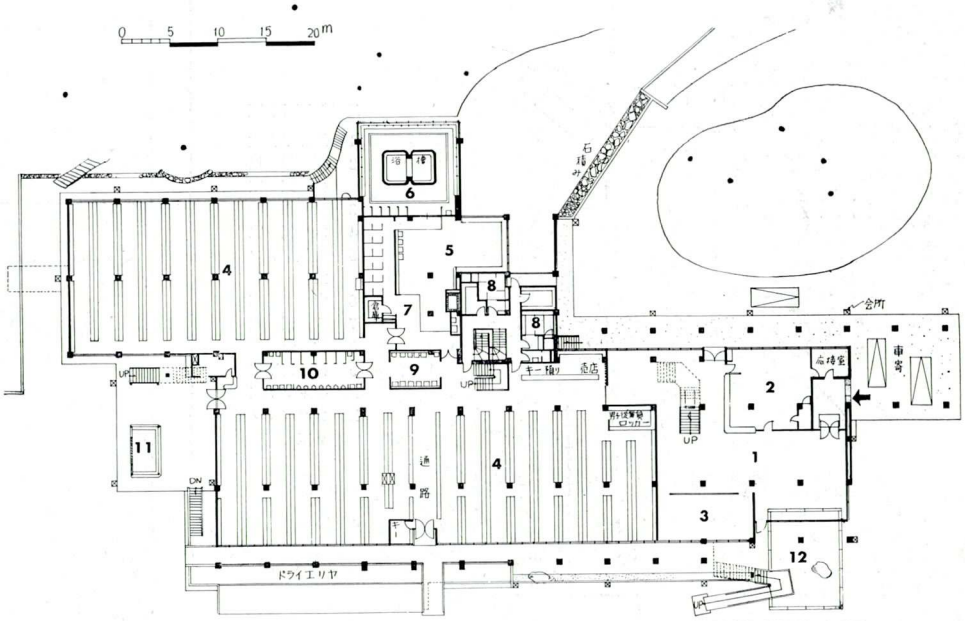
**2階平面図**

1 談話室
2 食堂
3 厨房
4 バー
5 女子ロッカー室
6 女子浴室
7 スナックバー
8 テラス




**1階平面図**

1 玄関ホール
2 事務室
3 クローク
4 男子ロッカー室
5 脱衣室
6 浴室
7 化粧室
8 宿直室
9 洗面所
10 便所
11 キャディマスター室
12 池



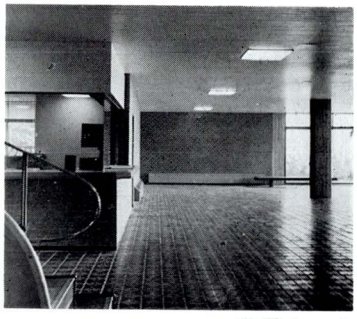

宝塚ゴルフクラブハウス平面図

# 宝塚ゴルフクラブハウス

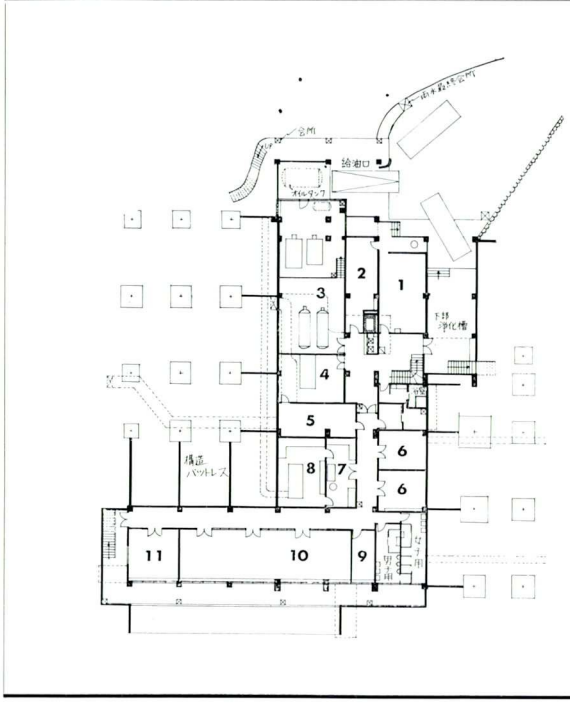
設計　宝塚ゴルフクラブハウス建設委員会
施工　kk 竹中工務店



談話室より食堂をのぞむ



玄関ホール

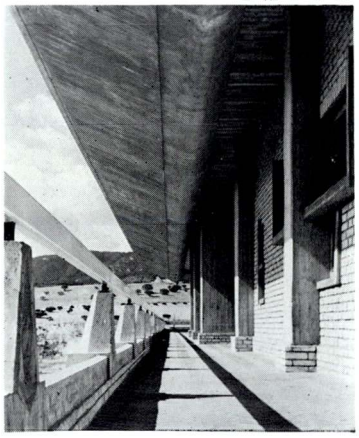



地階平面図

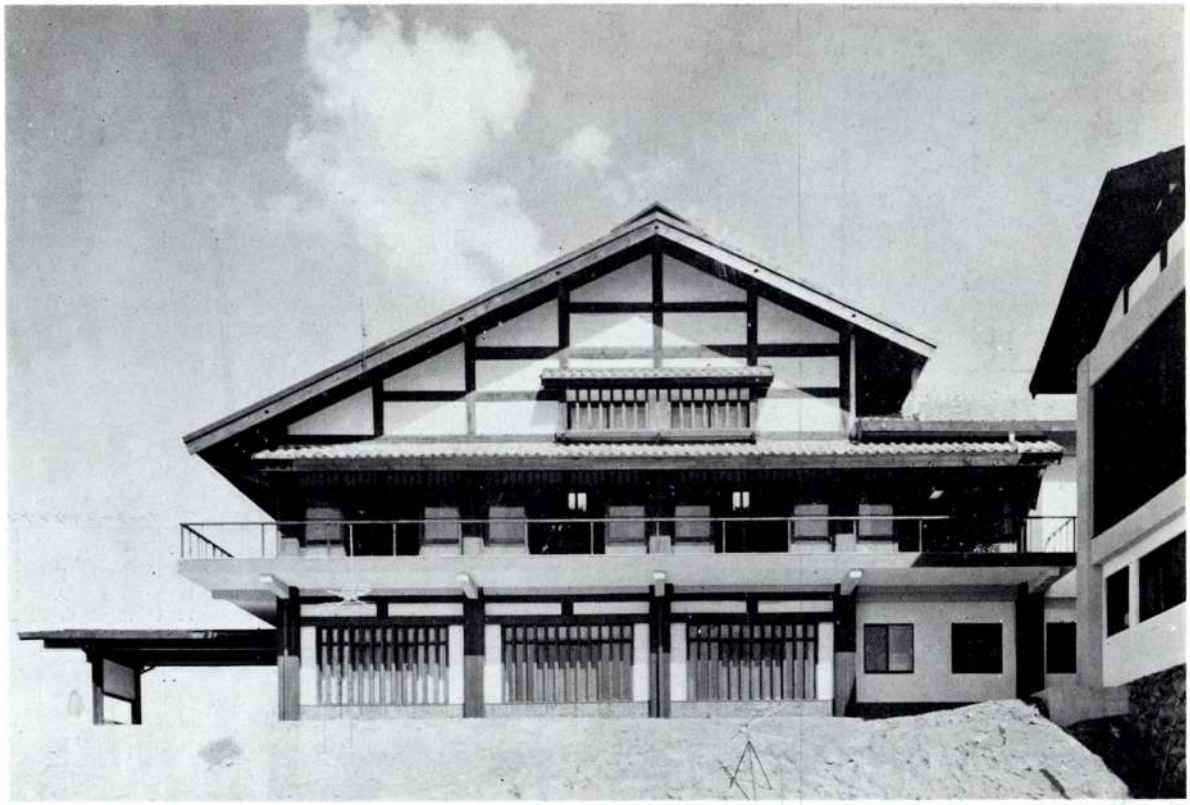
1　運転手食堂
2　従業員休憩室
3　受水槽
4　電気室
5　給気ファン室
6　倉庫
7　洗濯室
8　乾燥室
9　掃除人室
10　キャディ室
11　プロゴルファ室



西側外観



2階テラス



南　面　外　観　の　一　部

## 枚方国際ゴルフクラブハウス

設計・監理　山下寿郎設計事務所大阪支社
施　　工　kk 竹 中 工 務 店

所 在 地　大阪府枚方市大字津田
規　　模　鉄筋コンクリート造2階建（一部地下階），小屋組木造。日本瓦（伊良保）葺。
建築面積　1174.75 m²
延床面積　2361.21 m²
内訳　地階　406.47 m²
　　1階　1174.75
　　2階　779.99
工　　期　昭和34年4月起工
　　昭和34年9月完工

アウトコース側よりみた全景





玄関正面

## 枚方国際ゴルフ・クラブハウス設計要旨

ゴルフ場ではクラブハウスの位置は非常に重要で，ゆるがせにできないものです。最初，コースの設計者とクラブハウスの設計者とで充分現地について打合せをするのですが，敷地のもついろいろな条件があってなかなか両者の満足を得難いものです。ことに近頃は農地の関係からの制約が強いのでコースの設計，ひいてはクラブハウスの位置の選定に困難が伴うようです。

クラブハウスの設計を委嘱された私どもは与えられた規模と，予算の枠内では比較的自由に試みることを許されたのですが，クラブハウスの配置には相当苦心をしました。

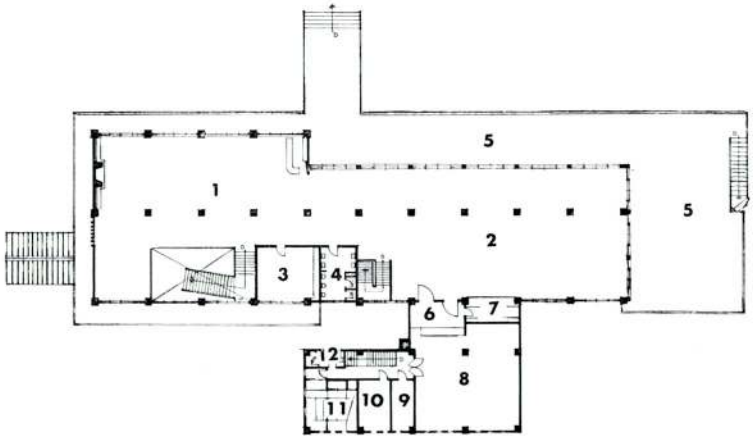
まづプレイを楽しむ気分に，落ちついた和やかな雰囲気をつたえ，ゴルファの快い疲労度に対しても抵抗を感ぜしめないプランであって，同時にハウス管理の面からも諸室機能が円滑で無駄なく支配できることを考慮したのはもちろんですが，建物の持つ気分が，関西の土地柄を感ぜしめ，落ちつきと親しみを得るものにしたいと工夫しました。

このクラブは会員制で会員数は1,000名コースは18ホールズ，これに対してロッカーはビジター用のものを含めて900台収容にしましたが，将来増設の必要が起ればロッカー室の一部（浴場への通路附近）の床を抜いて階段を設ければ，階下に300台のロッカー室ができるようにしました。現在はこの部分をキャデイ控室として使用し，専用の入口をもっております。

ロッカー室，浴室と並んで食堂と談話室は最も重要なところなので充分な広さと，風格を持たせることをとくに心掛けたものです。駐車場はクラブハウスの丘裾にあって，プレイヤーからもクラブ内からも見えない位置にあります。

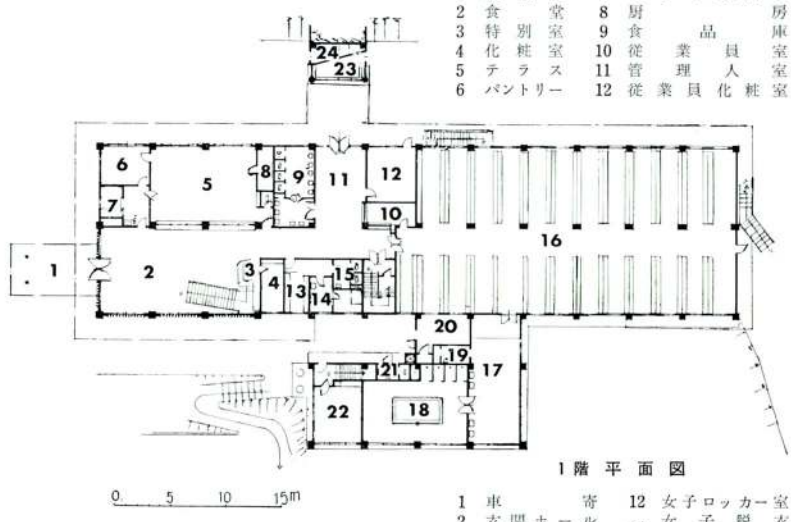
この種の山間に工期を張られて，コースと並行してクラブハウスを建設しなければならぬ場合には，コースとハウスの関係位置にもよりますが，工事用道路や，用水，電力等，計画の当初から充分検討してかからなければならない問題が多いものであります。

（記　江川好己）



2階平面図

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 談話室 | 7 | ソーダーファウンテン |
| 2 | 食堂 | 8 | 厨房 |
| 3 | 特別室 | 9 | 食品庫 |
| 4 | 化粧室 | 10 | 従業員室 |
| 5 | テラス | 11 | 管理人室 |
| 6 | パントリー | 12 | 従業員化粧室 |

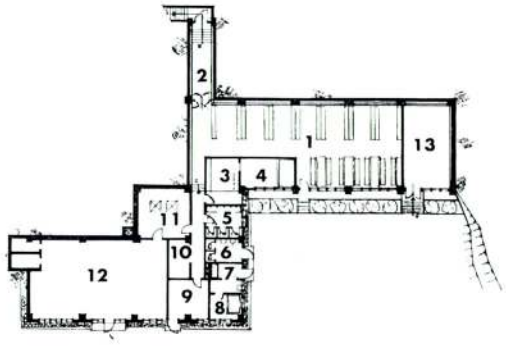


1階平面図

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 車寄 | 12 | 女子ロッカー室 |
| 2 | 玄関ホール | 14 | 女子脱衣シャワー，浴室 |
| 3 | 手荷物預り所 | 15 | 女子化粧室 |
| 4 | 外套預り室 | 16 | 大ロッカー室 |
| 5 | 事務室 | 17 | 脱衣室 |
| 6 | 支配人室 | 18 | 大浴場 |
| 7 | 休憩室 | 19 | W・C |
| 8 | 書庫 | 20 | 倉庫 |
| 9 | 化粧室 | 21 | W・C |
| 10 | 鍵預り | 22 | 運転手食堂 |
| 11 | ロッカー管理室 | 23 | キャデーマスター |
| 12 | 通路 | 24 | 靴磨 |
| | プロ控室 | | |

地階平面図

| | |
|---|---|
| 1 | キャデー控室 |
| 2 | 通路 |
| 3 | キャデー脱衣室 |
| 4 | キャデー浴室 |
| 5 | キャデー化粧室 |
| 6 | 労務員W・C |
| 7 | 労務員足洗 |
| 8 | 労務員浴室 |
| 9 | 洗濯室 |
| 10 | 乾燥室 |
| 11 | 電気室 |
| 12 | 機械室 |
| 13 | 造園器具庫<br>労務者控室 |



枚方国際ゴルフクラブハウス平面図



全　　景（北面）

# 枚方国際ゴルフクラブハウス

談話室内部



食堂内部





附属舎外観

## 主要仕上

- 外　壁　モルタルリシン仕上並漆喰壁，一部松板張ステインワックス磨き，地下コンクリート石積仕上
- 柱　型　松板張ステインワックス磨き，一部モルタルリシン仕上　•バルコニー床　クリンカータイルおよび松板デッキ張　•屋根　平安瓦伊良保焼　•室内床　楢フローリングブロック　•柱，梁　松板張ステインワックス磨き仕上　•室内壁　漆喰荒目砂仕上　•天井　茅穀クロス貼並寒冷紗下地サテン仕上　•建具　地，一階　鋼製建具　オイルペンキ仕上，二階　木製建具ステイン仕上

## 設備について

- 給水　池水を2″×3HP揚水ポンプにて急速炉過機を経て屋上水槽に貯水，動力式にて各所に給水。別に消火ポンプ2″×7½HP1台を設備し，揚水ポンプが故障の際は切替にて運転する。
- 給湯　ストレーヂタンク（1000φ×2100）2基温水循環ポンプ2″×2HP，ボイラーはS—411ストーカー1基，別に浴槽用温水ボイラー120,000KCAL/HR1基
- 暖房　真空式蒸気暖房　ボイラー S—411ストーカー焚1基真空給水ポンプ500m×1HP
- 汚水浄化槽　欧米式250人槽
- 電気，螢光灯を主とする。外灯には水銀灯を使用，受電容量60KVA，別にナイター用300KVA
- 換気，厨房，機械室，浴室，宴用便所に各別系統にて強制換気
- エアーシューター　事務所をKEY STATIONとし，キャデマスター——食堂——酒場——を連絡す。

以　上

大浴場内部





## 枚方カンツリークラブハウス

設計・施工　清水建設株式会社



上：**正面外観**

1階壁：泰山タイル
2階壁：色モルタル
柱・梁：コンクリート打放し

左：**背面外観**

渡廊下：鉄製シルバーハンマートーンスプレー

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪府枚方市長尾 |
| 敷地面積 | ゴルフ場：約32万坪 |
| 建築面積 | 1,241.8平方米 |
| 延面積 | 1,974.5平方米 |
| 構造規模 | 鉄筋コンクリート造，地下1階地上2階建 |
| 竣工日 | 昭和34年8月31日 |

# 枚方カンツリークラブ

## ハウス



右：**正　面　入　口**

2 階 壁：白セメントスプレー
1階壁・柱：泰　山　タ　イ　ル
その他コンクリート打放し

下：**玄関ホールよりロッカー室を望む**

柱　型：人 造 石 塗 小 叩 き
壁　：縁用板貼ステインおよびモルタル下地ゾラコート塗
照明器具：塩　地，モ　ミ　銀　貼





**2階ラウンヂから食堂を見る**

梁　型：木　製　ス　テ　イ　ン
柱　型：ゾ　ラ　コ　ー　ト　吹　付
床　　：ウ　ッ　ド　ブ　ロ　ッ　ク

## 枚方カンツリークラブハウス



**◀ バーより階段室を望む**

壁：大理石縁甲板レッドウッド練貼
スクリーン：鉄製および籐製パネル

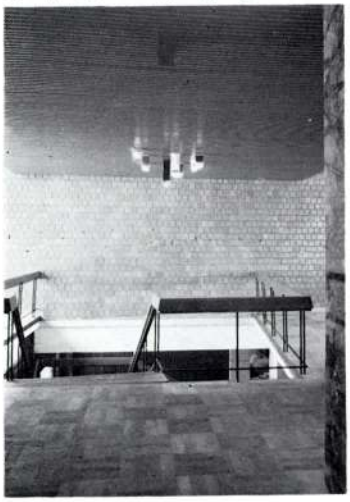
# 枚方カンツリークラブハウス

設計・施工　清水建設株式会社

2階階段ホールより食堂を見る



主階段　　2階ホール



2階ラウンヂ



浴室



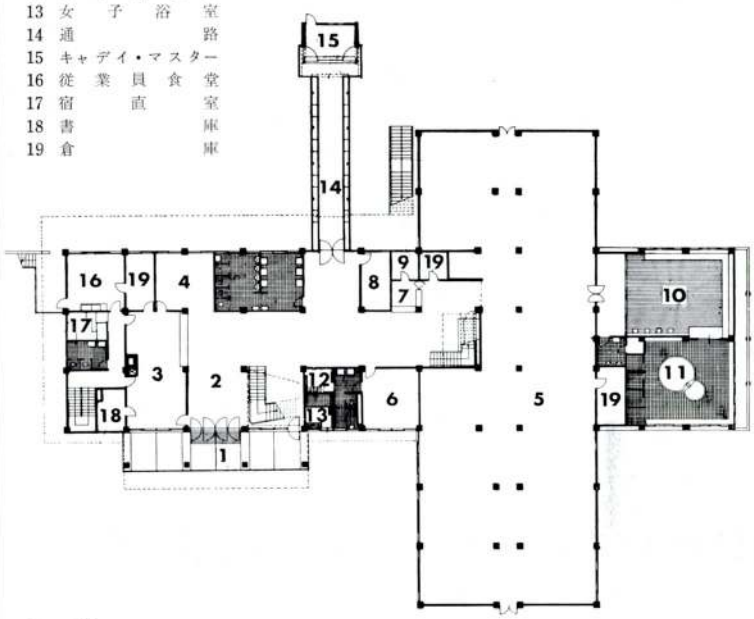
**1階**

1 ポーチ
2 玄関ホール
3 事務室
4 クローク・ルーム
5 男子ロッカー・ルーム
6 女子ロッカー・ルーム
7 ロッカー・キーパー
8 プロ控室
9 靴磨室
10 男子脱衣室
11 男子浴室
12 女子脱衣室
13 女子浴室
14 通路
15 キャディ・マスター
16 従業員食堂
17 宿直室
18 書庫
19 倉庫

**地階**

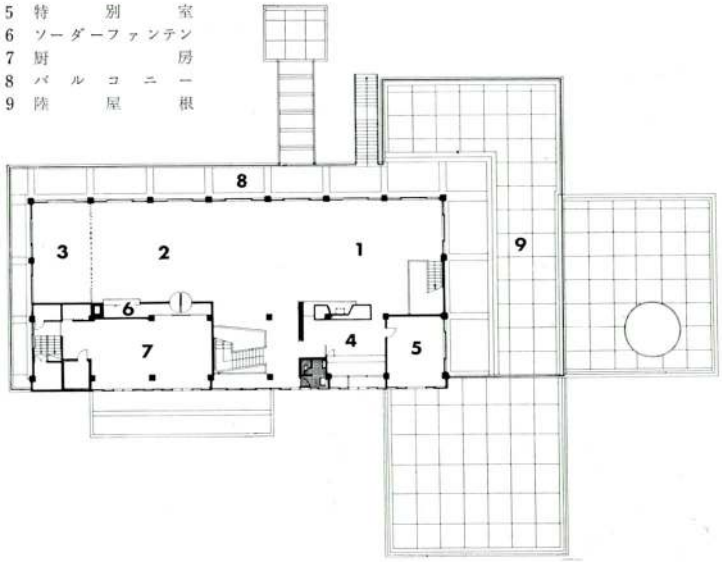
1 運転手控室
2 機械室
3 重油庫
4 ポンプ室
5 倉庫




**2階**

1 ラウンヂ
2 食堂
3 特別食堂
4 バー
5 特別室
6 ソーダーファンテン
7 厨房
8 バルコニー
9 陸屋根



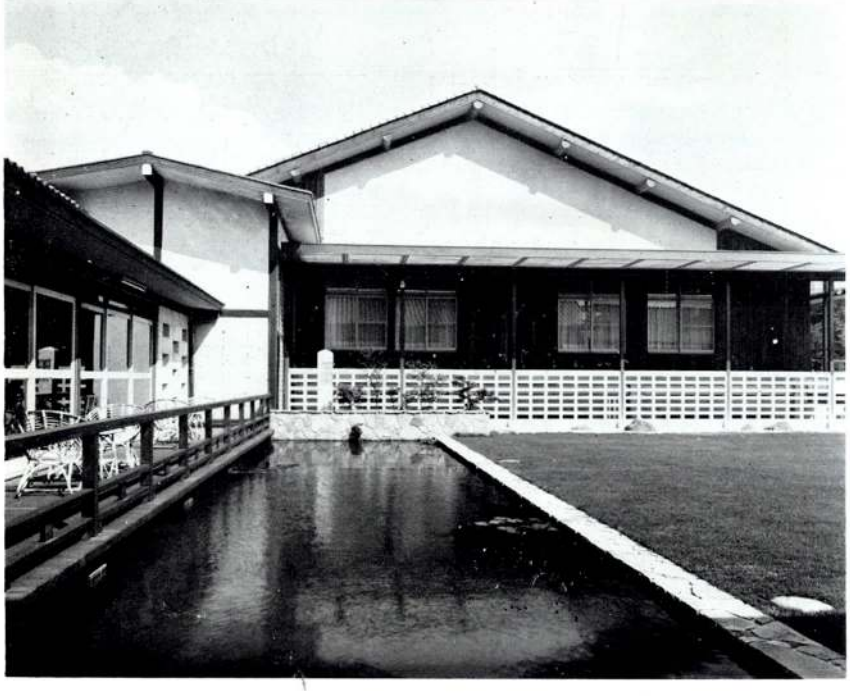


全　　景

# 城陽カントリークラブハウス

設計　渡辺建築事務所
施工　清水建設株式会社

中　　庭



## 設計者のことば

近頃のゴルファーはクラブライフを楽しんでいない。いかにもせかせかしている。36Hチャンピオンコースとしての品位と余裕を持たせたい。またそのロケーションを考えてあくまでカントリークラブらしい建物としたい。

中庭のある平面 ——

その一つのねらいとして，中庭を中心に建物を展開させた。動線は長くなるが，玄関ホールも思い切って広くとり，庭でも眺めてゆったりした気分にさせて，ゴルファーの心理転換をねらい，また36Hの場合の混雑緩和をはかった。

とくに衛生設備 ——

一汗をかいて入浴，シャワー，うまくて衛生的な食事。これ等は特別の注意と設備が必要だ。浴槽のパネルヒーティング，シャワープレツシャー，厨房設備の完備には特に意を用いた。

コースアーキテクトとの協力 ——

ゴルフクラブはコースと建物が一つになって，始めてゴルフ場である。建物にとってそのロケーション，周辺とマッチすることは大切である。ハウス周辺のテイグラウンドやグリーン等，コースアーキテクトに無理もいい，理解してもらえたのは幸いである。

# 城陽カントリークラブ

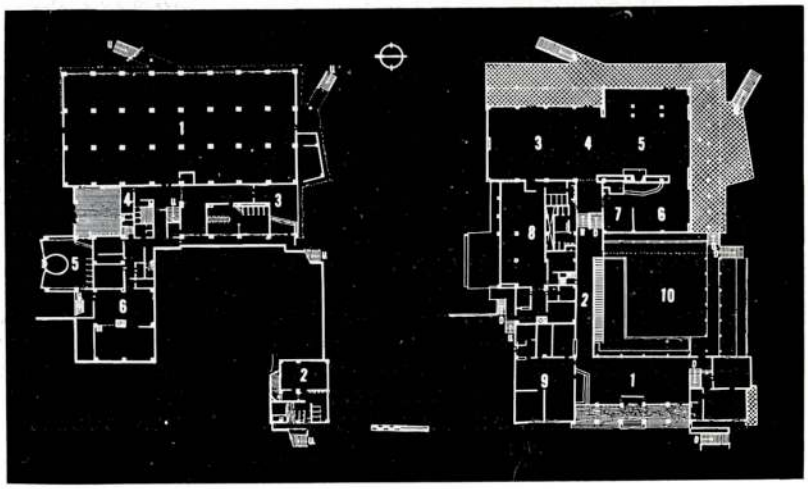
- 建設地　京都府久世郡城陽町寺田
- 建築面積　本館　1階　470坪
  2階　500坪
  附属家（3棟）　170坪
  計　1,140坪
- 構造
  基礎　鉄筋コンクリート造（一部コンクリートパイル打）
  主体　鉄筋コンクリート造および鉄骨造，一部木造
- 主要仕上
  屋根　伊良保平安瓦葺
  外壁　モルタル塗セラスキン吹付仕上および焼杉下見板張
  内部仕上
  床　栖フローリングおよびプナフローリングブロック貼
  壁　オリエンタルクロス油性ペンキ叩き仕上龍山石貼その他
  天井　プラスター塗油性ペンキ叩き仕上，霞織貼，石綿板セラスキン吹付仕上，ラワンベニヤ板貼引掻きペンキ拭取仕上その他
  内部造作は米松を主として使用し，一部ベニヤ加工材とし，ステイン塗拭き取り仕上とする。
  建具　1階および2階の一部を鋼製建具とし他は木製，硝子は大部分5耗磨硝子を使用する。
- 電気設備　照明は主として螢光灯とし，一部白熱灯および水銀灯を使用する。避雷針は4基設備する。
- 給水衛生設備　給水は2本の深井戸より高架水槽に揚げ，重力式配管法により各所に供給する。給湯は2基のタンクにより一般浴室用と厨房用の2系統に分けて供給している。
- 暖房換気設備　低圧蒸気真空式直接暖房装置とし2基のボイラーより，時間別の使用区分による系統に分けて各室ヒーターに接続し，経済的な運転ができるようにした。浴室は温風装置とパネルヒーティングを併用している。ロッカー室，シャワー室，厨房および各便所等には機械換気をしている。
- その他　厨房設備，気送管設備，乾燥設備等



上：食　堂　　下：酒　場



1　階　　2　階




## 施工者としてのことば

城陽ゴルフクラブハウスは京都より奈良に到る奈良街道から東に約4粁，山の中に入った高地に建てられた。開鑿されたばかりの狭い急勾配の道路を経て，資材の搬入には大分苦労した。

建物は1階および2階の一部鉄筋コンクリート造，これに鉄骨トラスを載せ木造野地をして瓦葺をする。一部は純木部という工合に，1棟で主体構造が各種に亘っているため，短かい工期内にこれ等の工程をいかに織り込み，また事を進めるかに頭を痛めたが幸い順調に進んで工程通り完成できた。

ゴルフクラブという特殊な建物であるゆえ，市内一般の建築と変った点も多く，またこれを利用される方々も眼の高い方が多いので，仕上の細部にわたり入念に施工したつもりである。

使用された仕上材料としては特殊なものとかとくに高級品というようなものはなく，それ等の材料の特徴や持ち味を生かしてある設計であるから，材料の扱い方や塗装仕上にはとくに注意を要した。

短かい工期，場所の不便さ，構造の複雑，加うるに2～4月の天候不順が重なって，中頃までは工程は遅れぎみで先の不安を思わせたが，その後順調に進行して工期に楽々と完成できたことは，施主のご協力，設計事務所の適切なご指導によるところ大であり，また下請業者も一致協力して努力してくださった結果であると考える次第である。

（清水建設　長坂記）

1階平面図
1. ロッカールーム
2. 婦人用ロッカールーム
3. 裏ホール
4. 脱衣
5. 浴室
6. 機械室

2階平面図
1. 玄関ホール
2. 渡廊下
3. 食堂
4. 談話室
5. サンルーム
6. 酒場
7. 娯楽室
8. 厨房
9. 事務室
10. 中庭



外　観　全　景



ポ　ー　チ

## 花屋敷ゴルフクラブハウス

設　計　　kk 大阪建築事務所
施　工　　kk 戸田組

位　置　宝塚市切畑字長尾山1—163
規　模　RC造 2階建一部地階付
建築面積　1,065.84m²
延面積　2,033.58m²
工　期　昭和33年6月10日 ～ 33年10月末

### 花屋敷ゴルフクラブハウスについて

西嶋徳太郎

ゴルフというものは，一番のテイショットから始まるものではなく，ハウスの玄関先に降立ったとき，すでにスコアに表われないメンタルゲームとして，スタートする特性を持っております。それならば，クラブハウスとはそんなに神経質な要素で構成されなければならないかというと，けっしてそうではなく，機能性と簡易性を根源とした，健康的な明るい雰囲気の醸成されたものではなければならないと考えられるのです。

ゴルファーがハウスに対して望むものは，ハウスにおけるすべての行動が，淀むことなく，スムーズに運ばれると同時に，フエアウエイにおける楽しさを，少しも損なわれることなく，ハウスにおいても完全に持続されるに必要にしてかつ充分な施設と，スポーティな雰囲気の満喫であると思います。

クラブハウスは，第零番ホールであるとともに，また第19番ホールでもあります。

玄関ホールから，キイステーション，ロッカールームを経由して，プロショップにいたる，第零番ホールの中で最も重要なロッカールームについて，少々意見を申述べます。ロッカールームは，単に更衣するだけの場所や倉庫的な役目だけのものではなく，同好の士と交す挨拶や世間話に花の咲く，ごく庶民的な社交場であると思います。それゆえに，地下へ潜るようなプランであったり，壁や天井をモルタルで塗っただけの殺風景なロッカー室であってはなりません。もちろんぜい沢な材料を使ったり，不必要な装飾等を施すにはおよびませんが，明るく清潔で，夏季は通風がよく，冬季は快適な暖房で更衣が苦にならない設備機構が絶対必要です。

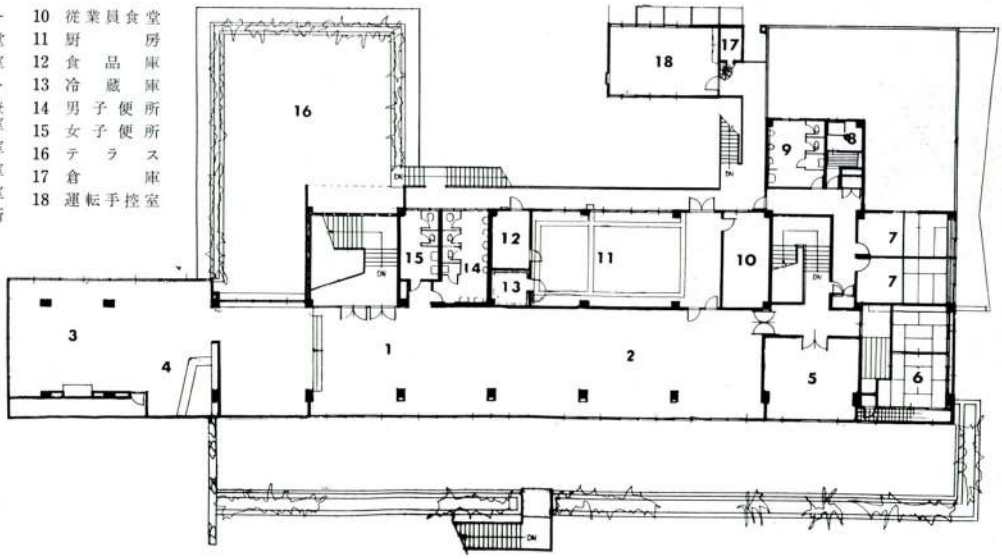
次に第19番ホールとしてのハウスの性格を検討してみましょう。プレーを楽しんだ後の風呂は，ゴルファだけの知っている天国です。大理石貼の広い大浴場にとびこむと，一日の疲れも吹きとんで，ただ一度のナイスショットの回想にゴルフの醍醐味を，満喫させてくれることでしょう。浴槽の深さと，天井面の結露の対策には頭を悩ましましたが，パーミキュライトのブロックを，採用したことは，完全に成功したと思っております。

ナチュラルトーンでまとめた食堂は，南側の広いバルコンの利用を考慮して，その広さを決定しました。バルコンは，普通の手摺を設けず，芝檀としたのは，折角の見晴しを損じたくなかったのと，花に囲まれた雰囲気を出したかったのです。

北に関西の箱根とでもいうべき，山々を望み南に眼下遙かに，大阪・池田の街々を望む眺望は，この花屋敷ゴルフクラブの最大の名物といえるでしょう。

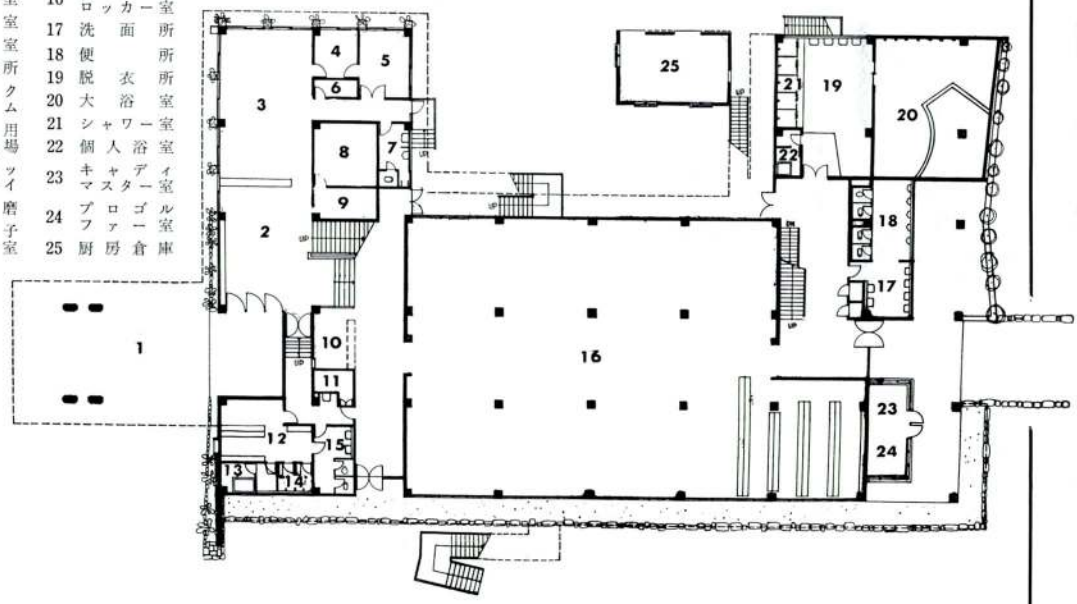
2　階

1　ロビー
2　食堂
3　娯楽室
4　バー
5　理事室兼会議室
6　和室
7　従業員室
8　従業員浴室
9　従業員便所
10　従業員食堂
11　厨房
12　食品庫
13　冷蔵庫
14　男子便所
15　女子便所
16　テラス
17　倉庫
18　運転手控室



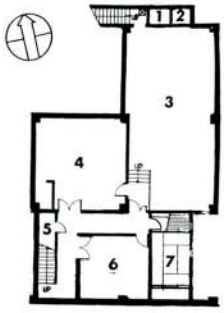
1　階

1　ポーチ
2　ホール
3　事務所
4　マネヂャー室
5　社長室
6　湯沸室
7　従業員便所
8　クローク
9　ルーム
ビヂター用バッグ置場
10　商店兼ロッカー
11　靴磨
12　女子ロッカー室
13　女子浴室
14　女子シャワー室
15　女子便所
16　男子ロッカー室
17　洗面所
18　便所
19　脱衣所
20　大浴室
21　シャワー室
22　個人浴室
23　キャディマスター室
24　プロゴルファー室
25　厨房倉庫



地　階

1　灰置場
2　石炭庫
3　ボイラー室
4　洗濯室
5　物置
6　電気室
7　宿直室



花屋敷ゴルフクラブハウス平面図

# 名古屋ゴルフ倶楽部
## クラブハウス



No.9グリーンからハウスを見る

| | |
|---|---|
| 設計監理 | 日建設計工務株式会社 |
| 施工 | 株式会社 竹中工務店 |
| 建築位置 | 愛知県愛知郡東郷村大字和合字ドンドロ35 |
| 敷地面積 | 52,859.742 m² |
| 建築面積 | |

| | m² | 坪 |
|---|---|---|
| 地階 | 371.31 | 112.37 |
| 1階 | 1436.40 | 434.50 |
| 2階 | 843.83 | 253.30 |
| 中3階 | 102.60 | 31.00 |
| 計 | 2754.14 | 833.17 |

| | |
|---|---|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造地下1階地上2階一部中3階 |
| 建物の高さ | 地盤面より軒迄 8.25 m<br>地盤面より棟迄 10.50 m<br>最高部（煙突） 25.00 m |
| 外装 | 柱および梁：コンクリート打放しシリコン吹付け。方立柱・手摺・手摺子：プレキャストコンクリートシリコン吹付け。壁：大谷石貼りおよび漆喰塗り。バルコニー床：木煉瓦敷き，クリンカータイル貼りおよび防水モルタル塗り。 |
| 工期 | 着工 昭和34年3月2日<br>完成 昭和34年9月1日 |



◀ 1階玄関ホールから管理事務室を見る

天井：吸音テックス貼
壁：大谷石貼・プラスターペンキ塗
床：フローリング貼



◀ 1階玄関ホール
（階段は食堂・談話室へ）

天井：吸音テックス貼およびほう棟板貼クリヤラッカー仕上
壁：大谷石貼およびヘツシャンクロス貼
床：さくらフローリングブロック貼
柱梁：コンクリート打放仕上
階段踏板：アピトン
手摺：けやきクリヤラッカー仕上

# 名古屋ゴルフ倶楽部
# クラブハウス



## 設計者のことば

東海地方最古の由緒あるクラブである。

創立以来のハウスは，スパニッシュ様式の秀れた木造建築であったが，会員の増加および建物の老朽化により今回，全面的に改築されたものである。

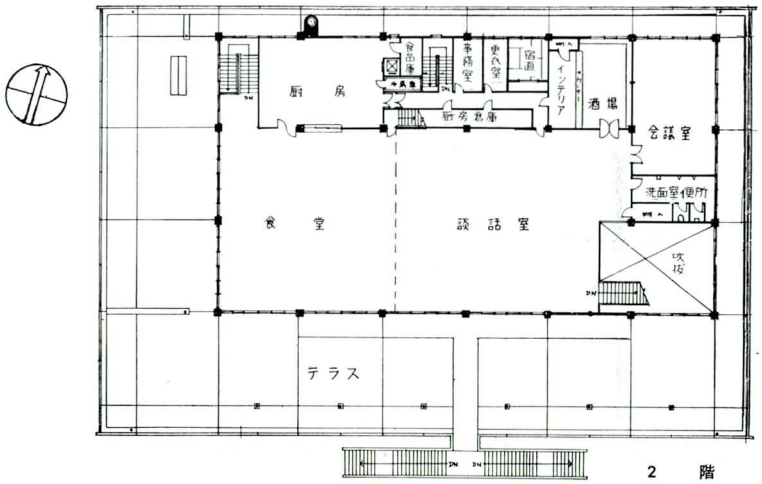
改築にあたり，計画のよりどころをクラブハウスの持つ機能の本質的なものに求め，徒らに過去の様式にとらわれることなく，周囲の美しい環境との調和にとくに留意し，そのハーモニーの中にクラブライフをゆっくり楽しむことのできる空間を創造することが計画のすべてであると考えた。

与えられた敷地は既設ハウスに隣接し，コースの間に挟まれたきわめて限られた位置であったため，平面計画はハウス内外の各動線を整理し，努めてコンパクトに纏められた。

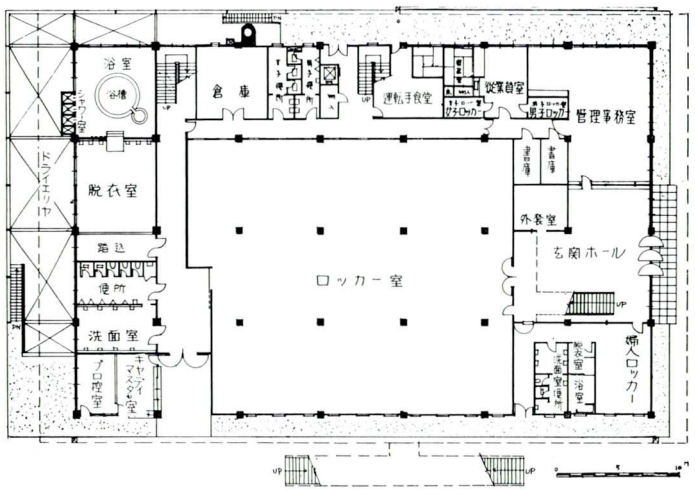
ロッカー室からコースへの動線，コースから洗面・便所，浴室を経て2階の食堂・談話室に流れる動線は，きわめて自然である。玄関ホールと連なる食堂・談話室は一つの空間となっており，使用上の自由度を持たしている点はこのハウスの特色といえるかも知れない。

内外部の仕上は，すべて材料の持つ素地の美しさを生かすことを基調とし，内部には，さくら，ほう，しおじ，くるみ等の木材を始め，布，葛布等の軟いものと，コンクリートとを対比させ，そこにあるリズム感を求めた構造体部分は内外部とも，コンクリート生地仕上，外壁は大谷石および漆喰を用い，ハウスをとりまく美しいみどりに調和する素朴な意匠を求めた。

（文責・高橋　威）



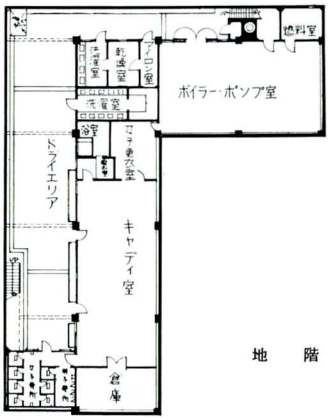

2　階



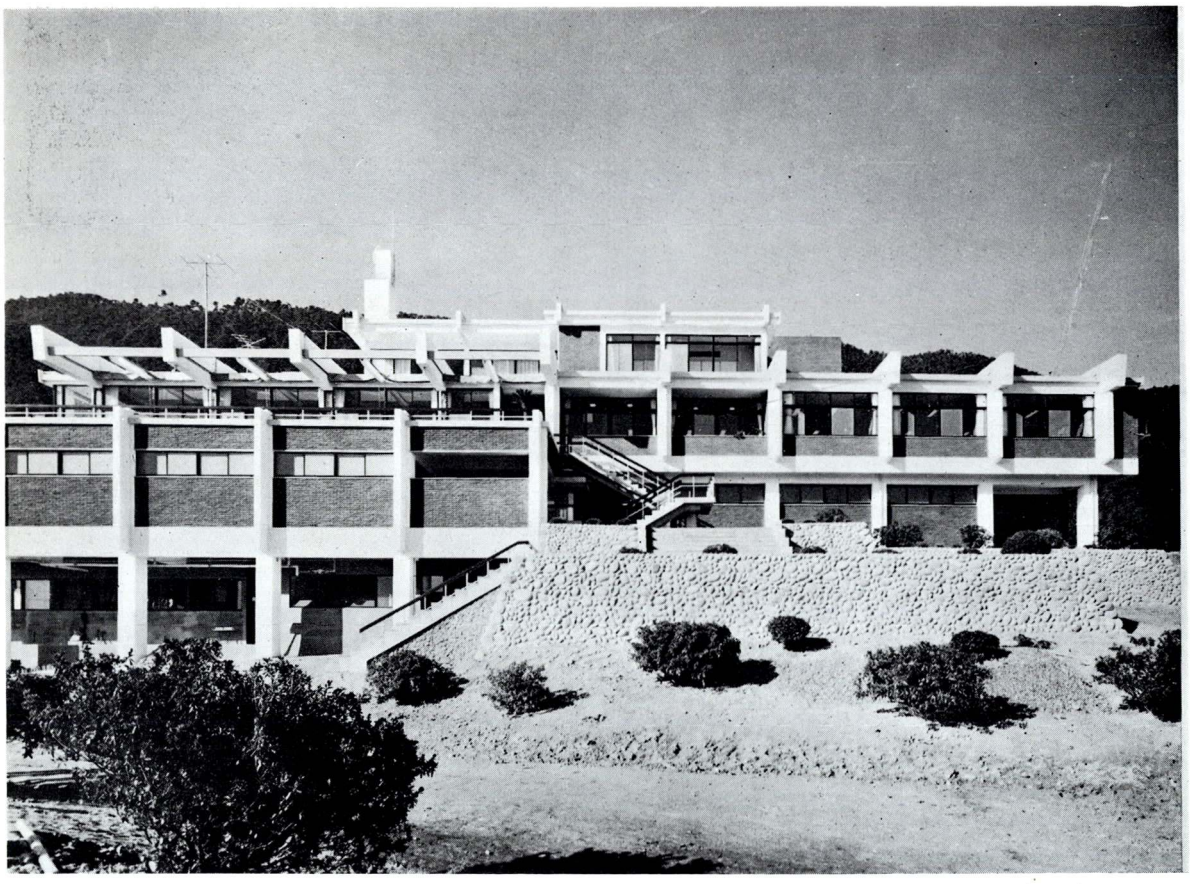

1　階

**上：2階食堂・談話室およびテラスを見る**

天井：ほう突板貼クリヤラッカー仕上
壁　：ラワン竪板貼ステインラッカー拭取
床：フローリング貼
テラス床：ナラ木レンガ，クリンカータイル貼




地　階



南　面　外　観

# 岐阜カンツリークラブハウス

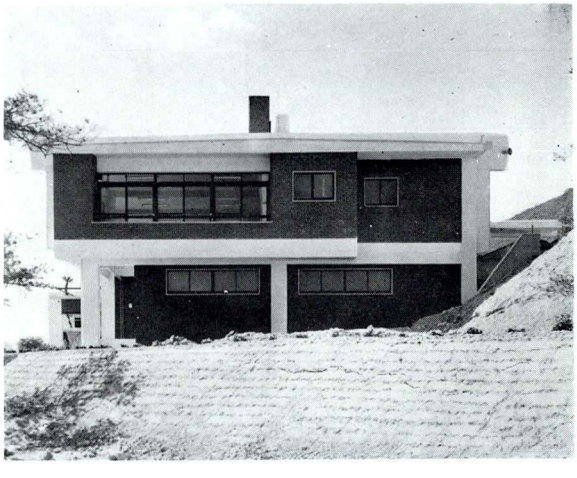
設計・監理　安井建築設計事務所
施　　工　大日本土木株式会社

位　置　岐阜県稲葉郡蘇原町古市場822
規　模　建築面積　1,008.9 m²
　　延面積　2,405.0 m²
　　階　数　地上3階　地下1階
構造・外部仕上
　RC造（3階鉄骨メタルラスモルタル）
　外部2丁掛（特別焼）タイル貼
　一部モルタル刷毛引，エマルリシン吹付
工　期　昭和34年6月～34年10月

テラス附近



東　面



# 岐阜カンツリークラブ ハウス



談　話　室

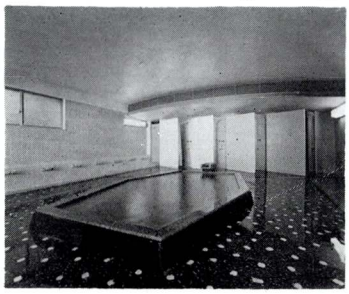
## クラブハウスの設計

ゴルフクラブの生命はもちろんコースの良し悪しによって決定的に左右される。その意味ではクラブハウスは従の立場以上にはでられない。けれどもそうかといってプレーヤーたちのための単なる更衣所や食堂だけの機能だけ満足すればいいというわけのものでない意義をもっているものだと私は感じている。少し大げさにいえば全国200に近いゴルフクラブがそれぞれに個性のあるクラブカラーをもち得るためのすべてではないにしても，重要な鍵の一つをにぎっているのはハウスの設計だと信ずるのです。

ハウス設計の困難はここからはじまる。コースのレイアウトへの理解を第一に，環境や都会との関係，メンバーの気質や特徴に対する顧慮など，設計計画以前にしっかりと考えておかなければならぬ問題は甚だ多い。しかもこれらの問題は不特定のメンバーを基に，不特定の理事者を相手にしての検討であるだけに，はっきりしない要素が続出しがちだ。よほど慎重に，周到に，根気強く検討をしないと，とんでもない見当違いを起しがちである。クラブハウスの設計というとなにか楽しそうにきこえるけれども，実は困難の連続といった方がよいのではないかと思う。広い野原で建築制限もない自由な設計ができるという見方はゴルフクラブのクラブハウスについてはまるっきり当っていない。

**（佐野正一　安井建築設計事務所取締役）**

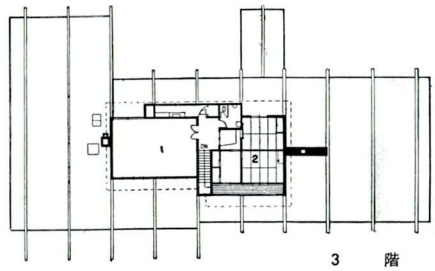
浴　室



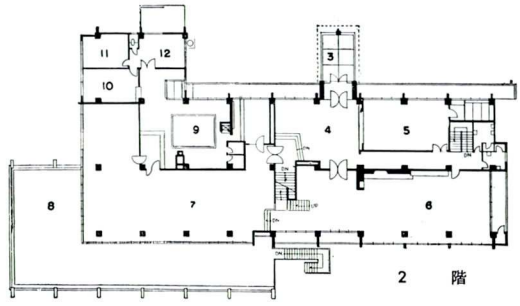



地　階

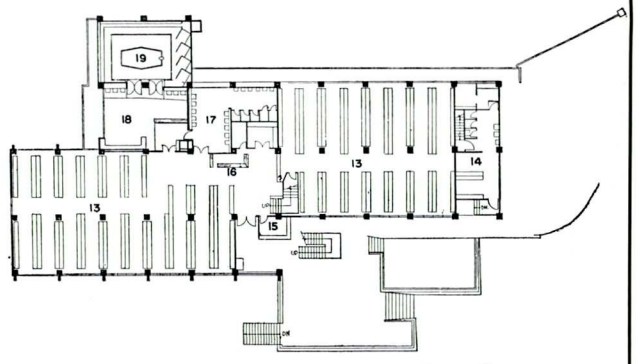
1　特別室
2　和室
3　車寄
4　玄関ホール
5　事務室
6　談話室
7　食堂
8　テラス
9　厨房
10　従業員室
11　運転手室
12　サービスヤード
13　男子ロッカー室
14　女子ロッカー室
15　キャディマスター
16　キーカウンター
17　便所
18　脱衣室
19　浴室
20　キャディ室
21　宿直室
22　倉庫
23　プロ控室
24　洗濯室
25　機械室
26　石炭庫



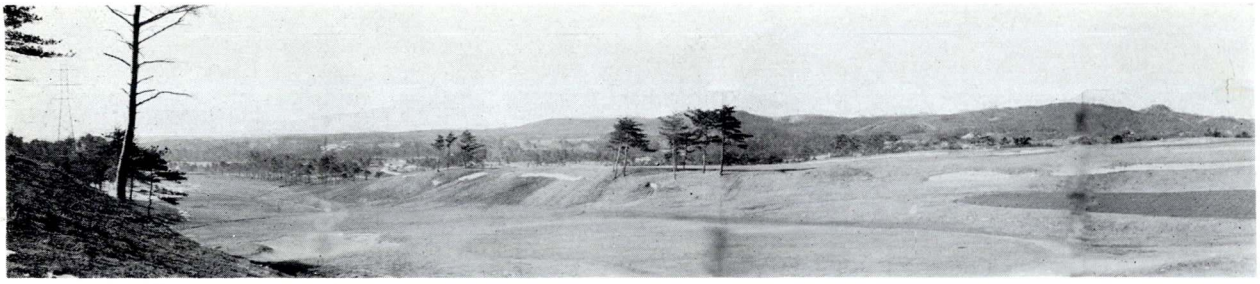

3　階

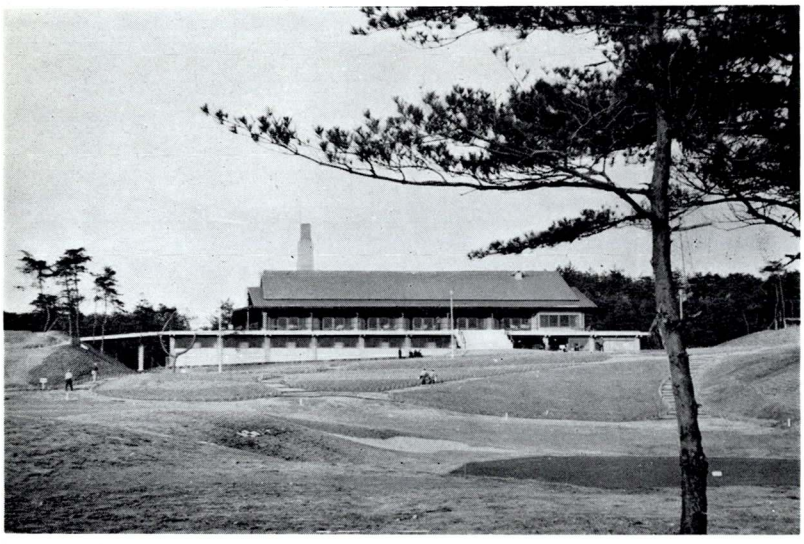



2　階




1　階





# 桑名カントリー倶楽部

**設計・監理**　山下寿郎設計事務所名古屋支社
**施　　工**　鹿島建設株式会社名古屋支店

所在地　三重県桑名市嘉例川
規　　模　R. C. 一部鉄骨，
地上2階　地下1階
延床面積　3，064．53 m²

## 設計者のことば

この倶楽部は名古屋から約40分，鈴鹿連峯を背景にして豊かに展開した，井上誠一氏の設計になる，18ホールのコースを有している。朝もやがようやく晴れる頃もう最初のプレーヤーを迎えるが，都会の喧噪を逃れてきた人々にとって，この倶楽部での一日は全くのオワシスであるに違いあるまい。ゴルフを楽しむ上でもっとも使いよい倶楽部ハウスにすることはもちろんであるが，田園的な雰囲気を持った場にするため，その一つの方法として，日本の民家的構成をとり入れた。演劇の場合がそうであるように，ここでは木造で組みこんだ仕上をセットと考えており，それによって直截に，意図した再現効果をあげようとしている。ラウンヂ，食堂および玄関ホールがそうであり，とくに落着いた気分で一連の繋がりを持つように考えた。そしてプレーヤーの動きに従って各室内環境の構成や明るさは次第に移り変り，気分的に楽しさを増しながらコースに結びつくのである。

日ざしによって幾色にも変る三州色瓦が，その草色に，青味を加えるころになると，カントリー倶楽部での休日は終りに近づく。人々はラウンヂ，食堂に集り，刻々と暮れゆく自然の空気を惜しみながら，そこに団欒の場を持つのである。



外　　観
屋根：色日本瓦葺一部銅板および鉄板一文字葺
柱型：コンクリート打放し仕上
壁　：モルタルヘキサイト塗一部リシンかき落し
テラス：クリンカータイル貼



# 桑名カントリー倶楽部

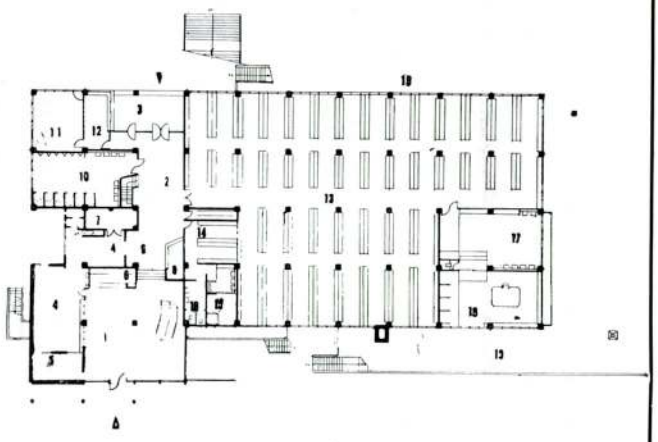
天井：ラワン，ビオンアート，オイルステイン塗
壁　：ラワン練ベニヤ竪羽目，オイルステイン，
　　一部寒冷紗ペンキスチップル仕上
床　：サクラフローリングワックス磨



2 階 ラ ウ ン ヂ

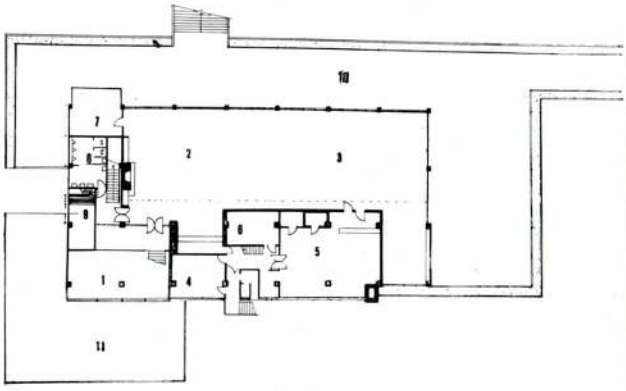
**1 階 平 面 図**

1 玄関ホール
2 通路
3 ポーチ
4 事務室
5 応接室
6 クローク
7 書庫
8 キー預所
9 売店
10 洗面所便所
11 プロショップ
12 キャディマスター室
13 男子ロッカー室
14 女子ロッカー室
15 女子浴室
16 女子便所
17 脱衣室
18 浴室
19 ドライエリヤ上部



**2 階 平 面 図**

1 玄関ホール上部
2 ラウンヂ
3 食堂
4 運転手食堂
5 厨房
6 倉庫
7 特別室
8 便所
9 宿直室
10 テラス
11 屋根



ホ ー ル



テ ラ ス



# 下関ゴルフクラブハウス

設　計　石川建築事務所
施　工　kk　大林組

所在地　山口県豊浦郡豊浦町字黒井八ケ浜
規模・坪数　鉄筋コンクリート造3階建
延面積　2,640.825m²
1階　1,476.255m²
2階　802.230m²
3階　362.340m²
工　期　自昭和34年4月19日
至昭和34年10月31日



外　観



上：玄関ホールよりポーチを望む　　下：食　堂



## 設計者のことば

建築の種類は沢山あります中で，ゴルフクラブという種類の建築は一般の住家や事務所や商社や工場等のようなものとは全く別種のもので，かつその建築は数から申しましてもきわめて少数のものでありまして，多分一般建築家でゴルフクラブを手がけた人も少いと思います。私どもでもゴルフクラブは今回が初めてでありましたからゴルフに精通した方の意見をよく聞き，既設のゴルフクラブも見せていただき長所短所を見極めて善処設計することにいたしました。

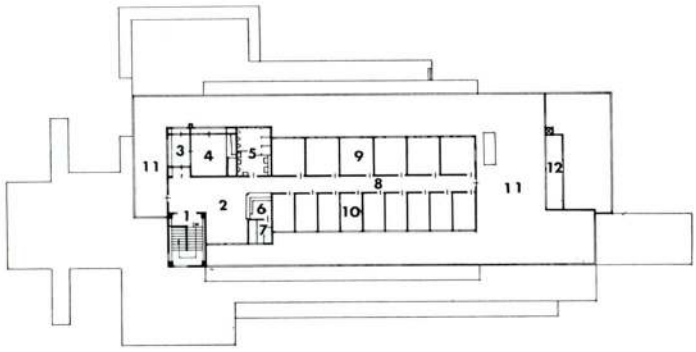
さて，本下関ゴルフクラブの建設委員長たる方が本邦における屈指のゴルファーであられるので，その方の指示せられるとおりにスポーツ的，実質的，経済的でスッキリしたものにいたしたいとのお話で，プランについても何くれとなく指導をいただきましたので，この主旨を十二分に忠実に守りましてでき上りましたのが，別図および写真のようなものになりました。大体において前記四項目は満されたように思います。これ一偏に委員長の指導のよろしきこと，施工者である大林組の熱心懇切なる施工によるものとして感謝の意を表明致します。

（石川建築事務所所長　石川　寛三）

2階クラブ室

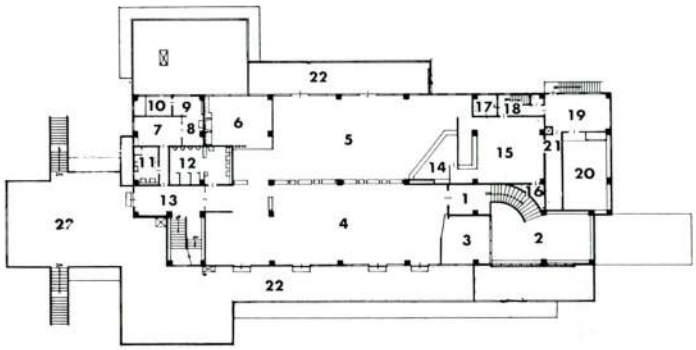


# 下関ゴルフクラブハウス



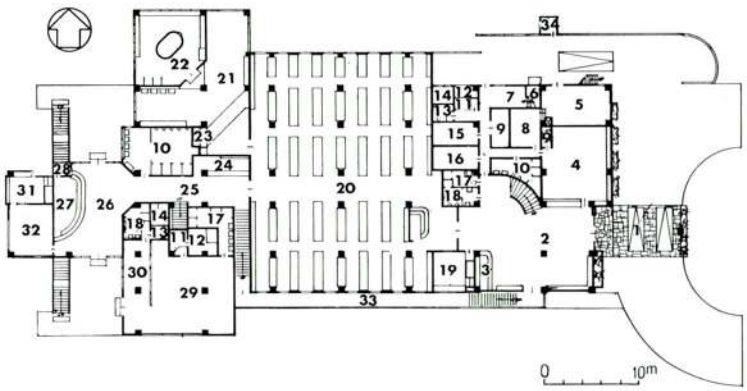
3　階

1 階段室　2 ホール　3 和室（4帖）　4 和室（10帖）　5 洗面所・便所　6 ボーイ詰所　7 リネン室　8 廊下　9 宿泊室（二人室）　10 宿泊室（一人室）　11 ベランダ　12 吹抜



2　階

1 ホール　2 吹抜　3 囲碁・将棋室　4 クラブ室　5 食堂　6 貴賓室　7 女子ロッカー室　8 化粧室　9 脱衣室　10 浴室　11 女子洗面所便所　12 男子洗面所便所　13 ホール　14 バー　15 厨房　16 物入　17 休憩室（和室3帖）　18 階段室　19 運転手食堂　20 運転手控室（和室20帖）　21 中庭（上部吹抜）　22 ベランダ




1　階

1 ポーチ　2 玄関ホール　3 売店　4 事務室　5 ボイラー室　6 貯炭庫　7 階段室　8 電気室　9 倉庫　10 洗面所・便所　11 女子脱衣室　12 女子浴室　13 男子脱衣室　14 男子浴室　15 洗濯室　16 乾燥室　17 女子洗面所便所　18 男子洗面所便所　19 宿直室（和室八帖）　20 ロッカー室　21 脱衣室　22 浴場　23 足洗場　24 物靴置掃除室　25 廊下　26 スターホール　27 キャディマスター　28 物置　29 キャディ室（女子用）　30 キャディ室（男子用）　31 和室（6帖）　32 プロ室　33 通路　34 運転手手洗便所

## 施工者のことば

本州の西玄関として栄えてきた馬関一すなわち下関市の中心街から東方へ約26 km。通称「月の松原」と呼ばれる松林を切り拓いて設けられた海浜ゴルフ場。八ケ浜（やつがはま）リンクスの一角に玄海灘を望んで瀟洒な美しい建物ができ上りました。下関ゴルフ倶楽部のゴルフハウスであります。紺碧の海原を前景に緑滴たる松林の中に建った鉄筋コンクリート造，3階建，延面積800坪の淡いクリーム色の建物は，丁度松原に舞降りた天女の羽衣にも似て，まるでお伽噺の国の建物をみる感があり，ゴルフを愉しむに相応わしい雰囲気をかもしだしております。

施工にあたっても，このムードを一層盛り上げることに苦心しました。このためゴルフを習いみずからゴルフを体験するとともに他のゴルファーの意見を広く聴取し，また各所のクラブハウスを見学し，その結果をできる限り施工面に生かすように努力しました。施工に際しとくに研究し，注意したのはプレヤーの宿泊室とロッカールームについてであります。スパイクのままで歩行することの多い通路やサロン等の床面仕上についても苦心しました。

工事進捗上について申しますと，施工場所の関係から，電力，電話，上水道等いずれも不便であって大変困難しましたが，発注者ならびに設計者のご理解とご指導によりまして，恙なく完成，大方のご賛辞をいただき，感慨無量であります。この機会に心から厚く御礼申上げる次第であります。

なお，近々完成を予定されておりますコースの拡充と相挨って，今後は関西有数のゴルフの楽園としてますます繁栄せられますことを切に希望する次第であります。

（大林組八ケ浜工事々務所主任　伴　　正浩）

1階　大浴室脱衣室





屋　根　アスファルト防水層の上砂付ルーフィングシルバーコート吹付
外　壁　2丁掛タイル貼，色モルタル掻落し，腰鉄平石貼，ピロティ廻り柱，梁コンクリート打放しシリコーン吹付
サッシ　鋼製

# 福岡カントリークラブ
# 和白ゴルフ場クラブハウス

**設計**　**日建設計工務株式会社九州事務所**
（中村隆慶・加藤大雄）
担当　意匠　福永正雄，石丸久男，岩本隼一，船越成元
構造　熊本辰己
設備　森永茂夫
家具　岡村実
現場　大楠又男
**施工**　**大成建設株式会社九州支店**
中野定雄，中村要一
九州電気工事株式会社
昭和鉄工株式会社
着工 昭和33年4月　竣工 昭和33年11月



上：1階カウンターおよびホール　　下：2階ロビー



## 計　画　に　つ　い　て　　日建設計工務kk

当初この建物はRC造木造が混在した建物であった。それが火災によって木造部分が焼失したので，この機会に旧建築を再検討して増改築することになった。敷地は丘陵地で起伏が多く，遙かに博多湾を見降す丘上にRC造2階建の浴場，宿泊部がある。火災前の配置は，それと離れて山寄りの鞍部にRC造のロッカー室，事務室，キャディ室等があり，高低差はおおむね1階分位あり，その上に木造のロビイ，食堂があり，これがほとんど床高同高で浴室部と渡廊下で連絡しているという配置であった。
この内丘上のRC造2階建は型式も新らしくシッカリ建てられているのでいづれはこれに続いて増築する状況であった。
われわれに与えられた仕事は，これらの既存建物をできるだけいかして，相互の関連を考え，カントリークラブとして充分使いよいものにしようとすることであった。
一般と異る特異な点は，既存の浴室は非常に眺望がよいので，また工事費の面からもこれを生かすこととして，ロッカー室を隣りに設け，これを1階において階段で連絡するか，または2階に隣接するかであったが，ロッカー室を2階に設けることについては，わが国はもとより外国にもほとんど例がないので，かなり躊躇したのであるが，地形からいえばIN，OUT共 TEE GROUND が山寄りの上の方にあるので，一度2階に上ってしまえばほとんど同一平面上で，往来できるので結論としてこのようなものになった。竣工後の使用状態をみるとやはりこれでよかったと考えられる。（35.02.05.　加藤大雄記）

## 和白ゴルフハウスを施工して

大成建設株式会社

当社は，第一期コースの建設から第二期ハウス建築工事，また今回の本館増築工事とご下命をいただいているが，今回当建築の一端を紹介する機会を得たことは施工担当者として非常な喜びとするところであります。

今回の増築工事は第一期工事(旧ハウス事務室およびロッカー室等)と第二期増築工事(浴室およびロビー)を結ぶ鉄筋コンクリート造3階建で，1階は事務室・ホール・ピロティ・車庫，2階はロッカー室・ロビー，3階は食堂からなり，昭和33年4月着工，折柄ゴルフ界は空前の活況を呈し，旧館を利用して営業を続けながらの工事で，昼夜を分かず鋭意工事の進捗に努力しました。

その間，旧館（浴室・休養室）と仮設食堂・ロビーを延々30米の仮設の高架渡り廊下で繋ぎ，ゴルファーにとっては大変不便であったことと思いますが，また一方一風呂浴びて涼風に吹かれながら遙かに博多湾を望みながら渡るのは一つの興趣に富んだものであったことと思います。施工に当って，旧館との取合い，1階ピロティの周囲にマッチした素朴さを表わすストリップコンクリート等には鋭意力をそそぎました。

ここにグリーンの中に調和のとれたゴルフハウスの完成を見たことは，カントリークラブ諸賢と設計に当られた日建設計関係者のご指導の賜と深く感謝いたしております。

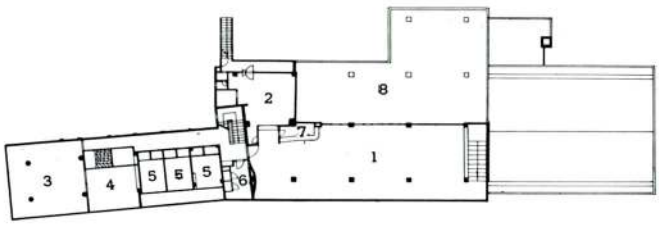
(中野定雄・中村要一)

建築床面積

| | |
|---|---|
| 1 階 | 529.641 m² |
| 2 階 | 895.280 m² |
| 3 階 | 471.825 m² |
| 合 計 | 1,896.746 m² (573.77坪) |

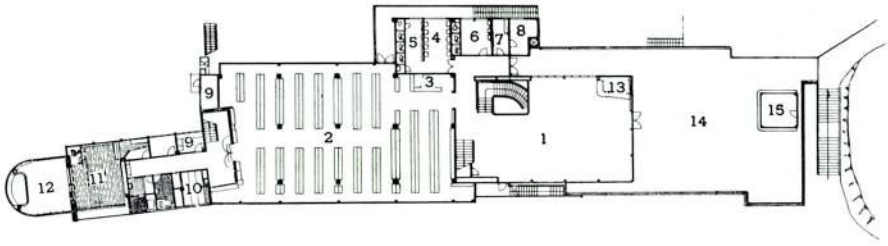
### 3 階 平 面 図

1 食堂
2 厨房
3 集会室
4 集会室(和室)
5 宿泊室
6 便所
7 インテリア
8 バルコニー



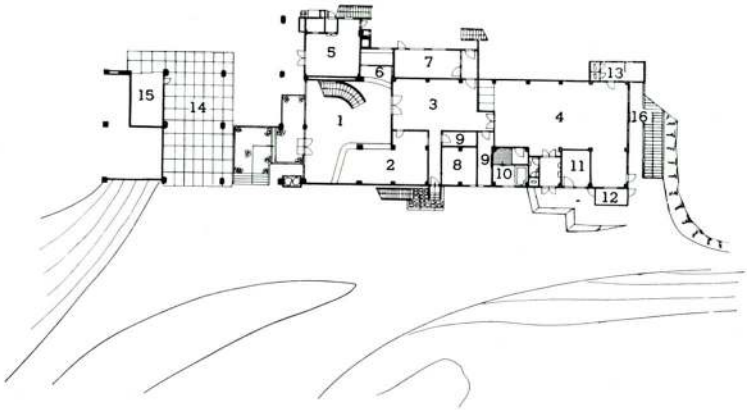

### 2 階 平 面 図

1 ロビー
2 ロッカー室
3 キーステーション
4 洗面所
5 男子便所
6 女子便所
7 洗濯室
8 乾燥室
9 倉庫
10 従業員室
11 脱衣室
12 浴室
13 バー
14 バルコニー
15 スターター室




### 1 階 平 面 図

1 ホール
2 事務室
3 予備室
4 キャデー室
5 ボイラー室
6 売店
7 従業員食堂
8 宿直室
9 倉庫
10 キャデー浴室
11 プロ控室
12 キャデーマスター室
13 キャデー便所
14 コンコース
15 車庫
16 ドライエリヤ

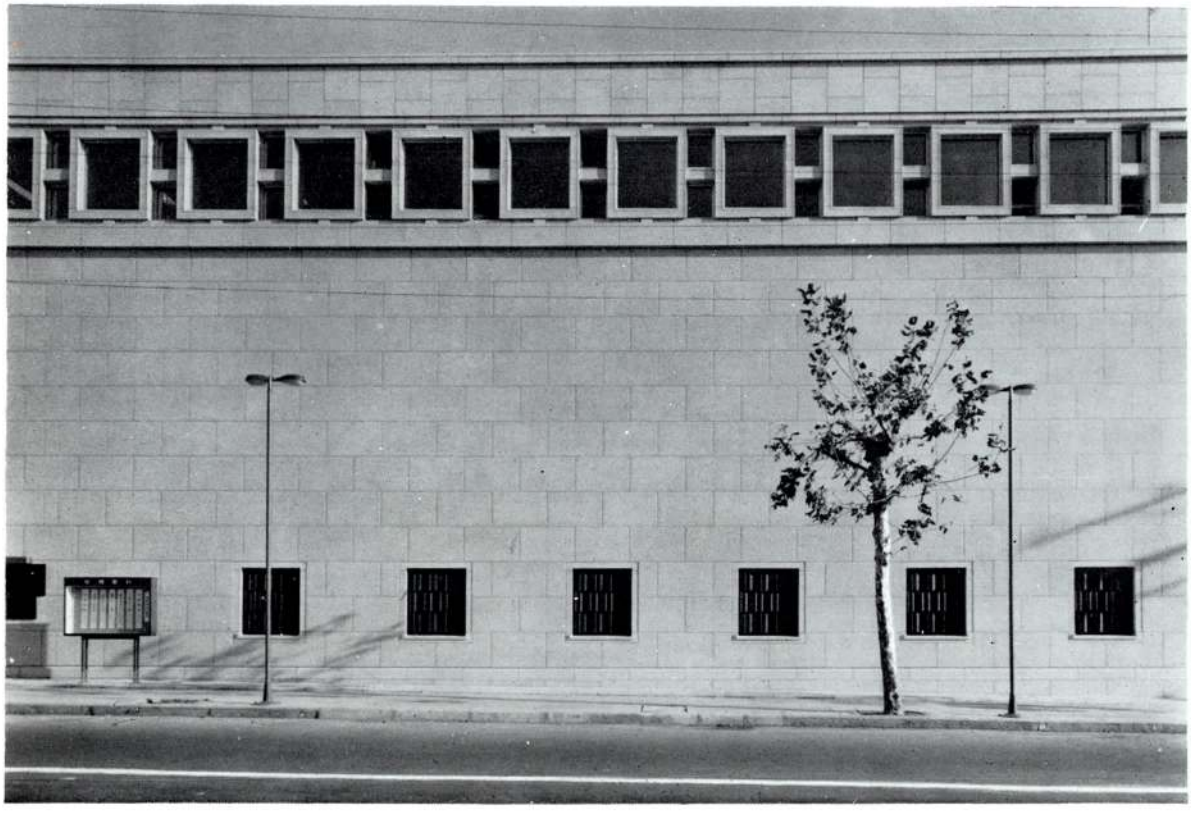




# 泉州銀行本店

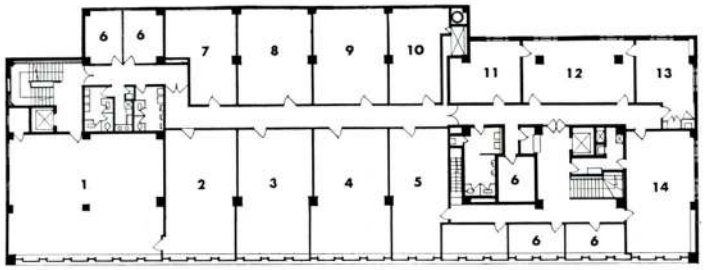
設計　村野・森建築事務所
施工　株式会社　大林組

位置　大阪府岸和田市宮本町257
敷地面積　611.5坪
建築延面積　920.3坪
　地下1　地上3階　塔屋付
高さ　標準地盤よりパラペットまで　10.907m
最高　15.044m
構造　鉄筋コンクリート一部鉄骨鉄筋構造
工期　着工33年5月9日　竣工34年6月26日



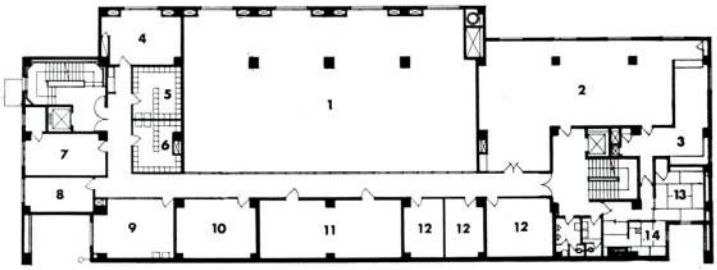
**2階平面図**

1 会議室
2 庶務部
3 審査部
4 業務部
5 人事部
6 応接室
7 検査部
8 管理部
9 主計部
10 総務部
11 特別室
12 重役室
13 頭取室
14 会議室



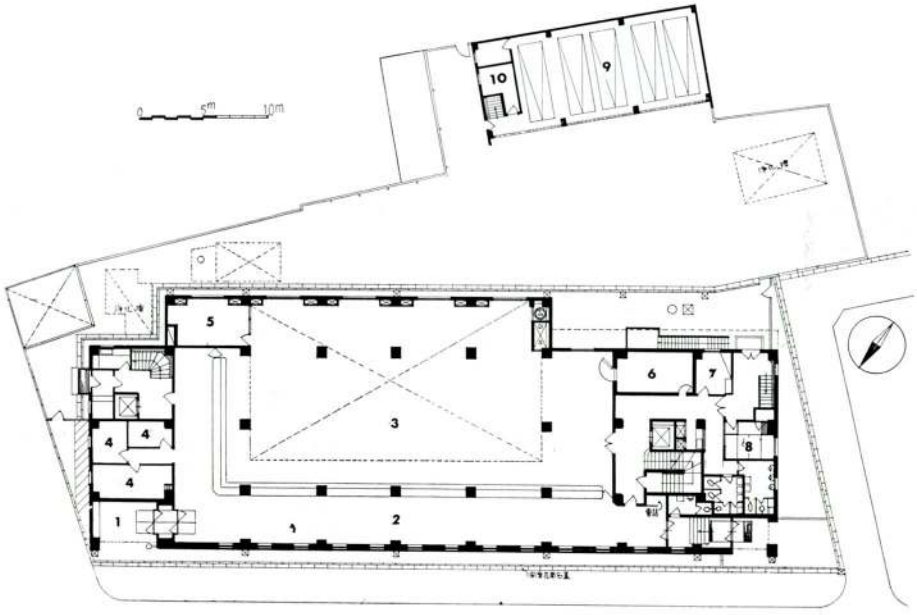
**中2階平面図**

1 営業室上部
2 食堂
3 厨房
4 タイプ室
5 女子ロッカー
6 男子ロッカー
7 電話交換室
8 組合事務室
9 医務室
10 図書室
11 書庫
12 応接室
13 和室
14 茶室



**1階平面図**

1 玄関
2 客溜り
3 営業室
4 応接室
5 部長室
6 書庫
7 準行員室
8 宿直室



面積
地階 140.0坪
1階 279.5坪
2階 193.7坪
3階 291.7坪
塔屋 15.4坪
920.3坪

泉州銀行本店平面図

**地階平面図**

1 冷暖房機械室
2 電気室
3 金庫
4 保護金庫
5 書庫
6 男子ロッカー
7 女子ロッカー
8 ヂーゼル発電室



# 宝山寺客殿（獅子閣）

近代建築調査委員会報告 3



1 客殿正面遠望

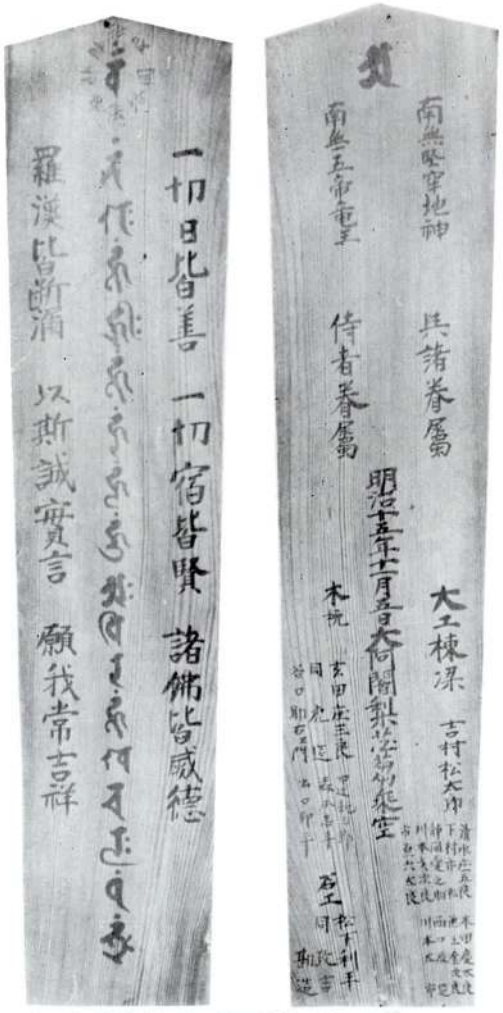


2 客殿南面

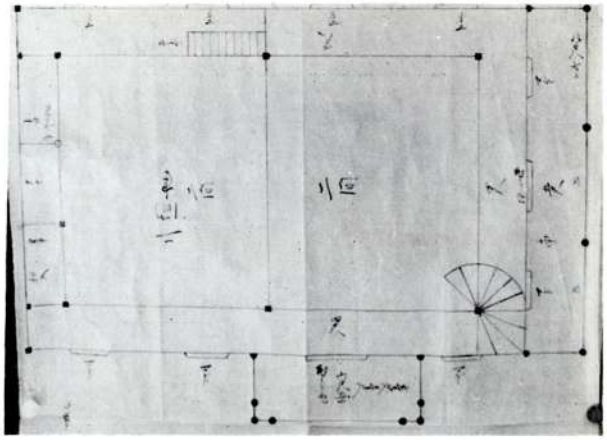


3 客殿玄関柱詳細

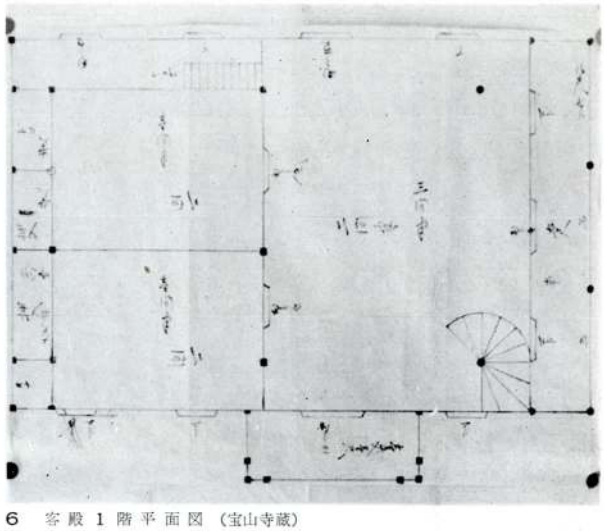
1. 所　在　奈良県生駒郡生駒町，宝山寺境内
2. 工　期　（推定）1882～84年頃
   （明治15年～17年頃，棟札（むなふだ）参照）
4. 工　費　不詳
5. 設計・施工者（棟札による）
   棟梁　吉村松太郎
   木挽　玄田庄三良ほか
   石工　松下　利平ほか
6. 構造規模　木造2階建桟瓦葺（一部本瓦葺）
   屋根四柱造，玄関付，南面一部舞台造
   桁行　約35尺　梁間　約26尺　（10.6×7.8m）
   建坪　約90平方米（玄関約6.5平方米を含む）
   外部洋風，内部洋風および和風
5. 仕上概要　内外とも木部素木のまま，ペンキを一切塗らず壁は白漆喰，要所に木彫の建築彫刻を加える。
6. 設計上の問題　明治初年の開港場などに多かった邦人による木造洋風建築で，在来様式を洋風化した苦心が見られ大胆な構造の回り階段や，全体として柱がわりに少ない点などに大分無理をしたようである。
7. 施工上の問題　精緻な柱頭やアーチ下の持送りなどに在来技法の冴えを見せるが，階上和室天井などは入念な仕事が施され，狂いが少ない。南面縁上の天井もあまり見ない意匠である。
8. 材料上の問題　主要な露出材はほとんど良質の桧を使っている。ことに階上和室は天井回りは極上の尾州桧，床柱タガヤサン，床框黒檀で，材料厳選の跡が見える。1階窓・出入口に赤・緑・黄朱・青紫の色ガラスを嵌め，色彩効果をあげている。
9. 一般社会的事項　この建築が生駒山中腹の寺院に明治の早い頃にできたところに大きい意義を認むべきであろう。当時の住職は棟札にある駒岡乗空師であるが，師は寺で中興の開山と仰いでいるといい，この師と棟梁との具体的な現われがこの建築となったのであろう。



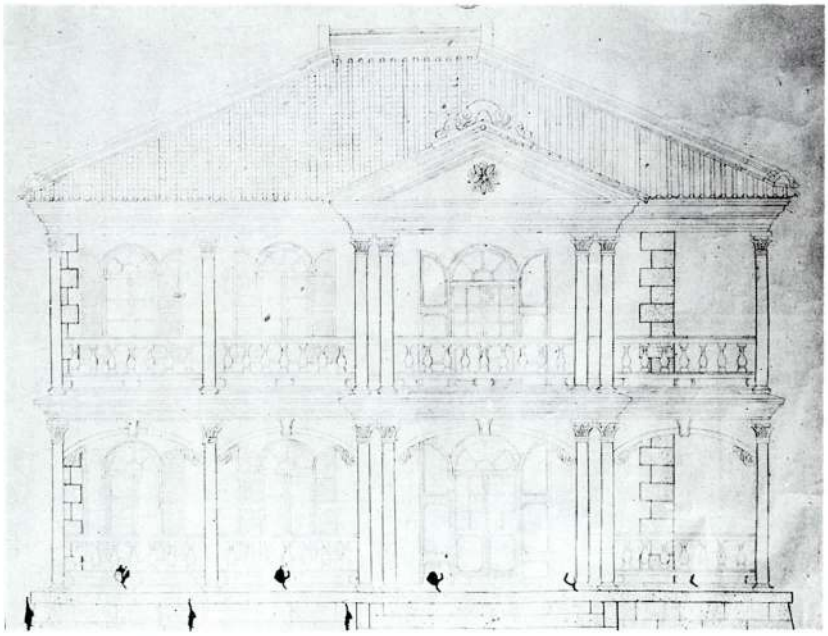
4　客殿棟札（表・裏）昭和33年9月3日発見



5　客殿2階平面図（宝山寺蔵）



6　客殿1階平面図（宝山寺蔵）



7　客殿正立面計画図（宝山寺蔵）

## 宝山寺客殿（獅子閣）

明治洋風建築の古いもので，図面が残っているのはきわめて少なく，ことに平面のほか立面も1枚保存されているのは珍しい。ただし，この立面は計画予定図で，実施されたものは，全体の比例も細部も変っており，この図よりもよくできている。この図のようにもとは全部本瓦葺であったが，大正初年頃に一部をのこして桟瓦葺にされた。

## 建築概説および棟梁について

この建築は幸に寺に平面・立面図が残されているのと，昭和33年9月3日に棟札を発見したので割に資料がある方であるが，すでに昭和23年4月27日に重要美術品に認定されたものである。現在平面は寺蔵図面と大体合致するが，立面は現状の方が図面より拡張され，細部も違っている。立面はおそらく最初の計画図と思われ，柱礎は唐様の礎盤，隅は石積型を現わしているが，実際は礎盤も違い，隅石はない。柱頭やアーチ下の持送りなどは菊の葉を彫っているが，アカンサスがわからなかったのであろう。頸飾りの輪をつけたり，縦溝の手法は他の多くの木造に見るのと同じで，柱頭から見るとコリント系のものらしい。手摺子も初期邦人作の通有型である。

棟梁吉村松太郎は新潟県北蒲原郡の人で，宝山寺に重要な建築を3棟遺している。すなわち本尊を祭る天堂と，その前方の拝殿（外拝殿）および獅子閣で，この順に建てたらしい。従って獅子閣は明治15年から1，2年の間に完成したものと思われる。彼は寺に来てから20年ほども建築工事をやり，その墓は同じ生駒町の滝寺にあるという。

（近藤　豊　記）



8　客殿玄関階上柱頭



9　客殿南面縁詳細







# 坂 静雄先生のプロフィル

奥 島 正 一



坂 静雄先生

約40年の長い年月，京都大学で教育と研究を続けてこられた坂静雄博士が去る昭和34年11月16日，63回目の誕生日を迎えられたのを機会として，京大教授の職を退かれた。大学に停年制の規定がある以上やむをえないことであるが，今回現役教授としての職を去られたことはわれわれ建築に関係するものとして惜みてもあまりがある。引続き京大名誉教授となられたので，今後も大学で研究をお続けになる模様であるが，一応停年ご退官のことを本誌に記録しておきたいとの編輯委員会の依頼でここに拙文を記載することになった。

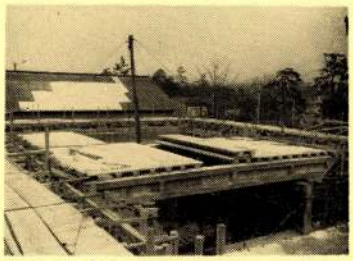
先生は大正10年3月東大工学部建築学科を卒業と同時に大学院に入学，大正11年4月に当時創立まもない京大工学部建築学科の助教授として着任された。昭和8年4月には京大教授となられ，それ以後ご退官になるまで建築学第1講座を担当するとともに京大工学研究所員を兼務して教育と研究にご献身下さったのである。一方学外においては日本学術会議会員，日本建築学会副会長，同近畿支部長，日本建築協会副会長，建築士会京都府支部長等の要職を経られ現在ではＰＣ技術協会の副会長としてＰＣ構造技術の発展に大きい貢献をなされている。先生の研究業績はご承知のように多数にのぼり，いちいちあげることは紙数が許さないので割愛するが，論文として約250篇，著書として約12冊あり，一貫してコンクリートに関する研究と著述に専念された。

筆者は先生に教えをうけて以来25年程であるので，それ以前の先生はよく存じていないが，教えをうけている者として感ずることの一端を附記しておこうと思う。先生は名前の示すようにまったく物静かな先生であって，私も永い間一度も先生の大声に接したことなくまことに温厚な方である。それだけに弟子に対しても，それが年をとってくると手厚く遇して下さり，また例え拙い仕事をしていても口に出して叱正をいただくことは稀である。この点は私の大変閉口していることであるので，先生にはどうか今後どしどしわれわれを叱正して下さり永くご指導下さることをお願いしたく思う。次に先生の現在までのご研究は先きに述べたように一貫してコンクリートに関するものであるが，その研究事項は人の後塵をうけたものでなく常に5歩も10歩も人に先んじられていた。囲碁に例えると，新しい研究題目の有益な布石をつぎつぎと打っておられるのであって，この点については先生をご手本としなければならぬと思う。もっとも先生だからこそできるのであって，私ごときものには到底不可能事であるが，日々先生のご研究を拝見していると，そういうことを強く感ずるのである。これからは先生も授業を解放され研究一本に進まれるのでますます，つぎつぎと新しいご研究の結果を拝見することができるものと大いに期待している。

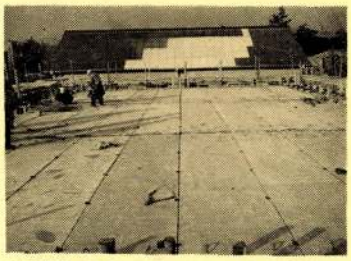
話しが後になったが，先生がこれからもご研究になるところとして，今回京大建築学教室に隣接して坂記念館が建設された。これには先生の居室ならびに構造材料の試験機械が設備される予定で，坂先生ご退官記念会委員のご尽力と建築各界のご好意によって実現をみるにいたったものである。なお先生には現在ＰＣ構造の発展にご尽力になっているので，それを記念してこの記念館にはＰＣ構造が採用された。写真を掲げてご紹介しておきたい。書きたいことは多くあるが紙数が制限されているのでここで筆をおかねばならぬ。

先生の末永きご健康をお祈りし，今後とも永く建築界をご指導下さることをお願い申上げて終りの言葉とする。 (1959.12.17)

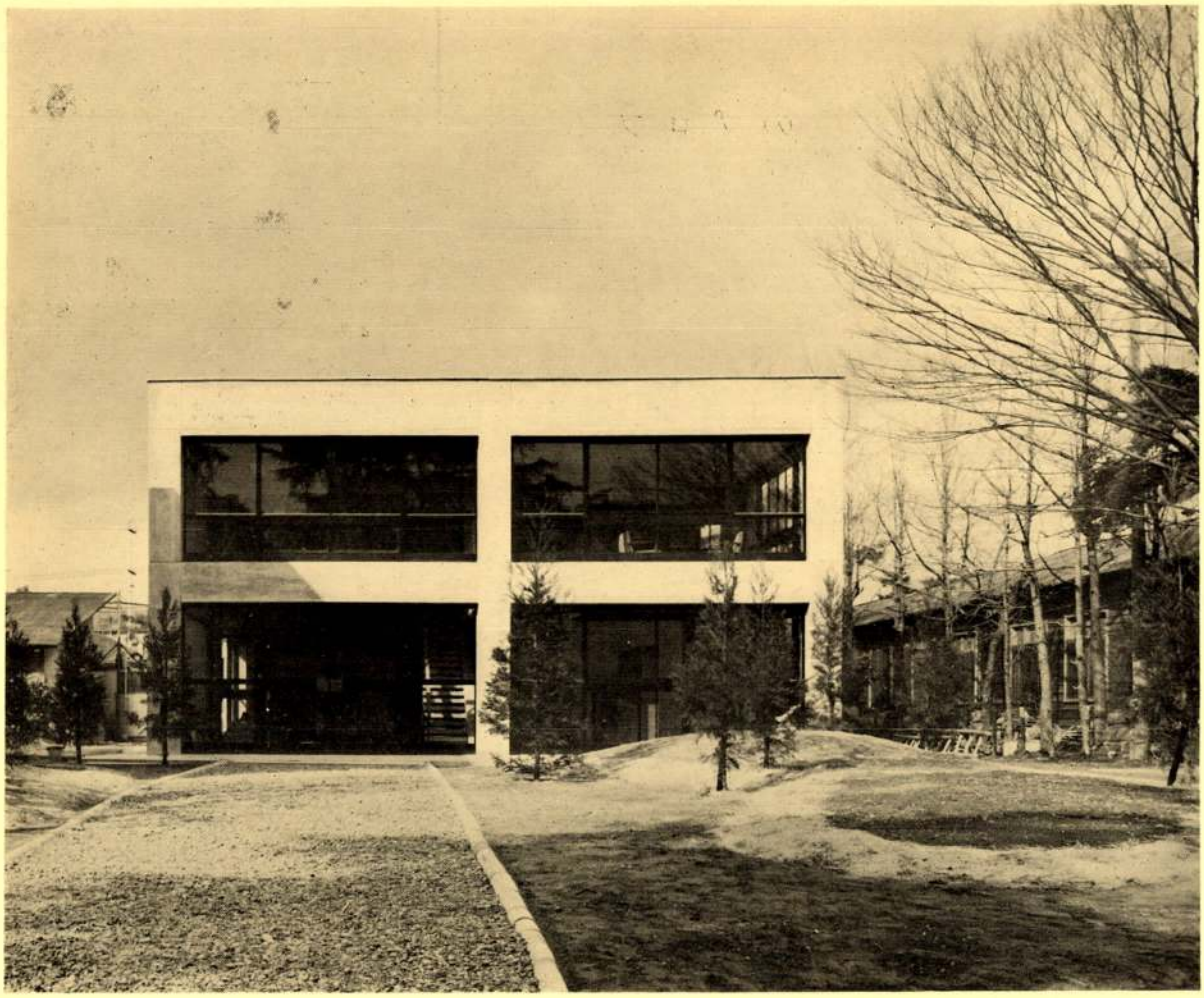
（筆者：阪大工学部教授・構築工学教室）



坂記念館のＰＣの梁とダブルテイースラブ

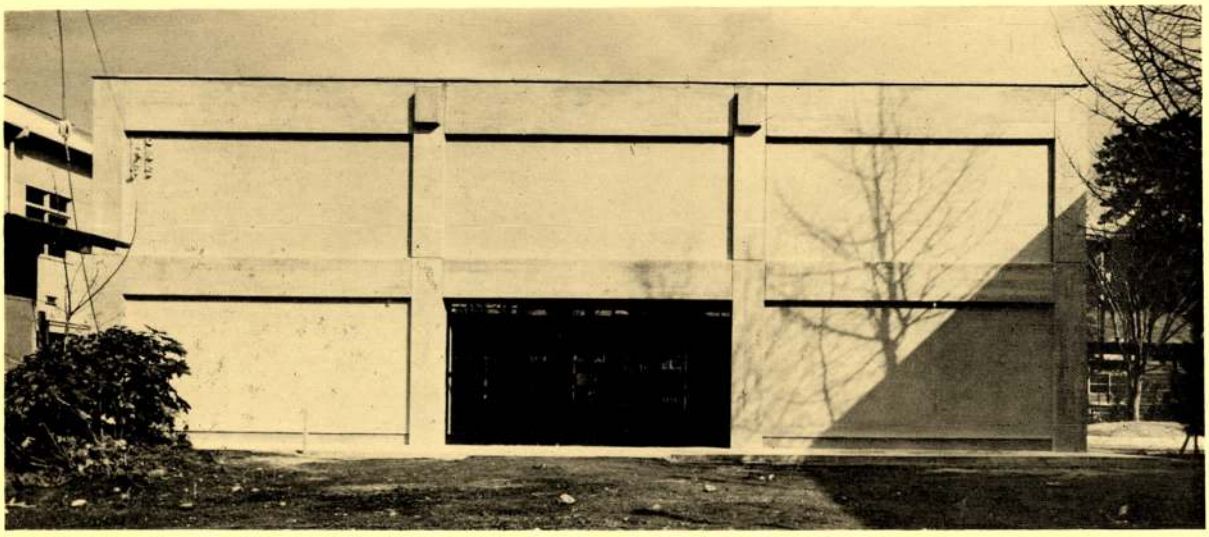


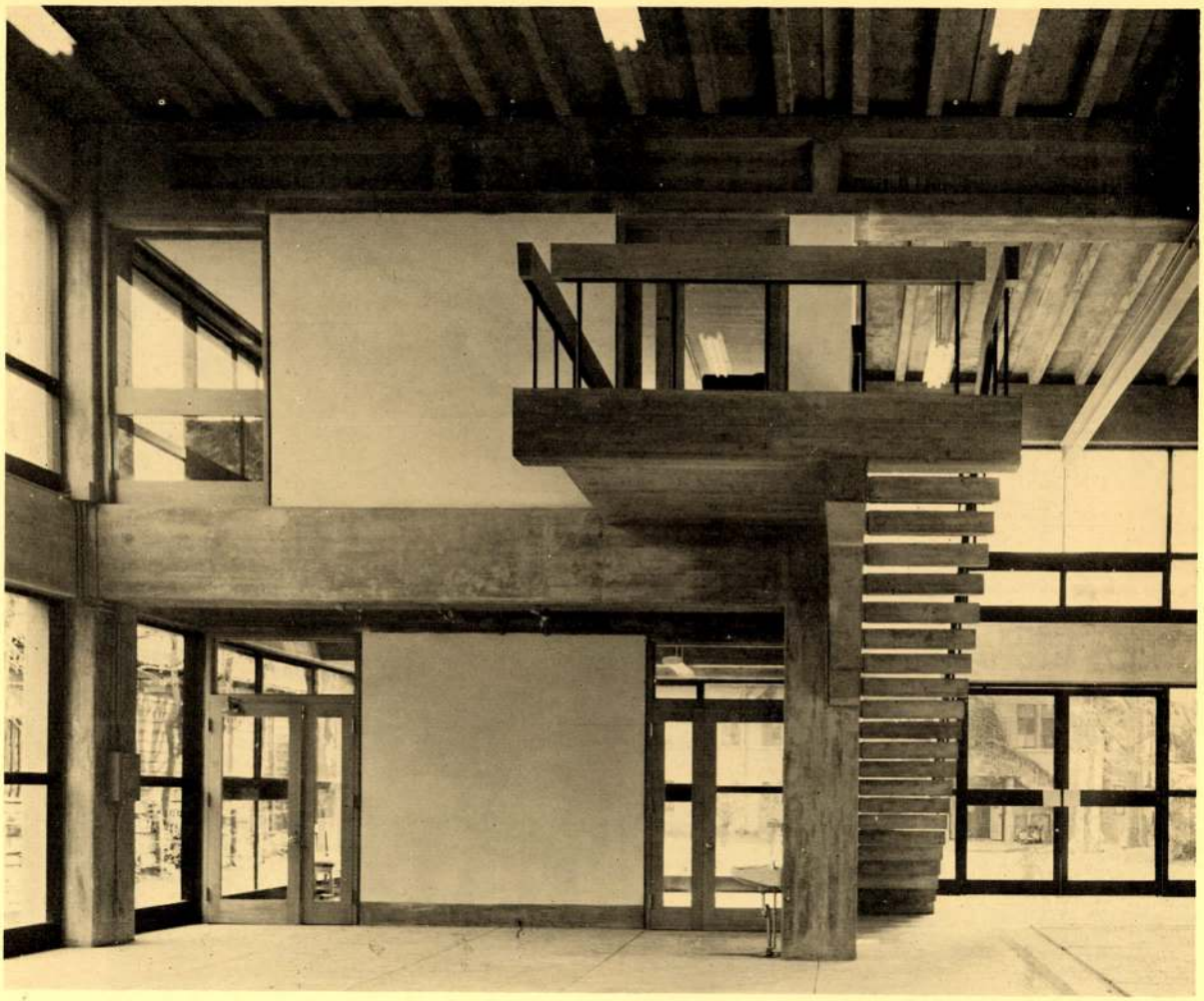
坂記念館のＰＣのダブルテイースラブ上面



設　計　　京都大学建築学教室　増田研究室
　　構造　坂研究室
施　工　　株式会社　大林組
　　防水工事　日本ゴーレックス工業kk
　　電気工事　寿電気工業kk
　　衛生工事　kk 大阪城口研究所
　　サッシ工事　日本スピンドルkk
　　WTスラブ　P.S.コンクリートkk

# 坂　記　念　館





実験室より研究室（1階，中2階）および階段をのぞむ

## 坂　記　念　館

所在地　京都市左京区吉田本町　京都大学内
規　模　鉄筋コンクリート（一部P.C.）造
　　平家，一部中二階
建築面積　234.375 m²（70.898坪）
延面積　275.335 m²（83.288坪）
工　期　34年9月18日～35年2月19日
主要仕上
外部　軸部　コンクリート打放し仕上ゴーレックス吹付
　　外壁　寒水入モルタルビシャン叩き
　　サッシ　スティール　O.P.塗り
　　屋根　W.T.スラブ（W：1.200 *l*：12.500）ゴーレックスコーキングの上ゴーレックス防水仕上げ
内部　軸部　コンクリート打放し
　　天井　P.C.梁（現場打ち）　WTスラブ（工場製品）　素地のまま
　　壁　リシン仕上げ
　　床　モルタル金鏝仕上げ
　　階段　段板：プレコン製　手摺：米桧クリヤラッカー　手摺子：鋼管O.P.塗

この建築は，坂教授の退官を記念して，建設された構造材料実験室である。5 tonモノレール，60 tアムスラー型試験機が設備される実験場の一隅に研究室を配し坂名誉教授を始めとして構造材料の実験研究が続けられる。P.C.梁とWTスラブは実験場を one span で架構するために採用されたものである。



## 建　築　の　計　画　性

建築で計画というと，普通部屋の配置や意匠の設計を主にいうらしい。言葉から考えると，構造計画・施工計画の他建築管理計画・建設業経営計画なども含まれるはずなのだが。

しばしば計画≒設計計画≒デザインとなり，流行に支配されて，ファッション≒計画とは奇異である。

一方計画というと，経済計画・生産性などが心に浮ぶ。オペレーションリサーチ（O.R.）が経済界を風靡しリニヤープログラミングとかＩＢＭとかの言葉が「お稲荷さん」を圧倒しそうな今日この頃である。

それに較べ建築には未だ総括的な計画が少いような気がする。業界の株式が公開上場されて近代化へ踏出したといわれるとき，経営のみでなく，設計計画はもとより建築一般の計画も，O.R.なども使って近代化し，早く中世から脱け出したいものである。　（HK）

## 素　人　考　え

ガス風呂中毒，地中漏れによる集団中毒とガスによる中毒事故があとを絶たない。大阪管内だけで年々50人近くが生命を失っているという。こんな危険なものを日常使っていたと聞けば後の人はあきれるかも知れない。

減毒はされても無毒化が当分望めないとするなら，減毒と同時にもっとガスの発見を容易にしてもらえないものか。中毒のほとんどは早期発見できれば防げていたはずである。臭だけでは不安なことは集団中毒でも明らかでさらに色をつけたり，あるいはくしゃみが出て目が覚めるとかで，われわれのあらゆる感覚に訴えて発見できるようなことができれば事故は激減するだろう。こんな対策は研究中かも知れないが，あまり書かれているのを見なかったので素人考えの一つとして参考までに。

（IK）




（この「建築の眼」欄に対するご批評を求めます――編集――）

## 天　井　の　美　し　さ

当節は左官天井が少くなり，ボード類などの貼り上げの天井が多くなった。この傾向を生んだ原因はいろいろあるが，左官天井が剝落やクラックを生じやすい施工上の難点もその一つであろう。施工の立場からいって，頭の痛いことが少くなって有難いことだが，さて天井の美しさからいうとどうだろうか。ボード類の天井は竣功直後はなかなか変化もあり面白いが，数年経過してみると何となく薄ぎたなくなって感心しない。目地だとか孔などに汚れがつく，それも平均につかないで斑らにつくからなお目立つ。また竣功当時は気にならない程度の目違いも隅の汚れによって，それが強調され甚だ見苦しい状態となる。塗装替えがきくのはまだよいがそれができない材料は始末が悪い。その点左官天井は古くなっても美しさを失わないし（もちろんムラもなく，クラックもない場合だが），古くなればそれなりに捨て難い味がでてくる。塗装替えすれば全く新しいもののようにもなる。いづれも一長一短で仕上材料決定に当って悩みはつきない。　（YT）

## 停車中は使用しないで下さい

先日，京阪間の省線急行通過駅で普通電車を待っていた。ふと枕木の上を見ると水にぬれた用便紙と黄色い半固形物が点々と落ちている。なるほどこの駅には普通電車は停車するが急行電車や長距離列車は通過するからこのプラットホームの前の枕木がよごれているのも無理のないことである。

私たち建築にたずさわるものは水洗便所の浄化槽とか改良便所とか回虫の卵にさえも異常の神経を使っている。

考えてみると日本全国に網の目のように走っている国鉄は日本全国にウンコをバラ撒いているということになる。鉄道を利用する人を一々健康診断することもできない。どんな伝染病菌をバラ撒かんとも限らないと考えるとゾットする。

東京大阪間に今度新幹線ができて３時間でつっぱしるそうだが，このウンコをバラ撒くのだけはなんとか改良してほしいものだ。　（IS）

# 科　学　と　そ　の　対　立　概　念

浦　辺　鎮　太　郎

## 私　の　動　機

100. 建築家は総合の能力に優れている。いつかだれかが科学とその対立概念（宗教・哲学・芸術）について発表するだろうと期待していた。忙しいのかだれもやらない。

101. 科学についてあるいはその対立概念についての古い型の所論はもうごめんだ。若い時点と地点に立った所説がききたいのだ。1960年——日本

102. 私は1959年に50日入院した。時間を悠大に楽しんだ。そこで始めてこんなむつかしい問題を考えた。私の持時間も先がみえだしたようだから。

103. 日本人の思考方式はいつも死がすけてみえていること——即ち結論がみえていることだといわれる。結論が思考の先にでてはいけない。（そこからは実りの多いもの（科学）は生れないから）

104. 恩師森田慶一博士は20余年をかけてポール・ヴァレリーの「ユーパリノスまたは建築家」の名訳を完成され，私版本としてだされた。入院中数回読み返すことによってその構造をなす幾何学的精神にふれたときの嬉びは多大であった。師恩の厚大に感謝しつつ私は自らの思考を拡大していった。

105. 高等学校の同窓であった時実利彦東大教授（脳生理学）が「人間のからくり」というはなはだ肩のこらない脳生理学随筆をだしたのも入院中であった。とぼけたようなことを書いているが，未開発の分野に切り込んだ頭の冴えがときどき見えて私の思考に科学的方法を与えてくれた。

106. 科学の対立概念はなんだろうかと問うた私に対して鳥田家弘神戸大教授は象徴だよと答えた。私はこの二つの言葉について英，米，独，仏の百科辞典の定義を調査した。

107. 思考は始まった。しかしなおそれは終らない。この X-diagram は木材の断面ではない。私の一応の結論の図式化である。

## 幾何学的精神が科学の原型を造った

200. パスカル（1623——1662）は人間精神を幾何学的精神と繊細の精神に分けている。前者は論理的な精神であって幾何学はその完全な型を示している。

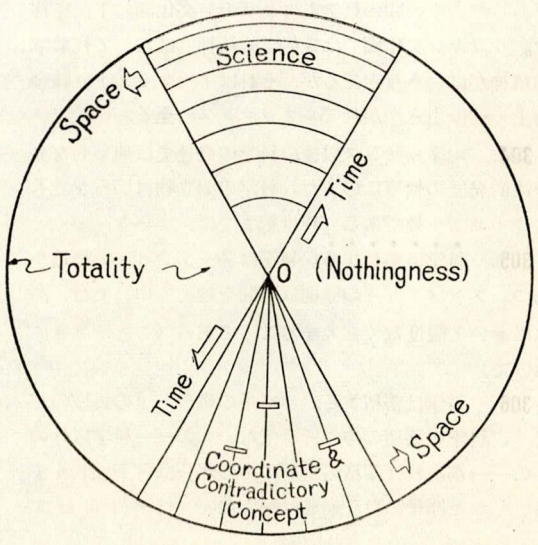
201. ハイデッガー（1889——）も同様に人間の思考を「計算する思考」と「熟慮する思考」に分けている。

202. 時実博士（105参照）は人間の大脳構造から「新らしい皮質」と「古い皮質」に分けてその機能分化を説明している。新らしい皮質から生れる作用は論理的合理的であって具体的な事物から一般的概念を抽出する。古い皮質の作用は「素朴の心」を示す。

203. 茲にだれしも気付くことは200,201,202を通じて対応が存在していることであろう。

204. 技術の歴史が石器時代まで遡るに反して科学の歴史は古代ギリシヤ（あるいは古代エジプト）にまでしか遡れないのは何故であろうか？

X-diagram



205. 古代ギリシヤにおいて人間精神から初めて理性的な面が抽出され客観的認識に上った。幾何学はその完全な媒体であった。

206. 幾何学的精神はラテン民族的である。それが人間性から遊離しないところに独自なものがある。幾何図形をみて「人間の跡をみつけたぞ」と叫んだギリシヤ哲人の話が B.C.25 発刊のウイトルウイウス「建築書」にある（森田博士訳昭和18年生活社）

207. ユーパリノスは彼の愛したコリントの乙女のもつ数学的比例によって神殿を造った（森田博士訳の同著104参照）

208. 「言葉なきところ幾何学なし。最小の言葉によって起る運動の軌跡を幾何学的と呼ぶ」（104書参照）

209. 古代ギリシヤ人が幾何学的精神を形象化しそれを後世のヨーロッパ文明に遺産として伝えたとき，それは同時に科学のプロトタイプを人類に残したこととなるのである。

### 科学は蓄積する

300. 科学というものを定義することは可能であろうか——恐らく不可能である（大英百科辞典1958版）

301. 科学史が科学そのものである（オーギュスト・コント，彼は社会科学の祖といわれる）

302. 科学の語源は「学問」または「知識」である。古代ギリシヤにおいてはそうであった。その後科学は学問よりも少し狭義となりまた知識の内でも体系的法則的なものに限定されてくる。対象と方法においてもそれは発展する一方で厳しく限定された概念となった。

303. 科学はギリシヤよりアレキサンドリヤに至って盛時を過ぎその残火がローマ文明に引きつがれる。キリスト教の勝利よりルネッサンスに至るまでは僧院の孤児であった。この間の科学史はサラセン文化圏に主流を移す。サラセン文化圏では幾何学的精神ではなくて代数学的精神がはっきりとでるが，それはアルケミスト（錬金術士）達に引きつがれてルネッサンスに至る。

304. ルネッサンス以後の科学の発達史は典型的な弁証法的発展の軌道にのった。科学の対立物はいうまでもなくキリスト教である（19世紀までは）

305. 科学は蓄積する。科学はメーゾンリーの構造をもつ。メーゾンリーの原則は時間を越えて巾，奥行，高さにおいて限度なく拡大することである（ことに高さにおいて）

306. 科学は蓄積する。バベルの塔，万里の長城のごとく。科学の蓄積の中にそうでないもの——科学以外のもの——があれば蓄積の重圧でその部分は自己崩壊する。しかし原理の自己崩壊は起らない（科学は自証する）

307. X-diagram の科学の部分で同心円的に示されるものが科学の蓄積——その地層である。

### 科学の対立概念は十字型パターンをもっている。

400. 対立概念とはこの場合科学に対して
同位的 Coordinate
矛盾的 Contradictory
である概念（Concept）だと規定したい。

401. キリスト教は科学と同位的ではなくて科学はその下位的（Sub-ordinate）概念だという説を今日も固持している。科学の歴史的背景からみて同位的とはとんでもない（社長と新米社員とが同位的などとはいえません）と主張する。科学はルネッサンス以来なりあがり者かもしれない。

402. 無限から無限につづく生命の流れ——その流れを電流のごとく通じる正義感。正義感は人間の生存に深く根を下している。

403. 科学が盲目だといわれるのは科学はこの正義感も不正義感ももたないからである。

404. 科学の対立概念の正体がなんであるのか？——ここに正義感という強い電流をもった概念が浮んでくる。

405. 正義感には時代性も民族性もまた発展性もあり得ない。生命を断つことはこの電流を切ることでもっとも正義感に反する。それは知・不知，善・悪一切に無関係で存在する。

406. 正義感に「正義の規準」が伴って始めて行動の原理となり得る。正義感だけで行動しがちな日本人が多いが，彼等は人間を「一柱」「二柱」というように柱で象徴化している。西欧的思考方式ではこの正義感の柱に「正義の規準」という腕木をとりつけている。

407. 正義の規準は時代性と民族性とをもっている。それは正義感と離しては存在しない。キリスト教においては全知全能の絶対唯一神（世界神）がそれである。ルネッサンスはその神の看板を下して「人間性」「人間の尊厳」にかけかえた。それを私共はヒューマニズムと呼んでいる。

408. マルキシズムはさらにそのヒューマニズムにおける「人間性」＝「人間本位」の看板を下して社会科学的理論をかかげている。その社会科学的理論としての「弁証法的唯物論」はいささか古風ではあるが科学の概念に入るべきものである。しかしながらそれが正義感という柱にとりつけられている限り科学ではなくてその対立概念としての哲学に属する。

409. 正義感と正義の規準は愛と謙虚によって一体化す。すなわち愛とは柱と腕木を結ぶ接着材であり謙虚とはその接着材が働きやすくなる状態——ケレンした状態

であろう。マルキシズムでは愛の代りに「憎しみ」を謙虚の代りに「たたかい」をもってするが，そのとき柱と腕木とはバラバラになってくるので敵をなぐったり殺したするよい武器になる。

**410.** 宗教と哲学とが科学の対立概念になるのはこの十字型のパターンがあるからである。腕木の全然ない柱は人間思考の中では存在しないが，その部分のヨワイものあるいはよくないものは存在する（例えば愚連隊）

**411.** 全学連と愚連隊とを区別するものは柱の部分にはなくて腕木の部分にある。どちらもその接着は弱い。

**412.** 「犬は忠実の象徴である」「天皇は国家の象徴である」——その象徴も科学の対立概念たり得る。科学では「犬は動物である」「天皇は人間である」という。

**413.** 美の象徴としての芸術はだから科学の対立概念である。紙に塗った墨が，雪舟の破墨山水になるから。

**414.** 今日「美」という概念よりも「エネルギー」という概念の方がよりよく音楽や建築を説明する場合がある。それはどういうことだろうか？　美は生命的だ。

**415.** ある概念とその対立概念とは補完作用をもっている。それならばこれらの総和が思考の全体性を保証するだろうか？

### 全体性のダイアグラム

**500.** 私には415の命題の答はNoである。ただそれは私の直観が——素朴の心が答えているのであって証明は出来ない。103 をここで思いだしていただきたい。

**501.** 東洋，ことに日本の歴史的伝統は素朴の心（202）との直接交渉でことを決める思考方式であろう。西欧方式は人間精神を二分するがその対立の統一理論としてことを処理する。もっとも中国には「情理兼備」の思考があるが。

**502.** 日本の場合なんでも「かねあい」だ。アイマイモコだ。

**503.** Zen はその象徴として円をもつ。それは直観による自証以外に方法はないけれども円は全体性(Totality)を示している。

**504.** Zen の円が全体性をもつものなれば思考の幾何学によってその円を証明出来ないか？

**515.** 円の中心（0）は思考の幾何学では原点といっている。Zenでは無（Nothingness），キリスト教では神—そういった方がよりよくダイアグラムを解明する。

**516.** 「無」という概念は今日の実存哲学にもある。これは科学とその対立概念との共通した原点になり得る。「神」では宗教の原点にはなるが科学の原点にはなり得ない。生命線の方から攻めて無に無限に近い時点と地点に立つのが神（あるいは仏）であろう（402参照）

**517.** 原点（0）で交叉した座標軸を引く，一般的にいってそれはX字型になる。私はここで大きい仮定をおかなければならない。

Time is space

**518.** Zen 的直観は時間と空間の間に大胆なるイコール（即）を引く。科学はエネルギーという概念で時間と空間との統一理論を組み立てようとしていま鉄壁にぶつかっている。科学は数式をもってその統一理論を示さない限りこの鉄壁を突破した証拠にはならない（直観は容易に鉄壁を破るのだが）

**519.** ある仮定（517,518）に立って時間と空間との座標軸を引けば私の思考の幾何学は成立する。

**520.** 時間と空間がX字型に0で交叉するとき科学は0の同心円のパターンとして形象化される。その対称域に科学の対立概念がある。それは生命の無限の流れとして0より発する。その生命の流れには人生という線分がある。そして銘々がなにか名札か標識をあげて生命の流れを守っている（406,407,408）

**521.** X という小さい部分が全円に拡大することは可能であろうか？（そのとき部分は全体になり得る）

**522.** 大きい仮定—— Time is space ——それが証明されたとき私のダイアグラムは成立する。

（あとがき，この雄大にして悠久のテーマは私の人生半世紀を記念するかもしれないが，多忙の向，あるいは多忙のときには不向でしょう。暇なとき考うべし。うらべしづたろう）　（筆者：倉敷レイヨンKK営繕部長）

スーパー
ポリマテックス
アクリル系 ラテックスペイント
水谷ペイント

# 対談『デザインの曲り角』

早大教授　吉阪隆正
阪大教授　足立孝

司会　浦辺鎮太郎
とき　1959年11月20日
ところ　毎日大阪会館国際サロン

**浦辺**　この題名にありますように，デザインの曲り角というのは，大きな国際的観点にたった問題なんであります。これを論ずるにはお二人が一番適格な人じゃないか，というような観点から非常にお忙しいなかをきていただいたわけであります。

このデザインの曲り角というのは，なんかデザインのよろめきとかいうような意味にとられては，私ははなはだ心外で，そんなよろめきじゃなくって，もっと深い意味がある。それをお二人の方に追及していただきたい。まず吉阪先生にお願いしたいんですが。

## ヨーロッパ的本道？

**吉阪**　危険な曲り角の危険な分子は遠ざけておく方がよろしいということで，こういう離れ島に座らされたので（笑声）なるべくエキセントリックにデザインして，座談会を発展しろということでございます。

私自身がこの座席を去ったときにそんなにエキセントリックじゃないはずなんですけれども，ここにいる間，しばらくエキセントリックにいろいろなことをお芝居することになるでしょう。

本道があるかないかという質問がそもそも間違っていると思います。われわれは本道を歩んでおるつもりでありますから，よそのやつの本道なんてものを問題にする必要はないと思う。ところが大部分の人はちょっと大きい道が威圧的にでてきますと，それが本道だと思ってしまう。ヨーロッパが14，5世紀辺から植民地政策に乗りだしたころから，ヨーロッパはわが道が本道であるというようなことを押しつけてきた。それを他の人たちは「へい，さようでございますか，そちらの方へまいりましょう」というようにしっぽをふっていってしまったと思うんですが，骨のあるやつはそんなことはおかまいなしにわが道をいってたんだと思います。そういう意味で，本道なんてものは自分のところにしかないと私は考えております。

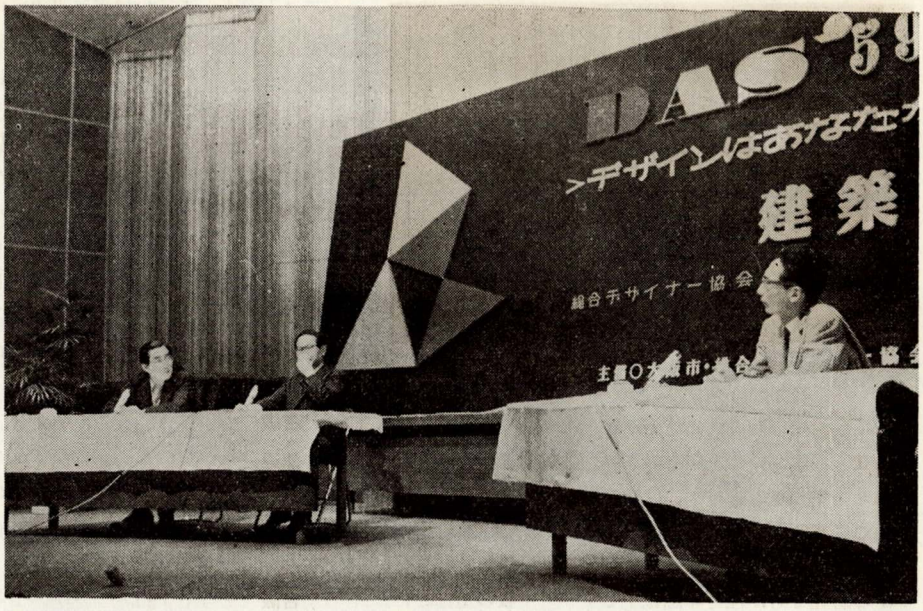
**浦辺**　本道というものは日本にだけしかないという一つの問題がでたわけであります。これに対して足立先生

**足立**　第二次大戦まで，私たちは機能主義が本道なんだと考えてきたわけです。ところが戦後ご存知のようにいろいろ批判がでました。機能主義は間違っているという考え，これは曲り道への一つのモーメントですが，私自身は合理性を求めて歩んできた点で決して間違いでなく，本道を歩んでいたのだと思います。

ただ，マンホードも述べてるように合理性をせまく摑み，適用していたところに問題がある。歴史の流れからみれば，現代建築は成長過程にあって，漸く年頃になり広い世間，大人の世界をみるようになった。卑俗な言葉でいえば色気がでてきた。そこに自由があるとともに危険な曲り角を警戒しなければならないということでしょう。

**浦辺**　色気論，どうですか。

**吉阪**　日本のことで考えてみますと，たしかにいまおっしゃったように建築家なら建築家というものが，明治以来なんとかして自分の世界を造りだそうという戦いの歴史であったという意味ではいえると思うのですけれども，その戦い方でいつも人の借りものをもってきて，そいつをふりかざして，そしてそのうしろに隠れて威圧してやってきた。本道はそのふりかざした方のものではなくて，自分の世界を造りたい，そこが本道だったんじゃ




総合デザイナー協会の主催による当日の会場
右より
吉阪　隆正氏
足立　　孝氏
浦辺鎮太郎氏

ないかと思います。それをとかくふりかざした方が本道であるかのごとく考えるところに曲り道というか，そういうものの問題がある。ちょっと曲がってとられてるんじゃないか。

**浦辺**　ヨーロッパ的本道ですね。ヨーロッパ的な道というのは今世紀に入ってからではなくて，前からずっと続いている。そのヨーロッパ的な本道というのは本当の道，舗道道路といってもいいんですが，日本にあるような曲りくねったほこりのたつ道じゃなくて，20世紀の自動車がスムースにとおるというようなそういったような道を本道だと考えております。それについては足立先生どうですか。仮にその道を本道だとすればいままで日本人はそれに乗っていたか，乗っていないか，脇道をとおっていたのか，という点はどうでしょう。

**足立**　私の先生がよくいってられたことですが，日本の建築家はロマンチックな傾向が強いし，受入れやすい。建築は抽象芸術であり，合理的なものでなければならないという点で古典の精神が本道だと考えますし，西欧の伝統とでもいうべき合理精神を日本でももっと確立しなければいけないと考えます。

**浦辺**　いまの足立説，どうでしょう。

**吉阪**　あまりにも技術的な小さな分野に閉じ込もったという感じをうける（笑声）。本当はもっと人類はどうするんだ。あるいは日本人に生まれたんなら日本人はどうなるんだ。そこをうまく解決するということが大きな任務じゃないかと思う。それを解決するにはそれだけの力をもたなきゃならぬので明治以来一生懸命力を獲得することをやってきた。だんだん少しずつ力を獲得してきたんで，そろそろその実力を発揮しょうかという段階にきたんじゃないかと思います。その技術的な問題は，それは具体的にやるときの問題でありまして，そこに沈潜しておったからこそ力を失ってしまった。やっぱり全体をよくする。全体の社会を秩序だてていくという，そこの問題を取り上げて，それだけの実力をもって解決していくという力を養うことが本当じゃないか。

**浦辺**　そうすると新しいエネルギーかなにか生まれて，それがいままであったヨーロッパ的な本道といいますか，そういうやつにぶつかっていきだした。そういうことなんですか。

**吉阪**　それはいろいろ力を獲得するためにはいろいろな手段があったと思います。たとえば武道でいえば相手の力を利用して相手をまかすというやり方がありますので，大いに相手の力をこちらの力に用いるというようなこともあるわけです。したがって西欧的なものの考え方とか，やり方とかというものを全部キャッチして取り入れちゃって，それでもって西欧をまかすということももちろんあると思います。そういう意味では向こうのやり方を取り入れるということは大変結構だと思うんですが，それはあくまでもこちらのためであって，向こうに続くというような，向こうが先進国でこっちが追っかけているというようなことで取り入れてるんではないと思います。

**浦辺**　意気大いに盛んなんですがね。大東亜戦争のときはやっぱりそれと同じ気持でぶつかったんですが，どうも結果があまりよくなかったということになると相手の武器というのも十分しっとかなくちゃいかん。

そういう意味でヨーロッパがもっている武器の一番性能の立派さというか，恐るべきところはなんでしょう




村野藤吾氏の開会のあいさつ

か。足立先生，向こうの建築にかぎらず。

**足立**　西欧がいろんなもの，例えば革命とか，資本主義，マルキシズム，あるいは機能主義を生んできたのは，対立する大きな壁を感じ，合理化しようとする強い意志をもっていたからです。一見，無縁と思われるフロイドの研究でも，性を罪悪視するキリスト教の道徳という大きな壁があったからこそ，それえの抵抗から生れたともいえる。

ところが，日本の場合それほどはっきりした対立概念をもたず，曖昧な状態で一応つじつまをあわせてきた嫌いが多い。明治や昭和の一大転機もすべて外からの力で行われている。自らの心の中に湧き上ったものの力によったものでない。一般的にいって芸術の面でも直感なり実感を重んじて，骨骼からの合理性探究が不充分だったと思います。

## 合理性の対立概念

**浦辺**　対立概念がはっきりしてない。そういうことなんですが，それでは吉阪先生，ヨーロッパ的な合理ですね。それに対する対立概念としてどういう現象がありますか。国際的にみてですね。対立概念たりうるもの，キリスト教なんかは別として。

**吉阪**　ヨーロッパに対する対立概念というような考え方をすること自体がヨーロッパに対する負けだと思います。ヨーロッパなんぞくそくらえでいいんだと思います。大体あいつらがいろんなことを押しつけてきたからこういうことになる。それにへいこら頭を下げてはいけない。さきほど大東亜戦争が負けたというようなことをおっしやいました。私はちっともそう思ってない。というのは一応唱えたことは実現してるんじゃないか。国家間の民主主義ということは一応その世界で認めざるを得なくなった。ヨーロッパが支配して，そして他の国がそれにしたがうというような世界からいま変わりつつある。そういうことをもたらしたということは，やはり大東亜戦争の結果ではないか。それで実は東南アジアへいきましても，あるいはアフリカ，南米へいっても，また北米あたりでも大体日本にむしろ感謝してるわけです。そういった意味で私は大東亜戦争は，日本のためには負けたような形になったけれども，人類のためには大いにプラスな結果を生みだしていると思います。そこでヨーロッパがいままでの方針ではいけなくなった。それで曲り角というようなことをヨーロッパの人たちがいっているわけです。それにこちらが追随して曲げなきゃいけないと思って，あわてて曲げようとしたりするのはもってのほかだと思います。

**浦辺**　曲り角じゃなくて曲げる角なんですか，こっちが曲げとるんですね。

**吉阪**　ややそういうことですな。

**浦辺**　じや，いまの曲り角というのも見方があるんで，ヨーロッパの人からみると曲り角になっとるんだろうが，われわれ民族からみると真直な道だということですか。

**吉阪**　そうですね。

**浦辺**　それについて足立先生，同感ですか，反対ですか。

**足立**　私たちは今まで路地を歩んできていたわけで，戦後は車のとおる広い道にでた。そこで人間性とか大衆，民族とか新しいよりどころをよく口にしました。しかし落着いて考えてみると，一体具体的にどれだけのものを摑み表現したか，も一つ漠然としている。

いろいろ興味深い建築は生れましたが，デコラティーブな形へ傾斜する傾向の内に，どのような人間性を摑み，意識して表現したのかを自らに問うてみるのが現在の私たちの課題だと思うんです。その見方からは日本も外国も同じです。それを合理的に摑えてゆくことは，広い道を本道にするために必要であり，感覚的なうけとめかたをしていると曲り道にはいりこむ危険があると思います。

## 人間性の回復

**浦辺**　人間性といった場合に，われわれはすぐ義理人情とかいうようなものが頭にひらめくんで，これは日本人の特質だと思うんですが，そういうようなものがヒューマニズムじゃなくて，なにか違うような気がするんですがね。その点はどうなんでしょう。

さっきも村野先生のごあいさつにあったミースの言葉にやっぱり建築は人間の魂の表現だということは，これはもう変わらない真理だと思うんですが，そうするとやはりたしかに人間というものをつかまなくっちゃ建築の本質にふれないと思います。

**吉阪**　人間性という大変抽象的な話題をいただいてしまって難しいんですけれども，それはある程度相対的な

問題だというふうに私は解釈したい。ある時代に生きている人々はその時代の中でどこかに非常に大きな重点的な価値を中心に生きている。その価値の重点の位置によってそれに賛意を表わしている人が大部分である場合には人間性は尊重されてる。その価値の位置が，人間が大部分の人の希望するところと違ったところへいってるときにはこれは人間性が否定されているというふうに解釈した方が簡単じゃないか，それで人間性の回復ということはみんなが求めているところへ価値の中心を引きずってくるということじゃないか。それでさっきの民族運動などに強引にあてはめてみるならば従来その価値の重点はヨーロッパの人たちに都合のいいようなところへおいてあった。ところがヨーロッパ以外の人たちにとってはそれは必ずしもみんなの欲しているところではなかった。それを自分たちのほしい方へ価値の中心を移動させようということがいまの運動となってでてきていると思います。だからその意味でヨーロッパの人たちにとっては，むかしの位置が動きだして，引っぱっていかれていますから曲がっちゃうということになるわけです。

**足立**　今の民族運動もやはり人間性の一つの現われだと思います。合理的にみるということは一つのメカニズムとして摑むことです。

人間の場合，時代とともに変わるものと，変らないもの，正確にいうと非常に変わりにくいものとの二重構造でみて行くことが必要です。民族運動もエゴとかプライド，生存慾といいますか，人間性の基本的なものの現われとみるのです。この二重構造がそれぞれデザインに関連してきます。摑んだ人間性のメカニズムを世界的な，歴史的な流れの中でみて，浮んできたものをとりあげ表現することが大切だと思います。

**浦辺**　吉阪さんの場合は実際の作品をとおして語られていると思うんです。作品をとおして語られている。最近は海星学園が先生の設計で建てられたがあの場合にはどういう設計プロセス，作家プロセスじゃなしにどういう意味で人間性にタッチしているか，ちょっと具体的にお話しくだすった方がいいんじゃないかと思います。

### 価値体系の移行

**吉阪**　果してあれが人間性回復の例であるかどうか皆様のご批判による他ないと思います。海星学園は適例ではないかもしれないが価値の重点の移動の例としてこんなことは拾えそうです。そして拾い上げてなるほどこれは価値があるわいと認めさせることができたとすれば一応成功と認めていただいてよいでしょう。

あの建物の位置は従来はゴミ捨場であったわけです。なんら役にたたないところで，そこには家が建たないと限定されておったところを拾いあげて建てた。それがなるほどいいところだというふうにとられたならば，その作品が一応成功したんだろうと思う。やっぱりそうでもない，ゴミ捨場には違いないということであれば，これは大変申しわけないことで，生徒をみんなゴミ捨場へ追い込んだことになるので大変申しわけないと思います。そういった意味で新しい価値を拾いあげる。拾いあげることによっていわば価値体系をこちらの方へ引っぱってくるということが行われるんじゃないかと思います。形の問題というのはできたものがいいか，悪いかということだけじゃなくて，それが人に訴えるか，訴えないかということしかない。訴えなければそれまでの話。非常に厳しい世界だと思いますが，価値の位置を自分のいい方へもってきたという例としてお話してみました。



会　場　風　景

**浦辺**　私も，長崎県にあるんで拝見してないんですが，写真判定で（笑声）いうのはどうかと思うんですけれども一種の複雑さがある。あのなかには。これはいままで日本の風流とか，俳句とか，それからいろんな弥生文化的なああいったさっぱりしたものがもってなかった新しい複雑さをもっている。ところが吉阪さんに聞いてみますとあれは非常に簡単なんだとおっしゃったんですが，おそらく私が思うのにはプリンシプルは簡単だと思います。プリンシプルは簡単なんですけれども表現としてはかなり複雑である。ああいう複雑さが出だしたのはやはりこれは吉阪さんがヨーロッパのものをはね飛ばせたというような力を得た。敵の武器をとったんじゃないか，あれを日本人だけの武器じゃなくて大いに20世紀後半の最新の武器をとって，それで敵を攻めているんじゃないかと思うんですが，この点はどうですか。

**吉阪**　どうもなんかえらいほめられたんでファイトがくじけたですな。やっぱりやっつけられるとファイトがでるもんでしてね。

**浦辺**　やっつけているつもりなんです（笑声）

**吉阪**　コルビュジエがあそこまでファイトを燃し続けたというのは年がら年中やっつけられていたんで，天につばしてみると自分の上へつばがおっこちてくるというようなことばっかしやってたんであいうふうに最後ま




壇上風景

でファイトを燃やせた。なまじっかほめるのはよろしくないと思います。

**浦辺**　足立さん，一つ代わってやっつけてください。

**足立**　私は気が弱いので……。その上，作家ですと客観的にどうあろうか，とにかく自分の好悪をはっきりしてゆけばよいといった面が強いのですが，教職にある身としましては(笑)，学生に接触するとき自分の好悪をそう露骨に示してはいけない場合が非常に多いわけです。それぞれの価値を認め，それぞれの欠点をいわなきゃならない。それが習い性になりまして，あまり元気な発言ができないんですが，本日はかえってそれが対照になってよいのではないかと思います。まあむかしとくらべまして現在は要するに多次元的価値の時代だといわれています。昔の価値体系は崩壊しているのです。醜も悪も消極的な価値とみなされています。ですから現代の価値は昔よりずっと拡大されているといってよい。そこでどれをとりあげるかが問題になります。私は吉阪さんの作品からコルビュジエの自由な造型と迫力に満ちた表現に似たものを感じるのですが。吉阪さんが多くの価値の中から特にとりあげられているもの，その必然性をご説明願えますと私たちのよい参考になると思うのですが。

**吉阪**　しかしさきほど教職にある身としてとおっしゃいましたが，私も教職にある身でございますが同時に作家というふうに二重人格をもっておる。それをなんとかしてやはり統一していかないといけない。そうしますとあれもいい，これもいいといった不偏妥当とか，客観的な，第三者的な立場でものを語ったのでは作者のときに困る。

そこでこの矛盾と解決する方法としては，問題の分析ないし解答への総合といった抽象的な範囲で不遍妥当なことを述べ，具体的な作品でその実際の応用を示してみせるということの他ないようです。分析のときも，総合のときも具体例になるとこちらの主体によっていろいろと分け方も価値評価も変わるわけだからです。

**浦辺**　教職とはあまり関係がないようですね（笑声）

**足立**　今，いわれたことが，ある程度現在の私たちのいる立場，状況を説明するんじゃないかと思います。私が先きにいったことは冗談半分に客観的な立場を述べたのです。今までの機能主義はいわばこの客観的な立場を追求して，その点でまた反逆されたのです。それは客観的に摑んだものが狭く限定されていたことと，作家がその枠の中に自らをしばりつけていたためでしょう。そこで戦後は使う人の主観を摑むこと，作家の主体性をとりもどすことが私たちの課題になり，いろいろ面白い建築が生れ，現に生れつつあるわけです。しかしそれを作家の肌で感じとるというだけでなく，合理的に摑えることが必要だと思うのです。情熱だけでなく，理性で骨骼を先ず摑もうというわけです。非合理という言葉の内にかくれている合理性を見出そうとするのです。現代史は外見バラエティに富んでいますが，その底に流れるものは合理性の追求です。私は主観をも合理的に摑もうという大それた考えをもっているのです。が，合理的に摑むとは割切ってゆくことです。割切れないものが残ることは勿論です。歴史は壁に突当り，突当りしながら変形してきた合理性のいろんな姿を示しています。この過程に新しい価値が浮んでくるのだと考えています。ですから機能主義の路地から広い道にでたけれども，以上の線上にある限り，一直線なのであって曲り道ではない。しかし情熱だけでは恣意の危険を感じるのです。私の関心は一歩下って，では設計に人間性のなにをどう具体化するか，行動する前の具体的な適確な手がかりを求め考える立場にあるのです。

## 感性対理性

**浦辺**　一般論ですが，作品に対してはたとえば，村野先生の場合の作品というのは非常に感性の面がでておる。ところが丹下さんの場合は非常に理性的なものがでておる。これは全然別の方向へいってるのか，あるいは非常にオーバーラップしてるんだけれども端々が違っているのか，その点はどういうご解釈でしょう。

**吉阪**　理性とか，感性とかいう対立よりはもっと現実社会は弱肉強食の世界じゃないかと思います。どちらでもとにかく勝つためにはあるときは理性をふりかざし，あるときは感性をふりかざして勝つために努力をしているんだと思います。勝たなきゃだめだ。その勝ち方が暴力でもって勝つならばこれは原始時代の状態なんですが，現在ではははなはだ複雑な状況で勝たなきゃならない。大東亜戦争，さきほど申しましたように，勝ったというのはこちらのふりかざしたことが実現しつつあるから勝ったというのであって，そういう意味で勝っていかなくちゃいけないわけです。ところで形の問題はいい形で感銘を与える形にならないことには勝てない。それで

デザインということが非常に大きな問題になるわけですが，理性とか，感性とかいう対立はなくて適当にその辺にあるものはなんでも勝つためには利用するのじゃないかと思います。

**浦辺**　いま吉阪さんの非常に作家的な面がでましたので，要するに勝負の世界だ。勝負も小さい国内戦の勝負の世界の時代じゃなくって大いに国際場裏での一戦を交えよう。こういうお気持だろうと思うんで，はなはだ頼もしい発言だと思います。これからどうしてもわれわれのデザインというものが国内だけの問題でなくって，すぐ国際場裏に響く，日本としてはデザインを売って食う以外にこれからの国際場裏に生きる道はないんじゃないか，そういうことを，司会者があまり意見をいうのははなはだ具合が悪いんですけれども私はそう思ってるんですが。その点について足立さんどうでしょう。

## グッド・デザイン——日本人の主体性

**足立**　たしかに日本のデザインを世界へ売っていくということは非常に大事だと思うんです。ただ現在の日本を外国からみますと，クラフト的なもので認められている。必ずしも工業デザインでは認められていない。アメリカの場合量産された工業デザインが一般にしみわたっておって，そこで反動的にクラフト的な価値が認められもてはやされているわけで，日本の現状でクラフト，クラフトということはどうかと思われる。むしろ日本は工業的な製品をもっと推進さすべきだ。それで世界と対決していくのがこれからの問題ではないか，こういうような感じをもっております。

**浦辺**　クラフトよりも工業的なもので日本が世界情勢に乗りだすという足立説なんですが，これに対して吉阪先生，どうですか，一緒ですか。

**吉阪**　必ずしも一緒じゃない。大量生産されたものを売りさばくという資本主義の社会である限りはたしかにインダストリアルなもので相手に売りだして，こちらの形を向こうに売りつける。押しつけるというまでしていいと思うんです。社会主義社会ではこれはどうなるでしょうか。しかしいずれにしてもその一番最初の形を生みだす人，創作するというところは結局クラフトとも同じようにやはり創作活動である。クラフトであろうが，インダストリアルであろうが同じことじゃないか。

ただ現在のクラフトの悪いところがあるとすれば，それはただ単に労力をかけてるとか，金がかかってるとか，難しいはなれわざをやってみせたとか，そういうふうなところに重点をおき過ぎているということじゃないか。そのようなただ単に稀少価値というようなもので訴えるんじゃなくて他の面で訴える。そしてそれがインダストリアルな方につながるようなもので訴える。そういうところにもっていかなくちゃいけない。クラフトとインダストリアルというものが結びついて，そして売りさばく方はこれは商人にまかしておいたらいい。いいものを作っといてやらなけりゃ商人も売れないんじゃないか。そういう意味ではデザインの仕事は大いにあると思います。また商人の方としちゃそういうデザイナーを利用して大いに金儲けをしてもらわにゃ困る。利用するためにはちゃんとペイをして，その人たちの生活が十分なりたつ，試験も実験も大いにやれる。そういう態勢を整えてもらわなきゃいけない。

**浦辺**　世界デザイン会議というものを日本でやろうというので，吉阪さんもいままで準備委員をされて活躍されているんですが，日本で世界デザイン会議をやろうといった場合の日本の魅力はなんでしょうか。

**吉阪**　これは向こうからくる人間のことをそう心配しなくてもいいと思う。大体われわれの問題なんです。日本が，日本人が，日本のためにどうすればいいかという問題を私は最初に考えておるわけです。日本で，そういうデザインという問題が十分認識されて，それは尊いものなんだ。十分に生かさなけりゃ日本は生きていかれないということを認識するためにこの国際会議をやっておる。決して外国人のためにやってるわけじゃありません。彼らは適当に観光にくるんでしょうからちょっとおつきあいしておくだけです。向こうが日本になにを求めているか，芸者であろうが，富士山であろうがそんなこと大した問題じゃない。日本人のためのものだ。

**浦辺**　大分色彩がはっきりしましたので，それについて足立先生，いまの日本人の主体性というようなことについて。

**足立**　私たちがものを作るとき，自分のものを作ろうと考えることは当然です。ただ，はっきり自覚していなかった嫌いはあるかもしれません。自分の心よりも世間の思惑を考えた。マスコミの進展とともに，その危険性は減りますまい。

さきほど，工業デザインを伸ばしてほしいといったのも日本の立場でいったことです。よいものが安くでき，多くの人々の手に渡ることが必要なのです。例えば，建築の場合，部品をもっと検討してグッド・デザインをこしらえてほしい。それで外国と競争するのが現代的だ，現代の力になるのではないかと感じるのです。

**浦辺**　よくグッド・デザインの問題でいわれているのは日本ではグッド・デザインがいささか生活から遊離しておる。あれは輸出向きだということは？

**吉阪**　マツヤにグッド・デザイン・コーナーというのを作りまして，とにかく日本の日用品で，われわれのふところ具合で買えるようなもので日常の用に供するものをならべております。そして，それを作っている人を励まし育てていこうということをやりだしたわけです。こ

れも大分何年かまえになりますか，現在マツヤのなかで単位面積あたり売上げの一番いいのがグッド・デザイン・コーナーです。

いま日本人がそれを買っているということがおわかりになるでしょう。決して外国人のためにやってるわけじゃございません。まあそのデザイン・コーナーがまだ本当に完全なものとは申しません。まだ揃わないものが沢山あるし，もちよってみてももうひと息だというようなところでならべられないものも大分ある。そういうものを育てていかなきゃいけないと思います。そういう意味ではまだ完全なものとはいえませんけれども，決してグッド・デザインは輸出品のためじゃなくて国内の消費のためだと思っております。

## 国際場裏へ向って

**浦辺**　デザインがいまの生活に定着した，根がはえたといいますか，そういう現象を認めますか。日本でもデザインというものが庶民の日常生活に多少根がはえだした，養分を吸収して。

**吉阪**　地方のものをなんでも売ってる店がありますね。そういうところで同じグッド・デザインのものを発見すると非常に驚くんですが，非常によく拡がっています。

**浦辺**　それは民芸品みたいなんですか。

**吉阪**　いえ，工業的なものです。さっきの世界デザイン会議ですか，これに世界の人々を呼んでいるというのがおかしいじゃないか。国内の問題なら国内だけでやりゃいいじゃないかというお説があると思います。ところがこれはたとえば日本のいろんなデザインといいますか，建築関係のものでいえば家具類であるとか，電気器具であるとかいろいろのそういうものが，国内消費だけを目当てにして作ってる間はよくならないという感じがする。国内で適当に甘やかされてものを作っておるのではよくならない。これが外国へ輸出しなければならないということになれば，外国と対決しなきゃならない。そこで勝っていかなきゃならない。そうするとデザインの問題がでてくる。世界デザイン会議を開いて外国の人々を招くということは，要するに日本のために作るんだけれども，それをよくするためには世界へ売りだすことも考えたうえこれを作ってください。そうしないと本腰を入れてメーカーがいいものを作ってくださらない。デザインのことも考えてくださらない。そういう意味で世界の人々を呼んでいるわけです。世界デザイン会議という形にして。私はそう考える。

**浦辺**　私も世界デザイン会議の準備会というものに最近出席しまして，東京の連中はなかなかうるさい。理屈が多いということを感じたんですけれども，大阪はその点少しさみしいんじゃないかと思うんです。建築家でうるさいのは非常に建築家が勉強している。しかもよく国際情勢にも通じているし，自分の力もたのんでおる。そういうところがつい現われるのであって決して悪いことじゃない。ただ大阪の春風駘蕩たるところからいけば，ちょっとショッキングだった。

どうも大阪の土性骨だけでは国際場裏では困る。吉阪説でいけば土性骨プラス理性プラス，いわゆる総力をあげての戦いでなくちゃとても勝てないということなんでありまして，デザインの問題を論じる場合でもその土性骨だけではいかん。この点純粋な大阪人としての足立先生――これは本当の純血統なんです（笑声）――大阪の土性骨について……。

**足立**　どうもこういう応答になれてないということが大阪の一つの特徴かもしれませんが，大阪の土性骨というものがあるのか，ないのか，一時よく人の口にのりましたが，全部資本主義前期の人間像なんで，現在そういうものがあるかどうか怪しいんです。

ただ，日本というものが東京一色になってしまっては，日本は正しい発展ができないだろう。地方の代表としてある程度強力な発言のできるのが大阪です。何事によらず，一偏倒は間違いのもとです。違った立場を弁証法的に統一して日本の個性をだすために生活に即した大阪の役割は大切だと思います。単なる時流に流されず，冷静に自分の進むべき道をみつめて歩むのが土性骨というんじゃないでしょうか。

**浦辺**　時間がきたようでありますが，大阪が東京に向かっての発言というようなことは非常に大事だし，日本が国際場裏に向かっての発言がより以上に大事だ。これについて最後に吉阪先生に日本が世界に向かっての発言を……。

**吉阪**　どうも関東対関西という勢力争いみたいなことになったんですが，国内でこういう関東，関西で争っておったのでは国際場裏において負けると思う。今後は団結してそれぞれのよさをもちよりながらやっていかなくちゃいけない。デザイナーもみんなが団結してやっていかなくちゃだめだ。そういうところじゃないかと思うんですけれども，如何がでしょうか。

**浦辺**　おっしゃるとおりです。デザインの曲り角というのはさっきのお話しを総括しますと，ヨーロッパ的な一つのペイブされた道へわれわれアジア，アフリカというような新しいエネルギーがぶつかっていって，向こうはこちらがまっすぐな道だ，われわれはこっちがまっすぐな道だ，というような激突の姿，そういう姿が非常に現われておるんじゃないか，向こうとしては曲り角でしょうけれどもわれわれはまっすぐな道だといったような姿があるんじゃないかということだったようです。両先生ありがとうございました。

# 計画研究者へのアンケート

最近，建築計画原論，建築物の規模算定，モジュールなど建築計画に関する諸種の研究が専門分化してきて，それが実際の設計にどれほど活用されているかが問題になってきていると思います。

そこで，研究と実際の設計・施工との間によこたわる問題，その間の結びつきなどについて，先生のお考えをお聞かせ下さい。できるだけ具体的にお書き下されば幸いに存じます。

上記アンケートについて，名古屋以西の各大学の主な計画研究者20名に依頼したところ，下記の9名の方が回答をよせられた。

回答者 (順不同，敬称略)

小島 武男 (名古屋工業大学)
前田 敏男 (京都大学)
石原 正雄 (京都工芸繊維大学)
岡田 光正 (京都工芸繊維大学)
向井 正也 (京都美術大学)
山崎 勝弘 (奈良女子大学)
上田 光雄 (大阪市立大学)
前川 純一 (神戸大学)
黒田 正巳 (熊本大学)

計画研究者へのアンケート

# 計算資料と定数資料

名古屋工業大学建築学科教授

小島武男

筆者は計画原論研究者の一端にあるので，この方面から，私見をのべたい。

**1.** 原論の研究は近来とくに分化してきているが，これが，実際の設計・施工にどれほど活用されているかこの問題に具体的な数をあげて現状を分析して示すことは不可能であろうが，私はまずイエスと答えたい。その根拠は10年前と現在との比較において，漠然とこのように答えたい気持があるが，強いて分析的に考えれば，筆者の身辺にくる若い設計者たちの話題がしばしば原論の問題に触れ，その実際的な処理や効果についての論議に変っていくことがあり，このようなことは10年前にはなかった。また間接的には戦後，多数の著書が刊行されている。これらのうちの良書と考えられるものは大抵の事務所に見られる。また先年，日本建築学会が発刊し，その解説会を各地で行なった計画パンフレットも必ずやこの方面で寄与しているに相違ないと考えられる。

**2.** 以上にのべたことはアンケートにたいし，現状で充分に活用されていると答えるつもりでのことではない。たしかに考慮はしたものの思いがけぬ点の失慮から失敗したというのではなく最初から，そのような事項を全々考慮しなかったと考えられるような設計に接することも，しばしばある。また，普通，民間の設計では期限を急がれていることが多く，完備した資料のない部門については，理論をたどって検討したり，試験を依頼して結果を待つ余裕もなく，自分の勘に頼って曖昧な決定を行なわざるを得ないという言葉も聞いている。

当初から考慮しないという態度については問題の余地がない。これはむしろ注文者側の態度にかかわる問題であり，しだいにその活躍の空間が縮少されていくであろう。資料の不足を歎いているものに対しては，研究者側ジャーナリズム，それから材料製造業者が共同の責任をもってそれぞれの立場から協力して彼等の活動をたすけ，それによって建築の質の向上に寄与すべきではなかろうか。

**3.** 原論部門の資料は大別すれば，理論の簡便な援用に必要な計算資料と，この資料を使用するために必要な建築材料に関する理化学的性状をあらわす定数資料とであろう。これらの資料に適切な解説が附けられることも必要であろう。

計算資料は研究者側から提供されるべきものであり，日本建築学会でも，建築設計資料集成によって古くからこの部門に手を染めている。しかし，ボウ大なこの分野の資料提供がこれだけで充分とは考えられない。さらに細分された分野においてさらにいきとどいたものも必要と考えるのは，いたずらな望蜀の歎とばかりいいきれないと筆者は考えている。この分野では研究者の提供物を現物化するために出版の協力がなくては，努力の実は結ばない。

材料に関する資料作成にはもちろん，研究者側の協力は必須であろうが，その前に材料製造業者の共同の発意が必要であると思われる。そしてその成果は個々の材料のカタログとして分散的にだされるのではなく，原論分野別に統一され，一つにまとめられて提供されることが極めてのぞましい。そしてその資料にかかげられる諸材料の性状定数は厳密な測定手段をもっているものによって提示されたものであること，測定以前の試料の選出が統一的な，厳密なサンプリングによっていること，したがって上記の性状定数値には必ず測定のバラツキを示す指数を附記されていることが大切である。このようなことは業者の個別的な営業政策にも関連の深いことで，なかなか実現の困難なことであるかもしれない。

しかし，現在，某誌に毎号数葉づつ入っているシートカタログはまとまれば，上にのべた線にやや近いものができあがるわけであるが，全国の材料業界がその気になって，その組織をつくり（別の意味目的をもった組織はすでに古くからあるであろう。これにその目的部門を追加して），ことにあたられるならば，本当に完備したものができるであろう。材料の製造工法の発達はめざましい。新材料も踵を接して出現するであろう。それに応じて何年かごとに上記のような資料集成が更新されてゆけば，設計者はどれほどか恩恵をこうむり，その代償は建築の質の広範囲な上昇となって支払われると信じる。

（標題は編集者が附す）

計画研究者へのアンケート

# 研　究　と　実　用

京都大学工学部教授・工博

**前　田　敏　男**

## 1. 実際と研究との間の断層

"このように研究が進んでいるのに，それを無視して欠陥のある建物を造っている。設計家は研究に理解がない"という声を聞く。一方"建築の学問がこのように分化，精細化してゆくことは，いったい必要なことか，読んでもわからない，もっと役に立つことを研究してもらいたい"という声も耳に入る。

研究結果が実際面に浸透して使われているかどうかの判断は，一断面のみみてはわからない。断熱材料や音響材料などの使用の増大は，その方面の知識の普及の証拠とも考えられる。東西面大硝子張りの大病院，採光計画のなっていない美術館など，死命を制する要素についてのABCをも無視した建物が造られつつあることは，計画の科学にたいする無智といわれてもしかたない。

研究論文というものは，理論や実験で，人を納得さすような論証をしようとするもので，できるだけ簡明にそれをやろうとすれば，基礎知識がなければわからないものになる。現在では，同じ研究者仲間のものでも，少し方面の異るものは読んでもわからないことが多い。多くの研究報告は実際家に読んでもらって，すぐ役立してもらおうというよりも，論証過程を示して，研究者仲間の承認を求めるという段階にある。そういうわかりにくい部分を除いて，簡単で便利に使えるように料理するという仕事がさらに必要である。

しかし，誰にでも使えるように簡単で便利にすることには問題がある。それには，ほとんど常に大きな誤差を伴うからである。

一つの研究結果は，設計家のための綜合学としての建築計画学に取り入れるべき面と，専門技術者の専門知識として整理すべき面との二つの面がある。設計家は，当面の問題は計算で解決できるということだけ知っており，専門技術者は，その計算方法まで知っているというのでよい。専門技術者には，多少高度の予備知識を要求してもかまわないだろう。設計家は，問題の軽重を判断して，専門技術者にそれを処理せしめるに最も適当な時期と，適切な時間を与えるべきであって，このような高い立場からの運営を教えるものが建築計画学であろう。

現在の計画原論は，専門技術者のための知識と計画学の一部とが雑然と同居している形である。実際家の中にそのような意味の専門化が行なわれていないことから，やむをえないことだが。

設計事務所などで，そのような専門家を要求する気運がみえ，すでに実行しているところもあるのは喜ばしいことである。

研究が多岐煩瑣化するという外観は，実はその研究がまだ幼稚で，充分に進んでいないことを示す場合も多い。研究というものは，一面から見ると，単純化，明確化への努力でもある。計画原論は，まだそんな段階かもしれない。設計家が使わないことを歎く前に，自ら反省すべきかもしれない。研究が進めば使いやすくなる。研究論文のむずかしさにまどわされないでくださいと，実際家には申し上げたい。

## 2. 現場からの強い要求が実用化を進める

常に強い要求があってこそ，それに答える意欲もわく。研究者は自分で拾ってきた問題を研究するとき，多くは原則的な解決で満足して次の問題に移りがちなものである。多くの研究が骨組ばかりで，便利な形に肉ずけされないでほっておかれるのも，現場からの強い要求がないからである。使われる当てがなければ，図表の計算などはなおざりにされやすい。これでは，急場の間には合わない。

現場に転っている問題の中には，現在の応識の応用として解決するものも多い。しかし，その場合の特別な条件に合うような計算や実験も必要であり，時間も要る。そのようなものが蓄積されてはじめて，役立つ知識の体系ができていく。計画原論の教科書が，原則的な記述が多くて，具体的な技術から遠いのも，教科書であるからという理由の他に，まだそのような蓄積が不充分ということにも原因がある。

現場からの要求が少ないということは，けっして現状で充分ということを意味しない。要求すべきものを見つけださないということである。計画原論や計画学の目的としていること，保健，快適，能率，経済などを不必要と考えないかぎり，研究者に研究を要求すべき問題は山ほどあるはずである。

計画研究者へのアンケート

# 設計の組織編成

京都工芸繊維大学建築工芸学科助教授

**石原正雄**

計画原論，とく換気の問題を研究している筆者のところへも，最近は工場や体育館などの自然換気計画の相談を受けることがときどきある。しかしこのような設計者はまだまれで，施工して後に施主から文句をいわれてその対策を聞きにこられる方が多い。しかし，この場合もまだ設計者としては誠実な方であるだろう。施主にたいしてなんとか口先だけでごまかしてしまうか，材料業者のせいにしてしまうか，あるいは例えば結露の問題などを自分もわからず雨洩のせいにして，施工業者に責任を転嫁しているような例も多いらしい。このような事実は建築が技術的な製品であるという確かな認識とそれにたいする設計の方式，性能検査の方式が確立していないためだと思われる。例えばユニットとしての乾燥器を設計しようとするためには加熱負荷，温度分布，水蒸気排除など物理的な各種の性能について予測を行なうとともに，試作製品について，予期した性能を有するかどうかを検査することは商品生産の常道であろう。ところが，いま単に乾燥器の大型としての乾燥室の設計が，建築家にまかされた場合どのように進められるであろうか。化学工学あるいは機械の技術者が設計する前述の方式よりもそれが一品生産であり，試作の段階をへずに予期された性能を達成せねばならぬため，一層むつかしい問題になるはずである。ところが建築では人間の生活環境というかなりの融通性（これは本来，技術上，統計的な処理方法が要求される性質のもので，一定の性能を満たすことよりむつかしい問題である）のある対象を扱ってきたためか，また施主からも厳密な性能を要求されないためかさらに主要なことは，そのような実用性を超越したところに建築設計の特殊性があるという作家的自負が，下手な設計者にまで徹底しているために，技術上の性能にこたえるという意識は，かなり稀薄になるのであろう。絵のよく見えない美術館を設計して画家から批難を受けたコルビジエは，やはり建築作家として第一級の人物であると痛感した。昔，彼が技師の構築物を賛美し，日射，通風，採光あるいは設備について概念的な饒舌をつくしたことは，単に彼の造形の詩的な存在理由にすぎなかったようだ。彼には，建築の環境計画にたいする本質的な認識があったとはいえない。

今後の建築設計は，構造計画，設備，環境計画（それらはさらに細分されて冷暖房計画，換気計画，音響計画，採光照明計画等になる）計画という仕事は与えられた条件における計算ではなしに，経済，施工その他の分野にたいする広いみとおしの上にたって専門の計画をたてる才能を要求する。そして主任建築家はこれらの計画の専門家の統制をとるという困難な役割をはたさなければなるまい。現状はどうであろうか。研究者はしだいに専門分化して，原論についていえば，熱，湿気，空気，音，光等々に分化してきている。綜括的な見方ができなくなるという悩みもあるが，それ以上，複雑な形態と，変動する条件をもつ建築の科学を，基礎から積重ねられた体系にすることが，実用化への最短コースであることが分っていても，研究をまとめようとすると常に0からはじまっているという弱点を痛感している段階である。他方，設計家は構造，設備は専門家にまかすとしても，計画の基礎となる環境計画や規模算定については自分でこれを処理しなければならない。従ってこの分野についてはとくに研究者と設計家との間の溝は広い。研究者のなかからこの溝の橋渡しをする人々が出てきてもよいがむしろ設計者のなかに分化が生じ，造形作家だけでなしに，環境計画，設備計画を専門とする人々が出てくることは，これからの要求のひとつとなるであろう。すくなくとも大きな設計事務所においては，設計のすべてについてかならずそれらの専門家のチェックを受けることぐらいはしなければなるまい。そうでなければ設計における進歩というものは，材料の進歩にすぎないことになるだろう。いずれにせよ前述の性能に対する認識がなければはじまらないことである。

研究が実際に役立つとか役立たぬとかいう問題は，このような設計の組織編成をかえることによって，論理的な思考の経路を通して具体的な内容をもって出てくるであろう。

（標題は編集者が附す）

計画研究者へのアンケート

# 研究の細分化

京都工芸繊維大学建築工芸学科講師

**岡田光正**

**研究はすぐ役に立つ必要はないということ**

たとえば，今ここに，何か一つ，計画上未解決の問題があるとする。そして，その問題の根底には，人間の心理や生理に関する問題であるとか，あるいは社会的な問題があるとかいった，非常に基本的な問題が横たわっていて，それをまず明らかにしなければ，計画上の問題も本当に解けたことにはならないでしょう。この場合，この基礎的な問題というのは，簡単に解決はつかないが，充分な時間をかけて取り組めば，解けるかもしれないというような問題であると仮定する。

ある研究者は，むずかしいところは，よい加減に片ずけて，ともかく一通りの結果をまとめようとするであろうし，また別のある研究者は，その基礎的な問題に引掛って，長い時間をかけてそれに取り組んでいるために，なかなか結果が出てこないということもあるであろう。この場合，前者の研究は設計にすぐ役立つが，後者は実際には役立たないことを，何時までもやっているように見える。しかし，これはどちらの立場が間違っているということもないし，どちらの研究がより多く価値があるということも，またいえないであろう。それは問題の性質によって，当然異るはずのものであり，また研究者によっては，立場上，手っ取り早く結果を出すことを求められるために，じっくり腰を落ちつけて仕事をすることができないといったような場合もあるであろう。

もっとも，研究が，工学として，しかも計画技術の学問として，すぐれた価値を持つためには，最終的には現場の技術に結びつくことを目標としなければならない。それは当然である。しかしながら，すぐに役立つことばかりを考えていると，観察や分析がどうしても不充分でその場限りであり，対象の条件が少し違えば，また最初からやらねばならぬということにもなりかねない。極端ないい方をすれば，設計に役立つということ，学問として成立するということは，別の問題であると考えてよい。例を，すでに壮大な体系な誇る構造学の分野に取ろう。この分野では，建築学会だけでも，年間百を超える発表論文がある。しかし，その全てが，右から左へと役に立つわけではない。もし，そんなことにでもなれば，構造屋さんは年がら年中，その勉強に追い回されて，とても，構造計算などしてをられないはずである。

これまでの考え方の枠を破り，あるいは，基礎的な問題に目をつけて，より大きな利用価値を狙うものほど，すぐには役に立たないかも知れないのである。

**研究は細分化されねばならぬということ**

設計という仕事は，本来，総合的な仕事であるといわれる。しかし，そうかといって，その研究が全て総合的である必要はない。むしろ，逆に，設計という仕事が総合的であるからこそ，研究は細分化されねばならないともいえる。というのは，計画学の対象とするところは，複雑かつ広汎な，社会的，人間的，自然的現象であって，ある一つの研究方法が，すべての問題に通用するなどとは，到底考えられない。対象の性格と，その捉え方によって，それぞれ，独自の方法論がありうるし，またなければならない。

このような細分化は，しかしながら，対象の拡がりに従って，横方向に進行するだけでなく，細分された個々の分野の中で，縦方向にも進行する可能性がある。すなわち，分析が進み，縦の堀り下げが進行するとともに，基礎的な研究の成果を，実用的な形に飜訳するためにはもう一人の中間研究者がいなければならないといった事態が起るのである。

もともと，基礎的な研究にたずさわる研究者は，その成果を，必ず実用的な形で提供しなければならないものとは限らない。先へ進むためには，そんなことをしていられない場合もありうる。問題の性質によっては，理論の実用化は，実務家の仕事に属する場合すらあるであろう。計画学に限らず，建築学そのものが応用科学であるといわれる。そのためか，基り下げた先端は，数学，物理学，社会学，心理学といった基礎的諸学科の中にはいりこんでいることが多い。このような場合，飜訳は立派な研究であり，それを実用化させるためには，さらにもう一人の研究者が要る，といったことさえ起りうる。

要するに，個人の能力に限度のある限り，細分化はやむを得ないのではなく，むしろ，細分化しなければ，本当に突込んだ研究はできないと考える方が正しい。細分化という過程を経て，はじめて総合も可能であり，また実用も容易になるであろう。（1960.1.15.）

（標題は編集者が附す）

計画研究者へのアンケート

# 求心的と遠心的

京都美術大学助教授

**向井正也**

ごく一般的にいっても理論と実際との間にはつねに何等かのギヤップがあるのは当然ですが，建築の場合にはさらに二重のイミで計画研究と設計デザインの間にはかなりの断層があり，施工はどちらかというと研究面よりは実際の設計面に従属した形をとるのが現状ではないでしょうか。こうしたことは他の工業部門では見られぬもので，いわば建築の宿命ともいえるものだと思いますが建築の分野を大きく分けて芸術と技術とする場合，いわゆる建築家に対する技術屋というカタチの対立関係において相互間にはコミュニケーションというものがほとんどなく，お互にコンプレックスを感じていること，さらに技術関係の内で細分された各研究分野が，建築に向って求心的に組織化綜合化の努力をするよりはむしろ，遠心的にというか建築をハナして自律的に動いていることなどにアイロが見出せると思います。

もともと近代建築は，芸術と技術との和解の上に発展してきたものといわれていますが，事実はこのようにその内部的矛盾は50年を経た今日においても未だに解消していないと見られます。いわゆる技術屋さん達がどちらかというと超合理主義的立場に立ち，ユメとか人間性などにあまり理解がないのも困りものですが，一方建築家の方もその芸術家的気どりの故に，合理と非合理の二ずじ道を行きつもどりつするような態度もどうかと思います。かようなわけで両者の和解—綜合—そして大いなる前進はなお当分の間全く悲観的に見えます。従って目下専門分化しつつある計画の科学的諸研究も，これを実地に役立てるにはかなりの時日の経過を必要とするように思われます。以上の例として引きあいに出すのは恐縮なんですが，昨年竣工したコルビュジエの西洋美術館を批判された小木曽先生の激越な語調には一寸おどろかされました。あんなものは美術館の本命としての絵を見せる機能が落第だから「早く競売に付して児童遊園にでも転用せよ」というのです（建築文化，159）。だが，この内容をよむほどに，私は重要な事実を発見しました。それは先生が自らを「技術屋」あるいは「設備屋」の側におき，これと建築家（デザイナー）との間に明確な一線を引かれているという対立意識のあらわれなのです。

他の工業部門に比べて建築は生産の合理化（近代化）の上でいちぢるしい立ちおくれを見せていることは周知の事実ですが，現在進行しつつあるオドロクベキ技術革新の状況から察するに，オソかれ早かれ建築も今のままではやっていけぬ時がくることは火を見るよりも明らかだと思います。ムロン建築生産の全面にわたることではないにしても，建築は技術革新のアフリを喰って，いちじるしい工業化の進歩が予測されるわけです。そうした影響について一寸ひろいあげてみても，①劃期的な性能をもった新しい建材のホーフな生産，②建築用構造部材や仕上材，設備，調度類の工場生産の巾の増大，③設備技術の急激な向上発展，④施工技術の量的ならびに質的発展等，①②は要するに建築のプレファブリケーションの進展をいみするもので，この過程は一般に建築体を構成するものの「非建築化」，換言すれば「商品化」を意味するものであり，その意味でこれからの建築生産の工業化は建築の内側からだけはでなく，その外側としての諸々の材料や設備のメーカーの側からセールス・プロモーションという形で刺戟され，促進される傾向がうかがわれます。そこで，設計図や現場とは全く無関係に見込生産される，こうした材料や設備や建具や家具調度といったタグイのものすべてがうまくおさまるためには，③④の問題と併せ考えても，これらすべてにわたって一貫した共通な寸法上の標準規格をつくり上げるというモデュラーコォーデイネーションの必要が痛感されるわけです。

ところが，今日モデュールとモデュロールをすら混合する建築家が多いなどといわれるように，現在計画の研究者の側で唱えているこうした運動に対して，建築家の側は一向に無関心の状態にあるようです。これは一つにはそのモデュール研究に示される一見複雑で難解な数列にヘキエキするところが多いとも思われますが，一方こうしたものをもっとわかりやすく解説し，実地の応用にもって行こうとする過渡期的な啓蒙活動も不足なのではないでしょうか。建築家の側ばかりでなく，技術畑の方にも欠陥があるようです。何よりもいけないのはそうした設備や計画の研究が，その方法の上でカンジンの人間のナマの現実のあり方をほとんど反映せず，時としては建築そのものをすら離れて，遠心的にとでもいいましょうか至上主義的な独走をやる傾向があることだと思います。そして，これがまた建築デザイナー側での反撥となることは申すまでもありません。

近代建築の本格的な出発は，第2の産業革命といわれる20年代の産業合理化運動を背景にするものでした。そしてこの時からの悲願であった建築の工業化，建築生産の合理化の問題は，この60年代に入ってようやく急激な展開が予測される。宇宙ロケットや原子力が象徴するいわゆる「技術革新」にもとずく第3の産業革命において再燃しようとしています。今や次代の新しい文明の世紀を望みうる地点に達し得た今日，われわれに要求されることは，建築の内部的綜合化への方向において，長い目でものを見ていくという努力ではないでしょうか。

（標題は編集者附す）

計画研究者へのアンケート

# 色彩計画と現場調整

奈良女子大学家政学部教授

**山崎勝弘**

## 1. まえがき

戦後流行した色彩調節の理念は各色ごとに人間の心理を左右する魔力があるとし，例えば安全色彩のように火災，交通，災害等を対象とた標識の色に用いてある赤とか黄とか橙色のような原色は少なからずその効能を発揮している。しかしながら，われわれ人間の日常生活には同じ色に対して種々様々な心理作用の働く場合がある。例えば神社の緋の鳥居，街頭に立つポスト，消防自動車朱塗の卓子などはただ真赤であるという共通性はあっても，それぞれから受ける心理作用は全く別なものがある。

## 2. 色彩計画と色彩感覚との関係

ある一つの建造物の色彩計画をするに当って，その建造物の用途が明らかであれば，その用途に対してどの程度に色彩効果を上げればよいかを検討する必要がある。

色彩を積極的に用いたい場合は色彩個有の刺戟の強さ（高彩度）とか，色相対比，明度対比の強さを応用すればよく，色彩を消極的に用いたい場合は色彩個有の刺戟を弱めて（低彩度）用い，同色系統のグラデーションにより，色彩対比をできるだけ穏かにすることが望ましい。色彩の刺戟とか対比の強さの程度は，色の占める大小によって調節しなければならない。小面積の色はこれを取囲む大面積の色に支配される。われわれの視線は異った形や色を追って移動し，しかもそのような行動は無意識の中に生理現象として行なわれるから，第一の色刺戟の影響が第二の色の感覚を変化させる結果をもたらす。

色順応とか補色残像という専門用語があるが，これら二つは不可分の関係にあって，ある色を見れば必ずそこに色順応が起り，次に別な色を見ると前の色に対する順応作用が数秒間ではあるが，残っていて色彩感覚に影響を与える。この場合，白か灰色の上に視線を転じると，最初に見た色の補色に相当する色がほのかに現われ，数秒間の後にはほとんど消失する。この現象を心理学では色彩残効とか補色残像といい，客観性が認められている。

常に色を取扱っている人ならば，色を見た瞬間の第一印象と数秒後とでは色味が異るということを知っているだろう。

## 3. 色彩効果の安定を計る

二つ以上の色が視野に列んだ場合をすべて配色という言葉で表示するならば，ある色を認識するためにはその色を取囲む他の色との関係，つまり配色効果が常に一定でなければならない。ただし配色効果を安定させるには照明条件を一定にする必要がある。この意味から考えると自然光の場合は方角，時刻，天候，季節によって色温度が異るから，配色効果を安定させることは困難である。

今後地下工場，地下商店街，その他自然光がほとんど入らない場所においては人工照明を用いるので配色効果を安定させることは容易である。ただし人工照明でも色温度が異れば配色計画の補正を行なわねばならない。たとえ予備実験の場合でも，実際に使用するのと全く同一の照明光の下で行なうべきである。さらに計画通りの結果を望むならば，現場におい色彩調整を行なわねばならない。それは同じ色で取囲まれた室内においては繰返し反射のために色度が高まる場合，あるいは床面反射のために壁や天井の色が色見本よりも色相がはずれたり，彩度が上下することがあるからである。とにかく全体を配色によって統一し，細部の色彩は同系統の濃淡の方向をねらえばよい。ただし面積が小さくなるほど，彩度を高めていくようにすると一層結果がよい。ただし派手ないきかたとしては，全体の色調に対して反対色ないし補色系統の色をアクセントカラーに選ぶのが普通であるが，この場合は概念的に浮んだ色よりも彩度を2％位低くしておく必要がある。なお室内の壁は人間の顔色の背景になるので，顔色をよく見せるような色を選ばねばならない。日本人の肌色はマンセルの YR の範囲であるから，YR系統ならば同調するので，顔色が悪く見える心配はない。積極的に顔色を美しく見せる必要があればライトグレー（N7/），淡緑（5G8/1.5），淡青緑（5BG8/1.5），淡青（5B 8/1.5）の範囲を用いるのが適当である。この場合は寒色系統で壁面が支配されるが，他の部分に暖色を用いることによって緩和することができる。

## 4. むすび

最近のように冷暖房設備が完備している室内では季節感を超越して，室内の配色計画に統一を保つことによって快感を与えることが望ましい。色彩計画の根本は，要するに配色の統一美を基本とすべきなのである。

（1960.正月）

計画研究者へのアンケート

# 微　妙　な　調　整

大阪市立大学工学部助教授

**上　田　光　雄**

ピアノ調律技師が仕事をしている傍でこれを眺めていると，一見簡単なように思える。素人の見たところでは，まず基準となるAの音を振動数440の音叉を使って定め，その後は訓練された耳が最重要な道具となるが，順次高低音を調整してゆく。私の考えでは12平均律の各音の振動数が丁度簡単なモジュール関係にあってはっきりしているはづだから，しかるべき調律器具があれば素人でもできる……と思った。ところがそう簡単にゆかぬらしい。理論的に正しい（？）振動数に各音を合わせたのでは，とても演奏できるものにはならないという。A音を基準として，低音も高音も凡て規定の各音よりやや内側へ，基準音に近ずけるよう，僅かな調整がそれぞれのキイについて必要だという。

建築計画のモジュール分野においては，このような点はどうであろうか。私はそれを調べているわけではないので，あるいは的を外すかもしれないが，整然と組み立てられたモジュール系列で，実際に用いて非常に都合のよいものはなかなか得がたいのだという。実際に使用しやすいものをつくるには，もしピアノ調律時のような微妙な調整が必要なら確かに困難なことであろう。調律師は音楽理論家，あるいは物理学者ではないが，立派に演奏できるものをつくる。

長さの系列では，もちろん音の場合とは異るであろうが，研究者によって出されたものを，実用に際してさらに微妙な調整をせねば使いにくいといった点があるのではなかろうか。単音演奏でなく，建築の場合でも三次元の世界である故に。一系列のモジュールがうまくあてはまってさして不便のない用途の建築もある。一方，国立西洋美術館ではル・コルビジエのモジュールによる金具の配列が，「絵の寸法と無関係である故に，絵をかけたいところに金具がない。……絵を一枚もかけないで，金具の配列だけ見せたら美しいだろうが，あいにく壁は絵をかける場所である。この辺に建築家の独りよがりがあるのだ。」（益田氏，7月1日付朝日）といって攻撃される。浜口氏の再論（同8日付朝日）ではこの点には触れていない。コルビジエのごとき大家にしてなお，実用面におけるむつかしさに未解決の点があるように思われる。

設計計画における「モジュール」「建築物の規模算定」等の研究は今日なお生成中のものであり，一つの大きな活動的傾向ではあるが，確然と評価の定まったものではない。それをいかに判断し評価ずけるか，あるいは実際面担当者を通じて一般大衆を納得させるかは，研究者の責務であろう。だとすれば一つにはまず一般建築家に使いやすいものをつくらねば使ってもらえない。これは一般商品の場合と同じである。商品ならば売れないものをどんどん造っていってもすぐ行き詰る。研究の場合はこれとやや異り，一部の人が認めてくれれば，それが世の中に直ちに，またどのように役立つかは残念ながらあまり問題にされていないようである。本アンケートのテーマ「実際設計への活用」という立場から見れば，研究者側の自戒すべき点であろう。

研究者は概して，たてた筋道を実際の規模で行なってみる資金や環境に恵まれていない。従って微妙な調整がもし必要であっても，それに手が回らないかもしれない。といって，施主様の貴重な資金を用いて，研究者のいう通りの道筋を辿ってよいものかどうか，実際面を担当する建築家がなかなか踏みきってくれないのは当然といえよう。もし，所期の結果が出なかった場合の，道義的責任はともかく，実際上の責任とあとの世話一切が設計家および施工者にかかってくるのが実状である故に，慎重であり，評価の定まったものしか用いないということに対し，異議をとなえてみても，その声は弱い。

さらに，今一つの原因は，多数の建築家が忙がしすぎることである。研究者の書いたものになかなか目を通してもらえないのではなかろうか。研究側はそれなりに苦心して書いている。週刊誌のような面白さはなくとも，現業でお忙しい方々にせめて主題なりとも目にとめて欲しいと願う。

構造方面では，研究成果が直ちに費用の大小に関係したり，危険の度合を左右する場合が相当に多い。この点設計計画では少ないようだ。使うのに具合がよいかどうかという方であってあまり目立たない。新しい研究を全然無視した設計でも左程の不便もなく使えるし，危険がせまるといったこともまずない。規模算定の中で，法規の制限に関連ある部門においてのみ，安全性，危険性が云々される位であろう。従って研究に対する一般社会の敏感さは構造方面におよばないのはやむを得ない。映画館で火事で人が焼死したり，天井が落ちて怪我人が出たりすれば困るが，住宅の流しの高さが適寸からかなりずれていようと，動線処理が少々まづかろうと，命には別条がないのは事実であるから，安易に考えられるのはどうにもしようがないと思える。

研究と実際面との関連を深くするということは，研究者側にとって，そしておそらくは実際面担当の建築家側からも望むところであろうが，両者の交流がもっと容易に行なわれる体制となれば別だが，現在のままではまず悲観的だと見る。もちろん，努力はせねばならない。しかし，その進み方は遅々たるものであろうという月並な見方となってしまった。

（標題は編集者が附す）

計画研究者へのアンケート

# 環境計画技術者の職種の確立

神戸大学工学部助教授

**前川純一**

アンケートの題意が明確でないが，それも意図されたものの内にあるように思われるので，「研究の成果が実際に反映しない面が多い。それを改善するためにはどうすべきか」ということについて，思いつくままに記すことにする。

研究と実際が結びつかない理由は

1) 研究者は新しい研究に追われ，それを実際に適用するまで，やさしく一般技術者に解説を与えているいとまがない。

2) 実際の設計施工にたずさわる技術者は実務に追われてより以上に忙しく，新しい研究発表に目を通して実際に適用する余裕はさらにない。

というのが両者のいい分であり，またある程度実情を表しているであろう。しかし双方とも無責任に突き離すことは自身の存立を危くすることである以上，そういいながらもその谷を埋めようとする努力を拒否してはいない。だが努力しても問題が解消できそうにない理由として，

3) 研究が専門分化してきて，研究の成果を実務技術者が何らの予備知識なしに正しく適用できるような形に，資料として整理することが非常に困難になってきたまたある程度それができたとしても，実務技術者が過去の建築家のごとく，一人ですべてを消化吸収し正しく適用することは，ほとんど不可能といわねばならぬほど，研究が進んできた。

ことをあげねばならない。

問題を計画原論といわれる環境調整技術の分野に限って考えてみよう。≪冬を暖く暮らす方法≫とか，≪夏を涼しく過すには≫といったような，新聞の家庭欄程度の知識ならば，建築家の常識として問題はなかろう。建築の持つべき機能として追及されてきたことであった。しかし，問題はそこで止ってはいない。生活環境の向上あるいはそれのみならず，生産等のための新しい環境を作り出さねばならぬ要求に対しては，これまで追及されてきた機能の一それは主として定性的な一理解だけではとうてい処理できるものではなく，建築の性能を作り出してゆかねばならない。それにはすべての機能を完全に定量化することによって性能が生まれると考えてよいのではなかろうか。もちろん，現在の研究の段階で完全な性能を作り出せるというわけではなく，研究はそれを目標としている，ということであり，施主側のいわば社会的要請がそこにあると考えねばならない。科学の進歩の中に建築家のみが取り残されて済むわけはない。冬に暖く，夏涼しく，という要求は，建築設備まで含めた建築の熱的性能，および通風換気性能を正しく実施しなければ満足されない問題であるし，また騒音の防止，室内音響の調整という要求に対しては，定量的な計算の上に適切な処置をせずして実現することは全く不可能といってよい。

このような新しい建築の性能設計を，既成建築デザイナーに要求することは過酷ではなかろうか。あまりにも仕事が多過ぎるからである。研究と実際の谷間を埋めようとする努力は非常に結構ではあるが，現在の状態においては正しい解決にいたらないのではないかと恐れざるを得ない。例えば，建築学会の設計計画基準委員会から出された一連の設計計画パンフレットは，この努力の一つの表れといってよいであろう。そしてある程度の成果はあったかもしれない。しかし，その中で上に述べたような性能設計をねらったものは僅かであり，大部分はデザイナーのための絵本というのが始めからの企画であった。これでは問題の的を外し，安易に糊塗する結果となり，かえって正しい解決と進歩を阻害するのではないかという恐れも出てくるのである。

それでは正し解決と進歩の道はどうであろうか，すでに一部では実現しつつあるということであるが，実務にたずさわる技術者の組織の中で，設備計画を含めて環境計画を専任する職種を確立することではなかろうか。これまではデザイナーと構造技術者の立場は確立されていたが，設備に関してはほとんど設備業者，すなわちその大部分が機械技術者に委される形であった。それを改めて，デザインと構造の他に，環境計画技術者が加わり三者一体となって設計，施工を行なう組織ができ上がることが，解決へのまず第一歩であると信ずる。今までいわゆる計画原論の研究者が，研究と実際の橋渡しをしようとしても，それをまともに受けとめてくれる相手がなかったために，その方法に戸惑っていた感がある。環境計画を専任する技術者がでれきば，明確な目標と手段によって研究を実際に結びつけてゆくことができるわけであるし，適切な成果を生んでゆくことになるであろう。

これまでの計画原論はこれを契機として大きく飛躍させねばならず，技術者養成機関としての大学の教育内容も基本的な改革を必要とするであろう。計画原論の進むべき道としてこれは当然の発展であり，実務企業体の中からぼつぼつそのような組織が生まれつつあることを聞いて，研究者としても早急に，その要求に応じられる態勢を整えなければならぬことを痛感するものである。

計画研究者へのアンケート

## 研究の結論を年報に

熊本大学工学部教授

**黒田正巳**

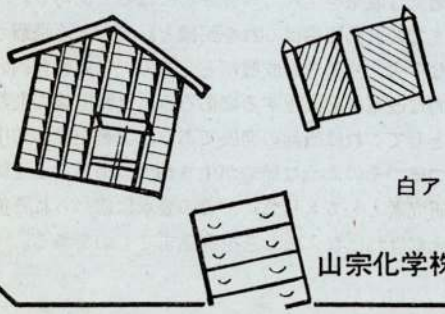
材料，構造，施工の部門（構造部門と呼ぶ）は，研究と実際が比較的結びついているのに，計画，歴史，意匠の部門（計画部門と呼ぶ）はそう結びついていない。構造部門は，建築がこわれるかどうか，コストが上るか下るかという，建築の死命を制する基本条件や，安いか高いかという目前の利害に関する問題であるのに対して，計画部門は，基本条件の上にさらに加えるべきもの，従ってとかく，どうでもいいこと，ぜいたくなものとされてきた。日本のおくれた建築界は，建築の基本条件をなるべく安くみたすだけに精一杯であったので，研究もこの部門が比較的早く開拓され，教えられ，結論は次々に基準化され，時々は法制化されて強制された。従って計画部門のおくれはそういう所に原因があるのであって，わが建築界の発展に伴って，計画の研究も進み，従って実際との結びつきも追々強くなっていくであろうが，それをより促進するには，

**研究の結論だけを平易に書いたものを年報として出版すること**，も一法であろう。

現在，研究は大学などの研究機関が出版する研究報告と，建築学会の論文報告集によって公表されているが，設計者はこれらを容易には入手できない。やっと入手できても，これらの多くは難解な文章や数式が長々と書いてあるので，設計者がこれを読んで理解し，自分の設計に利用しうる部分を発見するには大変な時間と労力を費さねばならない。だから，研究の利用できる部分の結論だけを平易に書いたものを，特定の建築ジャーナリズムかあるいは建築学会あたりが，年報の形式で安い価格で出版する方法をとればよいと私は思う。もちろん研究者の独善的な結論がのることを防ぐために，その編集は厳正なものでなければならぬ。こういう年報が数年分たまると，「建築学会設計計画パンフレット」のような設計基準が出版され，さらにはその中のいくつかは法制化されるであろう。健康保険制度が国民の幸福を守るために法制化される今日，計画部門の中の建築衛生学的部門だけでも法制化を急がねばなるまい。そのためには研究自体がもっと進むことが大切であって，とりわけ，私が行なっているような研究，すなわち，建築物はこうみえるから予めこう設計しておかなければならぬ，という設計基準を作るための研究にも多数の研究者が参加されることが切望される。この種のことは，ヴィトルヴユウスの昔から，実は設計者の目分量にゆだねられてきたもので，一日も早く科学的な基準を打立てる必要がある。

（標題は編集者が附す）

住宅や家具につく白アリや害虫を退治します、その上「アリノン」は
くされ・かびにも特効があります。



白アリに アリノン

山宗化学株式会社 東京都中央区八丁堀2丁目3番地 電話（551）5292・3634・0729
大阪市西区江戸堀下通2～38西船場ビル 電話大阪（44）7715・2803

# 設計者へのアンケート

設計にあたっては，いろいろの研究分野の成果をとり入れておられることと存じますが，実際に設計されている立場からみれば，その計画途上において，障害となるもの，困ったことがらにでくあうことが多々あるのではないかと推察します。たとえば，計画原論の適用，新材料の採用などについて，果してその成果が生かされているのか判然としない場合もありましょうし，法規の点でも随分悩まされることがあろうかと存じます。

下記の分野のどれでも結構ですが，何か，そういった障害となったもの，困ったこと，あるいは研究に対する注文といったもの，さらに日の目をみなかった計画などがありましたら，できるだけ具体的にお知らせ下されば幸いに存じます。

a　計画原論環境衛生において
b　新材料において
c　構造設計において
d　ガス・電気・電話などの附帯設備において
e　法規において
f　基本計画に対する施主の受けとり方において
g　日の目をみざる計画について
h　学校教育および研究に対して
i　その他において

上記アンケートについて，約35名の設計事務所，官公庁，請負設計部の第一線の設計者に依頼したところ，下記の12名の方が回答をよせられた。

回　答　者（順不同・敬称略）

彦谷　邦一（彦谷建築設計事務所）
田村　敏夫（日本住宅公団大阪支所）
佐野　正一（安井建築設計事務所）
近藤　正志（村野・森建築事務所）
志保井正夫（日建設計工務株式会社）
陶浪　貞彦（清水建設KK大阪支店）
香取　禮三（東畑建築事務所）
光安　義光（兵庫県住宅課）
井上　　滉（大阪建築事務所）
小林　武夫（KK大林組設計部）
松本　彦次（大阪府建築部営繕課）
鍛治　延男（桂建築設計事務所）

設計者へのアンケート

# 障害は設計者が作る

彦谷建築設計事務所

**彦谷邦一**

私どもが建築の設計に当って，もっとも大きな障害は何だろうか，考えてみれば総てが障害であり，また考え方によれば総てが設計に対して必要なる障害であって，むしろそうした障害の上にたってこそ設計ということがあるわけで，いろんな障害とか抵抗こそ転じて設計へのエネルギーとなるのではないだろうか。例えば平坦な極めて広い土地に住宅を建てる場合と，土地は凸凹で陽当りはあまりよろしくない，しかも狭くて土地の形も面白くないといった所に住宅を建てる場合は，少なくとも立地条件においては明らかに後者の方が不利であり，平面計画上からいってもやりにくいわけである。もちろん，その他に住い方とか経済の上でもいろいろ条件が重なるわけで--概にはいえないが，少なくとも土地の上から見れば，やりにくいはずであるが，見方によるとこうしたむつかしい条件のもとに計画を始める方が，むしろ設計がやりいいということもいえるわけで，さらに住い方にも経済的にも何の制約がないとしたら果して設計ということが成立するだろうか，かえって非常にやりにくいわけである。幸なことに，そういうことがなくて現実には四方八方からいろんな障害にあうものだから設計ができるというものではないだろうか。従って設計というものは与えられた条件の上に始めて成りたつことは当然であるが，さらにすべての障害といえどもこれを忌避する理由はない。

それでは，現実の極めて困難な条件や障害をいかに上手に取り除くかという所にだけ設計というものがあるかというと，もちろんそれだけではない。否，むしろ困難なる条件というものをいかに自らの問題とするかというところに設計者の相違がまたはあり方の違いがあるのではないだろうか。

条件が単なる障害となるか，またはそれが一つのエネルギーに転ずるかというところに設計者の違いがあるとすれば，そうした条件や障害というものも，これは設計者自らが作りだすものであって，立体的な意味において設計者自身の問題である。従って自らにたのむ何者もなくして，あなたまかせの考え方で設計をまとめ上げる場合は，あるいは条件が障害でなくなるかもしれないが，積極的にかえってそれがエネルギーにならないから，それでは困るわけで，障害をもっと積極的に対立したものとする必要があるわけである。

私どもは一つの考え方なり，あり方はもつべきであっても一つの固定観念なり，まして固定した形態はもつべきでないと思う。従って自ら一つの固定した形態なり観念をもつ場合には，あるいは障害は単なる障害に終るわけで，その障害はけっして発展的な障害にならない。これは建築家として正しい困り方ではない。

むしろ設計者としていろんな条件や障害といかにこれに対して抵抗し打ちかつか，というところにないしはそういう打ちかち方に建築の設計があり，近代建築のうまれる由縁があり，私はただこの一点に設計者の意味があるのではないかとさえ思う。いわばそういう無理な注文や要求との悪戦苦斗の結果が一つのデザインだといえるわけである。ただその場合に私どもが一つの固定した観念なり形態を持たないごとく，クライアントの側においても，それはいえるわけで，お互が近代の複雑な社会に生きているという厳しい現実の上に立って相斗い相結び合える共通の場をもつことではないだろうか。

また，もし設計というものが，単なる自然的な問題，人為的な条件や拘束の械機的な解決のみに終始するならば，そこには--個の設計者としての人格を必要としないわけである。少なくとも今日の問題として，組織によって解決され得る分野が広くなればなるほど，もはや設計者は単なる技術者だけでは生きる場はないといわなければならない。

そういう意味で，私はむしろ日々の設計に当って障害が大きな障害として感じとることの少ないのを恥じる次第である。私どもは常にいろんな問題とぶっつかりながら，真にもっともいいという解決を得られず，ただこれではどうしてもいけないということを避けることにせい一杯であるような気がするのである。

……アンケートに対するお答えとして何か的をはずれたようで恐縮ですが，これで責をふさぎます。

設計者へのアンケート

# 結露と厨芥

日本住宅公団大阪支所設計課

田村敏夫

現在の鉄筋コンクリートアパートで考慮しなければならぬ問題として，結露と厨芥の処理がある。ともすれば冬になって，かびの生える住宅，相変らずダストシュートとゴミ箱焼却炉などの貧弱な施設にたよっている現在の鉄筋アパートは，およそ理想的な文化生活をいとなむには，ほど遠いごく幼稚な成長過程にあるといわざるをえない。鉄筋コンクリートアパートにおける結露が甚しいことは，すでに衆知のことであり，その原因としては換気が少ないことがまず第一にあげられる。

炊事，風呂，暖房と現在のようにすべてにガスが使用されると，CO，$CO_2$の中毒を防ぐためにも窓をたびたび開放することが望ましいが，やはり冬期暖房熱量の損失を考えるとなかなかそれも実行されにくい。当然過飽和の水蒸気は結露する結果となり，そのような状態ではかびが生えて衣類や書籍が駄目になることが多い。北・東・西側の壁面などに，ヒル石モルタルなどを塗ることによって熱伝導抵抗をあげることも考えられるが，やはり根本的には換気の増大を計ることが最もよく，台所の調理やガス暖房によって発生する水蒸気を排除し，同時に煙臭，CO，$CO_2$などを除去するために換気ファンを取りつけることにした。現在公団規格型としてM社など2，3社の製品がある。壁面の開口をできる限り小さくするために，羽根の径は15cmになっているが，風量の減少を補うためにはモーターや羽根の形状を改良した。JIS規格で25cm，市販品と比較しても20cmの換気扇以上の性能がある。試作住宅における1年近い試用期間をへて，現在一部の団地にはこれを取りつけた。将来は全団地に取りつけるようにしたいものである。

次に厨芥処理であるが，現在のアパートでは旧態依然としてダストシュートやゴミ箱などの簡単な施設によるのみで，文化生活とは縁遠い原始的な方法によっている。うじ虫の発生，投入の際の臭気，とくに夏期における臭気，ホッパーの開閉時における騒音，集芥後の取出口のきたならしさなど近代化されたアパートの生活の中で最も不潔な所として，クレームが絶えない。塵芥の中でもクレームの発生源としてとくに問題になるのは厨芥であって，その集芥が地方公共団体や業者などによって順調に行なわれている時はまだいいとして，ひとたび不円滑になると，その惨状は目にあまるものがある。収容容器の種類を多くすることによって分別蒐集を合理的に行なうようにすれば，その内容によって回収の経済的効果をあげ，また終末処理の合理化も可能となるが，住宅団地において理想通りのゴミ容器をそれぞれ備えつけるということはなかなかできない。最近厨芥の科学的処理として，デスポーザーを使用して厨芥を粉砕して下水道に流しこむ処理法がクローズアップされてきた。すでに数社のメーカーによって生産され，住宅公団においても実験的に試作住宅における試用を行なっているが，まだこれも一般的に使用するには解決しなければならぬ幾多の問題がある。

すでに東京都においては，これの使用を規制する都条例の検討をはじめているようであるが，終末処理場を有する下水道においても，その影響として，沈澱汚泥量の増大，蒸発残留物の増加，浮遊物質増加等が考えられ，かって電気釜がめざましい普及をしたために，トランスの容量に不足をきたしたごとく，終末処理場に支障をきたすことが考えられ，また一般下水路に放流すれば腐敗のおそれがあり，近時工場排水などのために起る汚濁などが大きな問題となって，下水道法が改正されたことなど考えると現在のままで大量に使用することは困難である。メーカー側としてはデスポーザーの改良を心がけるのは当然で，粉砕能力の向上のために2段式にするとか，濾過装置をつけるとかいろいろと考案されているようである。しかしながら合流式による下水処理施設をもつ大集団住宅団地においては，現設計の規模をいくらか増大させることによって，処理は支障なく遂行できるし，また現在の市販価格は1台24,000円程度でかなり高いが，これも大量生産によってコストダウンできれば，デスポーザーの使用は充分な可能性をもつ問題となってくる。

もともと下水・屎尿・厨芥の三者は，これを分離せずに綜合的な処理方法を考えることが最も合理的・能率的・衛生的であって，それによってこそ始めて住環境は改善され，生活文化は向上し，美しい街，清潔な街づくりの目的を達成することができると思われる。

換気ファンとデスポーザー，現在の鉄筋コンクリートアパートが持つ当面の問題の一端として取り上げてみました。

設計者へのアンケート

# 建築計画のあり方

安井建築設計事務所

**佐野正一**

アンケートの答になっているかどうかわかりませんが，平生建築計画のあり方について考えていることを少し述べさせてもらいます。

設計の新鮮さというか，その計画のもつ非凡さというものは，必ずしも計画途上でしゃにむに障害を排除することを前提にするものでなくて，積みあげられた長い間の経験をもとにして，その建築のもつべき機能への正確な洞察によって極めて自然に達成できる場合が多いのではないかと思うのです。

計画の途上ではいろいろな条件を並立に考えなければならぬことは確かに多いのです。それらの条件が常に同じ方向に並んでいるのではなくて，多分に反対の条件のことが多い。従って並立して考えるといってみても不可能に近いといってよいでしょう。けれどもそれを直ちに計画途上の障害ときめてしまう必要はないというのが私のいいたいところです。なぜなら最も根本の出発点では，ある目的をもつ建物を企画するという至上の条件がただ一つ存在するだけで，いろいろな条件というものはそこから出てきた派生的な条件にすぎない。至上の条件が企画の個々の担当者に渡り，さらにデザインの構想，構造の構想，設備の構想と受渡されている間に，そのそれぞれの分野で主張する条件がつけ加えられるのであって，その解決の方策さえあれば問題はないはづでありますし，またその解決の方策は必ずなければならないはづだと考えるからです。

ただし，事実上計画の段階では多かれ少なかれある種の計画上のあたらしい試みを行なわれないことはないと思います。その試みが経験上から成功する見通しのある場合と，成功の見通しの困難な場合とにわけて，後者の場合結果がたまたま成功したときは，前者と同様あたらしい経験としてプラスに積重ねられますが，結果が不成功に終ったときにはもう一度別の試みにとりかからねばなりません。かくて計画ということはトライアル・アンド・エラーの性格をもつものだといえます。しかしながらこの経験とは果して何ものなのか，また成功，不成功というその判定は果して正しいものかとなるとすこぶるあいまいなことになってしまいます。

それは設計者の立場のあいまいさに関係があると思います。トライアル・アンド・エラーの進行はあくまで設計者の設計技術上の正しい方向での革新をめざした上での経験と，またその上に立っての成否の判断でなければなりません。あいまいになる所以は設計者がその判断を正当になし得ないか，または設計上の判断とすりかえて，単に経済計算上の判断をしたり，あるいは単に施工上の判断を下してしまったりしてしまうからだと思います。

私はこの文章の前段で結論的に各種の条件というものが大局の唯一つの条件（目的）の下に帰一してしまうのだと申しましたが，このことを解していただくためには，あくまでも個々の立場，すなわち，企画者，経営担当者，設計者（デザイン，構造，設備），施工者のそれぞれの立場での条件というものが，それぞれに徹底的に追求されることを前提とし，その上ではじめて最初にして最終の条件に適合する方策の樹立できることを明らかにしておく必要があります。それでなければ，個々の立場がそれぞれ別の立場での評価を繰り返すだけであいまいとトラブルは避けられないことになるでしょう。

それならば最終での解決の方策とはどうして得られるか。私はトライアル・アンド・エラーの計画段階を反覆して設計者の立場での見極めを明確にした上で，施主すなわち企画側，施工者側双方への忍耐深くかつ勇敢な話合いが行なわれるべきであり，この話合いでの解決の鍵は設計者が双方の立場を充分に理解していることを必須の資格として，いいかえるならば設計者が解決の鍵をにぎっていることを充分に認識し，設計者だけの立場をはなれて努力することにあろうと思います。

## 設計者へのアンケート

### 基本計画に対する施主（建築家）の受けとり方において

村野・森建築事務所

**近藤正志**

このアンケートの題名に対して「施主」という字の代りに「建築家」という字を入れ替えた方が話しやすいように思います。

この二つの文字は常に相対的にあるものと思えます。そして私の場合は，現実的に施主に直接する立場でなくて間接的に推察する程度であります。それでありますから，私は施主の態度とか意志を現実的にどうあってほしいとかいうのでなくて，私ども建築家が基本計画に対してどうあるべきかということについて，技術的に云々することでなくて，すべての建築設計に対する建築家のあり方について考えたいと思います。つまり私ども建築家は大体においてあらゆる場合に多かれ少なかれ自由な発想に終始することはあり得ないことと思われます。

多くの議論が起りそうでありますが，わが国の現代建築は欧米諸国の建築に対して少数の例を除いては大体において高度にあるとはいえないと思います。

わが国の新しい大建築はかなり高いレベルにあると思えますが，建築の規模の大小を問わず，小店舗から小住宅にいたる路傍の小建築の一切にわたり彼我を比較してみますと，わが国の建築がまだまだ欧米の域に達していないと思わざるを得ません。いろいろの原因がありましょうが，私はそのもっとも大きな原因の一つは，社会に対する建築家の地位の問題のように思えます。

ヨーロッパとわが国とはその伝統的文化の質の相違があまりに大きすぎる。現代は残念なことにわれわれの伝統の延長の方向にはなくて，彼等の伝統の方向により多くあると思われます。このことは現代建築の質の問題をかなり大きく左右しています。私どもの国のあらゆる現代に生きている都市のいかにみにくいことか，このことはそれを明白に立証しています。それですからただ歴史的なものにたよっている都市はいまだに美しいと思われます。その質的変化の苦悶はわが国の大都市をみにくくしています。それが過渡的なものであり，やがて混乱はしずんで行き澄み，ヨーロッパの都市のように美しくなるかもしれません。

このような混乱を少しでも早くしずめ，その間隔を埋める仕事を私ども建築家は一層充実させねばならないと考えます。文化の生成がただ建築家のみによるものでないことはもとよりであり，また建築が建築家の独り相撲だけのものでないことも自明のことでありますが，建築家の発想と意志の強靱な表現がわが国においては少なすぎはしないでしょうか。提出された課題を処理するという場においてはヘゲモニイはわれわれの側にあらねばならないと思われます。周知のことであり何人も異論のあろうはづのないことが，現実にはその様相を変えていきます。一つには資本主義社会の歪みかもしれませんが，ただそれだけではなく，その証拠にはヨーロッパ諸国の大多数がわが国と同じ社会組織であるからであります。過日ヨーロッパを巡る機会を得ましたが，スエーデン在住のTという建築家と建築家の地位について話をしましたが，すでに幾度も聞いていたことであまり珍らしいことでもありませんでしたが，それにもかかわらずあのように強調されると今さらのように深くうなずかないではいられませんでした。スエーデンの建築家がうける社会的待遇が非常に高度にあるということについて具体的に詳細には知ることができませんでしたが，それはとうてい日本とは比較することがおかしいくらいであるということでありました。このことはただ北欧諸国だけではないようでした。そのような建築家の地位の確立はどのような原因と過程のものかしりませんが，それだけでもかなり面白い文化史の一面を提供していると思われます。私の知るかぎりでは，建築史はあまりこのことについて立ち入っていないようです。人間関係の相互貫入が精神史の一つとしての建築史にも導入される必要があります。けれどもこれについてはあまりに広範な問題であり，また社会思想の自らにおける貧困さのためにためらはざるを得ません。けれども私はスペインのある食堂のボーイが，私どもが建築家であることを知ると美術館の話をしたり，プラドの画について自慢したりしたことが不思議でしかたがないと同時に，この民衆の心の中にさえ入っている「建築家」という職名を考えないではいられませんでした。またイタリヤの街頭の書店や駅の売店にさえ「カサベラ」や「ドムス」がおいてあるのはやはり一つの驚きでありました。私どもの国では週刊雑誌や大衆雑誌が駅頭に氾濫していますが，ついぞ建築の雑誌など見かけることはありません。あまりにも伝統的文化の質の相違を見る思いでありました。建築が大衆から強く興味を持たれていること，大事にされていること，そしてそこから建築家が社会に優遇されているという結論がでるように思われるのであります。

追記

これまでの文章は大分舌足らずの感がありそのためにアンケートの主題から逸脱してしまいました。

設計者へのアンケート

# 建築家の手に負えない建築計画上の困難

日建設計工務株式会社

**志保井　正　夫**

建築計画の過程で打ち当る困難は数えきれないほど沢山あるが，いわゆる技術的あるいは科学的に解決できるものと，全然他の原因によるものとがある。前者についてはいろいろ論議もなされ，学者も取り上げて解決への努力が払われているが，後者については誰もが仕方がないということで，すっかり放置されてしまって，各人個々については解決を望んでいながらも横につながる協力がないために強い意見として取り上げられず，困難不便をくり返している。今このアンケートの機会に，編集者のねらいからは外れるかもしれないが1～2の例について考えていただき，解決への道を開く資にしていただきたいと思う。

## 1. 建築につきまとう迷信について

建築には昔から鬼門その他の迷信が，根強くはびこっている。もちろん学校教育等では，こんな迷信は科学的に何等根拠がなく，科学者はすべからく率先してこれを打破るよう指導している。ところが一旦卒業就職して実際の計画に当ってみると，学校の迷信打破論などは何の力にもならない。現実の問題として，ばかばかしいと思いながらも，迷信のルールにのった設計をせざるを得なくなる。設計者も職業である以上，あまり施主の迷信に反抗しては仕事を取り逃がす。とくに学校出たての下っ端では，施主に反抗するだけの権限も与えられないので施主の気のすむままにされてしまい，それが度重なるにつれて常態化してしまって，ある年令になるとどうせ施主に直されるのだから始めから迷信のルールにのせてスケッチしないと労力が損だと考えるようにさえなってしまう。

迷信もただ一つだけの法則が定っているならまだ楽である。施主によっては独特の神様だか仏様だかがついていて，めいめい違ったことを言いだされるので始末が悪い。私も大阪の本町通りで問屋さんを設計したことがあったが，本町通りの南向きの商家では，鬼門に玄関を設けないと財産が逃げると言って，東北の隅に玄関をつけ直された。この時はスケッチ段階で直されたので設計者としての被害は少なくてすんだが，往々にして完全に設計が完了してから，「神様にみて貰ったら，こう直せといわれた」といって全然ひっくり返されることもあり，実質的に多大な労力を損する例も多い。

幸い公共的建物については迷信がすたれてきている。それでも地鎮祭，上棟式，竣工式等の儀式となると，皆が皆吉日を選んで三りんぼう，仏滅等の日にはけっしてやらない。また特定の宗教儀式を行なってはならないはづの官庁も，いまだに儀式は神式でやっている例が多い吉日は月の中5～6回しかないのでよく方々の儀式が重なる。施主にとっては一生一代の盛儀で社長以下出席となれば，設計者も下っ端のみを出すわけにいかず，われわれの事務所でも吉日には儀式参列者のやりくりに苦心する。また吉日には上司が全部出払って，決裁がとまり仕事がマヒしてしまうということもしばしば経験する。

## 2. 建物と泥棒について

建物は本来の目的である機能上および構造上の制約の他に防盗上いろいろの制約を受ける。構造の方なら建築基準法に地震，風雪等外力の標準が示されているので，（それが最低基準であっても）その通りの数値を用いさえすれば施主は納得する。泥棒についてはこの基準がなくて，施主から「これで大丈夫か？」と聞かれても答えようがないので困る。またたいていの場合，これらは建物の機能や意匠効果と相反する場合が多いので悩まされる。

非常階段を有効につけると，泥棒にとって格好の侵入路となる。一見ようがい堅固な銀行も裏口からギャングにやられる。裏口のない銀行を作ると今度は銀行員は袋の鼠で，不測の事故の際の避難ができない。住宅も泥棒要慎のため寝苦しい夏の夜雨戸を閉めきっている。古い町家の中2階等窓に格子があって，安心して開放できるのもあるが，一方そのため2階の商店員の焼死した悲惨な新聞記事が跡を断たない。郊外の団地に前庭のあるテレス住宅が並んで見る目も気持がよいと思っていると，一旦分譲されて個人のものになったらたちまち高い防盗塀がつくられて台なしになる。紙障子を守るべく作られた雨戸がガラス障子の代になっても居据っていて，毎日家庭人の雨戸の開け閉めという馬鹿にならぬ労力がくり返されている。またなまじっか雨戸があるので，これを閉めないと何となく不要慎に思われるのであろうか，昼日中に雨戸が閉っていて，「本日不在」を公告している家も見うける。

施主が一旦盗難に会うと厄介で，設計者の落度のようにどなりこんでくる。また泥棒ノイローゼになった施主には，設計者のどんな提案でも気がすまない。自分でああでもない，こうでもないと突飛な思いつきを設計者に持ちこんで設計者を悩ますものである。

迷信と泥棒。どうしたらこれを解決できるか私にももちろん対策がたたない。今日も出社の途中駅には「正恵方」のポスターがでており，電柱には「戸閉りを厳重に」と書かれている。すべての方向が公平によい方角になり，電柱に「安心してお出かけ下さい。警察が守っています」と書かれる日が来るまで，所詮建築家の手に負えない業（ごう）であろう。もっと大きな社会の問題として解決していただきたいと思う。

（偶感をそのままに　34.12.12）

設計者へのアンケート

# 道路幅員と建築物の高さ

清水建設KK大阪支店設計部

**陶浪貞彦**

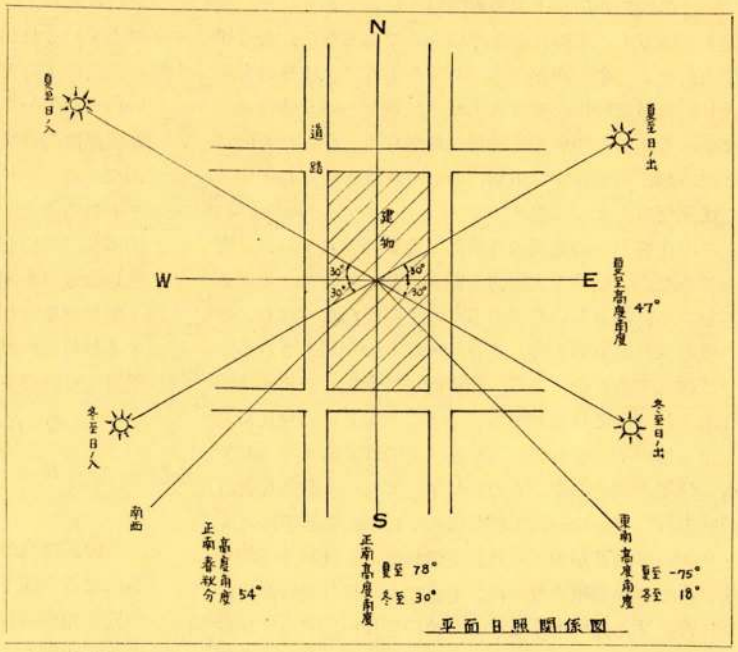
基準法第3章第58条"道路幅員と建築物の高さとの関係"——この法規に対して物いいをつけたいのであるが，結論的にいえば「北側道路の制限のみに止むべきだ」。

この法規は建物が日影をつくることについて，日照学の方からこれを是正するためであったように思う。とすればとくに南側は日影を落とすのは自分の敷地であって，南をセットバックすることの意味はないはづである。また，東および西側にしても苦労する割には意味が少ないように思われる。

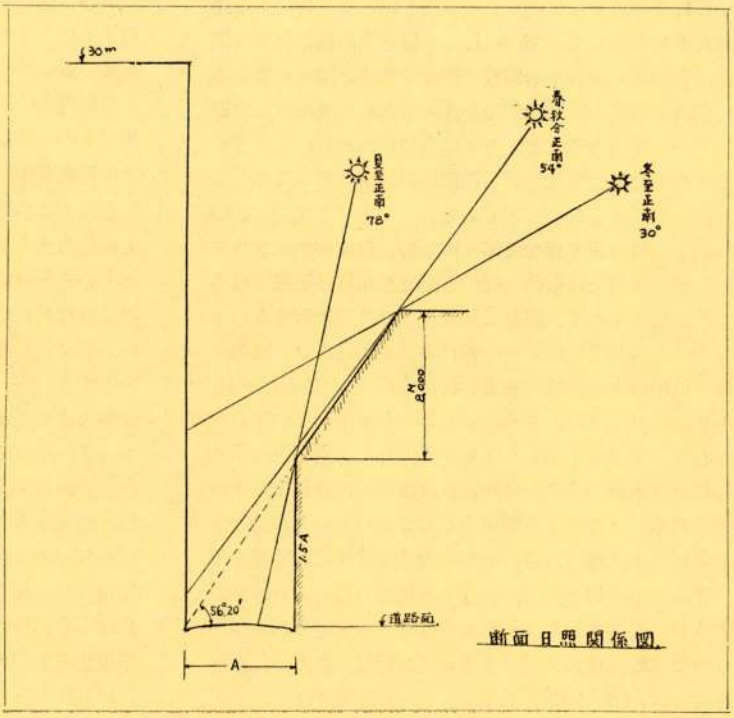
日本は国土が狭いのであるから，面積は効果的に使用すべきであり，また建築技術の発達は建物を無窓方式になす傾向さえあるくらいであるが，この法規のために建物は，構造的に無理をして，経費の高い建物となっている。

外観的に見ても久能山のいちご畑のような形はあまりよくないと思われる。

以上のことよりこの法規の主旨を尊重してあえて残すとすれば，北側道路よりの制限に止むべきではないでしょうか。



平面日照関係図



断面日照関係図

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

設計者へのアンケート

# 熱遮断に関して

KK 東畑建築事務所

香取禮三

いつの間にか紡績工場の専門屋になってしまった。戦後すぐのガチャ万時代の後半頃からであるから，もう10年余になる。糸や布がそうであったように，建築の方も乏しい機械で屋根と壁さえあれば足りたという時代で，今から考えるとずいぶん幼稚で無理なことをしたものだと思うが，五里霧中で工期に合わせればよかったといった状況だったように思う。

その後幾年かの変遷のうちに，建築の方もずいぶん変ってきたが，紡績工業の方も顕著に変ってきた。単に糸らしい糸，布らしい布であるだけでは売れなくなり，どちらもより良質のもの，よりFineなものが要求されるようになってきたのである。機構的に自動化，高能率化が要求されてきて日進月歩留まるところをしらぬ発達振りを示している。詳しいことを述べるのは省略するとしても，建築と関連の深いものを列挙しても——綿紡などは前紡工程にコーマーの工程が加えられた。精紡ではニューマニーズ装置が加えられ，糸切れによるローラーの事故や糸つぎが簡単になった。毛紡でも同様な発展が行なわれた。また高能率を上げるためのスピードアップが行なわれる一方ラージパッケージ化といって，紡績する綛の太さを太くして，巻き上った綛と空の綛の交換（玉上げという）の作業の回数を少なくする。同様の考え方で前紡工程における中間製品をとり入れて運搬する容器の大いさを大きくした，等々の事柄があげられる。それにつれて建築に要求される諸条件が厳格になってきたことはいうまでもないことである。また変ってもきている。以前は織布工程では85～90%の高湿度が要求されていたが，最近では前紡工程でも湿度が非常に要求されるようになってきて，綿紡で70%，スフ紡では90%ということにもなっている。逆に糊材の研究が進んで，織布工程で以前ほど高湿度が要求されなくなったといった面もある。それにまた，こういったことも発生している。すなわち，2年ほど前から操短が叫ばれて滞貨解決の策として行なわれてきているが，皮肉なことには何割かの機械を運転できないよう封印をしてしまうといった措置がとられると，残った分の機械を改造して運転の速度を早くするように努力して，一寸でも損をしないように努力する。そして糸として，あるいは布として許されるかぎりまで運転速度のスピードアップが行なわれて，遂に昨今では以前の5割増におよぶといった現象が生じ，そのために駆動馬力が増加して，夏の室内温度が35° Cを突破するという勢になり，今までの冷房設備だけでは間に合わず，さらに増強しなければならなくなってくる。また冬になると室内の発熱と給湿が上がったために，これまで何ともなかった建築物の屋根下面あるいは天井面や，外壁の内面に著しい結露現象が発生する。ことに2交代の作業をしているところでは，夜10.30の室内空気の温湿度が翌朝5.30の始業時までに著しく変化して，場合によっては作業に支障をきたすようになる。古くから行なわれている鋸型屋根構造で，天窓採光式のものではとくにそれが甚しく，無窓式構造のものでもその性能いかんによって影響なしとはしない。とくに最近は作業の内容が著しく変ってそのために生ずるいろいろな要求が温湿度調整装置や建築にしわよせされてきた感が深いのである。

もちろん古くから織布工場や梳毛工場では室内を比較的多湿に保持したいという要求があり，昔は昔なりの断熱理論なり断熱工法があったのである。

断熱材を含む幾層かの屋根構造を作り，その室内に面する材料面の温度がその部分の露点以下にならぬように設計するのである。

$$Q=K\cdot(t_o-t_i)\cdot A \qquad [\mathrm{Kcal/hr}]$$

$$K=\frac{1}{\frac{1}{\alpha_i}+\Sigma\frac{\delta}{\lambda}+\frac{1}{\alpha_o}} \qquad [\mathrm{Kcal/m^2\cdot hr\cdot C^\circ}]$$

この式は熱が物体を通じて伝導される量を示す最も基本になる公式であって，屋内の温度$t_i$と屋外の温度$t^0$の間に差があれば，熱は屋内外面の性状と物体を形成する各層の固有の熱伝導率とその厚さの函数である$K$に比例する量だけが，$A$なる面積を通じて移動することを示している。こうして失なわれる熱量が計算され，目的とする屋内面の温度が露点以下にならないように断熱材を用いるのである。断熱材には炭化コルク板とか，テックスの類が重用されていた。

最近では紡績工場はほとんど無窓工場になって，しかも前述のような非常にシビヤーな条件に対して各方面でいろいろと研究され，またいろいろな大規模な試みが実際に行なわれてくるようになった。初期の頃は主とする断熱層を天井面に設けて，屋根は単に屋根の用を果すだけとする。——詳しく述べることは省略するが，温湿度調整をすべき室容積を減らすことは断熱の点からいっても，また温湿度調整装置の面からいっても誠に都合のよい話であって，正に一石二鳥どころかといったうまい話で，成程と考えられるのであるが，実際はそうはうまくいかないのである。第一それはこの場合にかぎったことでないが，天井を構成する断熱層を均一な性質のもので設けるということができないことである。一定の大きさの板状のものを使わねばならないから，必ずその周囲には継目があって，その部分から直接熱が移動する。条件

が揃えばその部分にコンデンスといった現象を生ずる。また電気の配管，埋込式の照明器具その他の配管や器具が断熱層を貫通して設けられる場合には，それらの周囲の隙間から空気は移動し屋根裏面にコンデンスを生じたり，電気のコンヂットの内部や照明器具の内面にコンデンスを生ずることもあって，思わぬ失敗をすることもある。

そこで，屋根面において断熱するという方法が最近では多く採用されているようである。そこでその材料と工法について問題が二つある。その1は温湿度の条件が酷しくなってきたのに対し，材料および工法が予定の効果を発揮するようにむつかしい厳格な材料や工法が要求されるにもかかわらず，われわれが現場で遭遇するのは，材料の規格が粗雑であり，かつ工人の作業精度がお粗末なことである。何でもないことであるが，例えば板状の材料―テックス，木毛セメント板，ベニヤ板等―を並べて貼る場合などにおいても，材のタテヨコの寸法が一定でない，カネノテすなわち隅角が正しく直角でない。また厚さが不均一であるといった些細な事柄でもこれを一面に貼り上げる場合，材と材の間隙のために前に述べたような故障が生ずる。また面に凸凹を生じたりするのも具合が悪いことを生ずることがある。

その2は，続々とあらわれる新しい断熱材料をどのように使いこなすかということである。

左官材料として――蛭石（バーミキュライト）
パーライト
有孔のコンクリートまたはモルタル
新しい製造法による繊維板
接着材を混じて吹きつけるもの―石綿，コルク粉
硝子――発泡ガラス，硝子綿
石綿，岩綿――フトン状のもの，板状のもの等
ポリスチロール発泡板
特殊加工した紙やアルミフォイルを組合せてつくった積層板で空気層を形成するもの

等々である。こうした新材料が次から次へ数多く市場へでてくることはわれわれにとって誠に頼もしいかぎりであるが，これらのうちどれをどのように使用し，どのような効果が得られるか，設計と施工の問題はなかなかむつかしく，よほどの信頼度がないかぎり量的に多くを使用するということは勇気を要することである。

宣伝に来られる方々のお話を伺ったり，パンフレットを見せていただくと，なるほどよいことばかりが書いてある。中には標準工法といったものの略図を添えたり，存知あげている学校の先生方のテストの成績を添えてあるのまである。ところが，もちろん全部そうであるということはけっしてないが，中にはそんなうまい具合にいかぬものがあることである。実際の建物の設計にそれらの材料をApplyしようという時に効能書に示されたようにばかりはいかぬところが数多くでてくる。主として工法についてであるが――工費のこともまた重要なことだがここでは触れない――その工法がまずければ効果の方も当然期待通りには望めないということである。経年的なデータのないことも新材料にとっては致命的な弱点である。

その外に最近とくに注目されてきた問題として断熱材料の温湿度によってその熱伝導率が変化するということである。材料の熱伝導率はその材料について個有のものであるが，けっして一定の値ではない。温度によって若干変化するし，ことに含水率によって著しく変化するものである。このことは材の周囲でコンデンスが発生する場合はことに重要で，一旦含湿すると急激に伝導度が増大して加速度的にコンデンスが発生する場合があって思わぬ失敗をすることがある。そういう所には含湿しない断熱材料を撰択しなくてはならない。最近ようやくこうした点の重要なことが認められて，いろいろと実験や研究が進められるようになった。

ここで先に掲げた定常時の熱貫流の公式を省ってみよう。室内にある熱源があって湿度などとは関係なく完全に気密で，単に熱貫流だけで熱が移動してゆくような場合は，この公式が間に合うので，熱の移動の実態を実際の建物についてかなり正確に知るには

$$Q=K\int\int(t_i-t_o)\cdot dA\cdot dt$$

において，$K=\text{const}$．では具合が悪いことは上述のとおりである。従って$t_o$，$t_i$も一定ではない。従って$Q$も時々刻々変化するのである。

ことに夜10時30分の終業時の室内の温湿度が翌朝5時30分の始業時までにどう変化するかとか，その時の温湿度を操業可能な状態に保つにはどの程度の保温を必要とするかを決定したい時などこの式の解析が要求されるのである。

数多くの解決すべき問題に対して筆者の小文がご協力を得られるきっかけとなるならば誠に有難いことである

材料メーカー
――材料の性能の再解明，生産規格の向上とその厳守，いかに使用されるのが正しいかのFR。

研究者
――（誠に失礼ないい方で恐縮だが）単にやりやすいとか，数学的に解析できるからとかいったものだけを取り上げずに，真の隘路に向って叡智をそそいでいただきたい。理論を仮空の条件下においてのみ空転させずに実際の建物に拡張適用できるという条件下において解明してほしい

設計者
――使用の目的に従って最も適当な材料と工法を研究する。必要にして充分な効果をうるための最も経済的な工法を探究する。（以上）

設計者へのアンケート

# 計画原論の適用について(音響)

兵庫県住宅課

**光安義光**

設計時に計画原論の適用，換言すれば居住性の快適度をいかに高めるか，それを意匠上どのようにうまく空間に取扱うかが問題となってくる。

私はそれ等原論の中で音響学の場合を取り上げてみようと思う。

音響学は数学の0とか，地震時の解決方法にも似ている。残響時間を考えてやればよいという端的な解決方法を見つけだされたことが，この学問を発展させてきた原因ではないかと思う。さらに戦後材料メーカーの技術の進歩とに伴いこの数年間，素晴らしい発達を遂げていることは周知である。私は学者ではなく，音響学を通して遮音，吸音をどのように意匠表現すればよいかと考えている場合，その結果に対するトーンを把握する簡単な方法はないかと希っているわけである。

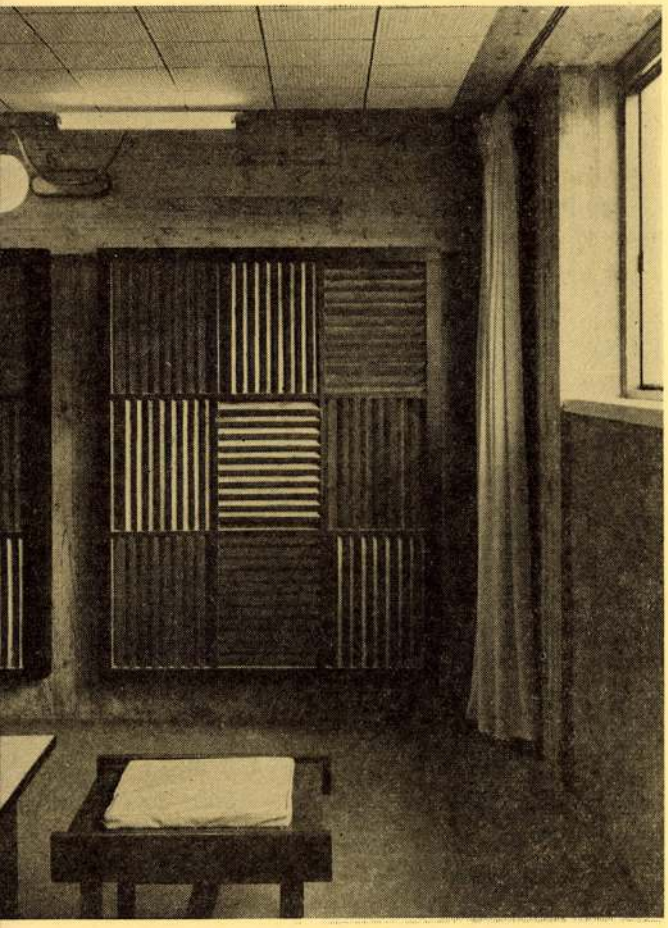
明瞭度，吸音力等の関係は数式に示されてもトーンは解らない。最近のようにHi-Fiか超高感度といわれ始めると，これは機械の分野といって安閑ともできず，全くお手上げの形である。設計のデータをもとに，一つのフォルムとか空間感情の表現を試み，さらに音響が音楽とならしめる楽器を造るというに等しいとなると，これは大変なことである。

戦後NHKスタジオのオーデトリウムのように吸音構造により，柔軟質材をもって造ったものは，録音を主体に考えられたものであろう。

最近の著名なオーデトリウムになると，コペンハーゲンリブを利用することは徹底されてきているので当然として，硬質材，パネルや堅板張り，モルタル塗り，アスタイル貼りの壁というように変ってきていることである。その硬質材の裏面処理は多様であるが，結果としては音のトーンは全く変ってきていることである。

音響を恐れて，吸音々々と柔軟質材のみを考えている私の態度と異り，硬質材からくる金属的音色，肉感再生伝声等の音との取組み方としても興味深く感ぜられる。それにつけてもトーンの判定，反射音の捕捉の器機がもっと簡単に操作できて，設計面にのせることができれば願ってもないことと思う。

私の試みた吸音のスリット，カーテンの位置，保存例を二三掲げて，この項の責をふさごうと思う。



**例1の説明（左の写真）**

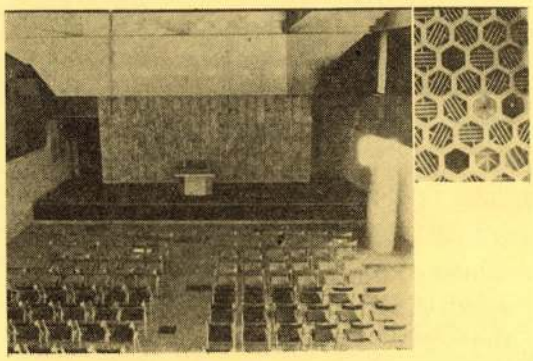
県独身寮の地下談話室

天井はモリノイドをスラブに打込みの上にアコステックス貼り，壁はコンクリートとの間を10㎜あけて，カルコン貼り，カーテンの位置はガラス窓より18cmを離して取りつけ125c/sの音の吸収を計る。

壁の吸音板はモリノイドとスリット枠組みを取りつける。

**例2の説明（下の写真）**

県中小企業センターの大講堂の天井，スリット。



設計者へのアンケート

## 雑　　感

大阪建築事務所

井　上　　滉

およそ建物の設計に当っては必ずいろいろの条件に束縛されるのは当然であります。例えば立地条件，法規，工費予算，機能，政治的商業的価値等であり，これらを充分に満足させてかつ，自己のアイディアを生かした明快な設計を完成せんと常に設計者は努力しているのです。

以前，フランスの有名な彫刻家ブルーデルの話をきいたことがあります。彼は楽聖ベートヴェンの立像を作成するに当って各種のデッサンを数十枚画き，詳細にわたって研究し，納得して一つの像を完成したとのことです。

もちろんわれわれにこのブルーデルと同じような真似はできないにしても，同じような努力をする気持は持ちたいものだと思いました。

建築の設計についても充分スケッチの時に練るわけですが，大体の場合自分のものとして案ができますし，それを上司に見て貰い，討論をしてさらにスケッチを練ってゆきます。かくしてできた案をもって施主に相談にゆく時，全面的に信用されて設計をまかされた場合は，実施設計に比較的スムースに着手できるわけですが，そうでない場合に困ることがあります。例えばごく僅かですが，強い施主の発言があった場合に，建物全体の構想が根本的に変ることが実際問題として起ることがしばしばあります。

事実建っている建物の中で，どれだけのものが設計者のアイディアを完全に表現しているかは疑問です。換言すればその実施設計までに費した幾多のスケッチの中によりよいアイディアのものが埋れているのですが，会社の組織，施主の要求，その他の客観的条件に左右されて，設計者のアイディアが何割も割引きされて実際に発表されているのではないでしょうか？

つまりわれわれが資本主義の単位として経済原則に立って働かねばならないのと，一方では他の芸術家に共通した唯我独尊的な気風をもっているために，この苦しみが生れるのではないかと思います。若い新鮮な建築家が自分のアイディアを無理に通そうとすれば恐らく窮屈でしょう。しかし，唐突なアイディアなり飛躍した理論にも一応注目して，延ばせ得るものは自由に延ばせられるような一つの場を提供して貰えるなら窮屈な思いをせずに発表できるかもわかりません。

設計者へのアンケート

## 具合よくなったこと・困ること

株式会社大林設計部次長

小　林　武　夫

感じたままお答えします。

**具合よくなったこと**

**〔色彩調整〕**　最近の工場その他一部の建物の色彩は大変に明快な感覚に一変した。これはすべて色彩調整の法則によっているのであって，誰がやっても在来のように迷うことがなくて相当の効果が得られる。かように簡単によい効果が得られることはこのごろのように設計に時間のない時には大変たすかる。これは色彩上の大いな進歩ということができる。なお欲をいえば他の種々の建物にも進んで用いたくなるような色彩調整の法則のできることを望む。

**〔豊富な建材〕**　建築材料の豊富になったことはまことによろこばしい。必要に応じては大ていの材料は整うといってよい。金属表面および防錆処理材，ビニール塗料接着材，コーキング材，断熱材，防露材，吸音材等品種も数多くあって，以前には苦心したことも今ではその材料の性質さえ知っていればなんの苦もなく解決できる。むしろこの頃では材料名，特質および価格等を覚えるのに苦労する状態である。

**困ること**

**〔設計期間〕**　戦後の建築は設備その他が大変複雑化しているにかかわらず，設計期間が短かくなったことは困ったことである。これは注文者の無理解か無理を承知のご注文かはしらないが，われわれ施工業者の場合は同時に見積も要求されるので，その期間中にはとうてい完全な設計ができないことが多い。その結果設計図を充分検討するひまがなくて工事にとりかかるので，工事中にたびたび設計変更することにもなる。これでは施主はもちろん，施工者も設計者も物心両面の損失である。設計は「熟慮」して工事は「断行」というようにもってゆきたいと思う。

**〔法規〕**　各府県の細部の条例が異っているので申請する側としては大変に面倒なことが多い。京阪神のように接近しているところでは，なるべく官庁間で連絡をとって同じ条例にしていただけないものだろうか。そうなれば取締られる側としては条例を熟知できるし，取締る側も楽ではないだろうか。

設計者へのアンケート

# プラスチック系床材

大阪府建築部営繕課

松本彦次

床材のなかでも貼床材料，ことにプラスチック系床材となると実に種類が多い。なかには名前は知っていてもその製品がどんなものであったかちょっと思い浮ばないものすらある。さてそれらのうちからどれか一つを選ぶとなるとちょっと迷わざるを得ない。選定がむつかしいのは単にその種類が多いためだけではなさそうである。

案外私達にその個々の製品の長所や性能がはっきりのみこまれていないためではないだろうか。不勉強であるといわれればそれまでであるが，一概にそうともいいきれない点もある。

それぞれのメーカーのカタログには，いろいろの試験の結果が示されているが，その試験の方法がばらばらであって比較のしようもないのである。例えばカタログから磨耗試験の項を拾ってみても，アクロン式，ドリー式噴砂式，吉岡式，ウイリアム式等実に多種多様であるが，相互の関係は知るべくもない。これでは実際のところ，私達には無意義なのである。全く同じことが他の試験，例えば薬品試験とか，かたさ試験などについてもいえる。

これらの試験方法を統一するとともに，今まであまり行なわれていない滑りにくさ，弾力性などについても適当な試験方法などが決められれば，選定する立場からは非常に便利であろう。

それぞれの材料にはそれぞれの特徴がなければならないし，また反面その使われる場所にも重点的に満足されなければならない条件がある。歩行の激しい場所なら，他のことは多少犠牲にしても磨耗に強い材料がほしいし薬品を扱う部屋なら仮に足ざわりが悪くとも化学的に強い材料が選ばれるだろう。個々の床材の性能さえはっきりしていれば，私達はそれぞれの長所を生かして適材を適所に使えるだろうと思う。

次に規格寸法の問題がある。シートものなど，幅や長さに違いのあるのはまだよいとしても，厚みがメーカーによってばらばらであるのはどうか。2粍，2.2粍，2.5粍，2.7粍などまちまちでは，使用する側からいっても不便だし，値段の比較もできない。製品によって一概には決められないだろうが，せめて標準厚は2.5粍ぐらいに一定した方が便利である。それ以外の厚みのものは作るのは任意であるが，標準厚のものはどのメーカーにもあるというようにしたい。これはまた前に述べた試験方法の統一とも関連している。

最後に案外おろそかにされているものに接着剤の問題がある。床材は一応それぞれの流儀にしろ試験もされ，結果も示されているが，接着剤となるとどのカタログを見ても特製接着剤程度しか書かれていない。組成はどんなものか，どの程度の接着力があるのか，耐水性はどうかなどと疑問が多い。私達の経験でもある接着剤で失敗し，他の接着剤を用いてうまくいった例もある。他の原因があったのかもしれないが，接着剤あっての床材であるから，一応私達もその組成や性能を知っておきたいと思う。

以上プラスチック系の床材ばかりを攻撃したようになったが，他の内装材料にもこれに似たことがいえるかもしれない。ただ最近プラスチック系床材の競争が激しくダンピングするため施工も粗雑になりがちであり，また価格を下げるためにうす物が横行したりしている。これでは品質の向上も到底望めないし，意外な悪評を買う原因にもなる。プラスチック系床材は一度その出発点に立ち返って反省すべき時にきたのではないだろうか。

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㉞四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
南向式レヂスター
特許第一五一三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-17
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

設計者へのアンケート

## 七癖——建築・建築物・建築家

桂建築設計事務所

**鍛治延男**

まだ私にお鉢が回って来る時期ではないと思いながらいろいろ皮肉った挙句に，無名の建築設計事務所の蠢動をご披露申し上げるとともにご叱咤を賜わろうと思いました。

建築家ということ

設計の第1目的は「壊れない」ことを前提に経済効果を上げることのように思いますが，時として設計者の主観的見地から進めて，あわよくば建築主を建築という芸術に封じこめようとする芸術家が，えてして強度あるいは構造物であることをないがしろにする風潮がみられるのは私だけでしょうか。建築主に説得するに真摯な設計態度をもってするに，それ以上に芸術的？方向への釈明に時を過すことの不憫さは，臨終の席の医師に倍し人間的稀少価値と評したいとともに，医師への責任感に似た心境を建築主に要望できたらありがたいと思いますが，これには私どもの努力と自信と責任をともないます。したがって人間性のある設計と加えて，より建築家のヒューマニティへの習練と教育とが先決のように思われてしかたがありません。

建築ということ

消耗品的建築から半永久的建築へと時代とともに推移し，おびただしい建材と，研究の数に埋れながら建築が始められている昨今です。建材の名称と性質や用途，価値等を理解しない芸術家が，好奇心と実験的な使用によって失敗に陥った憐れな建築主は，えてして建築家をジキル氏に，あるいはハイド氏に見立ててしまいます。それにもまして建材の研究とPRの不親切さ，下完全さ，むしろ偽善性が数字に弱い建築家を惑わせる結果にもなると思います。もっとも研究心の不足による要素が大部分ではありますが。かたや数字に強い建築家は××工法とか××特許計算法とかで，あたかも仲間をある屈辱の場に追いこむごとくで味気なくせしめてしまいます。いずれにしても建築自体において研究者—設計者—施工者のチームワークの悪さか，あるいは努力かの因果関係かは各人の知るところと思われます。

建築物ということ

この世界にも庶民的と貴族的とが実存して不甲斐ない生活者に脅威を与えているようです。なぜに健全な建築物が庶民のために建てられないかということの不思議さであり，住宅政策とか公共建築とかの国民性の所以等は一片の私には知る由もありませんが，建築の分野にも現実と予算の関係の納得できない面等をみても，また，埋れた働く人々の努力が，ある種の商業政策により惨敗の態であることに，建築家が労力を費しても領域外のことであるだろうかと考えてみたくなります。

車窓に流れる目新しい建物を数えてみても，高級？公団アパート群であり，公社社宅であり，附属病院，附属体育館から附属旅館，サナトリウム等々が展開されると何をかいわんやです。しかもその規模と工費と量は，その関係者の人口比を表現しているとひねくりたくなります。けれどもこれらの解決への一つの途には建築家の良識に判断と勇気とが不可欠の要素ではないでしょうか。

君子は近寄らず，虎穴は去り難くで，弱輩を顧みず思いつきを，あるいは訴えるべく，あるいは自問すべき事柄を呈しました次第ですが，より多くの範たる建築物を各位に見せていただきたくご挨拶にかえて年頭の自身への課題にしたつもりですが，あるいは悪い癖がでたとお思いのことでしょう。

杭

株式会社 武智工務所

取締役社長 福留並喜

大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階

電話㉙3606・4089

特許 防火シヤッター全般

小俣式

電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖オートマチック

株式会社 小俣製作所大阪支店

(旧田中シヤッター)

大阪市北区若松町30 TEL㉞9004・9016

本社及工場・埼玉県与野町

東京事務所及工場・東京都北区田端町



# 名古屋城の再建成って

## ― 主として外観復元と内部仕上について ―

加藤清六

離宮であった旧名古屋城が，昭和5年，名古屋市に下賜されて，翌6年から永年にわたって，天守，小天守，御殿，櫓などの実測が続けられ，精密な実測図が多数保存されているので，今回の再建工事における「旧態復元」の使命も，自信をもって果すことができたが，構造，材料の相違から生ずる，設計施工上の困難は，やはり避けがたく，幾多の秘められた苦労があった。鉄骨工事に関しては，本誌昭和33年9月号に一部掲載されたので，今回は外観復元のための要点とともに，内部仕上の概略を述べることにする。

**――屋根，軒，破風――**

城郭建築の生命を左右する外観を，正確に再現するため，前記実測図によって，屋根，軒先，破風などすべて細部まで現寸図や型板を作製し，これに基ずいて型枠をこしらえ，一つごとに地上で仮組みして誤りなきことを確かめた。屋根も破風も，層ごとに寸法形状を異にするので，そのための設備，手数は想像以上に大きいものであった。破風は銅板張仕上げであるから，桧材で作り，長大な防腐剤槽に一昼夜浸漬したあと，型枠とともに組立て，コンクリートを打つことによって，ボルトなどで固定した。型枠や破風の位置決定も，瓦割りに直接影響するので正確を期した。

使用したコンクリートは全部レディーミックス・コンクリートであるが，屋根の勾配部分では，種々検討の結果，スランプを9～10 cmとするのが最適と決め，そのための管理をとくに厳にし，かつ約4m間隔に取りつけた反り定規を頼りにしつつ，左官に木鏝で均させ，その上に防水モルタルを塗った。初層は，縄巻きをした9 mm鉄棒を60 cm間隔に横方向にコンクリート釘で固定してから本瓦を土葺き，二層以上は直径約16.5 cmの半円形断面をもつ，防腐剤に浸漬した桧材を，コンクリー釘でスラブに打ちつけて銅板を張った。破風飾り，唐草，巴などの銅板打ち出し模様，日本瓦や青銅鋳物の鬼瓦，鳥衾なども，焼失を免れた旧城のものや，図面を参考にした。

軒裏はピッチ約45cmの波型であるが，庇の重量軽減のため，粉末状パーライト入りの，次頁の図のようなブロックを，アングルおよびボルトで締めつけ，出桁，腕木などはリブラス下地として，いずれも白色モルタル塗で型状を作り出した。

**―― 窓 ――**

抱きの深い窓であるから外壁は二重にし，コンクリート壁の内側に高さ1.8mまでサーモコン・ブロックを，要所をボルトで締めながら積上げてテラゾーブロック貼，それより天井までは木造下地にラスボード張りプラスター仕上げで，外壁白色モルタルから内部テラゾーブロック面まで約46 cmの壁厚になった。旧城は白壁の片引土戸で，窓を開放した時内側の竪格子が見られたが，今回は竪格子の内側にガラスの引違または片引戸（治まりの都合で一部嵌殺）のスチールサッシュとしたから，外観は常に土戸を開放した時の状態を示すことになる。ただし5層（展望室）は，多数の観覧者の展望を便にするために，外壁つきの柱は内側に逃げ，四隅だけに壁を残して，他は全面をガラス窓とした。しかしこれでは旧態再現の主旨に反するため，旧城で壁であった部分は，白色ペイント塗の鉄板戸を，東西面は各6枚，南北面は各4枚，オペレーター操作で必要に応じて降せば，外観は白壁に見えるという方法をとった。さらにこの窓には格子がないので，危険防止の意味からガラス戸は押し出し式とし，前記鉄板戸の降りる部分は嵌殺とした。

なお，最も腐蝕の早い皿板の部分は全部ステンレス鋼板を使用した。窓の寸法は各層場所ごとに相違があるので建具図面も比較的多数作製しなければならなかった。東面と南面の石垣上部には明り取り窓があり，旧城では木製銅板張でテコ式で上下に開閉したが，今回は竪格子とも一体のスチール製で，オペレーター操作に変えた。しかし外面には同様

に銅板を張ったから外観には変化がない。

── 外　壁 ──

前にもふれた通り，外壁と軒裏は白色モルタル仕上げとした。旧城はもちろん白漆喰塗であったが，今回は種々研究の結果，普通モルタルで下塗のあと下表の通りの調合で

外壁白モルタル調合表

| | セメント | 白セメント | 川砂 | 白砂 | 硅藻土 | プラスター | マノール |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下塗 | 1 | | 2 | | | | |
| 中塗 | 1 | | 2.5 | | 0.5 | | |
| 上塗 | | 1 | | 1.5 | | 0.5 | 水×$\frac{1}{30}$ |

仕上げ，セメントシーラー2回吹付で防水処理をした。中塗の硅藻土は亀裂防止の目的であるが，上塗では白色を保つためプラスターを混入したのである。軒裏，壁とも鏝さばきに支障はなかった。

── 石　垣 ──

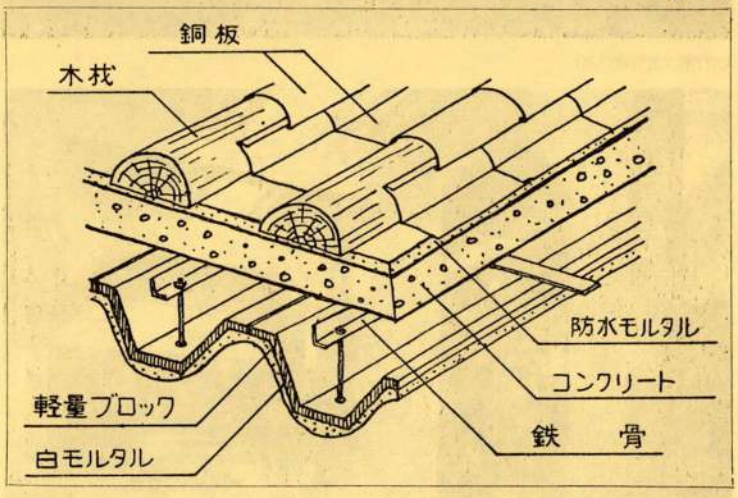
天守跡石垣は昭和30年に文化財保護法によって積替修繕がなされたが，今回ケーソン沈下工事のため天守の桝型石垣と，小天守石垣内側上部とを，正確な測量と写真撮影で記録に留めてから一旦除去し，ケーソン完了後積戻した。その他の部分にもケーソンによって若干の変形を生じたが，充分に修復がなされたほか旧城焼失後10余年を経てゆるみの出たところや，古くからある北面のふくらんだ部分，およそ100面坪にわたり，グラウティングで補強した。なお，古図に見られる小天守西南隅の出入口石積が，今回の工事で発見されたので，貴重な参考として保存することにした。

── 金　鯱 ──

金鯱も実測図と写真が残されたのみであるが，古文化財類の修理などに永年の経験をもつ，大阪の鋳物師によって，青銅製原型を作製した。焼失した金鯱は木製の芯に鉛板を張ってから，銅板の裏うちをした金板が取りつけてあって，金質は創建当時から幾度かにわたって低質なものにされ，焼失当時は14金前後になっていたが，今回は金75%，銀25%の18金を本市で直接購入し，造幣局で加工，取りつけをした。今後永年，酷暑，寒冷，風雨にさらされるものであるから，その点とくに留意し，青銅原型には漆塗，金板下の銅板や取りつけ用鋲には銀メッキをし，金板は純金呼出し処理のあとメラミン樹脂を塗るなど策を施したので，少なくとも百年の耐久力はあると思われる。



金　鯱

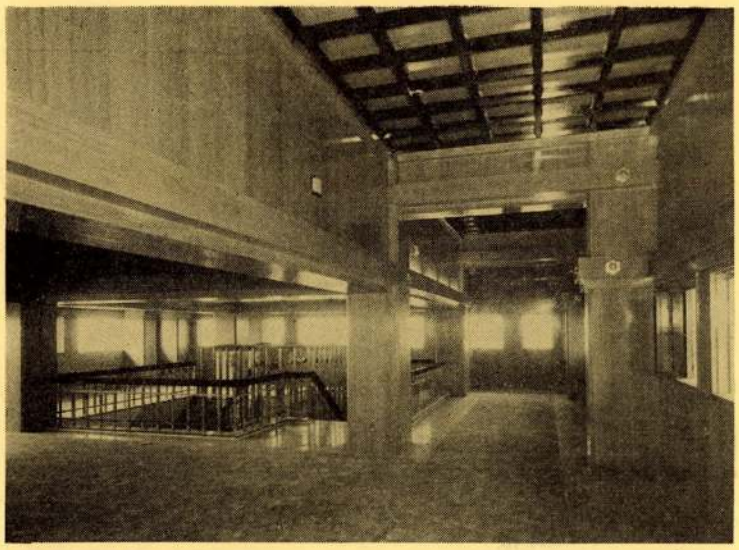



焼失前の金鯱には金網がかぶせてあったが，今回は各方面からの要望が多かったほか，盗難防止装置も完備していることだから，思いきって金網は設けないこととし，新たに長さ4.2mの避雷針2本を建てた。

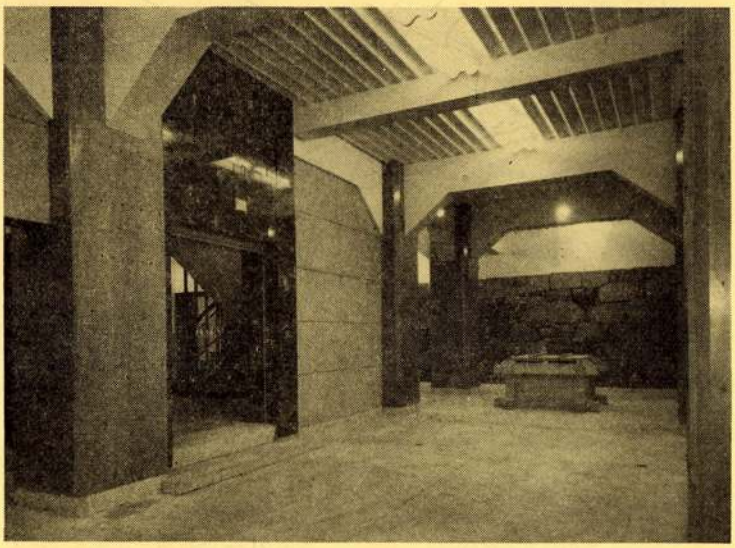
── 地　階 ──

天守，小天守共地階（石垣内にあたる部分）は，旧城では周囲が板張であったが，今回はホール部分のみ石垣を見せ，天井は1階床組露出であったのを，コンクリート下地でピッチ約21cmの波型プラスターにして，この波に合わせた乳白プラスチックカバーをもつ螢光灯の照明を採用した。天守には通称「黄金水」で知られる井戸があったが，ケーソンによって井戸底以下まで周囲の石積が掘りだされてしまったので，ケーソン頂部のマットスラブから地階床まで約2.5mにのみ石を積み，その上に井桁を組んで旧態を偲ぶよすがとした。その他，床と壁は御影石エレベーターホール壁は大理石である。

天守では建物中央部に2連の階段を設け，竪格子の各所には，石垣に刻まれている諸大名の紋所や，唐草



天守7階（展望室内部）



天守地階ホール（石垣，黄金水井戸，階段が見える。柱はケヤキ板張）

瓦の模様からヒントを得，これを図案化して打抜いた真鍮製ホワイトブロンズの飾板を取りつけてある。

**—— 展望室 ——**

構造の相違から，柱の配置，寸法などは正確に再現できないにしてもここだけは旧城の感覚を盛るようにと，天井は格天井に黒漆塗，柱，壁長押など全部桧材を使って．きず，よごれの防止のためポリエステル塗料で仕上げた。ただし床はフローリングブロック，一部現場テラゾーである。

**—— その他の階 ——**

旧城は5層5階で，天井が極めて高かったので，今回は7階にし，窓との関係で4，6階は廻廊形式にして採光，換気にそなえた。また展望室（7階）の上にタンク室を設けた。1階から5階までは近代的な展望室として，外観に捉われず割切った考えで設計し，天井は穴あきの化粧プラスターボードに螢光灯照明，壁はテラゾーブロックスまたはプラスター，床はフローリングブロック一部現場テラゾーで，各階に全ステンレス鋼製展示ケースを設置した。6階は主としてエレベーター機械室に使用，破風内部などには合計8台のファンを備えて換気をする。

小天守も，旧城では2階建であったものを3階とし，1階は展示室その他の目的に，2，3階は旧御殿の襖絵など，重要文化財の収蔵庫にあて，炭酸ガス消火や脱湿防火など万全の設備を施した。

天守1階から本丸に通じる鉄筋コンクリート造の避難階段を新設したことは，「復元」に反するが，これは必要欠くべからざるもので，文化財保護委員会からの要望をまつまでもなく，極力建物の外観を損ねないよう，位置とデザインに気を配った。

天守，小天守のほか，正門（鉄筋コンクリート造），鏡塀（木造）の再建，休憩所，便所，切符売場などの新築，城内整備，投光塔など，2年4ヶ月にわたり，総工費約6億円をかけた全工事も終り，昭和34年10月1日の完成式を目前にして，かの伊勢湾台風に襲われたのだが，何一つの損傷も受けることなく，日とともに人心も落着いて，近頃では休日には万をかぞえる入場者が押しかけるようになったことは，工事関係者として，この上もない喜びである。

（筆者は名古屋市建築局技術部営繕課長・元名古屋城建設工事事務所技術課長）



天守3階，4階（廻廊形式）内部。
斜柱は，建物の重量を石垣にかけないため，主柱よりの外の部分を釣っている。

DK 伝統の歴史と最高の技術を誇る!!

# ダントウタイル

カタログ進呈

## 淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座中通1丁目48番地
電話大阪(44)3.2・1247・6706番
東京支店　東京都中央区日本橋浜町2丁目47番地
電話　東京(671)7309番



塗りつける

SK

# 織物壁

★化学繊維の特長を生かした高級化粧壁材!

# パピロン壁

(カタログのお申込みは全国有名建材店へ)

★純和壁の最高級……

**日本壁**

★日本座敷に優美な……

**錦上壁**

★近代文化建築の塗壁材……

**いすゞ壁**

株式会社 新興建材工業所

本　社　大阪市西区四ッ橋　TEL (54) 5756~9番
九州出張所　福岡市西唐人町1番地　TEL福岡40451番

マルエス印

床の色彩調節は

"SP"

ビニエスタイル

エスタイル

屋根材

ルーフィング

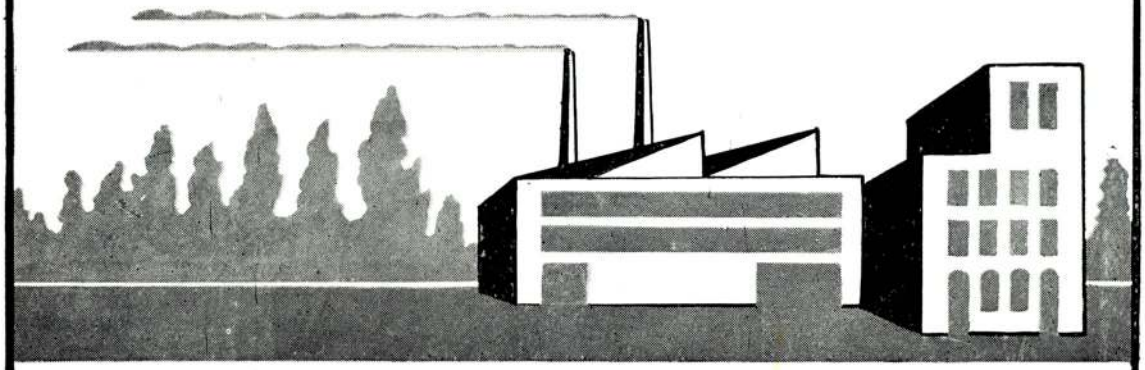
完全な防水工事をするためには

マルエス印石綿ウエルドルーフィング

マルエス印石綿エアーフリーフエルト

マルエス印石綿ノーコルーフィング（特許31408）

マルエス印ガラス網状ルーフィング



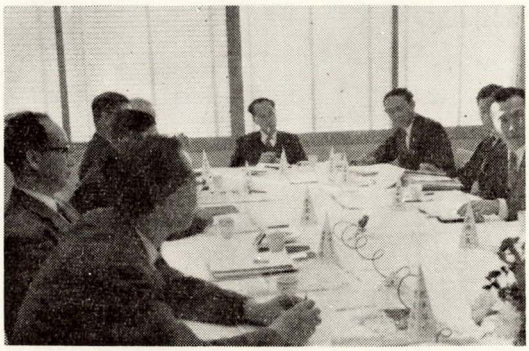
日新工業株式會社大阪営業所

大阪市西区新町北通一丁目四〇番地　電話(53)5281・5282・5283

本　社　東京都足立区千住東町九十三番地　電話 東京(881)131～6

## 座　談　会

# 伊勢湾台風について



座談会風景

と　き　昭和34年12月9日（水）午後2時
ところ　ホテルニュー名古屋集会室
出席者（順不同・敬称略）

司　会　横尾　義貫（工博・京大教授）
石崎　潑雄（工博・京大教授）
佐藤　四郎（佐藤四郎建築事務所）
山根正次郎（日建設計工務KK名古屋事務所）
吉田　憲一（久米建築事務所名古屋事務所）
広瀬　一良（中建築設計事務所）
五十嵐　昇（三共建築設計事務所）
黒川　巳喜（黒川建築事務所）
永田　良夫（日本住宅公団名古屋支所計画課長）
塚本　猛次（日建設計工務KK）



黒川巳喜氏　　佐藤四郎氏　　横尾義貫氏

**塚本**　伊勢湾台風では大きな被害とともに沢山の問題があります。横尾，石崎両先生ならびに佐藤さんのご協力を得てこの座談会をもつこととなりました。
横尾先生に司会をお願いいたしたく存じます。

## 出席者の家の被害情況について

**横尾（司会）**　それではご指名によりまして司会をさせていただきます。関西にくると思っておりました台風が，名古屋，しかもそれは未曽有の強力な台風で，しかも満潮時とかさなり大へんな災害をおこしました。私ども災害には深い関心をもっておりますので，いろいろ調べたいのですが，なにしろ広い地域にわたっていますので，調査にはほとんど手がついていない状況です。おたずねしたいことは多々ありますが，まず，その時は夜分で皆様自宅においでになったと思いますので，その折のなまなましいご体験からお聞かせ願いましょうか。

**永田**　私の奉職している公団は，鉄筋アパートばかり建てているんですが，自宅の方は木造の建売を急いで買ったようなわけで，やはり相当な被害で木造の弱さを感じました。敷地は東と南がちょっと開けていて，道路から3mぐらい高いのです。最初風は東あるいは北々東だったのですが，真壁造りで，外部は下見等張ってない部分があったのですから，8時か9時頃には全部抜けまして，内部へ壁土が飛散するような有様でした。その点では外部下見板か，鉄板かあるいは大壁造りにしてモルタル塗りにするというような措置はどうしても必要ですね。
わずかに隙間ができますと，雨戸や建具が内部から外へふきだされてしまう。閂などやる暇がなく，釘を四方に打ったが，利き目がありませんでした。屋根は瓦の留付が十分でなく，漏りは家全体に及びました。家族は長靴をはいてカッパをかぶり畳を押えてまわるというような状況でした。私は大阪でジェーン台風を経験しているのですが，今度は雨量が大きかったため被害はきつかったようです。

**司会**　大分恐ろしかったですか？

**永田**　11時頃ですか，もう1時間ほど続けば家半分は飛ぶなと思いました。最後には子供を風呂桶の中に入れたりして自分はその上に乗っていました（笑いながら）

**司会**　奥さんは？

**永田**　ええ，家内も風呂桶の中です（一同笑う）

**司会**　佐藤さんのお宅は？

**佐藤**　実にさんたんたるもので，永田さんと同じです。雨戸の話ですが，雨戸へ直接風があたると，部屋の中に押し倒されるようです。これを内側から押えていると今度は逆に表の方に吹きだされるようになってくる。雨戸の上の方が中に入り下の方が逆に外へでてしまう。板でもうちつけておけばよかったんでしょうが。私の家は切妻の屋根で，南と北側が瓦なので，東南の風では南側が危いと思っていたのに北側の方が先きに漏ってきたのです。北側の方がマイナスの風圧で浮きあがるのですね。翌朝みると棟から約1m ぐらい瓦がずれていたのですから，もちろんザザ漏りですよ。座敷の中を傘さしていったりきたりしなくちゃならない（笑）。
しっかり金をかけるというと変だけれど，本当にやるべきことはやってある仕事だと，屋根，雨戸でも被害は大したことはないのですね。この頃では安く安くで，瓦なんか釘金物で支えなくなったので，そんなのはみんな飛んでしまった。

**司会**　なんでも安く安くやることは一番悪いんですね。雨戸は，貴方のところははずれなかったとこがあるんですね。

**佐藤**　ええ，それは新しいとこは，はずれないんですね。古いやつは溝がへっているんですね。それから雨戸もやっぱり，安い雨戸は，竪框の見込みが1寸もないぐらいで安くあげるつもりでしょうが，1寸じゃ駄目ですね。少なくとも1寸2分ぐらいでないと折れてしまう。

**永田**　雨戸の最後にある猿落しですがね，あれ1本がよくきいておりました。あれのないのは飛んでいますけれどもね。

**石崎**　一枚一枚全部留めてあればいいんですがね。

**司会**　吉田さん如何です。

**吉田**　私は市営の4階建のアパートで建具は木製ですが，被害はほとんどありませんでした。しかしどこからということなく，窓廻りから水が入ってくる。これを布切れ，シーツなどで防いでいましたが，大体内法5尺7～8寸の建具で5分ぐらいは反りましたね。

**司会**　建築家としてどうでしたか。

**吉田**　そのときちょっと気がついたことでは，台風を少しみくびっていたようにみえるんです。バルコニーにでている物干用のビニール紐がはずれて飛び，ガラス戸

を叩きつける。それが一番こわかった。真暗でなにも外の状況がわからないので，それが定期的にカチンカチンとガラスに当るのです。最後には厨房の板戸を建てこんで二重にし，みんな寝てしまったのですが，後できくとガラスが想像もつかないような力でスッ飛んでいるんです。こなごなになってタンスに突きささっているんですね。

**佐藤**　あのガラスのわれているのは，瓦が飛んできてわれたんですね。

**吉田**　ちゃんと戸締りがしてあって，その建具が悪くないかぎり，そうやたらにガラスはわれるものじゃあないんですが，瓦や小石が飛んできてわれているか，戸締りが不完全で長い間ガタガタしている間にわれるのですね。

それで「備えあれば憂なし」なんですが，ちゃんと締めているものはそんなにわれない。

雨戸は是非ほしいものですね。

**佐藤**　スチールサッシも悪いものはガタガタしていますね。

**司会**　広瀬さん如何ですか。

**広瀬**　私の家は鉄板の屋根ですが，それがきれいに飛ばされました。昭和26年頃の建物で，瓦棒でこはぜにしてありましたが，飛んだのは一瞬でした。バリバリというものすごい音がしました。

瓦棒は結局釘が短かかったんですね。まあ3寸5分以下の釘だと，あの台風では駄目だと思います。それから，釣子なしでこはぜだけでキャップがかぶせてあるのも飛ばされますね。それで釘でしっかりとめるか，釣子をいれておくとか，すればいいですね。それから勾配がゆるいための吸いあげですね。こいつは私，基準法にも不満があるんですが，非常に簡単に解決してありますからね。もっと実際にはいろんな隅とかに変な吸いあげだとかが働くんじゃあないかと思う。さもなきゃあ，あんな目茶苦茶にやられることなんかないと思うんです。

**司会**　飛ぶというのは，棰木からうえが飛んでいるのですか？

**広瀬**　棰木からうえ全部です。ところが私のところでは野地板だけのこっているんです。裏板だけですね。手をぬいてコバで，すかせて打ってあったもんですからねこはぜがぬけちゃって別に飛ばなかったですから。とにかくこういう軽い屋根で勾配のゆるい軒の出の深いものをやるときにはよほど，桁と棰木の結合の仕方に気をつける必要がありますね。そうしなければ，棰木よりうえ全部もっていかれてしまう。

**吉田**　広瀬さんとこの棰木と瓦棒はくっついてたの。

**広瀬**　どうもくっついていたような，いなかったようなね。あれはとにかくがさつな建物だから駄目だったんですけどね。それにあの瓦棒の間隔が随分広かった。鉄



石崎澈雄氏　永田良夫氏　吉田憲一氏　広瀬一良氏

板口がロスしてそれでいけなかった。

**佐藤**　野地板が薄いといかんでしょう。

**広瀬**　板じゃとても駄目です。上と下とそろわなきゃ絶対駄目です。

**黒川**　棰木と瓦棒とそろわなきゃね。

**広瀬**　それと最近インシュレーションをはさみますのでしょう。そうすると釘が入らないんですよ。

あれで大分失敗していると思うんですよ。あのテックスの粗雑なはさみ方で，釘が下まで届かなかった。

**佐藤**　瓦棒のやつが大抵飛んでいて，平のやつが飛ばないのが相当ありましたね。

**広瀬**　そうでもないですよ。瓦棒でね，がっちり仕事がしてあるのは飛びませんでした。瓦は大なり小なり飛んでいる。家の外壁は，竪板でしたが，これは全然被害をうけていません。非常に悪い竪板ですが。

**司会**　建具類は？

**広瀬**　建具は案外上が抜けたから，助かったんじゃあないかな。雨戸はとびませんでした。ただ東側のガラスが大部われました。やはりあとでみてみると，さっきお話があったように，ものすごいわれ方をしているのです。細い槍みたいな恰好で，それがピューと飛びましてね。一間ぐらい飛んで後の壁につきささっているんです

**山根**　まあ一言でいえば，木造は駄目ですね。住宅でも鉄筋コンクリートでないと。瓦棒のインシュレーションですね。あれはめんどうでも瓦棒の間に切りこんでおかなければいけない。そうしないと駄目ですね。簡単にさっとやっといて瓦棒をやると釘がとどかない。

**五十嵐**　私の事務所は，下前津町にあるのですが，東の方は低地で，西の方は高台です。それで1階の床が，低い方の建物の2階の屋根と同じ高さですから，約20～30尺違うと思います。そこへ吹きつけられたわけです。事務所の構造は，木造でやはり瓦棒葺きでございます。鉄板は28番を使いまして，構造はインシュレーションをべたうちした上に，28番の瓦棒をやっているわけです。やりたくてやれなかったのは，軒出をもっと深くしたかったけれども，道路面に面しておるものですから，1尺



塚本猛次氏　山根正次郎氏　五十嵐昇氏　黒川巳喜氏

5寸の軒出だけです。鼻隠は8分の厚さで，巾1尺の板をぐるぐるとまいて，その中へ樋をしまつしてあるということで，屋根の被害は皆無でした。窓は全面的に木製の建具でずっと連続に入っているわけなんです。学校と同じように上の欄間の高さが3尺で，下の窓のガラスが4尺で，それでブルーペーンの3mmガラスが入っている。しかし戸じゃくりがしてあろうが出返しがしてあろうが木製の場合はてんで問題になりません。全部もう横からどんどん水が入ってまいります。布や新聞紙をはさんだりしていましたが，とうとう追いつけなくて，もうそのままにしておいたんです。そのうちにですね，一番風のひどいときに瓦が一枚飛んでまいりました。それでガラスが一枚破損致しました。その破損の状況は，さきほど広瀬さんがいわれたのとほぼ同じでございます。非常に鋭利な刃形になってこなごなに飛散しました。すぐ製図板をあてまして，釘を打ったわけなんです。つづいて，隣りにある木造の住宅は瓦なんかも割合しっかりした仕事がしてあったわけですが，とめてあった鋼線その他が多少腐っておったという関係で，まあ棟までは飛ばされませんでしたが，ずり落ちて，やはり相当量雨水が中へ入りました。

**司会**　黒川さんは？

**黒川**　私はただいまご出席の方々の中でも一番被害の甚大であった場所なんです。蟹江川と本流の日光川の中間に位しまして，しかも国道一号線の下なんです。この日光川から西の方一帯が最近漸く排水が終りました長期浸水70日という地域なんです。風に対して雨戸を押えたりしている内にまたたく間に水が床上へ入ってきましたようなわけで，まったく処置できなかった状態です。しかし幸いにも4尺位地盤を高くしたところに8畳2間と便所がついた離家がありまして，これはいつかの時代にいわゆる水屋として作られたものと思いますが，そこに移りまして大変助かりました。そしてその水屋の雨戸に閂が用意してありまして，雨戸に対する不安が少なくて非常に助かったですね。相当の強風でも閂があったらまず絶対大丈夫だというような感じがしたわけなんです。被害の状況は古い家なんですから，瓦も相当飛び草葺屋根もはなはだしい被害をうけました。庭木もほとんど倒れましてその上塩水に浸っていましたので無残なものです。飲料水については，水瓶に2杯と風呂桶に満水しましたので当座の水には困りませんでした。なにしろ海中に孤立したようなもので配給の水もほんのわずかですから，この水をほんとうに大切に使いましたね。またみなさんには一寸想像もつきますまいが，あくる日になりましたら魚が群をなして泳いでいるんですよ。もう一つ珍らしいことは前に申しました長期に浸水していた家は障子の桟や，柱などの木の部分に一面に小さな貝がついているんです。それからもう一つは嘘のような話なんですが，伊勢湾の蟹が障子の桟などに昇っているのでそれをすくって食料にしたという話ですね。

**吉田**　近鉄線に乗りまして，途中の電柱が，ある程度の高さまで白くなっているのをチラッとみたが，おそらくあれも貝じゃあないかと思うんですが……。

**佐藤**　やっぱり，十日とか，二週間とか水につかってですか？

**黒川**　一ヵ月位海水に浸っているとそうなるらしいですよ。私の家は幸い床上浸水が一週間で，全部地面があらわれるのに14日間ぐらいですね。比較的まぐまれていたと思っているんですがね。その間，舟のとりあいですよ。舟が唯一の交通機関ですからね。うっかりしていると，とられるんですよ。

**黒川**　ええ。舟が縁側から家の中まで入ってくる。妙な話ですが，糞尿の方ですね。これが問題だと思いますね。ほとんどの人が水の中へ流しているわけです。私の家は幸い水屋の方に便所があってその便槽が水につかっていませんのでよかったのですがね。

**佐藤**　やるところがないんですからね。

**黒川**　精神的にいやになりますね。どちらを眺めても四方八方が水で家が水に浮いているんですからね。水屋で一応の生活もでき，またそちらにあるものは全部助かりました。

**司会**　どうも生々しい話で……（一同笑う）
佐藤さんなにか。

**佐藤**　あのときは雨が前日からずっと降りましてね。26日の夕方8時か9時頃までに168mmで，それで風がでてきた。

雨戸をはずされまいと思っておさえていたんですが，私どもの雨戸には，無双窓がついているんですがね。風が少しやんだ時分にどういう様子かみようと思ってのぞいてみたら，目がチカチカするんですよ。痛いんです。それはどういうわけかというと，砂ですね。水じゃあないんですよ。砂を一杯含んでいる雨なんですよ。雨戸がかわいてからみると，雨戸の上の方に砂が一杯ついている。となりの2階の壁が今から30年ぐらい前のもので，



直径１ｍ以上の流木が高潮と共に荒れ狂ったあと

# 伊勢湾台風被害写真

## A. 流木による家屋の被害

臨港地帯の流木の山



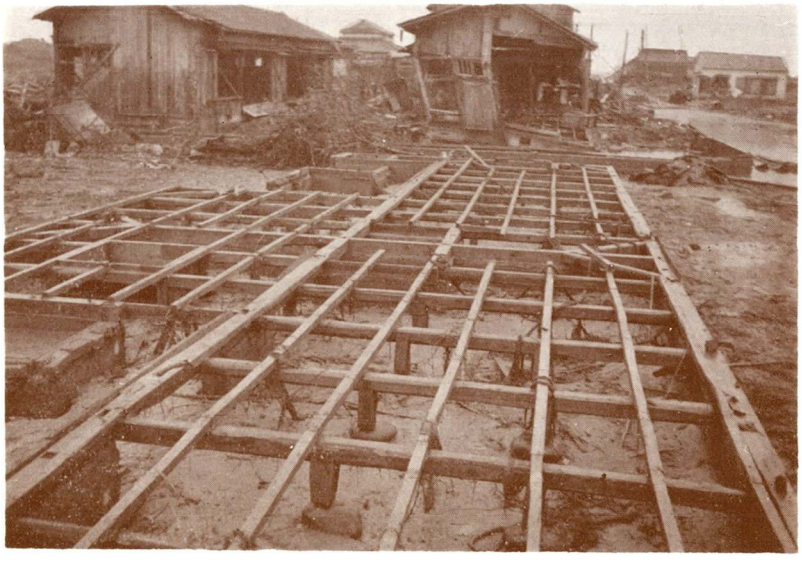
流木のおどったあと



## B. 高潮による被害



◀高潮により，なんにもなくなった。前方の池になってしまった所には約200戸の住宅が建っていた。ただ地盤の高い部分だけが，このように基礎土台のみが残った。



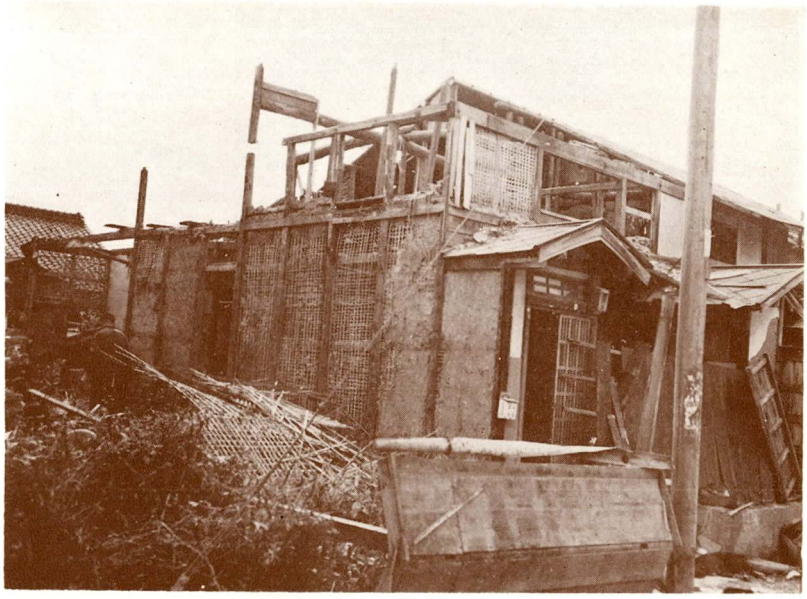
◀公営住宅の被害。ごらんの通り基礎土台より上はいかれてしまった。前方の正面の家は基礎まで洗われて落ちている。



◀高潮と流木により，かろうじて基礎を残す公営住宅のあと。

## C. 風による被害

### 壁・屋根・骨組の破損

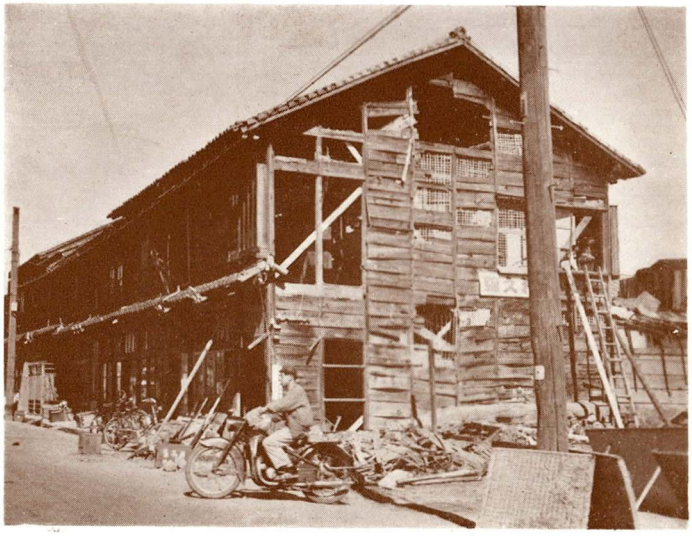


千種区下方町

千種区東明町



東区池内本町



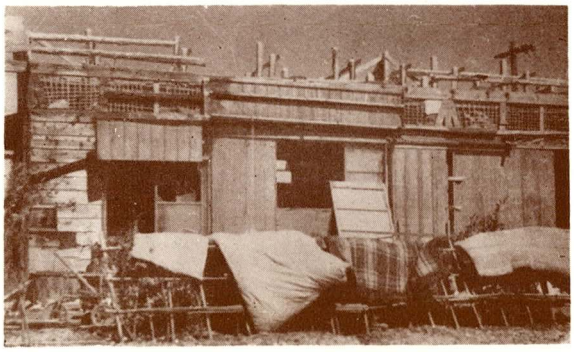
千種区青柳町



伊勢湾台風被害写真

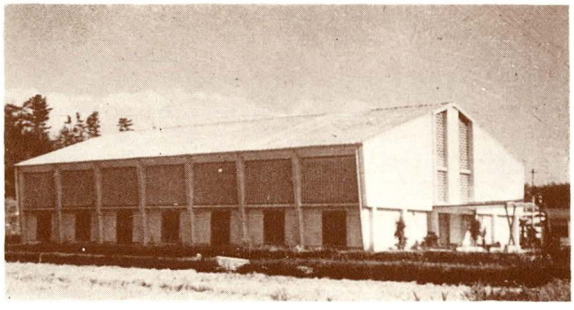
## C. 風による被害

小屋組・骨組の破壊
長尺アルミの破損



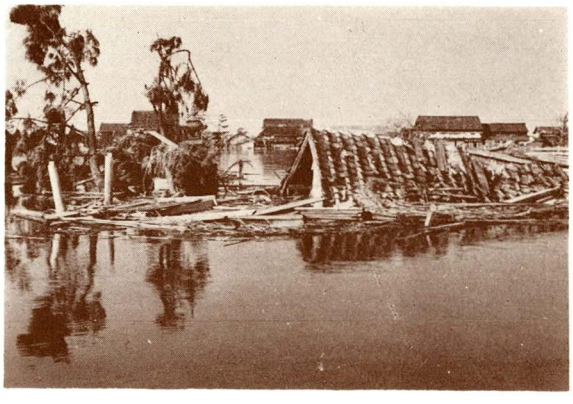


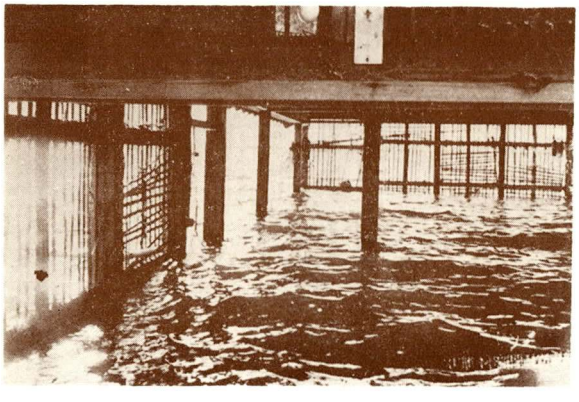
長尺アルミ葺が風下で全部メクられた高校体育館



## D. 浸水による被害









杉皮をはってある。それが30年もたっているのだから真黒になっていたのが，サンドブラストをかけたように実にきれいにみがかれてね。やれったってあんなにきれいにやれない。やっぱり砂だと思いましたね。もう一つ気がついたことは私の事務所ですが，これは木造のモルタル塗りで2階建，飛んでくる瓦で窓ガラスが，小さいが2，30枚みんなこわれている。こわれたものですから，雨と風が部屋の中へ入っちゃった。製図室には入らなかったのですが，机や本箱がおいてある部屋へ入った。本箱の戸へみんな吹きつけちゃった。そこへやっぱり砂が飛んでくる。それでニス塗りの框がまっ白に画いたようになっている。やっぱりどこでも雨が砂を含んでいる。

**司会**　他でもそんなような感じでしょうか。

**五十嵐**　私どもの窓も後から掃除してみますと，まあ砂が全部つまっていますね。水返しのところ，それから戸じゃくりの中まで砂が，いまだに欄間はあまりきれいに掃除してないものですから，この間もちょっと開けようと思いましたら，手にくっついてきました。

**五十嵐**　砂と一緒になってきますのでね。われわれが今までに考えていたように，風だけの問題じゃあないということをつくづく感じましたね。

**石崎**　近所に砂があるときでしょうか。

**五十嵐**　大体そうなんです。私どもの道路は新しくできた道路で舗装がしてないわけなんです。したがって37m全部あいているわけなんです。そういう条件が特に多いんじゃあないかと思います。

**司会**　その砂はこまかいですか。

**五十嵐**　非常にこまかいです。こまかくなってきているわけなんですね。

**司会**　砂丘なんかでいう飛砂なんですね。

**五十嵐**　そんなものでございますね。

**石崎**　新名古屋火力の煙突の塗料がはがれているんです。その原因が砂じゃあないかといっているんですね。よくわからないですが……。

**五十嵐**　それからまた，私どものドアーの類で開きのドアーですね。戸じゃくりのやってあるのは非常に丈夫ですね。引き違い戸は案外はずれたものも沢山ありますが，ドアーは非常に丈夫です。
ガラスがわれない場合はほとんど被害がなかったかと思います。ガラスさえよくて戸じゃくりがやってあればいいですね。強度的にはつまり枠と一体になりますからそれに真中はめしあわせで二本になりますから，引違いで重なっています。そこがねじこみ錠で一緒になっておりますので，二本一緒に働きます。それでも先程いわれたように相当彎曲します。その際に相当の音をだします。初めてなんですが，それが一本でなくずっとつづいているから全部で少しづつ音がするとあんなになるものかと思います。

**司会**　どんな音なんです。ベコベコというような……。

**五十嵐**　ええ，ビリビリというような音ですね。ガラス自身が動くようなことはないと思うんです。したがって建具がほんの少しの余裕で一緒になって動くんだと思いますがね。それと，ガラスが彎曲するということはたしかです。その程度を測定するということは，できませんでしたがね。

## 木　造　建　築

**司会**　どうも貴重なご経験のお話をお伺いしましたんですが，このご経験を生かしてですね。主として木造建築の場合はどうなるかということについて……なにか

**吉田**　台風に強いということが，地震，火災に強いかというと概してそうではないのですが，古い本建築の瓦葺きは相当強かったです。妻側に漆喰が塗ってある場合，雨が柱，梁廻りより入り泥壁がやられているんですね。とけてくる，それによって漆喰が落ちる。そうすると，もうそこからすぐに風が入るというようなことで，やはりそこに板がはってあるとか，あるいはモルタル塗りであるものは，そんなに大きな被害がない。街でみたのではパラペットの被害が非常に大きかったようです。ことに軒先から上にのびているところの安定方法が非常に難しいわけで，ここは雨仕舞にいろいろ影響してくるところですが，そこから全部倒れているというのが多いようです。

**五十嵐**　結論的には外装は大壁式の方が強いわけですね。

**吉田**　それは，はっきりしてますね。

**司会**　屋根が瓦棒というのはみたところ，軽快な感じのいいものができると思うのですけれど，やはり方法はあるんでしょうね。

**五十嵐**　やはり勾配が問題になるんじゃあないですか。

**広瀬**　勾配と仕事ですね。

**吉田**　割合にゆるい勾配が全部浮き上りの形になってしまい，極端にいうと屋根の母屋から全部飛んでいるというのは，梁とのとりあいのところが，ある程度かすがいでとめてあるんですが，そのかすがいではきかないんですね。完全に開いてしまっている。やはりボルトじめでないと安心できないですね。

**五十嵐**　やはり瓦棒を捨てきれないんでね。台風以来は，まあ桁にちょうど樋受金物ぐらいの金物を，桁にあ

たるところだけねじって，釘打ちをしているんです。棰木も帯鉄でかこんでしまいます。

**黒川**　金額にしては大したことないんですがね。

**五十嵐**　安いものです，一個十円ぐらいですかね。

**黒川**　今度の私の感じでは，町屋の仕事程度のものが弱いですね。がっちりした昔の中程度の建物で年代を経たものはむしろ大したことはないですね。瓦でもね。建築学会の標準仕様書にある五枚おきに千鳥に緊結するとかいう程度ではものたりませんね。全部緊結すべきだと思いますね。

**吉田**　緊結だけではなく，完全に土を葺いて，瓦が漆喰でペッタリと空間がなくなっているやつは飛んでないですね。

**五十嵐**　ならす程度じゃあなくて，瓦を埋込むようにするわけですが，そうなってきますと重量の問題ですね。

**吉田**　埋土するということが，逆に，地震の問題にひっかかってくると，瓦というものに一つの限界があるのではないかと思うのです。

**司会**　しかし，住宅としては，鉄筋やブロックにすればいいんですけど，ある意味では，木造を捨てられないと思うんですよ。そうした場合そのようなデティルの工夫も，もう一度新しい建築について，やっておかねばいけないんですね。瓦葺なんかですと，やはり昔の職人がずっと考えて，地震には駄目だったでしょうが，風とかそういうものでは，木造の範囲内でのいい方法というものを考えていたんでしょうね。よい仕事がいいというようなことは先程瓦棒がインシュレーションの上とか，下とかおっしゃっていましたが，どんな工法がよいとか，悪いということがあるんですか。

**五十嵐**　ただ釘の打ち方なんかで，ややもすると棰に完全にきかないというようなことですね。山根さんからおっしゃったのは，棰と棰の間へインシュレーションを入れるべきだというわけですね。

**山根**　瓦棒と瓦棒の間へいれる。軒の出が多いと棰の成(セイ)を高くしましてね……。

**五十嵐**　ああそれから，瓦棒で感じたことは，あの野地板っていうのはやはり袋になりますね。軒端のちょうどその棰と棰の間と，それから袋のような感じになっているのがありますね。したがって，被害をよけいうけやすくなるのではないか。それから薄いアルミ板は非常に弱いですね。

**司会**　アルミ板はいかんですか。

**五十嵐**　厚さ0.4mm程度のものでは弱いですね。

**広瀬**　それから面白いことで，アルミで思いだしたんですけど，自宅を東邦アッシュブロックをつかったブロック構造で施工しましたが，屋根をアルミで葺いてあるんです。アルミの流れの方向のこはぜのジョイントの上下各1寸ぐらいのところが完全に層状に腐蝕して，剝離しちやっているのです。下側が表からみるとなんともないんです。それが今度はその中の三，四枚飛びましたのでわかったのです。上からそこをおさえますとプスッと穴があいちゃいます。それ以外のところはピカピカですがね。とにかく層状にワーッとふくらんで腐っている。

**五十嵐**　私先程申しましたアルミが弱いということは，アルミというものは割合高いもんですから，薄いものを使うので弱いんです。大体常識として0.4mmから0.6mmくらいを使っている。その程度ではやはり台風に対して弱いですね。つまりこはぜが利かないわけですね。だからなんらかのとめる方法を考えないとやっぱりこわいですね。

**広瀬**　釘のところでちぎれてしまっている。

**黒川**　今度の風の強さはとんでもなく強いですね。神社あたりの直径3尺位の松の木が全部折れるか倒れるかしましたね。それからコンクリートの電柱が数本折れていました。それがほとんど同じように地上5尺ぐらいのところで折れている。

**司会**　風速はどのくらいでしたか。

**黒川**　渥美半島の測候所は風速55mぐらいになっているんです。それとちょっと離れて，伊良湖岬の港湾事務所がね，70mを記録したと役場から聞いてるんです。

**吉田**　私のところで調べた千種台のあたりでは，平均最大37mぐらいですね。瞬間最大50mですね。

**佐藤**　小牧と福江（渥美半島）は非常に強かった。小牧の風速計は60mでこわれているんですよ。

**司会**　風速計というのは瞬間風速計でしょう。これは60mをこしますと信用できません。名古屋市内では鳴海の中部電力で測ったのが60mをこしたのはたしかなんです。しかし60何mだかは，はっきりしない。小牧もそうですね。室戸台風でも同じことなんです。実際故障してしまってわからない。

**五十嵐**　気象台の発表は，平均風速45mですね。

**吉田**　新聞にでてたのはそうですね。

**五十嵐**　後から地建の鉄塔ではかったのは58mです。地建の中にあるそうです。中電のは，63mと聞きました。そしてこわれたそうです。

**司会**　いずれにしても，相当な台風ですね。

**吉田**　ちょうどそのときは満潮時でなかった。それから満潮になってきたから，具合が悪かったんじゃないかと。

**五十嵐**　ちょうど入ったのは21時30何分なんですね。

**黒川**　海部郡の南部は，地盤が平均70cm位沈下しているわけです。それで海部郡南部の海岸堤防は数年前から大改修をしたんです。私の方の蟹江川もコンクリート

のパラペットを造って波がえしをつけましたが，その上を5寸〜2尺オーバーしていたんです。ですから地盤沈下をしているという実感がほとんどなくってあれだけ高くなっているから大丈夫だろうと考えて一般に安心していたんですね。

**司会**　主に木造住宅を通じて，木造のお話をずい分お伺いしたんですが，木造はとにかく台風構造としては限度があるわけですね。小学校なんかの被害は相当あったんでしょうね。

**黒川**　海部郡では外壁は破損し瓦も天井も飛んで相当甚大な被害をうけても軸組が健在ですと，これは大破とか中破とかであって大潰とか中潰ということと違うのであって，いわゆる改良復旧の補助対象にならないんで，やはり木造として復旧する補助しか貰えないんだそうです。しかし終戦後の学校の軸組は，がっちりしてきたですね。

**吉田**　学校の被害は非常に少ないですね。やはり前の経験を生かした学校建築基準が生きていると思います。

**司会**　骨組はまあそうすると木造の小学校程度ではよかったということなんですね。

**佐藤**　僕のところの前に古い師範学校の校舎が残っていて，今市立工芸学校になっている。30年以上経た木造の建物で総2階でずっと建っていたのが両はしだけ一こま残ってその間の長い2階がスポッと飛んでいる。もと平家の上に2階を建て増してのせたのだが，それではたりないというので両はしに更に新しい2階をつけたんですね。それが両はしだけは残って真中だけ飛んだ。

**司会**　のせたのはいつごろなんですか？

**佐藤**　終戦直後ですね。材料のないときです。とにかく理屈通りやられてますね。

**黒川**　木造の小学校の基準は充分でしょうね。

**司会**　骨組はいいですね。まあ一般構造と申しますかビルコンと申しますか，デティルはまだ骨組とバランスをとろうとしますと考えなければならぬ点があるわけなんですね。

**五十嵐**　住宅では，今度やられたのは，根本的にやられたのではなくて，部分的にやられたのは，やはり水で波圧というのでしょうか。波の勢いで，例えば白水地区では波の勢いともう一つは流木とでやられてしまった。これらの対策は木造ではできないですね。

**吉田**　流木の問題は，ブロック造りでもだめだと思うんです。直径1mも2mもあるものがぶっつかってきたら，ブロックでも，コンクリートでも危いんではないかと思います。

**司会**　鉄筋コンクリートは，たいてい大丈夫ではないでしょうか。

**吉田**　どうですかなあ。想像以上の大木ですからね。

**五十嵐**　地建にまいりまして波圧というものがどういう性質のもので，どのくらいの圧力のかかるものかお伺いいたしましたところ，わからぬということでした。

**石崎**　今その方の専門の人が波圧計を試作しているくらいですね。その問題はこれからなんですね。

**司会**　住宅に波圧を考えなくちゃあならないとは大変なことですね。

**永田**　流木にやられるとブロック造りでも駄目なようですね。港に近いある社宅では窓から流木が入りまして中でおどったんですね。ブロック壁のうち一面はクラックが入ってくずれる寸前でもう一面は完全にブロックがくずれました。

**五十嵐**　長さ30尺，直径5尺もある流木ですからね。動かすだけで大変ですよ。

**黒川**　流木というものをね，われわれがここで考えて水に流れてくるものという程度の考えではいけないらしいですよ。私が聞いた話から推定しますと，自分の家が流された。そしてとなりの村のある家に当って，その家へ飛びこんで畳をあげる手伝いをしたそうですからね。そんな浅い水で一軒の家が流れることはないんです。おそらく波頭がワアッとおしよせてくる。その先になって流れるらしいですね。ですからヒヨロヒヨロと川を流れるような感じでなくて，波の崖と一緒にワッーとおされてくるらしいです。

**石崎**　あの大木が回転しながら流れることがあると聞いてますけどね。

**黒川**　とにかく暗いからね。なにか尨大なものがおしかぶさってくるという感じらしいですね。

## 軽　量　構　造

**司会**　軽量構造の被害はどうでしたか。突き倒されたような例は？

**佐藤**　そういうのはあんまりないと思いますが，軽量鉄骨でC型というのがありますが，片方あいている奴ね。あれを手すりの一番上に使ったんだが，大失敗，風が強く吹くたびに非常に鳴るんですね。とても気味が悪くていられないというんです。

**司会**　名古屋のテレビ塔の下のあたりにいる人はなにかすごいうなりを聞いたらしいですね。

**佐藤**　ええ，ああいう台風やなんかのときはね，寝られないですよ。

**五十嵐**　軽量鉄骨は私，二つばかり手がけました。調査してきましたが，一つの方は比較的密集地帯なので風を全面的にうけたとは考えられないので，例にならないと思います。葺いてあり上空では58mぐらいの風が吹いておったことはたしかなんですがね。1階はピロティ

と一部だけコンクリートブロック造りであり上部を住いとしています。入っている人に聞きますと多少動くような感じがしたということ，それから木造よりは安心感があるという話でした。ただ一番風のあたる東側の部屋にいたのを西側へ移転した程度だそうですが被害は皆無でした。もう一つの方は非常に風あたりの強い所のある研究所ですが，この場合でも構造的にはなんともありませんでした。しかし窓ガラスが非常に大きいので，前の木造の家屋が倒壊したときの瓦で沢山こわれたんです。中へ風が入りこみ，亜鉛鉄板瓦棒葺きの鰊蛄(ケラバ)羽のでている部分だけが飛びました。それ以外はありませんでした。

## 工場建築・ビル建築のデティル

**司会**　主体構造のお話はこれくらいにしまして，また住宅の場合にもお伺いして重複すると思いますが，工場建築，あるいはビルのデティルのお話をお願いします。工場建築は屋根が金属板かスレートでほとんど葺かれると思うんですが，この場合デティルの工夫などなにかお気づきがございましたら。

**佐藤**　厚型スレートは見事に飛んでいますね。

**山根**　あの波型スレートは大波の方が被害が少ないそうですね。

**佐藤**　波型はいいんだけれど，あの厚型で平たいのは全部飛ばなくても¼とか⅕たいてい棟のところが駄目ですね。

**五十嵐**　やはり鉄骨造りですと鉄母屋にしてフックボルトで締めるということが必要ですね。

**司会**　フックボルトにしても，木母屋に打つあれにしても普通の型ではパンチでとられてしまう。だからもう少し座を大きくするか，あるいは帯鉄をこう横にやっておさえて釘を打つというやり方をしないとこわれるんだということをきいていますが。

**吉田**　全部が全部そういうことではないんですがそういうこともありました。パンチでとられたようにフックボルトと座金と，まるくスレートが残っているんです。

**五十嵐**　鰊蛄(ケラバ)羽なんかですね。

**吉田**　壁なんかでもそうです。帯鉄でやればやはり強いんじゃあないかと思います。

**五十嵐**　スレートがやられているのはむしろ，他のものが飛んできてわれたりする被害の方が大きいですね。

**黒川**　それに窓をこわされて，下からふき上げられる。窓がやられなければたいして被害がないようです

**五十嵐**　大量的に飛んだということはまずないでしょう。

**広瀬**　腰屋根がひどくやられたのがあります。

**五十嵐**　コンチニアスとかベンチレーターなどは飛ばされたのが多いですね。

**司会**　はずれちゃうんですか。

**五十嵐**　とりつけが悪いんですね。

**石崎**　長尺鉄板は，ずい分はがされているようですね。

**広瀬**　はがされないという話もあるんですね。

**司会**　まあ短尺だったら一枚ですむところが，ずっとめくられてしまうことがあるかもしれませんね。

**五十嵐**　めくれかけると早いですね。

**黒川**　長尺鉄板にかぎらず，瓦でも厚型スレートでも鰊蛄(ケラバ)羽と軒先の緊結を充分注意すればかなり違うと思いますね。

**石崎**　鶴舞公園の中の屋外の音楽堂ですが，あれは見事にはがされておりますね。

**司会**　それは古い建物ですか。

**石崎**　戦後らしいですよ。

**五十嵐**　あれは戦後でございます。屋外ステージでしょう。あれはずい分はがれていましたね。アルミ板ですか，鉄板ですか。

**石崎**　アルミだと思います。ぜんぜん錆びていないですから。

## 風　圧　と　ガ　ラ　ス

**司会**　それからいわゆる近代建築の家ですが，地震の面から非常に批判されているんですが，風の面からはどうでしょう。ガラス会社では風圧いくらになるというデーターをだしていますが，実際の風圧というのは，局部的に非常に大きいことがあるわけですね。大きいガラスは最大瞬間風速のとき，建物の入隅になっているところの窓などではすごい風圧がかかると思うのです。そういう問題もありますし，もう一つはガラス会社で何mmでなければならないと思っても実際は金の関係で少し落してしまうというようなこともなきにしもあらずと思うんですが，風圧とビルのガラス窓についてなにか。

**佐藤**　港湾組合は埠頭のすぐ前にあるので台風をまともにうける。大きい窓があるがそれは風でわれたんではなくて，なにか他の物が飛んできてこわれました。中でおさえていた人がけがをしたそうです。

**司会**　ああ，そうですか。ガラスの一番の問題は，メーカーがだしているガラスというのは，より大きな風圧に対して耐えるという形で売っているわけです。最大限の風圧のとき3mm厚のガラスの強さは相当大きいんで，それをそのままあてはめて大丈夫かというと，大丈夫で

はない。それじゃあもたないわけですね。そこいらが一番危いところじゃないかと思うんですが。

**佐藤**　今の大きな窓はね，ガラス自体は大丈夫なんですが，サッシが悪いと必ずこわれますね。

**山根**　窓ガラス約 180 cm×180 cm の大きいはめ殺しがあって，その横がもちょっと巾のせまい上げ下げ窓ですが，その大きい方がなんともなくて，小さい方の上げ下げがわれている例があります。結局上げ下げでガタガタしてたんでしょうが，大きさ以外に取付けとか，形式なんかで大分違いますね。それから街の大きなビルの窓のわれたのをしらべると，われたガラスは，各階まちまちで2階が一番多かったりしています。これは風でこわれるのでなくてものが飛んできてわれたのでしょうね。

**永田**　住宅の建具の被害を公団でちょっとしらべましたが，風速45mに耐え得るという場合，木製建具ですと見込みは，従来の 30 mm，33 mm でなく，やはり 36 mm ぐらいにして，ガラス厚は3 mm にしないと無理じゃあないかと思われます。それから，ガラス一枚の大きさは0.27 m² 以下がのぞましいので，今後公団ではそういう考えでやります。

テラスハウスの2階に 2，3 mm 厚のを使ったのがありますが，まずかったですね。

**山根**　窓がだんだん大きくなってくる傾向はいろんな理由があるんでしょうが，やはりなにか考えておかないといけませんね。不安感とかいうのんきな話じゃあないと思うんです。

**司会**　前に神戸で13号台風のとき，ある建物で聞いた話ですけど，入隅のところの引違いのサッシがスポッとはずれてしまったそうです。

**山根**　それはスチールサッシですか。

**司会**　そうです。アンカーが悪かったので。デティルはよくわかりませんが。

**黒川**　今度私もそういう例を聞きました。これはおそらくコンクリートの仮枠をおさえすぎてアンカーが充分コンクリートに定着していなかったんじゃないかと思いますね。

**石崎**　窓枠全体がはずれているわけですね。

**五十嵐**　ビルでは，風だけの被害だと何階ぐらいが一番被害が多いのでしょうか。

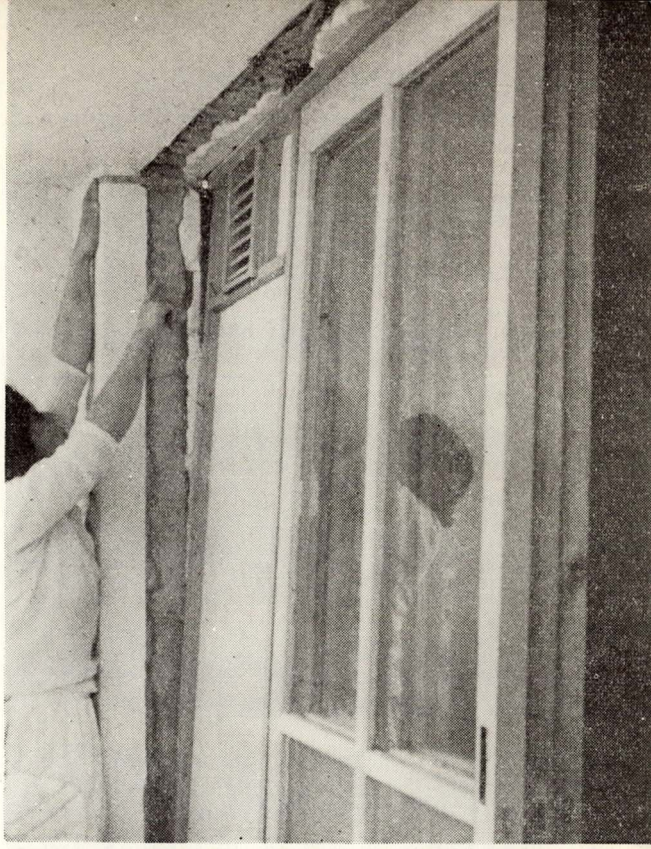
**山根**　それは風だけですか。

**五十嵐**　風だけで，物が飛んでこない場合です。

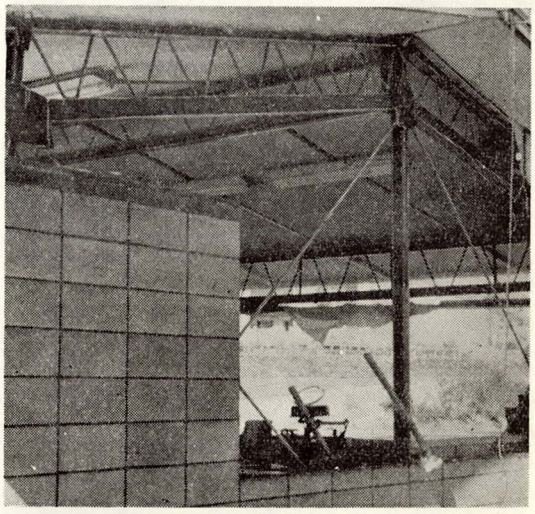
**永田**　あたるのを別にしますとやっぱり上階程多いんじゃあないですか。

**黒川**　障害物が前にないから，まともにあたりますしね。

**吉田**　風だけでわれているのは，本当に少ないんじゃぁないですか。物が飛んできたり，戸締りがしにくくゆるみやすいためにわれるんですね。われわれ考えなけれ



建具枠がはずれた。約15cm ずれ込んでいる。



ブロック造で建具が枠ごとはずれたもの



鉄筋コンクリート造でもサッシの取付不備により
窓枠全部飛んでしまった。

ばいけないんですが，最近の建物は窓が多いですね，操作が簡単で確実にしまるのがどうしてもほしいわけですね。中途半端のバネになってますとガタガタしやすくなる。嵌殺しはたしかに被害が少ないんですが，この場合物が飛んできてわれるわけですね。

**山根**　やっぱりエアータイトのしっかりしたものほど被害が少ないね。

**吉田**　完全エアータイトというのは，水も入りこんでおりません。その水の問題ではコーキングパテが新しいものは相当きいているようですね。それ以外のものは，建具からもるんじゃあなくて，皿板の下からもってくるんじゃあないかと思います。もう一つは押縁ですが，火災に対しても当然必要になるが，パテどめの押縁よりバーでおさえたものの方が，たしかに丈夫だと感じましたね。

## 低　湿　地　帯　の　建　物

**司会**　今度の台風は，風も非常に強かったわけですが，要するに高潮により浸水したということが大変なことだったわけです。名古屋の南部が広範囲に，また愛知県の名古屋の西の方,更に桑名の方などは,非常な浸水地です。かといってこの土地を放棄するわけにもいかない。これは国家的な計画がなされて，もう大丈夫だというものができるまでは相当の時間のかかる問題じゃあないかと思うんです。その間にも私どもは建築をしてゆかないといけない。というとその低地建築はいかにあるべきかという問題になりますが，これにつきなにか感想なり，ご意見なりをお聞かせ下さい。住宅の場合，オフィスビルの場合，工場の場合というように別けられると思うんですけど，黒川さんご意見でもございましたらどうぞ。

**黒川**　むろんコンクリート構造にしてピロティ形式にする。特に農家の場合作業場が必要ですからピロティの部分を作業場にしてその一部を簡単な板囲い程度で仕切り収納の場にする。
そして居住部分は全部階上としたらどうでしょう。
そこで実際には経費の問題があるわけなんですが，住宅金融公庫にしても，鉄骨コンクリートの住宅の融資割当は極めて少ないようですね。こういった場合，低湿地の被災地にはコンクリートの建築に対する融資を大巾に増すように政治的になんとかしてもらえないかと強く感じるわけです。

**佐藤**　貴方の試案があったね。あれは面白い。

**黒川**　今の住宅の住み方を改善するということが農村では非常に難かしいですからね。社会改善といいますか生活改善といいますかそういう根本的な問題につながるんです。4間を田の字型に造って集会の場になるように作られているんです。海部郡南部のある部落あたりは，2町3町作っている富裕農家が多いんです。また農業の外に海苔の収入が相当あるんです。ですからこの田地をすてて転住するというわけにいかないんで，必ず復旧しなくてはならない。その場合鉄筋コンクリート造りをすすめてゆくべきじゃあないかと思いますが，むろん高潮に対しては2階ぐらいではちょっと不安があるんですが海岸堤防の近くでなかったらたいてい大丈夫じゃあないかと思いますね。問題は鉄筋コンクリートをどうして造らせるかですね。

**司会**　金をもっているという者も相当あるわけですね。

**黒川**　あります。非常に貧富の差が大きいんです。珍らしい話なんですが，被災直後，銀行とか，郵便局は引出が相当多いものとして支払い準備をしたんですが，引出よりもむしろ預金がふえたそうです。

**五十嵐**　鍋田はどうでしたか。

**黒川**　鍋田も一部そういうとこがありますが，しかし…

**司会**　鍋田というのは干拓地なんですね。

**黒川**　いえ干拓は鍋田の一部なんです。干拓は随分気の毒な人が多いですからね。大半が死亡し家等全部趾形もないそうです。

**佐藤**　鉄筋コンクリート案はいいですよ。

**黒川**　ただね，水没してしまって，大破損したあの家へ帰らなくちゃならないが，しかし新築しても来年がまた危いからできないという非常な不安と絶望の状態にあるときに，そういった案を打出してやれば，一つの希望になってそれを夢にもってあの農地に帰れるんじゃないかと思いましてね。あの試案をだしたんです。

**佐藤**　二つでも三つでもできるとみながついてくる。なにもないところへ「お前やれ」ったってなかなか…。今黒川さんがいわれたように木造で実に立派な家を建てていますね。それが十畳がいくつもあるというような大きな50坪位な平家です。あれをコンクリートの小さなものに変えるといいんです。そこまでゆくにはまだまだ時間がかかるように思いますね。

**黒川**　それはね，結局住宅の改善は生活の改善から手をつけなくちゃならない。金をかけて座敷を造り集会の場に使う，平素は奥の方は住まないんです。そういう不合理なことを例えば戦災で名古屋の区画整理ができたようにこの際鉄筋コンクリート案を打ちだしてね。もう少し飛躍すれば農業の合理化，協同化までもっていってしまったらということですが，それをその村の指導的立場の人に話したんです，そうしたらそれはとっても大変でできないというんです。農道を整理して大きな道路を造

ろうと考えているんだが，それがせい一杯だというんですよ。

**司会**　しかし金持はどうせ建てるでしょうから，鉄筋コンクリートで型を示して，生活改善というところまでふんぎる人がでてくると非常にいいんですがね。

**黒川**　私の試案が中部日本新聞にのって4人位相談にきたんですが。それが極めて小さな避難用のコンクリート部屋が作りたいとかね。そんなことを相談にくるんですよ。あんな田舎へでかけて設計管理していたら社会奉仕以上の問題になるでしょう。ですから規格化してA案B案位としてその規格にあうものだけは差しあげましょうと。

**五十嵐**　そういう話がでましたね。この間……。

**黒川**　差し上げましょうと思うんです。設計をね。

**石崎**　鉄筋コンクリートにするということは経済的な問題ではないんですから，啓蒙運動をしなくてはいけませんね。

**黒川**　大いにやらないといけませんね。

**石崎**　どうやって啓蒙していくかということですね。

**黒川**　この際本当に融資問題を考えてもらはわなくてはできませんね。

**永田**　資金面のお話がでましたが，低湿地に建てますのに，例えば道路盤高を上げてもらわないと悪排水が処理できないですね。それと特殊基礎に大きな金がかかりますし，かさあげしようとしてもなかなかついてこない鉄筋でやったら水洗便所にしようじゃあないか，そしたらどこまで汚水排水管をもっていくんか，適当な放流先がないなどなかなか問題がございますね。

**五十嵐**　私たち低湿地建築について多少考えたことがあるんですが，吉田さんから一つ。

**吉田**　その問題よりも，先程ちょっとでたんですが，建築家協会で今度の災害のデータを集めて，展示したという内容でございますね。一般の民家というものが風水害をどういうふうにして防いできたかを，紀伊半島の方の民家とか，こちらの輪中とか，水屋とかの例をあげて示し，今度の被害にあった建物，屋根，構造，壁，それから敷地の選定に対する調査研究を3人のグループでやったんです。そして結びとして，今後はその低湿地に対してはこういうふうにしたらというような試案を作ってだしたわけなんです。それから今，五十嵐さんのいわれた案なんですが，それでまとまっているかどうかわかりませんが，順を追って屋根とか壁から少しご説明したらなにか参考になるんじゃないかと思うんです。広瀬さん一つ屋根からやって下さい。

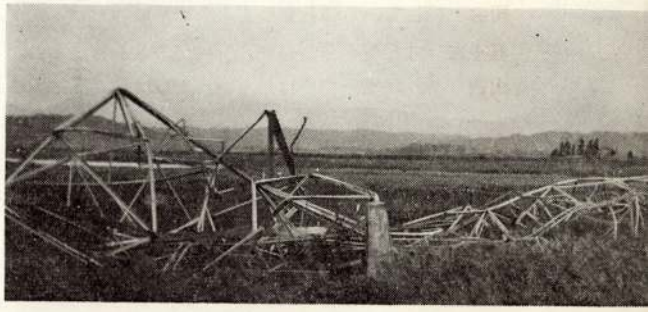
**広瀬**　木造の建物では屋根葺材が瓦と金属板とスレートがあるわけですが，まあ大きくいって瓦は大なり小なりやられて完全無欠というのは非常に少ない。金属板はめくられると連鎖的にやられるが，めくられなければ完



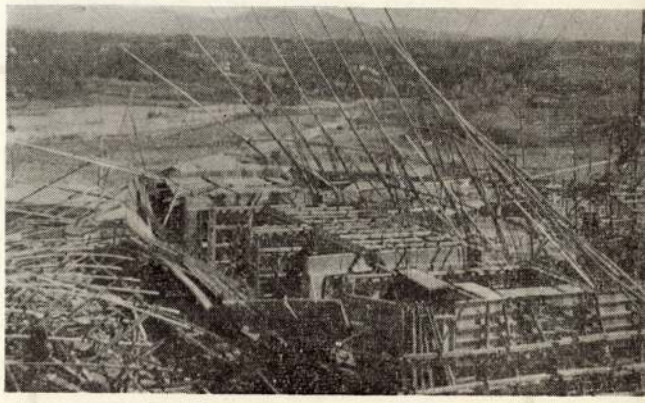
風による被害：屋上手摺の防水後にあと打ちにした基礎はほとんどやられている。



風による被害：横筋だけのブロック塀の倒壊



風による被害：木曽川附近の配電鉄塔の倒壊



風による被害：工事中の足代仮枠の被害

全なのが半数以上あるわけです。スレートでは大波の方がデップスが大きいですから，住宅でも大波で葺いたのは一つも被害をうけていない。工場はもちろん大波でよかったんですが。それと被害の状態は瓦のけらばですね。東側の棟，棟瓦が一番ひどいですね。ことにがんぶりのしっかりしていないのはほとんどやられています。それから軒端もむろんやられていますね。それから風の反対の方の吸引の平瓦が全部飛ばされている。ちょうど安全なのは風向側の平瓦だけということになりますね。一応ね。後は土の問題などさきほどいわれたとおりです。これは被害が少なかったようです。30，31番はちょっと危いですね。けらばの水切のところの前込みの施工の悪いのは大分はがされているようでしたね。

アルミ板もさきほど話にでましたが，うすいやつは飛ばされ，紙みたいにくしゃくしゃになっています。亜鉛釘からひきちぎられてね。それから瓦棒は釘が短かくてピッチの粗いのは飛ばされていますね。軒の出が大きく棰のでているのは具合が悪い。裏から板が打ってあったり，一枚の板になっているのでやられたのはほとんどない。やはり軒をだすんだったら，そういうことは必要だと思います。それと換気孔のべらぼうに多いのはちょっと危いと思います。それから構造の問題ですけど，桁と棰との結合は，絶対にしっかりやっておかなくてはいけない。軒をだす以上は。

**五十嵐**　棰のサイズの問題もあるね。

**司会**　折れているのもありますか？

**五十嵐**　寸五角くらいので，折れたのもありますね。

**山根**　あれは風圧で折れたというよりはなんかこう……。

**広瀬**　それとあの棰の継ぎ手ね。あれは段に継がないで，そいで継いでほしいですね。

**司会**　いろんな実験はやられてるんですか，そういう資料を集めておけばいいわけですね。みなさんの目のとどきやすいところへですね。

**広瀬**　それはお願いしたいと思うんです。葺いてある屋根については大体以上申し上げたようなもんですが，今度は壁について，五十嵐さんお願いします。

**五十嵐**　大体今まで申し上げてありますので，結論みたいなことなんですが，大体土壁の真壁については台風の被害よりも水の被害が多かったということで，水に対する対策の方が考え方としては強かったわけです。大壁式のものについては，外装が大壁式で，板張りとモルタル塗りのものがほとんど被害がないんじゃあないかと思います。真壁のものは風と雨だけでも相当50%以上被害をうけていると思います。妻壁なども大壁にすべきだと思っています。それから軒のすぐ下に霧よけ庇がありまして，そこは雨が実際にはかからないので，案外被害がなかろうかと思っていたところが吹きだまりの関係で霧よけ庇と本庇の間の小壁が相当大きくやられていますね。それから住宅等の化粧庇は，縁側その他被害は非常に多いですね。特にひどいのは二重庇になっていなくて，簡単に棰がけから棰をおろしたものは相当やられているんじゃないかと思います。昔の方法で二重にして天秤かけてあるものは割合に強いですね。それから外装ではめ板が張ってあったんですが完全に飛ばされたのがあります。大体見たところは間柱間隔が遠いんですね。

**吉田**　結局4尺5寸に一本入れたってことですね。

**五十嵐**　それと胴縁の距離にもよると思います。

**広瀬**　真壁の場合に多いですね。

**吉田**　胴縁と板というのは完全についているんですね。ところが胴縁をとめる相手の柱の間隔が大きいですから胴縁毎みんなとんでしまっているんですね。しかも風が吹きつけている方向でとれているのがありました。結局その堅張が，本来なら合じゃくりとか本ざねになっているものがその中に入った風で外に押し出される。戸袋の隙間に風が入ると一間ぐらい外へポンと飛んでしまっている。

**司会**　戸袋がですか？

**吉田**　えゝ，戸袋が飛んでいるというのは非常に多かったですね。

**黒川**　私の聞いたのは，戸袋がとんでその裏の壁から真先にやられてしまったんですね。こういうのを随分聞




いているんです。それから小壁ね，小舞掻が十分でなく柱に彫込みもしないで適当にやってしまっている。だからこゝが一番弱いところなんですね。

**五十嵐**　特に今回気がついたことは，壁貫が最近のものは非常に遠くて，五ッ通り位いれるのが常識というところですが，実際をみますと3本位しか入っていないという状態ですからね。最近の建物は相当それが影響しているんじゃあないかと思いますね。それから壁に附随して，雨戸は一枚一枚のジョイントは印籠じゃくりを必ずやること，それから上桟落し桟ですが，そういうものをしてあるのははずれてないのが多いですね。それから欄間が割合いかれていたね。

**司会**　縁側のですか。

**五十嵐**　そうです。あれは雨戸が入っていないでしょう。嵌込になっててそれが吹きつけの方向によって上に上げられるということが考えられます。だから，簡単に溝だけで落込みにしないでちょつと留め金具かなんかを考えなくちゃあならないということを再認識しましたね。その他で低地の計画については吉田さんからお話があります。

**吉田**　敷地の選定などというのは大袈裟なんですが，普通建物を建てる時，特に高台に建てる場合は吹き上げに対する考慮をしなくてはいけない。

基礎と土台との連結あるいは土台と柱の連結という問題になるわけです。高台に建てる場合はあまりスマートばかり考えていられない訳です。それに，丘と丘の間にある割合に風の当らない家に意外に被害があるのですね。それは瓦棒が葺いてあった家なんですけど，屋根が全部とられているというのがあるんです。これは明らかに浮き上がりの状態になっているんですね。それともう一つは雨の問題に影響しているんですが，名古屋の丘陵地帯は，特に粘土混りの砂利というか洗れ易い地質ですね。そのために基礎が表われて基礎がどすんとおちているね。そういう場合には基礎の他にもう一つ洗われないような防護をするものを造らなきゃいかんのではないかと，そんなことです。

**司会**　そんな低地建築の場合……。

**吉田**　水害が主でしたので，そうかといってそんな低い所に住宅を建てるなという訳にはいかないんですよ。今後名古屋の南の方はどんな風に対処して作るべきかというようなことでやったんですが，今の日本の経済状況からいっても，おそらく出来ることでもないし，結局最終的に公共建築だけでも避難出来る建物を作ってくれということが一番だと思うんです。あの時に出した案といいますのは，まず堤防だけは確実なのをしてもらいたい。少々低くてもですね，こわれないものを作ってもらうという前提で，建物はどうしてもピロティ式というのが考えられるんですね。

それとまあ木造建築というものはやはりある程度水が入るということを覚悟して，低湿地帯に，普通は公園のような状態にして，もし入った水はそこにたまるというように，たまる池を作ろうじゃあないかと，堤防の裏に一応堤防づたいに低い公園を作る。それがまあ一般の地面より2～3m低くする。波圧の状態を考慮しまして一応入った水をそこにためようということが第一段階でして，つぎに第二段階として住宅団地の中でまた一段と低い公園を作ってそれ以上入った水はそこに溜めて，それからポンプアップするような案を作った訳ですね。

**五十嵐**　建設省へいって話を聞きますとね，絶対作れないそうです。高潮までに対する堤防は……。

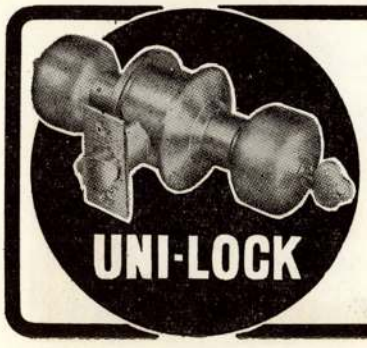
**黒川**　堤防が破壊しなければ，あんなに迄の災害にはならなかったでしょう。今度の場合津島市まで浸水するというようなことは――内陸と海とが一つになった訳ですね。

**五十嵐**　湾港施設の問題とか，いろんなものがからんできてそれで作れないそうですね。

**司会**　全部上げなきゃならないんですね。いろんな物を。

**五十嵐**　そうでございますね。だから堤防だけやっても何にもならないらしいんですよ。

**黒川**　13号台風の時にその欠陥がでましてね，オーバしたために裏が潰滅してゆく，それで上面も内面もコン

建築界待望の新扉錠……！
ゴールユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社 谷山製作所
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37)3117．5871．7724
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠

クリートで包むように出来ていましたが，それも出来てなかった所が多かったんですね。

**五十嵐**　そうらしいですね。

**黒川**　私の近くでもそうしたわけでパラペットのきわまで土がなくなってしまいまして，もう1分もすればパラペットが倒壊してしまったでしょうね。

**塚本**　あの低地帯の住宅というのは，農家が多いでしょう。結局先程もお話に出たと思うんですがね。道路を上げ，それに沿ってそういう宅地を作ってゆくということがまず第一だと思うんです。今その防波堤の問題もあるんですが，おそらく予算が出るだけしか高さは作れない訳ですからね，そうしてみると結局道路を高くして農場はそのまゝ低くしてゆく方が良いと思うんです。水が出た時，舟でしか交通しないということは，何といっても不便ですから。しかしピロティの家は別の意味で，つまり一階を作業場とか物置とか集会とかの意味では大変よいことと思います。

**黒川**　土地を全部高くするということはとても不可能ですね。しかし都市などは，国家または市で資金を出して地盤を高くするつもりになって，大きい一区劃づつの上に新しいピロッテ式の地盤を作って提供するということはどうでしょうね。

**吉田**　補助がほしいですね。

**司会**　台を作ってやる訳ですね。

**黒川**　下が子供の遊園地であり，自動車置場である……。

**司会**　ピロティに金融公庫で金を出すということですか。

**塚本**　出してもらえるような気がしますね。

**吉田**　話が変りますが，停電がなかったら随分被害が少なかったんじゃあないでしょうか。

**司会**　切っちゃったんですか，電源を。

**佐藤**　あの時，中部電力の配電がね，台風の一日前の25日の夕方174万6,000 KW出ているんです。これはもう中部電力で今までの最高の出力なんです。それが台風がすんだばっかりの時，すなわち27日の午前1時の配電が僅か1万 KW に減ったといいます。実に珍らしいことだ，これだけでもえらい風であったということが想像つくだろうと思うんですがね。

**司会**　関西でも切りましたがね。

**佐藤**　危くてやれないというんだ。線が皆切れてしまって。

**五十嵐**　われわれがいゝたいのは，そんなことになる迄の要するに配線の方法を考えるべきだというんです。例えばポンプ場などは架線に頼らないケーブル配線で安全範囲の方法を考えるべきであるということなんですよ。

**司会**　幹線がいかれてますからね。

**五十嵐**　それとジェネレーターの問題ですね。そういったようなこともやはり総合的に考えてもらわねばいけない問題ですね。

**塚本**　道路だけつけるとか，ケーブルで送ってね。普通のビルでも階段室だけ明るくしようとヂーゼルを付けてますが，それと同じに道路だけつけることにしたら非常に安心すると思うんです。その位の電力だったら保安電力が送れるような気がしますね。

**吉田**　汚い話なんですが，アパートで一番困ったことは水がなくなるということも確かなんですが，水洗便所が使えなくなることですね。これがやっぱり随分影響しました。

**黒川**　その間どうされました？

**吉田**　幸い私のところはその日風呂があったもので，その湯を小間使いしたんです。またああなると無線装置というものが欲しいですね。それと舟が一番切実な欲求だったと思うんですがね。

**五十嵐**　大阪はそういう設備はいゝんだそうですね。舟などが200艘とか常時用意してあるそうですね。

**黒川**　私の心配しますのは今度はまた皮肉にも地震が来るんじゃあないかと思うんです。

**石崎**　それを考えるとやはり鉄筋コンクリートにすべきです。

**吉田**　工場などの被害はむしろ機械なんかがつかった

座談会風景



座談会風景



というような被害の方が大きいですね。後はもうこわれるような建物がこわれているということですね。やはり建築家が手がけたのは被害がないのです。一般家屋は手がけたものが少ないんです。

**塚本**　公団の被害が一番少ないと聞いているんですけど……。

**永田**　団地はガラス程度で主体の方は殆んどありません。

## ムーブメントを起せ

**司会**　建築家協会で被害の模様を展示されたんですが，支部展として場合によっては大阪に持ってきていたゞくことも……どうですか？

**五十嵐**　一つわれわれからお願いがあるんです。堤防もこゝ何年間か実際信用にならないと思うんです。予算か何か聞くところによると要求の1/10ぐらいなんですね。そんなことでは実際不安だと思うんです。そこでそういう危険地域は．ある一定の規準を設けると同時にそれの資金的裏付けというものを建築協会や学会やすべての団体で協力的に推進すべきですね。これがわれわれに課せられた問題でなかろうかと思うんです。

**司会**　運動をおこしますか，まあどれだけ効果があるか問題でしょうが，そういうことはすべきですね。ムーヴメントの世話役でも建築協会がなさいますか。

**五十嵐**　ただそういう場合に法規だけ作って制限だけで資金の裏付けをしない場合が多いんじゃないですか，今までは，だから特に名古屋市南部の，災害にやられたという住宅は一番程度の低いところなんですから，資金的裏付がない限り実行は全然不可能ですね。

**司会**　鉄筋にして，ピロティに対して全額補助あるいは上の方は骨組だけ融資するというような……。

**塚本**　地盤を提供するという考え方もいゝですね。

**黒川**　建設省から，各地方庁へむけて危険地域を指定せよという通知が来ているそうですが，ああいうものを作られて民家が建築不可能になってしまうとむしろ大変な問題になると思うんですよ。この地帯はコンクリートでなければならないなんていわれたら大変ですね。公共建築物に限りとか，それに対しては補助をどうするとか具体的に住民が実行し得るような対策をやってもらわないとね，たゞ作れ，こう制限するというのでは大変なことだと思うんですよ。

**塚本**　先のお話によると住宅金融公庫では鉄筋コンクリートが10件に1件ぐらいの割合になりますが，比率をかえるだけでもよいんじゃあないですか。

**石崎**　もう少し金融公庫が，アポイントして作っていくというようなことは出来ないものですかね。抽選とか何とかでなしにね。

**吉田**　名古屋の場合案外申込が少いんじゃあないですか。

**佐藤**　面倒くさくて大抵いやんなってしまう。

**永田**　災害がもし東京にあったりしたら大変ですね。都民が黙っていないと思います。

**黒川**　いずれにしても今度の場合は東京のように政治の中心地でないから冷たいんじゃあないですか？東京だったら恐らく住宅公団でも金融公庫でもきっと思い切った融資の増加を政府も考えたんだろうと思われますけれども……。

**永田**　耐火構造で建てるべきでしょうな。耐火建築促進法を一歩進めて耐火建築法でも広く打ち出すと鉄筋コンクリート造の単価というものはもう少し現在の木造に近づき，生産体制も追いついてくるだろうと考えられますね。

**黒川**　政府に頼ってますけどね，災害救助法では一日50円でしたか，75円でしたかをくれるだけですからね。こういう不安な状態ではまるで政治が行われていないようですね。

**司会**　結局政治の問題ですね。天災というのは来るのは来るんですから，まあ最後は政治の問題ということになりますか。

**塚本**　予定の時間もまいりました。なお話題はつきぬと思いますが，この辺で座談会を終ります。どうも有難うございました。


建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書
建築雑誌　材料と設計
毎月1日発行
B5　¥150〒共
全国書店で発売
建設文化社
本社　東京都文京区小石川町1－1　電話㊀2739
支社　大阪市西区西長堀1—5　四ツ橋ビル　電話㊿9200




# 会　　合（1 月 分）

## 理　事　会

12日　1時半―2時　於大阪建設会館
出席者　尾崎会長，東畑副会長外10理事田辺監事
山内兵庫支部長
議　事（1）学会賞候補推薦の件
（2）昭和35年度名簿発行に関する件
（3）その他
（イ）「建築年鑑」に会誌よりの転載承認の件
（ロ）大阪府より地質調査資料の提供を受ける件
（ハ）住宅委員会のテレビ放送に関する件
（4）入退会者承認の件
（5）報告事項

## 近代建築調査委員会

21日　3時半―6時半　於会館集会室
出席者　滝沢委員長外12委員

正月号発表の泉布観について意見を交換し，発表形式に関して再検討した。なお，引き続き発表予定の建築に関して各担当者から説明並に報告があった後，発表形式や地方のものの調査方法などに関して意見の交換を行なった。

## 事業委員会

22日　6時―7時　於長岡天神錦水亭
出席者　岩崎岡本正副委員長外8委員
議　事（1）2月の事業企画について
（2）3月の事業企画について
（3）4月の事業企画について
（4）報告事項

## 編集委員会

### 幹　事　会

23日　1時―3時　於会館談話室
出席者　塚本委員長外6幹事
5月「建設工事の海外進出特集」号の企画審議

### 委　員　会

23日　3時―5時　於会館会議室
議　事（1）2月―4月号経過報告
（2）5月「建設工事の海外進出特集」号企画
（3）公営住宅の総決算特集号について
（4）次期委員長に関する件

## 災害委員会

### 小委員会（鉄骨構造計算講習会）

27日　3時半―4時　於会館会議室
出席者　馬場，椋代，小泉各委員

講習会開催に関する各県建築士会よりの回答を検討して，本年度は名古屋及び岡山市の2ケ所開催に止め，他は4月以降に改めて企画を立てることにした。

### 委　員　会

27日　4時―6時　於会館会議室
出席者　越田委員長外8委員




議　事（1）鉄骨構造計算講習会に関する件
（2）資料小委員会の資料整備に関する件

## 住宅委員会

28日　3時—5時　於会館会議室
出席者　西島委員長外8委員
議　事（1）スライド「家ができるまで」に関する件
（2）公営住宅に関する臨時委員会の委員推薦に関する件
（3）ステンレス製流し台専門委員会に関する報告
（4）国際住宅会議の参加方申越について
（5）テレビ放送企画に関する件

## 教育委員会

### 小委員会（空調講習会）

11日　3時—4時　於会館会議室
出席者　奥島委員長，中原主査
講習会の実施企画について審議

### 小委員会（図集レイアウト）

21日　5時半—9時　於会館会議室
出席者　佐久間，平尾，山本，山本各委員
26日　5時半—9時　於会館会議室
出席者　佐久間，平尾，山本（純）各委員
工高生コンクール入選作図集のレイアウトの実施

### 空調講習会講師打合会

27日　1時半—3時　於会館会議室
出席者　奥島委員長　中原主査
講師　前田　三村　吉川　田本各氏
小委員会案に基いて実施につき打合せ

### 鉄筋コンクリート施工指針打合会

28日　3時—5時半　於会館会議室
出席者　奥島委員長外6氏
改訂版の項目，執筆者，工程などについて協議

## 出版委員会

### 分科会（内壁の仕上）

20日　5時—5時半　於会館会議室
各委員分担項目の内で他の委員のものと関連するものについてさらに調整を行なった。

## 建材委員会

### 分科会

20日　6時—7時半　於会館会議室
出席者　竹内，北山，布施各委員
ミラコート，ダイヤセム．ダイヤアルテックス，ダイヤローレルについて審査

## 集会

### 合同新年交礼会

4日　1時—2時　於大阪建設会館
恒例の6会共催の合同新年交礼会を大阪建設業協会の当番で開催．出席者280名

### 若い会員の集い

11日　6時—8時　於北極星
新制作協会員の建築画家小松益喜氏を招いて「欧州の建築と美術」のお話しを聴き，新春の懇親会を開催。出席者40名

### 新年午餐会

12日　正午—1時半　於大阪建設会館
恒例により昨秋国家褒章を受彰された4氏を招待して開催。会食後池田宮彦氏より欧州視察の所感を聴く。出席者50名

## 編集後記

今回は，計画研究者と実際の設計者との橋わたしに重点において，「アンケート」を組んでみた。建築計画といっても，それぞれの部門の原論を専攻している研究者が，それがどのように実際に活かされているのか，また活かされていくのか，を反省してみることも必要だし，更に逆に，第一線で活躍されている設計者が，いわゆる計画原論なり，研究者の研究成果をどのように採り入れているか，また，それらに対してどのような注文があるのだろうか…… といったことをこの際，考えてみることも必要だという観点から，名古屋以西の適当なる方々に，「アンケート」をお願いしてみたものである。もちろん，その回答が以上のような点にどれだけふれられているか，今回の回答だけでは何ともいえないが，ひとつの問題提起になれば幸いである。

自己の作品との結びつきにおいて，「建築計画」をどのようにお考えになられているかを，はじめ，村野藤吾氏，さらに谷口吉郎氏に原稿依頼したが，これは両方とも実現できなかつた。

大阪に総合デザイナー協会がある。その建築部門で主催された吉阪・足立対談「デザインの曲り角」をのせた。

伊勢湾台風についての座談会は，現地にいつて開いたものだが，はじめ2月号に掲載の予定がおくれて本号になつてしまつた。ここから何らかの教訓をえることができれば幸いに思つている。

作品作風欄にはとくに「ゴルフクラブハウス」の作品をあつめてみた。これも名古屋以西に限つて代表的と思うもの10点ばかりを選定した。

以上ご協力いただいた方々に厚く感謝申しあげます。

# 社団法人 日本建材協会1月会報

## 会合と事業

**理事会** 8日 4～7時 於清交社

青木副会長，金光理事長以下10名出席。諸報告後，35年度定時総会開催準備。10周年記念事業準備。岡山県並兵庫建築展後援共催。入退会詮衡等協議。

**新年会** 13日 4時～8時 於来山閣

青木副会長以下120名出席。塩沢産経，大阪新聞最高顧問の35年度政治，経済の見通しにつき講演後懇親晩餐会をなし，池田宮彦，若木，高杉諸氏のテーブルスピーチ並村石副理事長の手品の余興あり盛会裡に終了した。

**特別委員会** 23日 11時～12時 於日本建材会館

青木副会長，金光，笠原正副理事長外3名出席，35年度役員の候補につき協議。

**記念事業委員会** 23日 12時～2時 於日本建材会館

青木副会長，金光理事長，室谷委員長外5名出席，10周年記念事業につき種々協議した。

## 日誌

**4日** 1時～2時 於大阪建設会館 在阪建築六協会共催の新年交礼会開催本会よりも多数出席。

**23日** 午後 原田岡山県建築士会副会長，堀岡山県建築課指導審査係長来会。天満屋建築後援と出品につき依頼。

**27日** 二葉屋装備工業KK社長若林氏渡欧のため，12時30分大阪駅発ハトにて上京，金光，村石正副理事長外見送り。

## 会員動勢

**社屋新改築**

**河津装飾KK**（社長河津喜之助氏 北区堂島上1）

**東洋洋瓦KK**（社長青木友一氏 天王寺区大道3）では社屋を改築した。

**KK平用タイル**（社長平田伊三郎氏 西区阿波座中1）では第一期工事（倉庫）完了。

**高分子化学工業KK**（社長奥田平氏 北区空心町1）では社屋を前記住所に新築した。

**社名変更**

林ベニヤ商会は**林ベニヤ産業KK**に変更。

**電話番号変更**

東亜樹脂工業KKは㉗4395番代表に変更。

**福岡分室建築資材展示場電話変更**

福岡③1259番

1月27日より上記の通り電話番号が変更致しました。御高含の上精々皆様の展示場として御利用下さいますようお願い申し上げます。


社団法人 日本建材協会本部大阪北浜

常設建築資材展示場

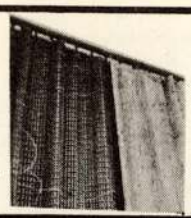
本部所在 大阪市東区北浜3丁目 近畿建築会館 電話㉓9908

第1会場 同上 会館内 電話㉓7172

日本建材会館 大阪市西区京町橋電停前 電話⑭5590

第2会場 同上 会館内 電話⑭5092

福岡分室 博多駅前通松下ビル横入 電話③1259






# 万葉すだれ

多くの利点を持つ竹製カーテン!

株式会社 ライト製作所

大阪市城東区野江東3 TEL ㉝代 1751~4
東京・横浜・和歌山・広島

カタログ贈呈

# 田中式 スカイライト・ベンチレーター スチールサッシュ・ドアー スチールシャッター・オペレーター

TNK 田中工業株式会社大阪出張所

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89 TEL大阪(48)0545

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25 | TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790 |
| | 東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122 | TEL 東京(681) 0870・0970 |
| | 小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37 | TEL 小倉0653・2833 |
| | 川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43 | TEL 川崎②4540 |
| | 札幌出張所 北海道札幌市北三条東7～4 | TEL 札幌③0515 |
| | 盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株) | TEL 盛岡7642 |
| | 名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・(合)岡田建材店 | TEL 名古屋(53) 0121・2057 |
| | 米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店 | TEL 米子4683 |
| | 長崎代理店 長崎県長崎市要町11・関西工業(有) | TEL 長崎②6046 |

信用ある技術と伝統の

# アスファルト工事

専業大店

# 株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(34)207～8・4836～7

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

**高砂熱学工業株式会社大阪支店**

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電　話　大　阪　㉓　7　6　4　1（大　代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工

**東洋キヤリア工業株式会社**
**大　阪　支　店**

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電　話　大　阪　㉞　局　8　3　5　6（代表）
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支　店　東　京・名古屋　　出張所　九　州
工　場　東京都足立区下沼田町360番地

給　排　水・衛　生　設計施工
暖　冷　房・換　気

**株式会社　大阪城口研究所**

代表取締役　城　口　庸　平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

**電気・暖冷房・水道・衛生設備**
設　計　施　工

**株式会社　大阪電気商会**
**株式会社　大阪暖房商会**

取締役社長　菅　谷　三　郎

本　店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電　話　大　阪　㊹　代　表　5231・8231　番
支　店　東　京・名　古　屋
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設　計　並　施　工
特許ＹＭ式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

**斎久工業株式会社大阪支店**

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉘代表4496～8・4993～4番
本　店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195

**創　業　暖冷房・換気・空気調和**
**大正二年　病院諸機械・給排水・衛生**

**株式会社　斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話大阪㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号　電話中局㉔1766

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
鋼　管・荷　役　機　械・製　造　販　売

**三機工業大阪支店**

大阪市東区高麗橋三丁番壱番地・電話代表26局{2951 3076
本　社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福　岡・札　幌・広　島
工　場　川　崎・鶴　見・中　津・六　郷

暖房・冷房・水道・衛生設備
設　計　施　工

**須賀工業株式会社**

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電　話　㊹　代　表　5171　番
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町電話㊺代表4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

**株式会社　西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通2丁目51　電話大阪㊺3415
**東京事務所**　東京都港区西芝浦3の1電話東京(451)5281
**広島出張所**　広島市空鞘町99の1　電話広島③7544
**福岡出張所**　福岡市下呉服町2の9　祐徳ビル　電話福岡②5389

**空気調和装置・設計施工**

**株式会社　建　材　社**

**大　阪　支　店**

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話大阪㉓6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
**営　業　所**　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・水道・衛生設備
都市環境衛生装置
設計施工

**山田工業株式会社**

本社　大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹（代表）2613・（代表）9431
営業所　神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所　名古屋市中区梅ケ枝町2の3　電⑨1765
〃　東京都北区上十条1の10　電(911)2346
〃　広島市西魚屋町31　電②1375

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長　中山敏正

本店　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店　東京都新宿区荒木町一九番地
電話(351)2177～8番
神戸出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三　電話元町④3035番
京都出張所　京都市中京区高倉通三条下ル　電話上③2869番
三沢出張所　青森県三沢市上久保三一　電話大三沢36番

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

**第一工業株式会社大阪支店**

大阪市北区富田町30　電話大阪㉞（代表）0977 / 0978～9・0970
本社　東京都千代田区丸ノ内2－10
電話(281)2631－5
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話7332
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3－6
電話⑨2893

暖冷房・換気・空気調和
給排水・衛生・電気
設計施工

**日本熱学工業株式会社**

取締役社長　牛田正郎

本社　大阪市東区唐物町5丁目10
電話大阪㉕(代)5171～3・3643
東京支店　東京都千代田区神田和泉町1
電話東京(866)7683・7716・2594
下関出張所　下関市大和町33　大和ビル23号室
電話②7306

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

**第一企業株式会社大阪支店**

大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話大阪㊹（代表）3818
本社　東京都文京区元町2丁目17番地
電話(921)（代表）6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社　大阪市北区富田町一六　㉞7031㊱6793
出張所　東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820
福井市宝永上町一〇五　1596
松江市東本町四丁目一四九　5098
広島市紙屋町八　②1938
福岡市養巴町二二　④1158

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市北区中之島4－39　電㊾6671～5
東京支店　東京都港区芝浜松町2－7　電(431)7341～5
北海道出張所　札幌市北四条西15丁目　電②2203・③5374・5969
仙台出張所　仙台市元寺小路(五城ビル)　電②8061・③9261
名古屋出張所　名古屋市中区東陽町6－5　電㉔1270・1484
広島出張所　広島市大手町8－155　電③7949
福岡出張所　福岡市薬研町3　電④0788・⑤0296

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

**日本管工業株式会社**

代表取締役　市川進男

本社　京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話7503・3665
津営業所　津市栄町2－111　電話3610

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

**大嘉熱工業株式会社**

取締役社長　嘉幡政四郎

大阪　大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊱直通2085・5725
(代)9951～9・9961～9
東京　東京都千代田区西神田町一ノ八
電話東京(291)8002～3
出張所　愛媛県川之江市・九州福岡市

アーマーコート西日本代理店

**近畿建材工業株式会社**

防水美装塗料……アーマーコート
特殊防水パテ……タイガー印コーキング・ハイドロシール
床面美装仕上材料……フアルベトン
美装吸音材料……ラテックス，ボード

本社　大阪市北区茶屋町33　TEL大阪㊽3003番
九州出張所　久留米市原古賀町北134の1　TEL久留米7065番
北陸出張所　石川県松任町字布市町50　TEL松任672番

電気工事設計施工

**工藤電気株式会社**

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京営業所　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所　名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

**浅海電気株式会社**

取締役社長　浅海正雄
本社　大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社　東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)1316・2536・4715・3573
営業所　名古屋・札幌・沖縄・福岡

電気工事設計施工

**栗原工業株式会社**

取締役社長　栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話　大阪㉞代表　1234～9
支社　東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所　名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

**中央電気工業株式会社**

取締役社長　今村騰
本社　大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話　大阪㉞8131代表～4　㊱7263
営業所　東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

**森井電業株式会社**

東京本社　東京都港区芝三田綱町一番地
電話　東京(451)9611～5番
工場　東京都港区麻布新広尾町一丁目—三四番地
電話　東京(451)0535番
大阪支店　大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(44)9516～8番　夜間専用(44)502番
名古屋出張所　名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話笹島(54)6865・9495番
福岡出張所　福岡市東簀人町二七番地
電話(4)7813番　(5)3516番

各種電気工事設計施工

株式会社　**ヤマト電気商会**

取締役社長　山本龍太郎
本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪㉞代3056
東京営業所　東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室電話東京(541)7464
出張所　北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設設施工

**三宝電機株式会社**

取締役社長　嘉納伝三
本社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話　㊱7077～9
倉庫　大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話　㊺5148・6646
支店　東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階)電話(551)5590～2
営業所　名古屋市中林区泥江町2ノ1
電話　㊺7146

電気工事
設計・施工

**朝陽電気株式会社**

取締役社長　山本博三
本社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル7階
電話　大阪局㉙9531(大代表)
営業所　大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話大阪局⑭5201番(代表)～3
出張所　京都市中京区壬生桧町20
電話京都局㉞3481番

電気工事設計施工

**江東電気株式会社**

取締役社長　猪飼幸次郎
本社　大阪市生野区勝山通9丁目72
電話大阪㊽代表4035　㉞3515
支社　東京都新宿区淀橋533
電話　東京(371)6203
出張所　金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

**中本電気株式会社**

取締役社長　中本正明
本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪　㉝5143・5373
機器工場　大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫　電話大阪　㉝2193・2134

## 鈴木式防火シヤタア

鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729

---

**PAINTING CONTRACTOR**

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪㉕1756—7・東京㉙1335

---

**軽量鉄骨**
**設計・施工**

**新鋼建設工業株式会社**

取締役社長 吉田信武

本社 大阪市西区新町通2丁目25
電話㊸7418・609・6575

工場 神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話 神戸 ⑧616
広島県御調郡向島町立花3010
電話尾道2968　向島西19

---

**コペンハーゲンリブ**

商月報無料送呈

井田ベニヤ **井田商事株式会社**

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅前筒物八号門前
電話 (53) 4890　(54)0808~9

---

**リグノイド床**・床材料

製造・販売・施工

**福屋工業株式会社**

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 大阪㊸3426～7

---

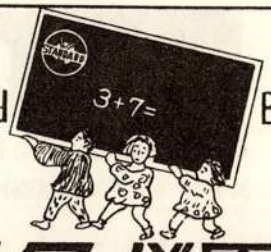
標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液・急結液一号（噴水急止）
二号（湧水防止）・姉妹品粉末ニッポン

施工指導並ニ責任模範施工

**黒川化学工業所**

（国立大阪工業試験所創製）セメント防水材特許権実施工場
（大阪営業所）北区芝田町六八　電話大阪㉞7916
（本社・工場）神戸市灘区住吉町反高林1876・
神戸⑧2723

---




**フタバ黒板**

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話天王寺(74)4692番

---

各種陶管・大正便所・S.P.石綿パイプ・モルタル製敷ブロック・腰掛ブロック・スペンサー
セメント煉瓦・流司洗濯槽・塵芥箱・空気抜・ヒューム管
各種セメント製品・コンクリート製品製造・販売

**三舟建材商會**

大阪市住吉区上住吉町三一番地
電話㊼2420番

---

千光瓦
各種和洋瓦
各種タイル　販売・工事設計並施工
衛生陶器

**井上窯業株式会社**

大阪市天王寺区生玉町40 電話天王寺㊼(代)2825~7
営業所（電話）住吉㊼4123・奈良2508
豊中 3614・芦屋5930
倉庫 大阪市港区市岡浜通り2~14 電話築港㊼1675

T K K

アルミニウム
サッシュ・ドアー
ステンレス

スチールシヤッター

# 東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～6
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（泰晴ビル3階）
電話　㊳ 9154～7
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸善ビル）㉔3048・4593
代理店　広島・福岡・富山・札幌

---

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 レミコン 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店

## 樫野石灰工業株式会社
## 大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）　電話大阪㉞1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

---

電気工事設計施工

## 株式会社 電工社大阪支店

大阪市北区葉村町41
電話 ㊲ 6335（代表）～8
本社　東京都渋谷区大和田町25
電話（461）4246～4248
支店並営業所　名古屋市・四日市市・三島市・甲府市宇都宮市

---




陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
## 三幸商會

大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ 3145

---

特許
## 白蟻

松平式白蟻殺滅予防所

奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639

---

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具・建具・室内装飾工事　設計施工
内外織物・敷物類一式

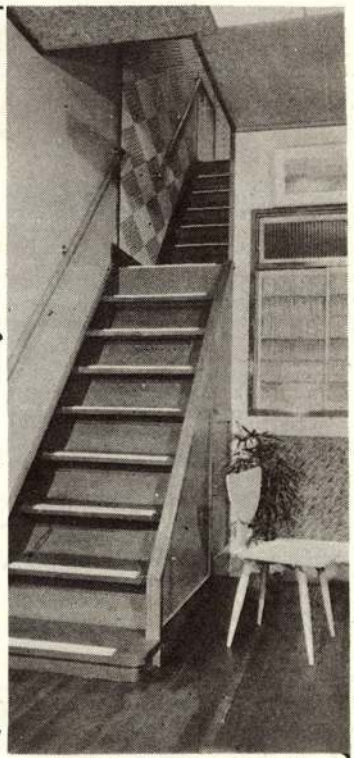
（創業大正7年）

## 若 二葉屋装備工業株式会社

取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 ㊲ 3321～3・3630

---

プリント合板
ビデオンボード
リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
織物の壁貼材料
オーツカクロース
コーライ
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板



モデルルームへどうぞ

一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区幸町通3丁目20
## 浪速合板
電話 新町(53) 2201-3番

工場　大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81　電話 住吉(67)5109



だいわ
# 大和洋瓦

雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い

発売元
**大仏組**

大仏瓦，各種和洋瓦
工事請負一式

本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉙975

---

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

株式会社 **吉田芳雄商店**

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪㉞2403・3904

---

# タイル衛生陶器

販売と施工
奉仕感謝の店

株式会社 **川岸窯業**

大阪市西区靱南通二の二五（市電靱南通電停前）
電話 ㊹2571・2764番

---

株式会社 **矢橋大理石商店**

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話 大阪㉓4257－8番

---

特許植物性　型枠離剝塗料

# サンヒット

メタルフォーム用特号

関西代理店　株式会社 **金剛商会**

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

---

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市浪速区元町二丁目七四二番地 ㊸五〇六五

**ナニワ瓦株式会社**

# ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦

---




株式会社 **室谷商店**

本社　神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮③0881～3
支店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141

---

燃えない建築資材



タイガー印

# 耐火ボード

石膏デスボード
タイガートーン

絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材

**Y.N石膏プラスター**

キーンスセメント
各種焼石膏

# 吉野石膏大阪支店

大阪支店　大阪市西区土佐堀通1－1（大同ビル）
電話（44）3694・0131
本社　東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京（281）2391（代表）
九州営業所　福岡市相生町1－1　電話西（2）7420

仕上りの早い
燃えない

# SSS

## 石膏ボード
## ボード用プラスター（略称 SB）
## ラスボード
## 吸音ボード

混合石膏プラスター
純石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏

カタログ贈呈

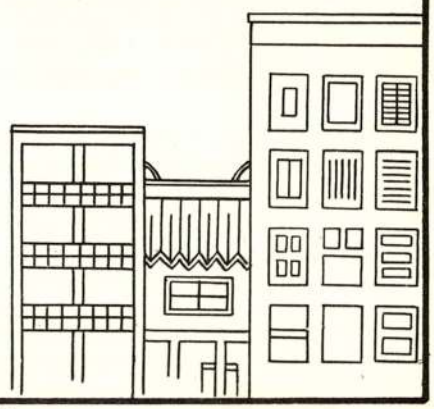
## サンエス石膏株式会社

本社　姫路市神屋町4－77　TEL姫路1220・134
大阪営業所　浪速区北日東町145　TEL(63)3161～2
東京営業所　新宿区東大久保1-340TEL(351)0396(341)3542
名古屋営業所　名古屋市東区駿河町1－18　TEL(9)4675
福岡営業所　福岡市下名島町29　TEL(4)8358

工場　姫路市神屋町4－77　電話姫路134・1220
工場　姫路市御国野町国分寺474　電話御着324
工場　姫路市四郷町見野
工場　瀬戸市苗場町113

スチールサッシ
〃　ドアー
〃　シヤッター

エィコー式



## 栄進鋼業株式会社

本社　大阪市北区神山町二六(富国ビル内)　TEL(36)6580・6265
工場　大阪市城東区野江西町二ノ二　TEL(33)8261～8263
支店　福岡　営業所　東京・広島・長崎

## KKK

●伝統の技術
●製品の優美
●工事の確実
●工期の正確
●価格の適正

（カタログ進呈乞御一報）

全国各地の会社、商店・
ガレージ等の戸締に使用される

## 関西シヤッター



スチールシヤッター
ライトシヤッター
軽便シヤッター
特殊機械扉

押上式
捲上式
横引式

## 株式会社 關西機械建設社

営業所　大阪市城東区野江西之町二丁目一　電話大阪(33)9586 8261～3
第一工場　大阪市東淀川区野中北通二丁目三五　電話三国(39)1864 2397
第二工場　大阪市城東区野江西之町二丁目二　電話城東(33)8263
名古屋出張所　名古屋市中区東陽町七丁目二　電話名古屋(24)0372
広島出張所　広島市小網町三九　電話広島(3)1250
福岡出張所　福岡市上州崎町二五　電話福岡(36)326

日本で初めての **年限仕様**

# Ⓐ アスタイト防水

| 地区 | 組合員名 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 近畿（順不同） | （株）久保商店 | 大阪市北区真砂町5 | 大阪㊽0207～8・4836～7 |
| | （株）木下謹三商店 | 大阪市西区江戸堀南通5ノ35 | 大阪㊹5408・5486 |
| | （株）明正社 | 大阪市北区樋ノ上町45 | 大阪㊽8157～9 |
| | （株）井上浄夫商店 | 大阪市西区江戸堀下通1ノ7 | 大阪㊹8531～5 |
| | （株）大和商会 | 大阪市南区高津町4番丁73 | 大阪㊽1588・1905・6687 |
| | （株）石田建材店 | 大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31 | 大阪㊿3340・3505 |
| | 内外工業株式会社 | 大阪市阿倍野区旭町1ノ51 | 大阪㊹3434～6 |
| | 旭化建工業株式会社 | 大阪市北区茶屋町38 | 大阪㊿6555～7 |
| | 日本瀝青工業（株）大阪支店 | 大阪市北区富田町40 | 大阪㊾5496～8 |
| | 石井建材有限会社 | 神戸市兵庫区荒田町1丁目 | 神戸⑤2140・2697 |
| | （株）中出商会 | 神戸市兵庫区上沢通6ノ9 | 神戸⑤4630 |
| | タテバヤシ商店 | 京都市下京区四条大宮南入学校前 | 京都㊸4468 |
| | 田島応用化工（株）大阪出張所 | 大阪市西区京町堀上通1ノ14 | 大阪㊹5951（代） |
| 東海 | 岡田建材株式会社 | 名古屋市西区西菊井町2ノ12 | 名古屋㊺2057・0121 |
| | （株）名建商会 | 名古屋市中区宮出町41ノ2 | 名古屋㉑1329・2817・2106 |
| | 高橋建材店 | 名古屋市中区材木町1ノ12 | 名古屋㉓3295 |
| 北陸 | 北川工業株式会社 | 金沢市西側町8 | 金沢②4552～3 |
| | 北川工業（株）富山営業所 | 富山市奥田新町28 | 富山②2218 ③1014 |
| | 小島工務店 | 高岡市大坪旭町2丁目32ノ3 | 高岡 2463 |
| | 小島工務店 富山営業所 | 富山市神通町3区1003 | 富山 8221 |
| 中国・四国 | 青盛建材株式会社 | 広島市鉄砲町108 | 広島②2281～4 |
| | 青盛建材（株）岡山営業所 | 岡山市東田町3 | 岡山②7911・8169 |
| | （有）小野甚商店 | 岡山市内山下30ノ10 | 岡山②4272 |
| | （株）浜原豊商店 | 尾道市若宮町 | 尾道 2760 |
| | （株）浜原豊商店 防府支店 | 防府市大林寺 | 防府 1037 |
| | 古市断熱工業株式会社 | 高松市宮脇町960 | 高松③5043 |
| | 正和商事株式会社 | 松山市1番町21 | 松山②8161～5 |
| 九州 | 青盛建材（株）福岡営業所 | 福岡市万行寺前町14 | 福岡③1225～6 |
| | 暁建材工業株式会社 | 福岡市薬院町65 | 福岡④4326 |
| | 高稲工業株式会社 | 長崎市大黒町45 | 長崎②9228 |

建設省阪建 22 号認可

出資金 600 万円

三星 **西日本アスファルト事業協同組合**

大阪市西区京町堀上通一の一四　TEL ㊹ 代表5951

東京連絡所　東京都足立区小台町六三三（田島応用内）　TEL(911)代表1181

北陸・東海・近畿・中国・四国・九州



住友の
建築用

（カタログ進呈）

# 角形鋼管

「鋼管を素管とした
継目無角形鋼管」

形鋼を組合わせて溶接した角形鋼管と比べると
**均質**で、**軽量**で、**経済的**な（高級）継目無角形鋼管

## 住友金属工業株式会社

本　　社 大阪市東区瓦町4丁目31 電話（大代表）大阪（07）2201
支　　社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6（新住友ビル）電話（大代表）東京（211）2211

指定問屋

住友商事株式会社　大阪市東区北浜5丁目22　電話　大阪㊃6781
キゲタ鋼管株式会社　大阪市西区新町通1丁目14番地　電話　大阪㊂6331
山本鋼業株式会社　大阪市南区安堂寺橋通1丁目10番地　電話　大阪㊅2831
合名会社　渡辺藤吉本店　福岡市上西町16　電話　福岡③2235

## 小野田防水ブロック

（普通一般の防水ブロックとは違います）

**特　徴**　防水、防湿、通気、遮音、強度、美観の諸点が特に卓越しておりますので、上塗不要で経済的であります。

## 小野田パーライト及その製品

**特　徴**　均質性・超軽量性・断熱性・吸音性・防火性が特に秀れております。

## 特許 小野田NN防水剤

**特　徴**　透水比も吸水率も著しく低く且均質優秀な防水モルタルや防水コンクリートをつくる為の混入剤であります。

小野田パーライトを原料としてブロック・ボード
その他　特殊成型品を各種つくっております。

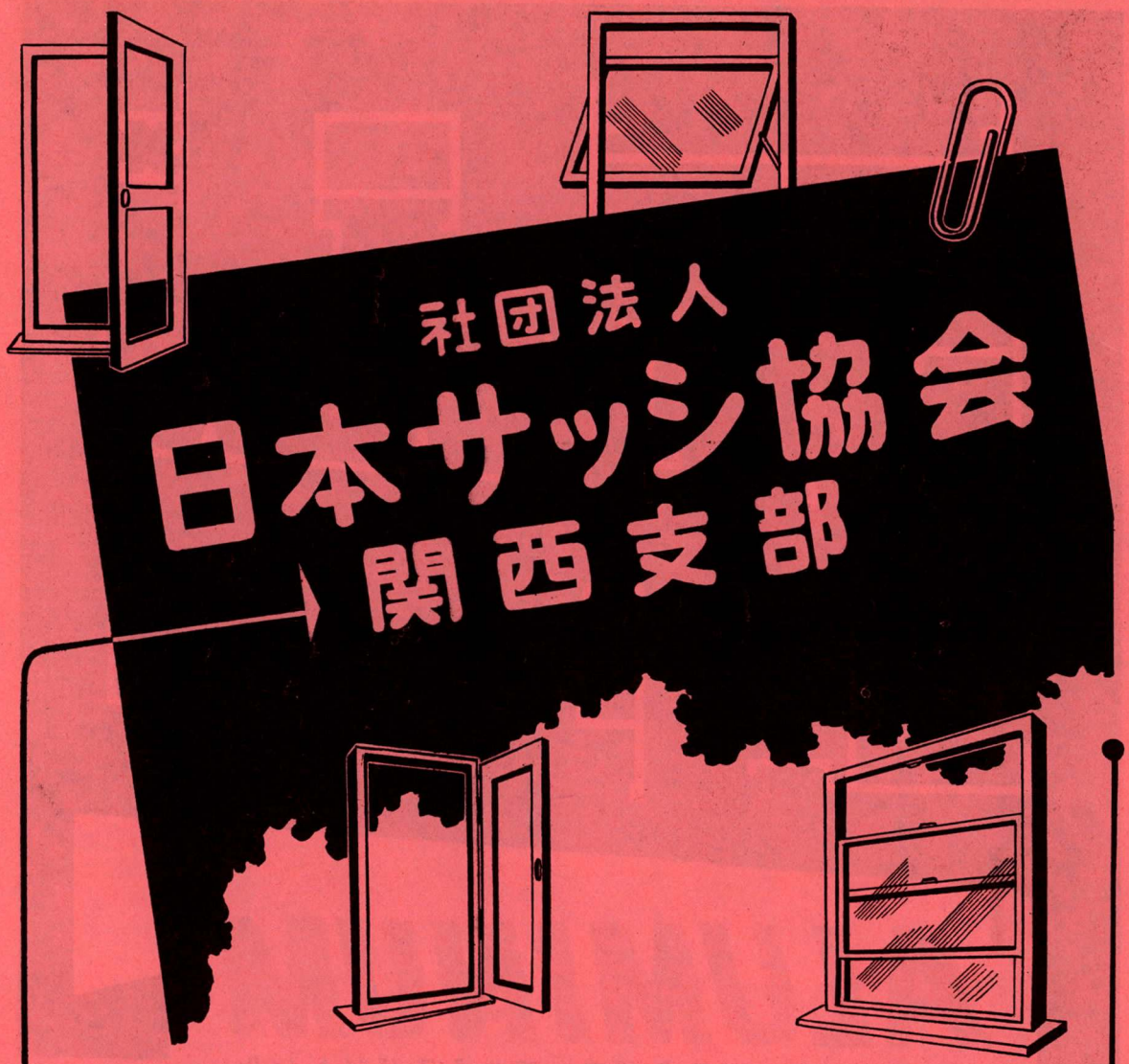
御一報次第詳細な説明印刷物を御送り致します。

**設計・施行の御相談・御世話も致します。**

## 小野田ブロック株式会社

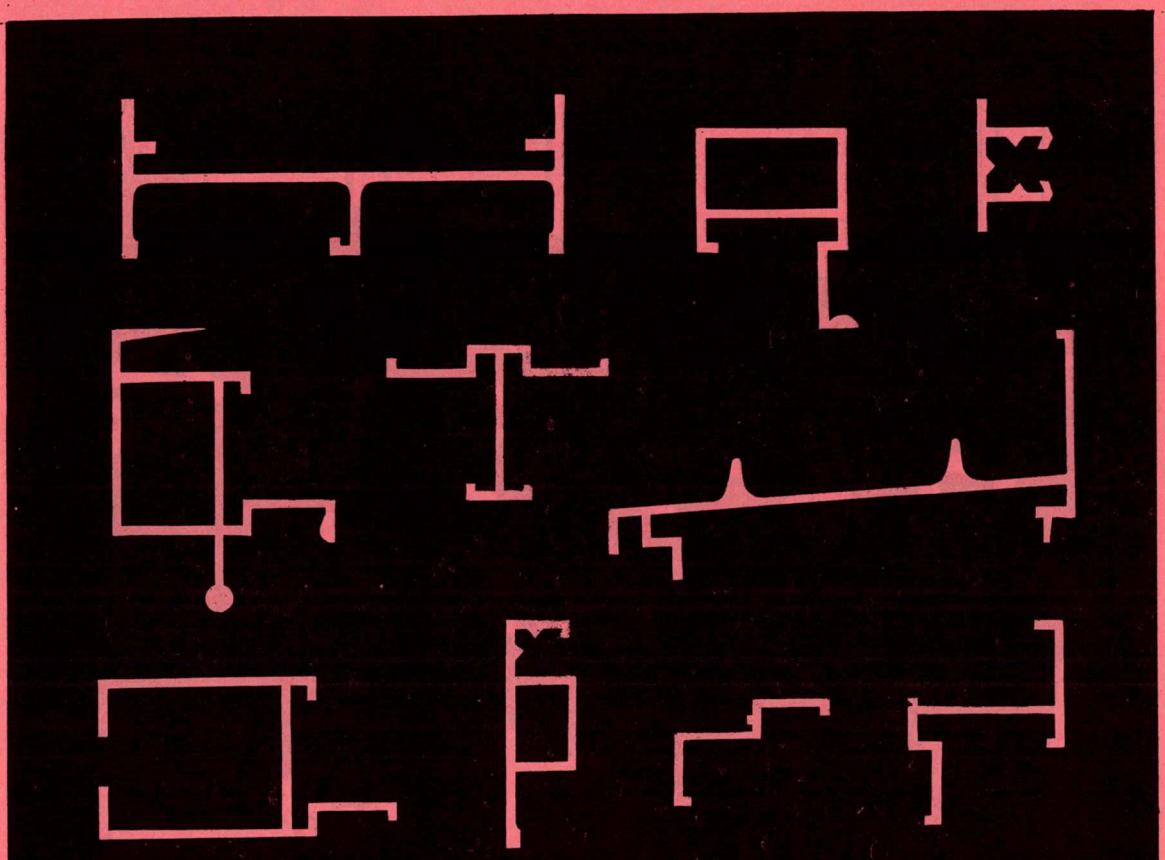
本社　千代田区丸ノ内1の1
電話　（201）1311・1411
内線　365～7

**東京工場**　東京都江東区深川豊州1の1　電話（641）2094・2293・7641・8054・9289・9405
**神戸工場**　神戸市灘区灘浜町3　電話御影（8）6224・8296・9580
**名古屋工場**　名古屋市港区丸池町1ノ1　電話熱田（66）3561・3562




関西支部　大阪市北区神山町26（富国信用ビル2階）　電話㊱ 6501～2番
支部長　福田好雄

西日本規格サッシ株式会社
朝日建材工業株式会社
旭鋼鈑工業株式会社
麻村サッシュ工業株式会社
尼崎建材株式会社
株式会社岩住鉄工所
栄進鋼業株式会社
栄進社大阪営業所
大阪機工株式会社
大阪建材工業株式会社
株式会社大阪鉄工所
大阪理研工業株式会社
加地シャッター工業株式会社
川鉄商事株式会社魚崎工場
株式会社関西鋼業製作所
三機工業（株）大阪支店
昭和鋼機（株）大阪支店
谷山鋼機株式会社
中国理研サッシュ株式会社
東京鋼板工業（株）大阪支店
中本鉄工所
浪速建材工業株式会社
日本建鉄（株）大阪営業所
株式会社汎建製作所
不二製作所大阪支店
理研鋼機（株）大阪営業所



# ALUMINUM

アルミサッシ・アルミドア・アルミスパンドレル

米国フェントロン社と提携せる優秀品

## FR型ALUMI·SASH

アルミが錆び難いという事は，Al の酸化物（$Al_2O_3$）がアルミニウムの酸化を防ぐ役目をするからです。この安定な酸化皮膜をつくるために，アルミニウムは最初の1年位は腐食が進行しますが，それ以後は酸化皮膜に保護されて，非常に侵食が緩慢になり，長年月の使用に耐えるようになります。この酸化皮膜を人工的に拵えたのがアルミライトです。当社の製品はすべてアルミライト仕上で，いつまでも美麗な光沢を保ちます。

**不二サッシ工業株式會社**

取締役社長　佐野友二

本　　社：川崎市中丸子135番地　電 721－4261（代）
東京事務所：東京都中央区銀座西6－5番地　電 571－5526（代）
大阪支店：大阪市西淀川区御幣島町中3－4番地　電 47－1454
営 業 所：福岡・名古屋・金沢・仙台・札幌　工場：川崎・大阪

# 広告目次 (50音順) 建築と社会 昭和35年 Vol. 41 No. 3


ア 浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
朝日石綿工業kk …… 表4
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk …… 5
井上窯業kk …… 5
kk 岩住鉄工所……中挟
岩元工業kk ……18
kk ABC商会……中挟
kk 栄興商会…… 3
栄進鋼業kk …… 8
小野田ブロックkk ……10
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……22
大阪コンベス建材社 ……16
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪耐酸工業所 ……18
大阪鉄工所 ……20
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk ……21
織本建築事務所 ……15
カ 樫野石灰工業kk …… 6
kk 桂商会……目次対抗面裏
亀井kk ……17
kk 川岸窯業…… 7
川口ゴム工業kk ……前付
kk 関西機械建材社…… 8
関西三星タイル会 …… 表4
近畿建材工業kk …… 3
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
栗原工業kk …… 4
黒川化学工業所 …… 5
kk 建材社…… 2
江東電気kk …… 4
kk 小西儀助商店……22
kk 小俣製作所……本文
kk 金剛商会…… 7
サ サンエス石膏kk …… 8
斎久工業kk …… 2
kk 斎藤省三商店…… 2
「材料と設計」 ……本文
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 6
kk 三晃商会…… 3
三宝電機kk …… 4
kk 三和シヤッター製作所…前付
敷島金物kk ……目次対抗面裏
彰 国 社 ……本文
昭和アルミニウム kk……14
新鋼建設工業kk …… 5
kk 新興建材工業所……中挟
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 5
住友金属工業kk ……10
セメダイン ……前付
タ タキロン化学kk ……本文
田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所……17
田辺工業kk ……本文
田村商会建材部 ……19
kk 谷山製作所……本文
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大日本硝子工業kk ……18
大 仏 組 …… 7
高砂熱学工業kk …… 2
kk 武智工務所……本文
淡陶kk ……中挟
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東京鋼板工業kk …… 6
東洋キヤリア工業kk …… 2
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……目次対抗面
ナ ナニワ瓦kk …… 7
内外工業kk ……16
内外土木建材社 ……14
中本電気kk …… 4
浪速合板 …… 6
浪速建材工業kk ……19
日新工業kk ……中挟
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……中挟
日本サッシ協会関西支部 ……11
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本耐火ボードkk ……前付
日本ドアーチエック製造KK ……中挟
日本ドアーチエック製作所 …16
日本熱学工業kk …… 3
日本ハードボード工業kk ……20
日本ペイント ……17
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk 西原衛生工業所…… 2
ハ パラマウント硝子工業kk …前付
kk 林塗装店…… 5
kk 汎建製作所……15
kk 日立製作所……前付
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……18
フタバ黒板 …… 5
福屋工業kk …… 5
藤森建材kk ……前付
不二サッシ工業kk ……12
二葉屋装備工業kk …… 6
「プラスチックス・エージ」…本文
平和工業kk ……17
豊国セメントkk ……14
マ 松平式白蟻 …… 6
水谷ペイントkk ……本文
kk 三高製作所……15
kk 三谷製作所……前付
三井金属鉱業kk ……目次対抗面
三舟建材商会 …… 5
美素工業所 ……目次対抗面裏
kk 水島商店……16
kk 室谷商店…… 7
kk メルコン……17
森井電業kk …… 4
ヤ 矢橋大理石商店 …… 7
山田工業kk …… 3
山宗化学kk ……本文
kk ヤマト電気商会…… 4
安田レールkk ……21
kk 山本建材社……前付
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店…… 5
吉野石膏kk …… 7
kk 寄木商店……14
ラ kk ライト製作所…… 1


## 特別広告 (順不同)


kk 竹中工務店……5,8
kk 大丸家具装飾部…… 6
kk 建材社…… 6
kk 清水工業所…… 7
有限会社 関西タイル商会 …… 7
合資会社 佐村木商店 …… 7,15
栗原工業kk …… 9
斎久工業kk …… 9
内外木材工業kk …… 9
kk 日本セメント防水剤製造所 10
関西ペイントkk …… 11
清水建設kk …… 12,14
kk 諏訪商会…… 13
京阪興業kk …… 13
山田工業kk …… 15
須賀工業kk …… 15
kk 戸田組…… 16
kk 三晃商会…… 17
内外工業kk …… 17
kk 矢橋大理石商店…… 17,20
中央電気工業kk …… 18
kk 大林組…… 19
東洋リノリュームkk …… 20
斎久工業kk …… 20
kk 久保商店…… 20

# 豊国セメント株式会社

本　社　福岡県苅田町
事務所　小倉・大阪・東京

昭和アルミの **押出型材**



アルミニウムの押出型材は複雑な型状のものが容易に作れ、製品コストを下げ、美しく、錆びず、合金によって鉄鋼に匹敵する強度を持ちます。
最近は、建築、船舶、航空機、その他軽工業や家庭器具等極めて広範囲に使用されています。
アルミニウム工業に於て伝統を誇る当社は、最新式押出機により、管、棒、線、その他各種の型材を生産し、急激に増大してきた新しい需要に応じています。

昭和アルミニウム株式会社
本　社　堺市海山町6の224
電話　堺（3）1181（大代表）・大阪（67）3522（代表）
東京営業所　東京都中央区日本橋堀留町1の12
電話（661）0087・0334・0715・1776・4626・7667

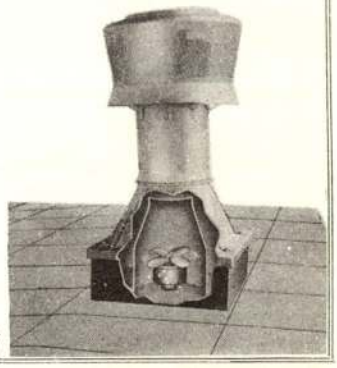
40年の伝統と経験を誇る

**内外式**
**バーチカル（電動式）ベンチレーター**

自然換気の15倍・従来のものより5割も効率大

工場・発電所・病院・ボイラー室・倉庫・料理店等
特に熱及び臭気の発生する所に最適です

**内外式スカイライト・波型硝子完全葺**
**内外式ベンチレーターコンチニアス並ニ筒型**
**タービヤ舗装工事・設計施工**



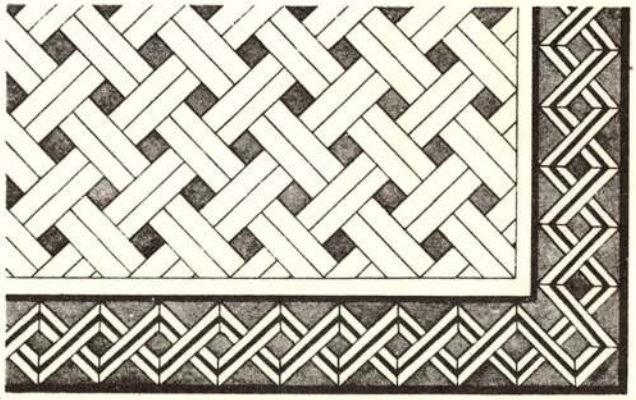
株式会社 **内外土木建材社**
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）　TEL（44）3983・4396

寄木貼床板
フローリング　施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー　造作取付
グラインダー床削



株式会社 **寄木商会**

営業所　大阪市東区横堀6—49
電話　㉓3731・3960
工　場　大阪市浪速区勘助町1



三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69
電 話 大 阪 37—1 7 5 4（代 表）

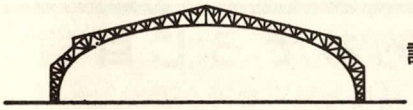
伝統に輝く
優秀な製品

スチール サッシュ
スチール シャッター
スチール ドーア

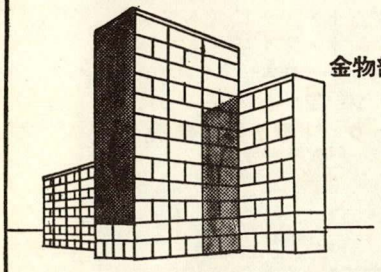
新規製品
完全密閉片引き窓
気密度極めて高く
開閉軽快・堅牢・低価

株式会社 汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11 電話 此花 ㊻ 2903・4461

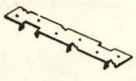
綜合建築設計への道

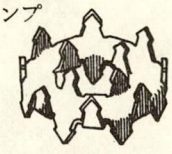


設計部 1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

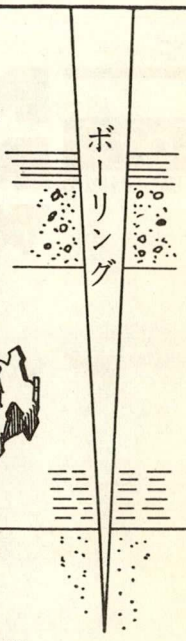


金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ





地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査




株式会社 織本建築事務所 所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2 電話（671）6443・7007・7062

良心的な工事と材料

アスファルト
防水工事．耐酸工事

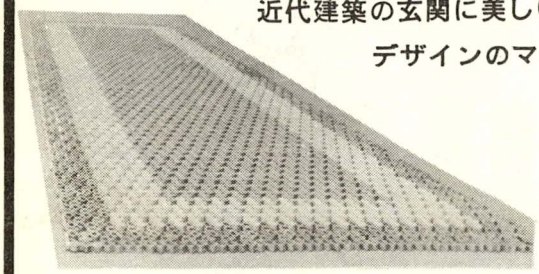
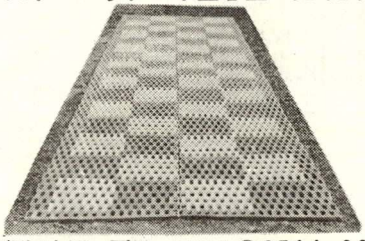
ブリヂストンの
エバーソフト
最も進んだゴムのクッション

志垣の 明正社
大阪市北区樋上町45
TEL (34) 8157・8158・8159

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式
N. G. インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュ D. M 38番責任施工
米国パブコ. コンパウンドアスファルト販売
内外工業株式会社
脇山静夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話㊸3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

経験と技術
Y.C.コンベス (リグノイド)
ゴムタイル
プラスチックタブ
スポンヂシート
アスファルトタイル
大阪コンベス建材社
大阪市北区浪花町三五 電話 豊崎 ㊲6760・7063

MIZUSHIMA
MOP モップ
MAT マット
WAX ワックス
近代的おそうじ百貨
信用と品質を誇る店
OSAKA ミツシア KYOTO
ユービ金属マット・ユービゴムマット
ユービ鉄マット・ラインゴムマット
カラーラインマット・ニューラインマット
ホーム・ソフト・モップ
ダスト パック 1型2型 発売元
近代建築の玄関に美しい
デザインのマット


株式会社
水島商店
大阪店 大阪市西区北堀江上通一丁目・TEL㊸3514・8246
京都店 京都市中京区蛸薬師烏丸西入・TEL②5363・0214
工作所 京都市右京区西院松井町八・TEL㊹1697

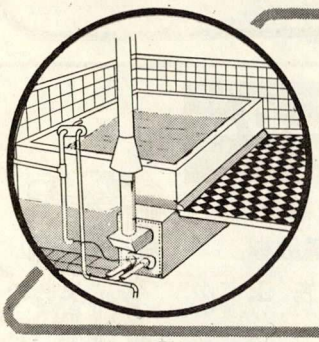
ビニール壁塗料

# ビニレックス

5000 (エマルジョン)
6000 (溶剤型)

乾燥が早く、密着性が優れ、のびが良く、経済的である

日本ペイント
大阪・東京



# 田中のガス風呂

清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂製作所
大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊸5313・8128

窓掛、緞帳、日除、壁紙 室内装飾 絨氈、舗床材一般
東洋レーヨンの ナイロン 緞通と絨氈 発売元

# 亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪 (25) 1353～5番



平和式

親切・丁寧 ご御照会

# 軽量シャッター

平和工業株式会社
大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目 電(64) 5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目 電(741)0160・1733

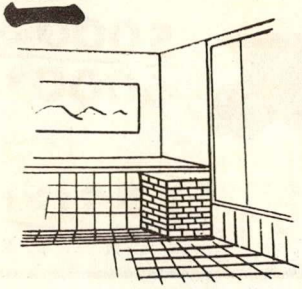
トイレの脱臭に

# メルコン

電気脱臭器

熱海 菜の宮ホテル 全室装備

製造元　株式会社 メルコン
大阪市東区今橋一ノ一〇
(朝日生命ビル)TEL 大阪 ㉓ 5110



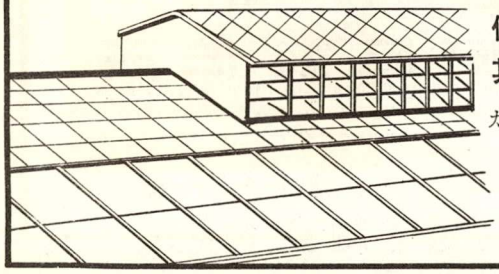
# タイル・衛生陶器

株式會社

## 平田タイル

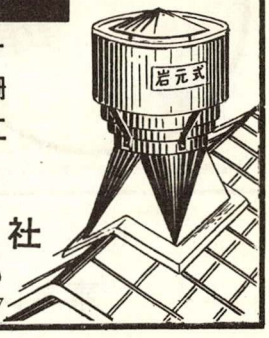


岩元式 **スカイライト** 並 固定筒型 コンチニアス **ベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈




**岩元工業株式会社**

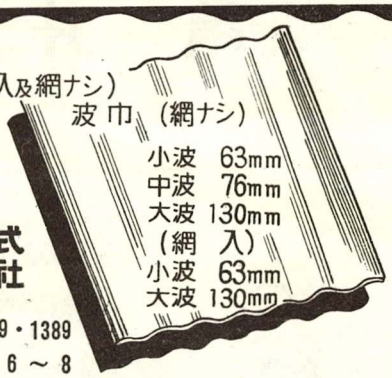
本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊽0616・0617



**光り 波型ガラス** (網入及網ナシ)

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板




製造元 **大日本硝子工業株式会社**

大阪支店 大阪市北区玉江町2—4 (三菱倉庫ビル) 電話 大阪 ㊹3389・1389
本 社 東京都中央区京橋3—6 電話(281)6926～8



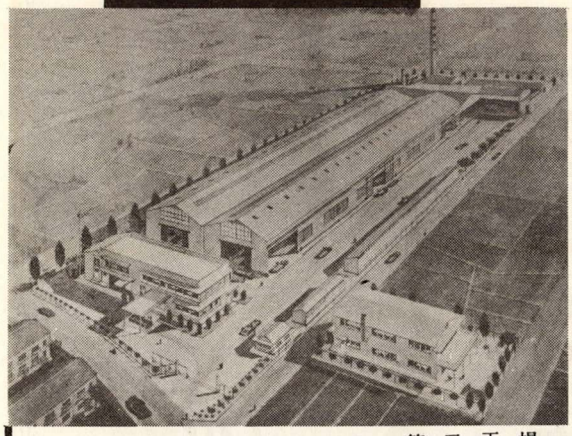
冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

**アスファルト専門工事**

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

# 大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地 電話大阪㊲1333番



第二工場

# 浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シヤッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
—製造販売—

NANIWA
大正十四年創業

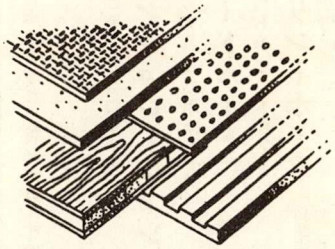
日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

## 浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話 大阪㉝1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地　電話大阪㉝6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室　電話　東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地（サンビル内）電話　福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話　大分　1366番

# タムラ　最高の品質・新しい建築資材

内装材



| | |
|---|---|
| 音響材料 | アズマ・味の素・ジヤパ<br>ゴールデン・ヤマハアコス |
| ハードボード | 三井ボード・ゴールデンボード<br>イワクラホモゲン・ヤマハボード |
| インシュレーション | ゴールデンインシュレーションボード<br>テックス各種 |
| 高級合板 | ヤマハ合板・ランバーコア<br>プライロン・ゴールデンサンドキッチ |
| 装飾板 | ヒッターライト・ビニール合板<br>カラーボード・コルクボード |

創業 明治24年
貿易・木材・建材

## 田村商會 建材部

本　店　神戸市生田区京町72（クレセントビル）　電話　代表神戸 ㊴ 0881
支　店　東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰　電話 東京 (271)　6181・6182

古き歴史と斬新な技術を誇る大鉄製品

スチール
アルミ
サッシュ
ドアー
シャッター

営業品目

ステンレス製品
美術金物
金庫 金庫室扉

設計 製作 取付

株式會社

# 大阪鉄工所

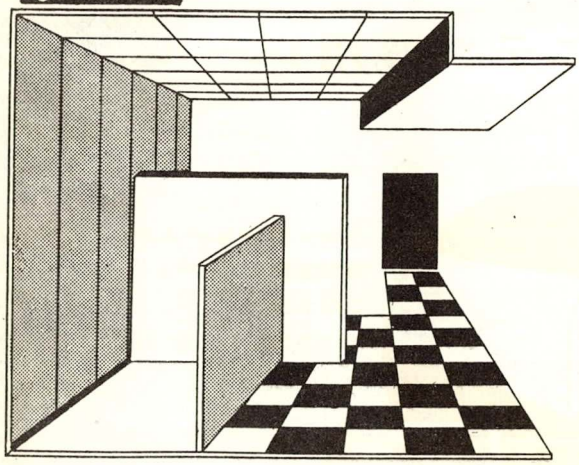
取締役社長 冨田豊松

大阪市西区本田町一丁目四四番地 電話 大阪 ㊸ 1254・4615 ㊹0910・0919

津守工場 大阪市西成区千本通七丁目二四番地 電話大阪㊻ 1418

提携会社・大阪ドアーエンヂン株式会社 電話大阪㊸ 4606

Goldon BOARD



いつも適温 しづかな住い

## ゴールデンボード

天井から床まで優れた特性と耐久性のある

保温・断熱・防音にすぐれた
●インシュレーション
建物から家具まで用途が広い
●ハードボード
木材よりも美しい木目をもつ
●プリントボード（新発売）
間仕切り用に効用大
●サンドウィッチボード

四季を通じて快適な居住性を造る建築材料です
経済的で仕上りが美しいので住宅・オフイス・工場等に広く用途を持っています

代理店
伊藤忠商事株式会社
安宅産業株式会社
三菱商事株式会社
住友商事株式会社

日本ハードボード工業株式會社
名古屋市港区汐止町
東京出張所 東京都中央区八重洲4の5
大阪出張所 大阪市西区南堀江大通り1の19(三友ビル)

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE ◆ MARK

● 黄綬褒章受賞

特許奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

# カッパー防水帯

コーパータイト

●御申越次第
カタログ贈呈

製造元 奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3・TEL 銀座 (571) 2703～4・2370・4064・0264

アシバネ印 ビニテツ実用レール




①硬質ビニールを完全被覆してありますから優美であり永久防錆されて居ります。

②防音にして戸車は軽快に回転致します。

③価格は実用的低廉であります。

グレー色 (甲丸レール、角レール、丸レール)
透明金色 ( 〃 )
コロナ色 ( 〃 )
パール色 ( 〃 )

実用新案 NO.496090
〃 NO.498877
意匠登録 7件

安田レール株式会社

大阪㉖6571～4番

建築用の接着剤には

Bond ボンド

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 木工用 | ボンド $CH_2$ | ハードボード用 | ボンド $CV_{2000}$ | |
| テックスボード用 | ボンド K | 化粧板用 | ボンド $G_5$ | |
| セメントモルタル補強用 | ボンド CZ | ビニタイルサラン用 | ボンド $G_{100}$ | その他 |
| コンクリート石材用 | ボンド E | 木材構造用 | ボンド KR | 170種 |

製造元 株式会社 小西儀助商店 ボンド工場

見本カタログ進呈

営業所
- 大阪市東区道修町2丁目6番地 電話（23）2047，2057（代表）
- 東京都中央区日本橋本町3丁目1番地 電話（241）5524～8，
- 分室・東京都中央区日本橋本町1丁目7番地 電話（241）2191～4，2541
- 名古屋市西区菊井通り8丁目17番地 電話（55）0658，1058

工場 大阪・東京

近代建築に
アルミサッシ・ドアー

二重焼付塗装による完璧の防錆

スチールサッシ　スチールシャッター
スチールドアー　オペレーター

〔オートメーション新防錆処理工場完成〕



新装なったアルミサッシ工場

建 大阪建材工業株式會社

| | | |
|---|---|---|
| 営業所 | 大阪市南区九郎右衛門町二十一番地 | 75－836（代）～9 |
| 工事部 | 同所 | 75－7127・7047 |
| 本社工場 | 堺市松屋一丁目六番地 | 堺2—3323（代）～7 |
| 経理部分室 | 大阪市南区久左衛門町六番地 | 75－830 |
| 泉尾工場 | 大阪市大正区泉尾浜通四目丁六十一番地 | 55－223 |
| 出張所 | 名古屋・金沢 | |

# 伊奈の タイル 衛生陶器

衛陶マーク

良質と量産を誇る

カタログ送呈

許可番号　第6428号

衛生陶器は JIS 表示の伊奈の製品を

タイルマーク



名古屋市大基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・ＣＣ130

## 伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電　(代) 7 0 0
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電(551)5261—2•5921

錆びない

# 岩住の サッシ・ドアー

弊社製品の総てに

オートメーションに依る 錆止メ塗装は 実施致しまして 期しています

ボンデライトを 焼付塗装を 完全防錆を 是非御採用の程願上ます

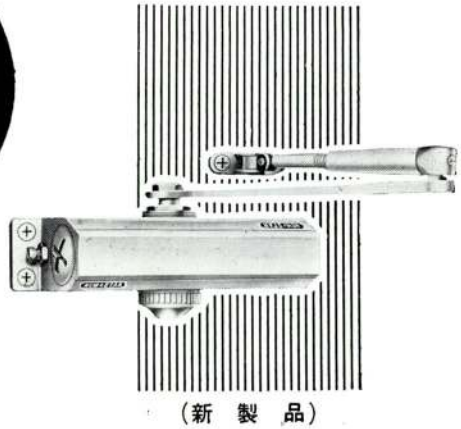
## 株式会社 岩住鐵工所

大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地　電話 淀川 (47) 代表 5123・3000

NEW★STAR

創業大正八年



（新製品）







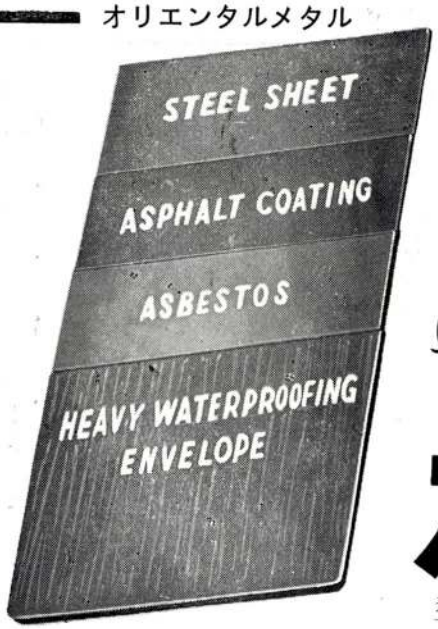



## 日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

| | | |
|---|---|---|
| 本社工場 | 布施市楠沼町３丁目１１番地 | 電話 大阪 (72) 代表６６６６－９ |
| 巽工場 | 大阪市生野区巽矢柄町２２２ | 電話 大阪 (72) ７４２６ |
| 東京支店 | 東京都千代田区神田錦町１丁目２３ | 電話 東京 (291) １９２０・４９２０ |
| 福岡出張所 | 福岡市舟津町１番地 | 電話 福岡 (4) ２３７２・３３１２ |
| 名古屋出張所 | 名古屋市中区下園町１丁目５番地 | 電話 名古屋 (23) ７３６１ |

オリエンタルメタル




営業品目
特許　スーパーオリエンタルメタル製
特許　オリエンタルメタル製
屋根板・谷樋・軒樋・竪樋・呼樋
棟包・雨押類・ダクト並臭突類
特許　オリエンタル　スカイライト
特許　特殊屋根材「セラクタイト」
特許　オリエンタル・アスファルトブロック

製造・設計・販売・施工

asbestos protected metal

耐酸，耐アルカリ性被覆鋼板

# オリエンタル メタル

着色カラー，不燃性，超耐酸被覆鋼鉄板

スーパーオリエンタルメタル

## オリエンタルメタル製造株式会社

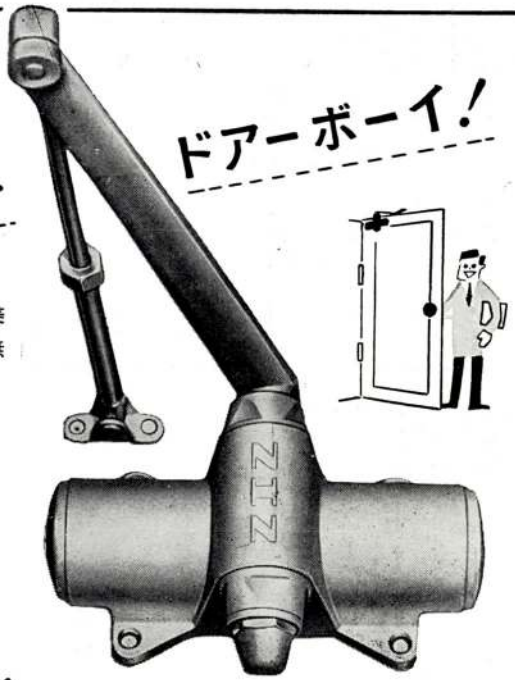
| | | |
|---|---|---|
| 本社及工場 | 尼崎市長州字稲川新田44 | TEL 大阪（48）4947～9・5920 |
| 東京支店及工場 | 埼玉県蕨市塚越1620 | TEL 蕨（0889）3252～4 |
| 九州支店及工場 | 福岡県八幡市東浜町16の2 | TEL 八幡（6）723・2512 |
| 東北支店及工場 | 福島県郡山市外富久山町久保田142 | TEL（郡山）267 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市熱田区三本松町2の35 | TEL 名古屋（88）7674 |

NHN

あなたの忠実な…

型状優美
故障絶無

日・米・英・独、各国特許



ドアーボーイ！



# ニッカナ
ドアーチエック

日本金具製作所

製造元　ダイハツ工業株式會社

ABCの建材

# ABCコーキング

凡ゆる間隙から永久に漏水の心配を根絶する
永久に気密を保持する
廉価で耐久性のあるコーキング剤

| | | |
|---|---|---|
| 18リッター罐 | | 8,500円（現場渡） |
| 1cm×1cm×1m | 材料費 | 48円 |
| コーキングガン | | 3,000円（現場渡） |

## カラクリート

美しく，磨耗せず，滑らず，かつ耐水性に富んだ床材
床，廊下，階段，ロビー，バルコニー，ガソリンスタンド等美しい色彩と耐磨耗性を必要とする場所や，防水力があるので戸外にも使用出来る。

**価格　42kg袋入（6坪分）　現場渡** { 緑 7,080円（坪当り¥1,180） / その他 5,880円（〃 ¥980）

## フェロコン

工場，倉庫用コンクリート床仕上材
コンクリート床の金属性硬化材で，フェロコンの施工によって床は恰も鋼板を張ったような効果をあげる。

**価格　49kg袋入（7坪分）　現場渡** { 色物 6,200円 / ナチュラル 5,400円

## コルキート

近代人の部屋には疲れをいやし，いらいらを取る壁材
合成ゴムとコルクから製造されたコルクシートで落着いた上品な感覚で，老化せず水洗出来る

**価格　坪当り　東京渡　2,200円　　寸法　3尺×6尺×0.7mm**

## ロビンスコンダクティブタイル

麻酔ガスの爆発を防止する手術室用電導ビニールタイル

- 常に一定の電導性を保証出来る
- 施工翌日から使用出来る
- 掃除、補修が容易である

K.K. ABC商会

東京都千代田区永田町2～77
TEL（581）1411（代表）～7

大阪出張所
大阪市西区京町堀通1～18（日新ビル）
TEL（44）3915・0500

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS 合格モルタルコンクリート用

# 特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームＫＫ推奨品

株式会社 油脂化工社

本社 東京都品川区二葉町１－441　電話東京(781) 1715

取締役社長 矢中龍次郎　大阪営業所 大阪市東成区西今里町２－48 電話 ㊼ 4765・0063

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

# ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本社 兵庫県宝塚市高台上の池北28－１ 電話 宝塚(079) ２１５３

大阪連絡所 大阪市東区船越町２－31（船越ビル） 電話 ㊾ 2626(直通)

出張所電話 東京 (431) ０８７４・名古屋 ㉜ １３３１

仕様書型録贈呈

ウォータイト式防水工事代行店電話 大三工業 高松②８６９７ 安藤工事 仙台 ③ ０７２１・札幌 ⑤ ７１７１ 福岡 ③ ５７６５ 豊永建材 広島 ④ ３５６７

# 防火シャッター

甲種

乙種

# パイプシャッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シャッター製作所

| | | |
|---|---|---|
| 本社工場 | 大阪市東淀川区田川通６丁目38番地 | 電話(大阪)㊸代8565～8番 |
| 東京工場 | 川崎市新丸子東３丁目１１５９番地 | 電話中原局(047)-6325～7番 |
| 九州工場 | 福岡市樋田町１２６８番地 | 電話 ② ４６４７番 |
| 名古屋支店 | 名古屋市中区宮出町２３番地 | 電話 中 ㉔ ４８１１番 |
| 高松営業所 | 高松市丸ノ内１０番地(井筒ビル内) | 電話 ② ４００８番 |
| 岡山営業所 | 岡山市内山下３０ノ７番地 | 電話 ② ７２１９番 |
| 高知営業所 | 高知市西紺屋町１０番地 | 電話 ② ７３４９番 |
| 神戸連絡事務所 | 神戸市生田区中山手通３丁目18番地 | 電話 ② ２６５０番 |

（呈カタログ・資料）

代行販売店

| | | |
|---|---|---|
| 中博光商店 | 札幌市北1条通東1丁目(通川通) | 電話 代表 (4)０２８１番 |
| 理研興業株式会社 | 小樽市色内町５ノ４５番地 | 電話(2)0672・2656・7523番 |
| 三協建材株式会社 | 東京都中央区八重洲3ノ1(広瀬ビル２階) | 電話(272)165～６番 |
| 栄進鉄工所 | 沼津市大岡南小林３４００ | 電話 沼津 ９５５番 |
| 佐野鋼材株式会社 | 清水市江尻竹下町８ | 電話 (2) 3628・4615番 |
| 石本金属株式会社 | 新潟市古町五番町６２４ | 電話(2)３１８１～５番 |
| 福田商店 | 富山市弁天橋北町８番地 | 電話代表８５４１市外９ |
| 磯田金属工業株式会社 | 広島市研屋町２５ | 電話(4)８２７１～４番 |
| 永見金属株式会社 | 松江市朝日町駅南口通 | 電話３２２４・５４５２番 |
| 三京交易株式会社 | 福岡市下浜口町２３番地 | 電話(3) 0144 (2) 4647番 |
| 〃 小倉出張所 | 小倉市博労町７２ノ１ | 電話 (5) ３６７３番 |
| 〃 長崎出張所 | 長崎市千馬町１ノ９ | 電話 (2) ０８９０番 |
| 大石産業株式会社 | 八幡市通町２０丁目 | 電話(6)１１９５～６番 |
| 中村金物株式会社 | 鹿児島市武町５７０番地 | 電話代表６６５０～３番 |
| 〃 熊本支店 | 熊本市紺屋町１ノ３０ | 電話 (2) 1231・4684番 |
| 田中鉄工株式会社 | 丸亀市城西町１４２ | 電話３２９・１２２１番 |
| 小川建材店 | 千葉市汐見ヶ丘２４番地 | 電話 (2) ０８９７番 |
| 橋本工作所 | 福島県郡山市北田町１６ | 電話 郡山 ２８３０番 |

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可
昭和三十五年三月二十日印刷
昭和三十五年三月廿五日発行（毎月廿五日発行）

高圧 朝日スレート
米国式 朝日コンクリートブロック

A.S.K.
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話 大阪 ㉞ 7236代表～9 2095夜間専用
本　　社　東京銀座七.営業所-東京.横浜.名古屋.岡山.九州.北海道
工　　場　東京.横浜.山梨.名古屋.大阪.岡山.門司.宮城

三星の床材
プラスタイル"P"
（Pタイル）

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊹ 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江上通1ノ35　電話 ㊺ 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）
電話 ㉕ 0471－2・0371　㉗ 7604
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話 ㉓ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36　電話 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル　電話 ㉔ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12　電話㊸ 0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2　電話㉔ 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋市中区東瓦町39　電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③ 2201・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町108　電話 ② 2281～4
岡　山・岡山市東田町3　電話② 7911・8169
福　岡・福岡市万行寺前町14　電話 ③ 1225～6

関西三星タイル会員

売価　一部　金百八十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話北浜 ㉓ 9648・9649・9640
振替口座大阪 39975番